Citrix Workspace™アプリ

Citrix Workspaceアプリについて

Citrix Workspaceアプリは、エンドユーザーが生産性を維持するために必要なすべてのリソースへの、即座で安全かつシームレスなアクセスを提供します。Citrix Workspaceアプリには、仮想デスクトップ、仮想アプリ、Webアプリ、SaaSアプリへのアクセス、および組み込みブラウジングやシングルサインオンなどの機能（どこからでも、どのデバイスからでも）が含まれています。

Citrix Workspaceアプリは、クラウド環境とオンプレミス環境の両方でデバイスに展開できるクライアントアプリケーションです。これは、以前Citrix Receiver™として知られていた機能に基づいて構築されており、HDX、Citrix Gatewayプラグイン、Secure Private AccessなどのCitrixクライアントテクノロジーが含まれています。

このクライアントアプリは、Windows、macOS、Linux、iOS、Androidなど、すべてのクライアントOSで動作するように最適化されています。ブラウザー経由でアクセスすることもできます。サポートされているブラウザーの詳細については、「Workspace Browser Compatibility」を参照してください。

CitrixプロトコルとHDX™（高精細エクスペリエンス）を搭載したCitrix Workspaceアプリは、高性能な仮想アプリおよびデスクトップセッションを提供します。安全なログインとインターネットブラウジングエクスペリエンス、アプリとデスクトップの簡単な管理、高度な検索機能などを提供するために強化されています。

> **注：**
>
> アプリのUIは、リソースの展開（つまり、クラウド（ワークスペースプラットフォームを活用）またはオンプレミス（StoreFront platformを活用））によって異なる場合があります。
>
> Citrix Workspaceアプリで利用可能な機能については、「Citrix Workspace app feature matrix」を参照してください。

LTSRとCurrent Releasesの違いについては、「Lifecycle Milestones for Citrix Workspace app」を参照してください。

Citrix Workspaceアプリは、以下のオペレーティングシステムで利用できます。

- Citrix Workspace アプリ (Android 版)
- Citrix Workspace アプリ (ChromeOS 版)
- シトリックス ワークスペース アプリ HTML5用
- シトリックス ワークスペース アプリ iOS用
- Linux 向け Citrix Workspace アプリ
- Mac 向け Citrix Workspace アプリ
- Windows 向け Citrix Workspace アプリ
- Windows 向け Citrix Workspace アプリ (Store)

> **重要**

> **Citrix Workspace アプリの更新のために収集されるデータ:**

> インターネットに接続されているデバイスに関して、Citrix Workspace アプリは、追加の通知なしに、デバイスにダウンロードおよびインストール可能な更新プログラムを確認し、その利用可能性をユーザーに通知する場合があります。この場合、IP アドレスが一部の法域で個人を特定できる情報と見なされる可能性がある範囲を除き、個人を特定できない情報のみが送信されます。

Global App Configuration service を使用して Citrix Workspace アプリを構成する

Global App Configuration service は、エンドユーザー向けに Citrix Workspace アプリの設定を構成するための一元化されたインターフェイスを提供します。クラウドストアとオンプレミスストアの両方の設定を単一のインターフェイスから構成できます。これらの設定は、管理対象デバイスと非管理対象デバイス (BYOD) の両方に適用されます。詳細については、「Global App Configuration service」を参照してください。

言語サポート

Citrix Workspace アプリは、英語以外の言語での使用に対応しています。このセクションでは、Citrix Workspace アプリの最新リリースでサポートされている言語を一覧表示します。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

次の表に、さまざまなオペレーティングシステムまたはプラットフォームで Citrix Workspace アプリがサポートする言語を示します。 は、その特定の言語でアプリが利用可能であることを示します。

言語	アンドロイド	CHROMEOS	HTML5	IOS	リナックス	MACOS	ウィンドウズ	ウィンドウズストア
英語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
デンマーク語	☑;			☑;				
オランダ語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
フランス語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
ドイツ語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
イタリア語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
日本語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
韓国語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;		☑;	☑;
ポルトガル語(ブラジル)	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
ロシア語		☑;	☑;		☑;		☑;	☑;
簡体字中国語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;
スペイン語	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;	☑;

言語	アンドロイド	CHROMEOS	HTML5	IOS	リナックス	MACOS	ウィンドウズ	ウィンドウズストア
スウェーデン語	☑;			☑;				
繁体字中国語		☑;	☑;				☑;	☑;

機能フラグ

この記事では、機能フラグの管理と、機能フラグをサポートするさまざまなCitrix Workspaceアプリについて説明します。

機能フラグの管理

Citrixは、機能フラグの管理方法を変更し、プレビュー機能へのアクセスを許可し、本番環境での機能の動的な管理を可能にしています。この改善を通じて、Citrixは機能フラグを効率的に管理し、中断を最小限に抑えることで、最適なユーザーエクスペリエンスを提供することを目指しています。機能フラグの下にある機能が最適に機能するようにするには、URL `features.netscalergateway.net` へのトラフィックを有効にする必要があります。

問題が発生した場合でも、製品全体のユーザーエクスペリエンスに影響を与えることなく機能を迅速に無効にできるため、お客様にシームレスで信頼性の高いエクスペリエンスを提供できます。

ファイアウォールまたはプロキシがアウトバウンドトラフィックをブロックしている場合を除き、機能管理のためのトラフィックを有効にするための設定は不要です。そのような場合は、ポリシー要件に応じて、特定のURLまたはIPアドレスを使用してトラフィックを有効にする必要があります。

> **注：**

> スプリットトンネリングがOFFでスプリットDNSがOFFのNetScaler Gatewayを使用している場合は、NetScalerがポート443で `features.netscalergateway.net` を解決して接続できることを確認してください。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

以下の表は、機能フラグをサポートするさまざまなアプリと、それらのアプリで機能フラグが導入されたリリースバージョンを示しています。

アプリ	機能フラグのサポート	バージョン	ドキュメント
Android向けCitrix Workspaceアプリ	はい	2409	Android向けCitrix Workspaceアプリの機能フラグ管理
ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ	はい	2409	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの機能フラグ管理
HTML5向けCitrix Workspaceアプリ	はい	2409	Citrix Workspaceアプリ for HTML5 の機能フラグ管理(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/configure.html#feature-flag-management)
Citrix Workspace アプリケーション (iOS向け)	はい	24.10.0	Citrix Workspaceアプリ for iOS の機能フラグ管理(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/configure#feature-flag-management)
Citrix Workspace アプリケーション (Linux向け)	いいえ	-	-
Citrix Workspace アプリケーション (Mac向け)	はい	2409	Citrix Workspaceアプリ for Mac の機能フラグ管理(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/system-requirements#feature-flag-management)

アプリ	機能フラグのサポート	バージョン	ドキュメント
Citrix Workspace アプリケーション (Windows向け)	はい	2409	Windows向けCitrix Workspaceアプリの機能フラグ管理

Citrix Workspaceアプリのテレメトリ

Citrix Workspaceアプリは、ライセンスの権利行使、およびソフトウェアとサービスの管理、測定、改善のために、製品を通じてユーザーとデバイスの使用状況に関するテレメトリデータを収集します。

すべてのテレメトリ収集は、当社のEUAおよびプライバシーポリシーの条件に従って実行されます。

詳細については、「Citrix Virtual Apps and Desktops テレメトリデータ要素」を参照してください。

Citrix Receiverに関する重要な更新

2018年8月より、Citrix WorkspaceアプリがCitrix Receiverに代わって提供されます。Citrix Receiverの古いバージョンは引き続きダウンロードできますが、新機能と機能強化はCitrix Workspaceアプリ向けにリリースされます。

Citrix Workspaceアプリは、Citrix Receiverと同様に機能し、組織のCitrixインフラストラクチャと完全に下位互換性のあるCitrixの新しいクライアントです。Citrix Workspaceアプリは、Citrix Receiverのすべての機能と、組織のCitrix展開に基づいた新しい機能を提供します。

Citrix WorkspaceアプリはCitrix Receiverテクノロジーに基づいて構築されており、すべてのCitrixソリューションと完全に下位互換性があります。

詳細については、WorkspaceアプリFAQページをご覧ください。

新機能

Android、ChromeOS、HTML5、iOS、Linux、Mac、Windows向けのCitrix Workspace™アプリ、App Protection、Citrix Enterprise Browser™、Workspace UI、Global App Configurationサービス、およびWorkspace Platformの新機能と機能強化について説明します。

Android向けCitrix Workspaceアプリ - 26.7.0

以下の機能が提供されます。

- セッションツールバーエクスペリエンスの改善
- 2本指での水平スクロールのサポート
- Samsung DeXでのOne UI 8のサポート
- グラフィック設定の使いやすさと自動同期の改善
- パスワードなしサインインのためのセッション内**FIDO2**パスキーのサポート
- 非推奨のお知らせ

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2603.60

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2603.50

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2603.50で利用可能な機能のリストは次のとおりです。

- セッション内再接続エクスペリエンスの強化

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2603.10

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

HTML5向けCitrix Workspaceアプリ - 2603.10

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対応しています。

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2603

Citrix Workspaceアプリ2603 for ChromeOSで利用可能な機能は以下のとおりです。

- キーボード入力モードの改善
- 信頼性の高いトランスポートプロトコルによるオーディオ品質の向上
- AOTログコンテンツの強化
- コネクタレスワークロードのサービス継続性
- グラフィックの損失許容モード
- Secure HDXによるEDT損失接続サポートの強化
- 強化されたセッション内再接続エクスペリエンス \[テクニカルプレビュー\]

HTML5向けCitrix Workspaceアプリ - 2603

Citrix Workspaceアプリ2603 for HTML5で利用可能な機能は以下のとおりです。

- キーボード入力モードの改善
- 信頼性の高いトランスポートプロトコルによるオーディオ品質の向上
- AOTログコンテンツの強化
- シングルテナントのMicrosoft Entra IDのサポート

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2609

Mac版Citrix Workspaceアプリ2609で利用可能な機能の一覧を次に示します。

- macOS 27 Golden Gateのサポート
- ダイレクト接続のHDX Directサポート

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2607

Mac版Citrix Workspaceアプリ2607で利用可能な機能の一覧を次に示します。

- Microsoft Teams VDIプラグイン — 一般提供され、デフォルトでインストールされます
- 自動更新のバージョンロールバックのサポート
- より高速で中断の少ない自動更新（サイドバイサイドサイレント更新）
- セッションプレ起動のサポート
- 改善されたPoP（Point of Presence）選択

- セッションの回復性向上を目的としたDNSキャッシュ (テクニカルプレビュー)
- EDT MTU再検出 (テクニカルプレビュー)
- クライアントドライブマッピング (CDM) のストリーミング読み取りと書き込み (テクニカルプレビュー)
- コネクタレスワークロードのサービス継続性のためのHDX Direct (テクニカルプレビュー)
- HDXグラフィック超解像度 (テクニカルプレビュー)
- 仮想セッションのロケーションリダイレクト (テクニカルプレビュー)
- Unified Communications SDKによる通話接続時間の短縮
- マルチメディアセッション向けオーバーレイクリッピングの最適化
- 復元力とセキュリティを備えたサードパーティプラグインの実行 (テクニカルプレビュー)
- 双方向コンテンツリダイレクトのOAuthリダイレクトサポート
- アダプティブWebカメラビットレート
- PDF印刷機能の強化
- CAMおよびMDMポリシーのヘルスチェッカーツール

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2603.11

Mac版Citrix Workspaceアプリ2603.11で利用可能な機能の一覧を次に示します。

- Citrix Snipping Tool統合のサポート（テクニカルプレビュー）
- データグラム・トランスポート・レイヤー・セキュリティ (DTLS) 1.0 の廃止

Linux向けCitrix Workspaceアプリ - 2604

以下は、Linux向けCitrix Workspaceアプリ2604で利用可能な機能のリストです。

- サーバー側証明書検証による強化されたブラウザコンテンツリダイレクト
- NetScaler Gatewayストア向けのEntra IDシングルサインオン
- シトリックス・エンタープライズ・ブラウザの削除
- FIDO2認証に対するGoogle Chromeのサポート
- UCSDK最適化による通話接続時間の強化
- コネクタレスワークロード向けのサービス継続性
- macOS VDA向けのショートカットメニュー
- スキャナーワークフローの最適化

- Secure HDX 2.0によるEDT Lossyのサポート
- ARM64サポートの削除
- Linux向けデュアルVCSDKバイナリセット（テクニカルプレビュー）
- Linux 用デュアル CWA パッケージセット (テクニカルプレビュー)

Mac 用 Citrix Workspace アプリ - 2603

Citrix Workspace アプリ 2603 for Mac で利用可能な機能は次のとおりです。

- リモート Mac セッションのジェスチャサポート
- 双方向コンテンツリダイレクト
- macOS 13.0 Ventura の非推奨化
- Mac 用 Citrix Workspace アプリの Always On Tracing (AOT) サポート
- マイクのトラブルシューティング
- Shield V2 サービス継続性
- Microsoft Teams VDI プラグインインストールのサポート
- 仮想チャネルプラグインマネージャー

Android 用 Citrix Workspace アプリ - 2603

機能は次のとおりです。

- 常時オン追跡 (AOT)
- モバイルデバイス管理 (MDM) およびグローバルアプリ構成サービス (GACS) を使用した再接続アラートのよりスマートな制御
- モバイルデバイス管理 (MDM) ネストされたJSON構成のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#mobile-device-management-mdm-nested-json-configuration-support)
- Windows VDAでの自動キーボード表示/非表示機能の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#enhanced-automatic-keyboard-show-hide-with-windows-vda)
- Secure HDXによるEDT Lossy接続のサポートの改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#improved-support-for-edt-lossy-connections-with-secure-hdx)
- Web Interfaceのアンチキーロギングサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#anti-keylogging-support-for-web-interface)
- Android版Citrix Workspaceアプリでのリアルタイムキーボード設定(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#real-time-keyboard-settings-in-citrix-workspace-app-for-android)

- 非アクティブタイムアウト時のIdPチェーンログアウト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#idp-chained-logout-on-inactivity-timeout)
- Global App Configurationサービスおよびモバイルデバイス管理によるセッションツールバー構成(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#session-toolbar-configuration-through-global-app-configuration-service-and-mobile-device-management)
- Android 13の非推奨のお知らせ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#deprecation-announcement-of-android-13)
- レガシー機能の非推奨通知(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#deprecation-notification-of-legacy-features)

Citrix Workspace アプリ Linux 用 - 2601

- エンドポイント分析 (EPA) のシームレスな統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#seamless-integration-of-endpoint-analysis-epa)
- WebブラウザからのEntra IDシングルサインオン (SSO)(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#entra-id-single-sign-on-sso-from-web-browsers)
- オンプレミスストア向けCookie共有によるシングルサインオン (SSO)(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#single-sign-on-sso-through-cookie-sharing-for-onpremises-stores)
- FIDO2およびEntra ID SSOに対するMicrosoft Edgeのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#microsoft-edge-support-for-fido2-and-entra-id-sso)
- FIDO2認証タイムアウト構成(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#fido2-authentication-timeout-configuration)
- Workspace (WSP) の非アクティブタイムアウト時のIDプロバイダー (IDP) ログアウト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#identity-provider-idp-logout-on-workspace-wsp-inactivity-timeout)
- 自動最大伝送単位 (MTU) 適応(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#automatic-maximum-transmission-unit-mtu-adaptation)
- 強化されたキーボード設定(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#enhanced-keyboard-settings)
- WaylandおよびXWaylandでの透過的なキーパススルー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#transparent-key-pass-through-on-wayland-and-xwayland)
- セッション再接続エクスペリエンスの向上(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#improved-session-reconnection-experience)

- 拡張されたログサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#extended-logging-support)
- モジュラーブラウザコンテンツリダイレクト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#modular-browser-content-redirection)
- StoreFront検出のためのGatewayルートの強制(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#force-gateway-route-for-storefront-discovery)
- 信頼性の高いトランスポートのためのオーディオ品質エンハンサー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/about-this-release/features-in-technical-preview#audio-quality-enhancer-for-reliable-transport)

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2511.10

このリリースでは、全体的なパフォーマンスと安定性を向上させる領域に対処しています。サーバー負荷が高い場合のセッションの応答性を向上させる変更が含まれています。このリリースはChromeOSバージョン144と互換性があります。

Android向けCitrix Workspaceアプリ - 25.11.0

- Entra ID参加済みVDA向けのシームレスなシングルサインオン(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#seamless-single-sign-on-for-entra-id-joined-vdas)
- オーディオのロス耐性モード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#loss-tolerant-mode-for-audio)
- deviceTRUST®とAndroid向けCitrix Workspace™アプリのシームレスな統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-android/whats-new#seamless-integration-of-devicetrust-with-citrix-workspace-app-for-android)
- Androidデバイスの永続的なクライアント名
- 強化されたオンスクリーンキーボードエクスペリエンス
- VDA向け強化USB診断ツール
- オーディオデバイスの自動同期によるオーディオ音量制御の同期
- モバイルVDIユーザー向け再接続エクスペリエンスの改善

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2511.1

- Macエンドポイントでの双方向コンテンツリダイレクトのサポート
- モジュール型ブラウザコンテンツリダイレクト

- ハイブリッド起動におけるGlobal App Configurationサービスへの対応
- 管理対象デバイス向けuberAgentアドオンのサポート
- シトリックス エンタープライズ ブラウザ
- セッション障害レポートの改善
- VDA向け強化USB診断ツール
- Endpoint Analysisプラグインの更新

ChromeOS版シトリックス ワークスペース アプリ - 2511

- deviceTRUSTとCitrix Workspaceアプリ for ChromeOSの統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/whats-new#integration-of-devicetrust-with-citrix-workspace-app-for-chromeos)
- 常時オン追跡 (AOT)(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/whats-new#always-on-tracing-aot)
- デフォルトのオーディオデバイス選択(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/whats-new#default-audio-device-selection)
- Azure AD資格情報を使用したVDA向けEntra IDシングルサインオンのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/whats-new#entra-id-single-sign-on-support-for-vda-with-azure-ad-credentials)
- Global App Configuration service v2の認証済みユーザーグループのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/whats-new#global-app-configuration-service-v2-authenticated-user-group-support)

Citrix Workspace アプリ (iOS版) - 25.9.0

- Citrix Troubleshoot Connectionによるトラブルシューティングの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#enhanced-troubleshooting-with-citrix-troubleshoot-connection)
- iPhoneでの横向きモードのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#support-for-landscape-mode-on-iPhone)
- デスクトップ起動エクスペリエンスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#enhanced-desktop-launch-experience)
- 外部キーボードでのCaps Lock同期の改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#improved-caps-lock-synchronization-for-external-keyboards)
- オーディオデバイスと音量同期の改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#audio-device-and-volume-sync-improvements)

- レガシー機能の非推奨通知(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#deprecation-notifications-of-legacy-features)

Citrix Workspace アプリ (HTML5版) - 2511

- デフォルトのオーディオデバイス選択(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/whats-new#default-audio-device-selection)
- Azure AD資格情報を使用したVDA向けEntra IDシングルサインオンのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/whats-new#entra-id-single-sign-on-support-for-vda-with-azure-ad-credentials)
- 常時トレース (AOT)

Citrix Workspaceアプリ Android向け - 2509

- リソース起動中のリアルタイム進行状況の可視化
- マルチモニターエクスペリエンスの改善
- Citrix Troubleshoot Connectionによるトラブルシューティングの強化
- Android 13の非推奨化のお知らせ
- レガシー機能の非推奨化通知

Citrix Workspaceアプリ Linux向け - 2508.10

- クラウド向けEntra ID SSOのサポート

Citrix Workspaceアプリ Windows向け - 2508.10

- USBリダイレクトのARM64サポート

Citrix Workspaceアプリ Linux向け - 2508

- エンドユーザーにネイティブアプリを介したアプリとデスクトップの認証とアクセスを義務付ける
- DisableClientAppManagementフラグの追加
- Credential Insertion SDKを使用したCookie共有によるCitrix Workspace™アプリへのSSO
- Ubuntu 24.04+ webkit2gtk 依存関係の解決
- ブラウザコンテンツリダイレクトにおけるハードウェアアクセラレーション

- キーボード設定の変更が再接続なしで有効になる
- オーディオパフォーマンスを向上させるオーディオ品質エンハンサー
- 強化された接続強度インジケーター
- UIを使用したWebカメラリダイレクトの背景ぼかし
- シームレスアプリ向けH.264ハードウェアデコードのサポート
- H.264ハードウェアデコードのサポート
- ブラウザコンテンツリダイレクトにおけるブラウザプロファイル共有（テクニカルプレビュー）
- EDTタイムアウト設定のサポート
- FIDO2認証のNFCサポート
- GACSがLinux向けCitrix Workspaceアプリをサポート
- Linuxクライアント向けの強化されたファイル転送機能
- PDFユニバーサル印刷
- Boot-to-VDI向けスマートカード認証のサポート - テクニカルプレビュー
- EDTロス許容モード向けオーディオ品質エンハンサー

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2508

- macOS 26 Tahoeのサポート
- 米国政府機関のお客様向け地域別GACS検出エンドポイントのサポート
- Mac版Microsoft Teams向け仮想チャネルプラグインマネージャーのサポート
- 強化されたセルフサービスによるトラブルシューティングとユーザーエクスペリエンス
- Global AppConfig Service (GACS) リクエストをブロックするためのMDMポリシー
- 強化されたキーボード設定の構成
- Enlightened Data Transport (EDT) 接続タイムアウト構成
- 強化されたセッションツールバーのノッチサイズ
- Virtual Channel Software Development Kit (VCSDK) 向けシームレスモードAPIの機能強化
- EDTロス許容モード向けオーディオ品質エンハンサー

Windows版Citrix Workspaceアプリ - 2508

- Windows 11 IoT Enterprise LTSCへの長期サポートを拡張

- 自動化されたエンドポイント分析クライアントのインストール
- セルフサービスモードなしでサービス継続性を有効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#service-continuity-enabled-without-self-service-mode)
- Citrix接続のトラブルシューティング(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#citrix-troubleshoot-connection)
- 強化されたstorebrowseセッション処理(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-storebrowse-session-handling)
- 米国政府機関向けGACSクレームURLのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#support-for-gacs-claimed-urls-for-the-us-gov-region)
- セッション切断時の自動サインアウト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#automated-sign-out-on-session-disconnect)
- Intune向けADMXファイルインポートのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#admx-file-import-support-for-intune)
- モジュール型ブラウザコンテンツリダイレクト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#modular-browser-content-redirection)
- Microsoft Teamsプラグインの自動インストール(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#microsoft-teams-plugin-automatic-installation)
- Zoom 64ビットプラグイン管理のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#zoom-64-bit-plug-in-management-support)
- Citrix Workspaceアプリの管理対象デバイス向けuberAgent®アドオンのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#uberagent-add-on-support-for-managed-devices-in-citrix-workspace-app)
- Webカメラの背景ぼかし持続性の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-background-blur-persistence-for-webcam)
- 強化されたキーボードレイアウト設定通知(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-keyboard-layout-settings-notification)
- Citrix Workspaceアプリを使用したライセンステレメトリのアップロード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#license-telemetry-upload-using-citrix-workspace-app)
- ノイズ抑制の有効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enable-noise-suppression)
- ブラウザコンテンツリダイレクトにおけるブラウザプロファイル共有 - テクニカルプレビュー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#browser-profile-sharing-in-browser-content-redirection-technical-preview)

- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップ
- HDX™グラフィックス超解像度アップスケーリング（プレビュー）
- シトリックス エンタープライズ ブラウザ™
- Windows上のARM64向けApp Protectionサポート
- アプリ保護ヘルスチェッカー

HTML5向け Citrix Workspaceアプリ - 2509

- 複数モニターでの高DPIサポート
- ダブルホップRDPシナリオでのAlt+キーショートカットサポートの強化
- 複数モニターを備えたChromebook上のCitrix Workspaceアプリ for HTML5向け汎用クライアントIMEの機能強化
- Global App Configuration service (GACS)リクエストをブロックするための構成
- 機能フラグ要求をブロックするための構成
- 強化されたセッションツールバーのノッチサイズ

ChromeOS向け Citrix Workspaceアプリ - 2509

- 複数モニターでの高DPIサポート
- オーディオのロス耐性モード
- double-hop RDPシナリオにおけるAlt+キーショートカットのサポート強化
- Global App Configurationサービス (GACS) をブロックするためのGoogle管理ポリシー
- 機能フラグ要求をブロックするためのGoogle管理ポリシー
- セッションツールバーのノッチサイズの強化

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2507

- アダプティブトランスポート (EDT)

iOS向けCitrix Workspaceアプリ - 25.7.2

- iOS 26のサポート
- 接続強度インジケーターの強化
- デスクトップとアプリの自動起動

- ロックダウンモードでのiPadおよびiPhoneのサポート

Windows向けCitrix Workspaceアプリ - 2507 LTSR

- Citrix接続のトラブルシューティング
- Windows 11 IoT Enterprise LTSCへの長期サポートの拡張
- 自動エンドポイント分析クライアントのインストール
- セルフサービスモードなしでサービス継続性を有効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#service-continuity-enabled-without-self-service-mode)
- Citrix Gatewayでのセッションタイムアウト強制の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#enhanced-session-timeout-enforcement-on-citrix-gateway)
- storebrowseセッション処理の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#enhanced-storebrowse-session-handling)
- 米国政府機関向けGACSクレームURLのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#support-for-gacs-claimed-urls-for-the-us-gov-region)
- セッション切断時の自動サインアウト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#automated-sign-out-on-session-disconnect)
- Intune向けADMXファイルインポートのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#admx-file-import-support-for-intune)
- モジュラーブラウザコンテンツリダイレクト(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#modular-browser-content-redirection)
- Zoom 64ビットプラグイン管理のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#zoom-64-bit-plug-in-management-support)
- Citrix Workspaceアプリを介したエンドポイントへのuberAgentの配布の簡素化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#simplified-distribution-of-uberagent-on-endpoints-through-citrix-workspace-app)
- ウェブカメラの背景ぼかし持続性の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#enhanced-background-blur-persistence-for-webcam)
- キーボードレイアウト設定通知の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#enhanced-keyboard-layout-settings-notification)
- Citrix Workspaceアプリを使用したライセンステレメトリのアップロード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#license-telemetry-upload-using-citrix-workspace-app)

- ノイズ抑制の有効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#enable-noise-suppression)
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップグレード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/2507-ltsr/whats-new#version-upgrade-for-chromium-embedded-framework)

Citrix Workspaceアプリ Windows版 - 2503.10

- オーディオパフォーマンスを向上させるオーディオ品質エンハンサー
- 自動更新の機能強化

HTML5向けCitrix Workspaceアプリ - 2505

- 自動検出とカスタムディスプレイセレクターによるマルチモニターサポートの強化
- エラーダイアログでのCitrix Workspaceアプリログのダウンロードを無効にする

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2505

- 自動検出とカスタムディスプレイセレクターによるマルチモニターサポートの強化
- 最適化されたZoomセッションでのビデオレンダリングの改善
- 永続的な自動USBリダイレクト

Mac向けCitrix Workspaceアプリ - 2505

- macOS Tahoe Beta2でのMac向けCitrix Workspaceアプリ
- オンプレミスストアへの認証の簡素化
- 音声ディクテーションのサポート
- 起動失敗のセルフサービスによるトラブルシューティング
- ディスクからのICAファイルの起動を防止
- DirectorでのZoomプラグインメトリックの監視
- Mac版Citrix Workspaceアプリのアクティブユーザー向け自動更新機能の強化
- 仮想デスクトップのツールバーに対するキーボードアクセシビリティのサポート
- Citrix Viewerツールバーの接続強度インジケーターの強化
- Mac版Citrix WorkspaceアプリでのmacOSウィンドウタイリングのサポート
- プラットフォーム固有のツールバー更新: macOS VDAセッションでCtrl+Alt+Delボタンを非表示

- ユーザーインターフェイスとエクスペリエンスの強化
- デフォルトオーディオデバイスの選択

Citrix Workspaceアプリ Linux向け - 2505

- サポート対象のLinuxディストリビューション
- eLux 7でのApp Protectionのサポート
- FQDNサポートによるプロキシ処理の改善
- 全画面表示または拡張ボタンの動作の強化
- 仮想デスクトップへの自動起動エントリを作成するための新しいstorebrowseコマンド

Citrix Workspaceアプリ Windows向け - 2503

- クライアント側のグラフィック最適化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#client-side-graphics-optimizations)
- Citrix Workspaceアプリでの永続セッション(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#persistent-session-in-citrix-workspace-app)
- 強化されたDesktop Viewerツールバー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-desktop-viewer-toolbar)
- Desktop Viewerツールバーの接続強度インジケーターの機能強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhancement-to-connection-strength-indicator-on-desktop-viewer-toolbar)
- マルチモニターレイアウトの選択(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#multi-monitor-layout-selection)
- デスクトップロックまたはVDI起動機能の機能強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhancements-on-desktop-lock-or-boot-to-vdi-feature)
- 簡素化されたSSON(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#simplified-sson)
- deviceTRUSTとCitrix Workspaceアプリのシームレスな統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#seamless-integration-of-devicetrust-with-citrix-workspace-app)
- 自動更新の機能強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhancement-to-auto-update)
- アクティブユーザーのみの自動更新を有効にする(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enable-auto-update-for-active-users-only)

- App Protectionを使用したCitrix Workspaceアプリのインストールプロセスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-installation-process-for-citrix-workspace-app-with-app-protection)
- Citrix Workspaceアプリのインストールプロセスの改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#improved-installation-process-for-citrix-workspace-app)
- スタートメニューとデスクトップショートカットのバックエンドリソース変更の自動同期(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#auto-sync-backend-resource-changes-for-start-menu-and-desktop-shortcuts)
- Citrix WorkspaceアプリのインストールZoomおよびWebexプラグインマネージャーをインストールする(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#install-zoom-and-webex-plug-in-managers-during-citrix-workspace-app-installation)
- 非管理者ユーザー向けのログ収集サポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#log-collection-support-for-non-admin-users)
- AppLockerとのセキュリティと互換性の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#enhanced-security-and-compatibility-with-applocker)
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップグレード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#version-upgrade-for-chromium-embedded-framework)
- Microsoft Teamsでのオーディオパフォーマンスの向上(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#improved-audio-performance-in-microsoft-teams)
- Citrix Directorを使用したサードパーティUCアプリの最適化ステータスの監視(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#monitor-third-party-uc-app-optimization-status-using-citrix-director)
- オンプレミスストア向けGACSを使用したハイブリッド起動のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/whats-new#hybrid-launch-support-using-gacs-for-on-premises-stores)

iOS向けCitrix Workspaceアプリ - 25.3.0

- セッション解像度の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#enhanced-session-resolution)
- リアルタイムエコーキャンセレーションによるオーディオ品質の向上(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#enhanced-audio-quality-with-real-time-echo-cancellation)
- 新しいセッション内ツールバー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#new-in-session-toolbar)

Linux向けCitrix Workspaceアプリ - 2503

- 仮想デスクトップへの起動(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#boot-to-virtual-desktop)
- deviceTRUSTのシームレスな統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#seamless-integration-of-devicetrust)
- eLux 7との統合(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#integration-with-elux-7)
- storebrowseの新しいコマンド(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#new-command-for-storebrowse)
- Desktop Viewerツールバーの接続強度インジケーター(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#connection-strength-indicator-on-desktop-viewer-toolbar)
- オーディオパフォーマンスを向上させるためにオーディオ品質エンハンサーを有効にする
- マルチタッチ向けオンスクリーンキーボードの機能強化
- 強化されたマルチモニターカスタムレイアウト
- 強化されたバッテリーステータスインジケーター
- デフォルトのオーディオデバイス選択
- 双方向コンテンツリダイレクトがOAuthリダイレクトをサポート
- Microsoft Teamsでのオーディオパフォーマンスの向上
- シームレスアプリ向けH.264ハードウェアデコードのサポート（テクニカルプレビュー）

Mac向けCitrix Workspaceアプリ - 2503

- Citrix WorkspaceアプリによるdeviceTRUSTプラグインの自動インストールをサポート
- クイックアクセスメニューでバックグラウンドプロセスを終了
- Mac Launchpadでのアプリショートカットの表示管理
- 強化されたデスクトップ起動エクスペリエンス
- ヘルプメニューの構造強化
- セッションタイムアウトエクスペリエンスの向上（テクニカルプレビュー）
- VDA OSおよびセッションタイプ向けの強化されたキーボード設定
- Selective Thinwire向けの最適化されたグラフィックパフォーマンス
- UCSDK deviceIDの機能強化
- ファイルとフォルダーのコピーに対するクリップボードのサポート

- デスクトップセッション向けの強化されたマルチモニター管理
- グラフィックのロス許容モード
- マスストレージデバイスのUSBリダイレクト
- HDXダイレクトサポート
- オーディオパフォーマンスを向上させるためのオーディオ品質エンハンサーの有効化
- オンプレミスストア向けのGACSを使用したハイブリッド起動のサポート
- クラウドストア向けのGACSによるハイブリッドモードサポートの強化 (テクニカルプレビュー)
- macOS Monterey 12の非推奨のお知らせ

Citrix Workspaceアプリ HTML5向け - 2502

- 改善されたセッション内ツールバーに対する機能強化
- 接続強度インジケーター
- サービス継続性 [テクニカルプレビュー]
- トラックパッドでの水平スクロールのサポート
- セッション起動診断
- シームレスなアプリ起動とサイズ変更エクスペリエンスの強化
- ユニファイドコミュニケーション (UC) SDK のサポート

ChromeOS 向け Citrix Workspace アプリ - 2502

- 改善されたセッション内ツールバーの機能強化
- 接続強度インジケーター
- アダプティブトランスポート (EDT)
- トラックパッドでの水平スクロールのサポート
- セッション起動診断
- シームレスなアプリ起動とサイズ変更エクスペリエンスの強化
- ユニファイドコミュニケーション (UC) SDK のサポート
- Zoom の最適化 - ロック画面のサポート
- アセット ID の文字数制限の増加

iOS版Citrix Workspaceアプリ - 25.1.4

- 事前入力されたユーザー名によるCitrixセキュリティの強化
- GACS認証済みマイクロサービス（オンプレミス）をサポート
- クロス複数画面エクスペリエンスの強化
- DPIマッチング
- 仮想デスクトップのデフォルト横向き表示
- 強化されたセキュアICA

ワークスペースUI - 25.04

- ピン留めされたリンクのサポート

Android版Citrix Workspaceアプリ - 24.9.0

- マルチディスプレイモードでのSamsung DeXにおけるDPIマッチングのサポート
- 接続強度インジケーター

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2411.1

- スキャナーリダイレクトのサポート
- 強化されたセッションの信頼性
- 強化されたデスクトップ起動エクスペリエンス
- 強化された仮想デスクトップ画面サイズ変更エクスペリエンス
- HTTPプロキシのサポート
- 改善されたセッション内ツールバー
- Citrix Workspaceアプリのサステナビリティイニシアチブ - サステナビリティメッセージのカスタマイズ
- Citrix Directorにおけるエンドポイントテレメトリによるトラブルシューティングの強化
- macOS用Citrix VDA - クリップボードとキーボードショートカット
- 強化されたログ収集
- 強化されたキーボードおよびIME診断ツール
- マルチモニターセレクターによるディスプレイ制御の強化

Citrix Workspaceアプリ (Linux向け) - 2411

- サポートされるLinuxディストリビューション
- FIDO2認証のNFCサポート（テクニカルプレビュー）
- エコーキャンセル
- ノイズ抑制
- デスクトップビューアツールバーの接続強度インジケーター (テクニカルプレビュー)
- デスクトップ起動と画面サイズ変更エクスペリエンスの強化
- マルチモニターレイアウトの選択 (テクニカルプレビュー)
- アダプティブオーディオ用オーディオ品質エンハンサー (テクニカルプレビュー)
- Citrix Workspaceアプリのサステナビリティイニシアチブ
- 双方向コンテンツリダイレクト
- HDXダイレクト
- デスクトップビューアツールバーのカスタマイズ
- UCSDKでのWebHID APIのサポート

Mac用Citrix Workspaceアプリ - 2411

- 事前入力されたユーザー名によるCitrixセキュリティの強化
- MDMおよびGACSを使用したバージョン管理
- 自動更新のスケジュール設定のサポート
- アクティブユーザー向けの自動更新の強化
- UCSDK HIDの実装
- HDXダイレクト
- 「プラグアンドプレイWebカメラリダイレクトのサポート」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-plug-and-play-webcam-redirection)
- 「ユーザーグループの自動更新サポート」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#auto-update-support-for-user-groups)
- 「セッション起動失敗時のログ収集のサポート」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-log-collection-when-session-launch-fails)
- 「ブラウザコンテンツリダイレクトのサポート（テクニカルプレビュー）」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#support-for-browser-content-redirection)

- 「マルチモニターセレクターによるディスプレイ制御の強化（テクニカルプレビュー）」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#enhanced-display-control-with-multi-monitor-selector)
- 「大容量ストレージデバイスのUSBリダイレクト（テクニカルプレビュー）」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#usb-redirection-of-mass-storage-devices)
- 「非シールドシナリオ向けHDX Direct V2（テクニカルプレビュー）」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#hdx-direct-v2-for-non-shield-scenario)
- 「オーディオパフォーマンスを向上させるオーディオ品質エンハンサーの有効化（テクニカルプレビュー）」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#enable-audio-quality-enhancer-to-improve-audio-performance) 「Citrix Workspaceアプリを使用したCitrixアクセス強制」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#enforcing-citrix-access-using-citrix-workspace-app)

Citrix Workspaceアプリ HTML5向け - 24.11.0

- 「デスクトップ起動エクスペリエンスの強化」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about#enhanced-desktop-launch-experience)
- 「仮想デスクトップ画面のサイズ変更エクスペリエンスの強化」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about#enhanced-virtual-desktop-screen-resizing-experience)
- 「セッション信頼性の強化」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about#enhanced-session-reliability)
- 「セッション内ツールバーの改善」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about#improved-in-session-toolbar)
- 「Citrix Workspaceアプリによるサステナビリティへの取り組み」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about#sustainability-initiative-from-citrix-workspace-app)
- 強化されたログ収集
- Citrix Directorでのエンドポイントテレメトリによるトラブルシューティングの強化
- StoreFront向けHTML5用Citrix Workspaceアプリのプログレッシブ Webアプリバージョン
- macOS用Citrix VDA - クリップボードとキーボードショートカット
- 強化されたキーボードおよびIME診断ツール

iOS用Citrix Workspaceアプリ - 24.12.0

- インメモリICAソリューションのリリース

- 高速スマートカード
- ゲートウェイを使用したオンプレミスWSUIのサポート
- Citrix Workspaceアプリを使用したCitrixアクセス強制
- 地理的位置に基づくマルチサイトストアフェイルオーバーのサポート
- Altキーの右オプションキーマッピング
- 接続強度インジケーター
- 強化された新しいカスタマイズ可能なツールバー
- オペレーティングシステムiOS 15の非推奨化

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 2411

- スキャナーリダイレクトのサポート
- セッション内ツールバーの改善
- Citrix Workspaceアプリのサステナビリティイニシアチブ - サステナビリティメッセージのカスタマイズ
- HTTPプロキシのサポートの改善
- Citrix Directorにおけるエンドポイントテレメトリによるトラブルシューティングの強化
- macOS VDAのサポート - クリップボードとキーボードショートカット
- デスクトップ起動エクスペリエンスの強化
- 仮想デスクトップ画面サイズ変更エクスペリエンスの強化
- ログ収集の強化
- キーボードおよびIME診断ツールの強化
- セッション信頼性の強化
- マルチモニターセレクターによるディスプレイ制御の強化（テクニカルプレビュー）

Windows向けCitrix Workspaceアプリ - 2409

- Windows 11 24H2のサポート
- 機能フラグ管理(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/system-requirements#feature-flag-management)
- Microsoft Entra ID 使用時の Edge WebView のシングルサインオンサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/authentication#single-sign-on-support-for-edge-webview-when-using-microsoft-entra-id)

- 仮想デスクトップ画面のサイズ変更エクスペリエンスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/session-experience#enhanced-virtual-desktop-screen-resizing-experience)
- デスクトップ起動エクスペリエンスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/improved-virtual-apps-and-desktops-launch-experience#enhanced-desktop-launch-experience)
- 持続可能性イニシアチブの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/session-experience#enhancement-to-sustainability-initiative)
- ビーコンチェックの合理化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#streamlined-beacon-checks)
- .NET要件(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/system-requirements#net-requirements)
- EDT の SOCKS5 プロキシサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/secure-communications#socks5-proxy-support-for-edt)
- Desktop Viewer ツールバーのカスタマイズ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/session-experience#customization-of-desktop-viewer-toolbar)
- USB 接続を記憶(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/usb#remember-usb-connections)
- 「全画面表示モードを終了しています」のヒントプロンプトの無効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/session-experience#disabling-the-exiting-full-screen-mode-tip-prompt)
- UCSDK での WebHID API のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/optimized-microsoft-teams#support-for-webhid-api-in-ucsdk)
- TLS プロトコルバージョン 1.3 のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/secure-communications#support-for-tls-protocol-version-13)
- TLS 1.0 または 1.1 通信プロトコルの無効化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#disabling-tls-10-or-11-communication-protocols)
- デフォルトのオーディオデバイス選択(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/audio.html)
- デスクトップビューアツールバーの接続強度インジケーター
- オーディオパフォーマンスを向上させるためのオーディオ品質エンハンサーを有効にする（テクニカルプレビュー）
- 仮想チャネルプラグインマネージャー
- Skype for Business 用 HDX RealTime Optimization Pack の非推奨化

iOS 用 Citrix Workspace アプリ - 24.10.0

- 機能フラグ管理用の機能 V2.

HTML5 用 Citrix Workspace アプリ - 2409

- 新機能

Android 用 Citrix Workspace アプリ - 24.9.0

- GACS 認証済みマイクロサービス（クラウド）をサポート
- 強化された EDT 輻輳制御
- Samsung Knox を搭載した Samsung DeX で複数のセッションをサポート

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

Linux 用 Citrix Workspace アプリ - 2408

- RHEL 9.4 x86-64、Ubuntu 2204 x86-64、Raspberry Pi OS Bullseye-arm64、Debian 11.9 x86-64のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/system-requirements#supported-linux-distributions)
- 仮想デスクトップの画面サイズ変更エクスペリエンスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/session-experience#enhanced-virtual-desktop-screen-resizing-experience)
- 強化されたDesktop Viewerツールバー(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/store-configuration#enhanced-desktop-viewer-toolbar)
- ツールバーのカスタマイズ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/store-configuration#customize-toolbar)
- 強化されたDesktop Viewerツールバーのアクセシビリティサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/store-configuration#accessibility-support-for-enhanced-desktop-viewer-toolbar)
- グラフィックのパフォーマンス最適化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/graphics-and-display#performance-optimization-for-graphics)
- 多要素（nFactor）認証に対するEndpoint Analysisのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/authentication#endpoint-analysis-support-for-multi-factor-nfactor-authentication)
- Storebrowseコマンドの機能強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#enhancement-to-storebrowse-commands)
- 複数のWebカメラ解像度のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/webcams#multiple-webcam-resolutions-support)
- 高速スマートカード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/authentication#fast-smart-card)

- 共有ユーザーモードの読み込みエクスペリエンスの向上(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/session-experience#improved-loading-experience-for-shared-user-mode)
- ARM64デバイスでの最適化されたMicrosoft Teamsのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/optimization-for-microsoft-teams#support-for-optimized-microsoft-teams-on-arm64-devices)
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップグレード(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#version-upgrade-for-chromium-embedded-framework)
- アプリ保護(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#app-protection)
- 構成プロファイルを使用したユーザーグループの設定管理 テクニカルプレビュー
- FIDO2認証のNFCサポート テクニカルプレビュー
- 強化されたユニファイドコミュニケーションSDK API [テクニカルプレビュー]
- UCSDKでのWebHID APIのサポート [テクニカルプレビュー]
- ブラウザコンテンツリダイレクトにおける統合Windows認証のサポート [テクニカルプレビュー]
- H.264およびH.265ハードウェアデコードのサポート [テクニカルプレビュー]
- HTML形式テキストのクリップボードサポート [テクニカルプレビュー]

ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ - 24.9.0

- アダプティブトランスポート (テクニカルプレビュー)

機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

iOS向けCitrix Workspaceアプリ - 24.9.0

- iOS 18のサポート
- ラピッドスキャンのサポート
- サステナビリティイニシアチブのサポート
- 強化されたマルチアプリウィンドウ管理
- 生体認証有効化プロンプトのスキップ
- メール/ドメインベースの検出APIによるGACSエンドポイントの取得
- GACS認証マイクロサービス（クラウド）のサポート
- App Protectionのサポート

Mac版Citrix Workspaceアプリ - 2409

- クライアントアプリ管理
- ユーザーが更新チャネルを変更するのを制限するサポート
- Rapid Scanのサポート
- 仮想デスクトップの画面サイズ変更エクスペリエンスの強化
- デスクトップ起動エクスペリエンスの強化
- HTMLテキスト、ファイル、フォルダーに対するクリップボードサポートの強化
- DDCポリシーを使用した複合USBデバイスリダイレクトの管理のサポート
- スマートカードリーダー認証の機能強化
- Desktop Viewerツールバーの強化
- 接続強度インジケーター
- HDX Direct（テクニカルプレビュー）
- 複数のWebカメラ解像度のサポート（テクニカルプレビュー）
- プラグアンドプレイWebカメラリダイレクトのサポート（テクニカルプレビュー）(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new/features-in-technical-preview#support-for-plug-and-play-webcam-redirection)

ワークスペース UI - 24.37

- UI集中レイアウトの強化(/ja-jp/citrix-workspace/whats-new/whats-new-workspace-user-experience#enhanced-ui-centralized-layout)

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

HTML5向け Citrix Workspaceアプリ - 2408

- HDXアダプティブスループット(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/session-experience#hdx-adaptive-throughput)
- テクニカルプレビュー
  - セキュア HDX
  - セッション内ツールバーの改善(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-html5/about-this-release/features-in-technical-preview#improved-in-session-toolbar)

ChromeOS向け Citrix Workspaceアプリ - 2408

- HDXアダプティブスループット(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/session-experience#hdx-adaptive-throughput)
- サービス継続性の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/session-experience#enhancements-to-service-continuity)
- Chrome HDX SDK APIの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/sdk-api#enhancements-to-chrome-hdx-sdk-apis)
- テクニカルプレビュー
  - 画面共有中のアプリウィンドウ共有のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-chrome/about-this-release/features-in-technical-preview#support-to-share-app-window-during-screen-sharing.html)。
  - スキャナーリダイレクトのサポート
  - セキュアHDX

最新の機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

Android向けCitrix Workspaceアプリ - 24.7.0

- アダプティブオーディオのサポート
- UEMを使用した多数のストアの追加
- ジェイルブレイクされたデバイス
- Samsung DeXでのシングルセッションにおけるデスクトップのようなエクスペリエンスをサポートするための機能強化
- アプリ保護のサポート

最新の機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

ワークスペース UI - 24.30

- Workspace Web拡張機能のインストールプロンプトの管理

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

iOS向けCitrix Workspaceアプリ - 24.7.0

- DTLS 1.2のサポート
- 仮想セッションでのキーボード言語の変更を検出して表示
- アダプティブオーディオのサポート
- UEMを介したCitrix Workspaceアプリ設定の構成のサポート
- テクニカルプレビュー
  - オンプレミスストアへの接続時のFIDO2を使用した認証のサポート
  - 複数のオーディオデバイスのサポート
  - アプリ保護のサポート

最新の機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

Windows向けCitrix Workspaceアプリ - 2405

- .NETの上位バージョンとの互換性
- ARM64ベースデバイスのシングルサインオンサポート
- 新しいアドオンとパッケージング
- ストアURLのストア名を構成
- 改善されたBeaconチェッカーツール
- セッションがアクティブなときにエンドポイントがスリープ状態になるのを防ぐオプション
- 相対マウスの機能強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#enhancement-to-relative-mouse)
- システムオーディオの共有(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#share-system-audio)
- 最適化されたMicrosoft Teams向けWebRTCのバージョンアップ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#upgraded-version-of-webrtc-for-the-optimized-microsoft-teams)
- MJPEGウェブカメラのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#support-for-mjpeg-webcams)
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#version-upgrade-for-chromium-embedded-framework)
- ブラウザコンテンツリダイレクト用のシステムログの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#enhanced-system-logs-for-browser-content-redirection)

- ダブルホップシナリオでのアプリ保護のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#app-protection-support-for-double-hop-scenario)
- Citrix エンタープライズ ブラウザ
  - Citrix Enterprise Browserのユーザーエージェントの変更(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#modify-the-user-agent-of-citrix-enterprise-browser)
  - Citrix Enterprise Browserに対する追加のセキュリティ制限(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#additional-security-restrictions-for-the-citrix-enterprise-browser)

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、「新機能」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about)を参照してください。

iOS向けCitrix Workspaceアプリ - 24.5.0

- クラウドストアに接続する際のFIDO2を使用した認証のサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#support-for-authentication-using-fido2-when-connecting-to-a-cloud-store)
- ドキュメントスキャナーのサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new#support-for-document-scanner)

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、「新機能」(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/whats-new)を参照してください。

Citrix Workspaceアプリ Linux用 - 2405

- RHEL9 x64、Ubuntu 2204 x86-64、RaspiOS-bullseye-arm64、Debian 11x86-64 のサポートが追加されました(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/whats-new#support-for-rhel9-x64--ubuntu-2204-x86-64-raspios-bullseye-arm64--debian-11x86-64)
- ブラウザコンテンツリダイレクトのシステムログの強化
- 共有ユーザーモードの読み込みエクスペリエンスの向上
- モニターのプラグアンドプレイ機能を管理するUIオプション
- DDCポリシーを使用した複合USBデバイスのリダイレクト
- シームレスなログインエクスペリエンスのためのユーザーインターフェイスの強化
- HDXセッションでの複数のパスキーのサポート
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップグレード
- PNAgentサポートの非推奨のお知らせ
- SUSEの非推奨のお知らせ

- 非推奨の通知

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、「新機能」を参照してください。

ChromeOS用 シトリックス ワークスペース アプリ - 2402.1

- サービス継続性
- 設定ユーティリティツール
- 仮想チャネルSDK
- ChromebookでのHTTPプロキシ設定
- ストアURLの短い名前

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

Android向けCitrix Workspaceアプリ - 24.5.0

- クラウドストアへの接続時にFIDO2を使用した認証のサポート
- ドキュメントスキャナー
- 非推奨のお知らせ
- テクニカルプレビュー
  - 外部マイクによるオーディオリダイレクト
  - Microsoft Entra ID対応VMのシングルサインオン

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

ワークスペース UI - 24.20

- 強化された検索エクスペリエンス
- パフォーマンスの向上

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

グローバルアプリ構成サービス - 2406

- ストア、チャネル、構成プロファイル間での設定のクローン作成

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

シトリックス ワークスペース アプリ HTML5向け - 2312

- セカンダリリンガーのサポート
- Microsoft Teamsビデオ会議通話の最適化のためのサイマルキャストの実装

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

シトリックス ワークスペース アプリ Mac向け - 2405

- AppleシリコンおよびIntelベースのMacデバイスの両方に対応する統合ビルドのサポート
- M3チップ搭載Macのサポート
- クラウドストアのクイックアクセスメニューでのアクティビティマネージャーのサポート
- Citrix Workspaceアプリのリセットのサポート
- FIDO2パスワードレス認証のためのデバイスTouch IDのサポート
- オンプレミスストアおよびカスタムWebポータル向けの仮想アプリおよびデスクトップ起動エクスペリエンスの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#enhanced-virtual-apps-and-desktops-launch-experience-for-on-premises-stores-and-custom-web-portals)
- Citrix Workspaceアプリによるエンドポイント分析 (EPA) プラグインの自動インストールをサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-automatic-installation-of-the-end-point-analysis-epa-plug-in-with-citrix-workspace-app)
- Citrix Enterprise Browserのオプションインストールをサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-optionally-installing-citrix-enterprise-browser)
- Citrix Workspaceウィジェットをサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-citrix-workspace-widgets)
- PACファイルを使用した複数のプロキシサーバーを管理する機能(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#provision-to-manage-multiple-proxy-servers-using-pac-files)

- 最適化されたMicrosoft Teams向けのWebRTCのアップグレードバージョン(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#upgraded-version-of-webrtc-for-the-optimized-microsoft-teams)
- 選択した向きでPDFドキュメントを印刷する機能をサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-printing-pdf-documents-with-selected-orientation)
- オーディオパフォーマンスを向上させるためにパケット損失隠蔽を有効にする(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#enable-packet-loss-concealment-to-improve-audio-performance)
- Mac版Citrix Workspaceアプリ向けの最新化されたCitrix Virtual Channel SDK(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#modernized-citrix-virtual-channel-sdk-for-citrix-workspace-app-for-mac)
- キーボード設定の強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#enhancement-to-the-keyboard-settings)
- デスクトップセッションを外部モニターに自動的に拡張する機能をサポート(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new#support-for-extending-the-desktop-session-to-external-monitors-automatically)

最新機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

Citrix Workspaceアプリ Windows向け - 2403

- クラウドハイブリッド起動の持続可能性イニシアチブ(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#sustainability-initiative-for-cloud-hybrid-launch)
- シングルサインオン (Enhanced SSO) のためのドメインパススルーの強化(/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/about#enhanced-domain-pass-through-for-single-sign-on-enhanced-sso)
- Windows上のStorebrowse向け高度なNetScalerポリシーのサポート
- Chromium Embedded Frameworkのバージョンアップグレード
- Citrix向けMicrosoft Teams VDIプラグインのインストール
- エンドユーザー向けトラブルシューティングオプションの非表示
- PNAgentサポートの廃止
- アプリ保護
    - スクリーンキャプチャ許可リスト

    - プロセス除外リスト
    - USBフィルタードライバー除外リスト
- シトリックス エンドポイント分析
- シトリックス エンタープライズブラウザ
    - Webサイト訪問時のセキュリティインジケーター
    - Citrix Enterprise BrowserがGlobal App Configurationサービスに新しい設定を追加

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

シトリックス エンタープライズブラウザ - 121.1.1.26

- Global App Configurationサービスを介したWebおよびSaaSアプリのシングルサインオンの簡素化

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

ワークスペースプラットフォーム - 2402

- 複数のWorkspace URLの作成 - 一般提供 (GA)

機能、テクニカルプレビュー機能、既知の問題、修正された問題の詳細については、新機能を参照してください。

アプリ保護

App Protectionは、Citrix Workspaceアプリの機能であり、仮想デスクトップ、仮想アプリ、Webアプリ、SaaSアプリを使用する際に強化されたセキュリティを提供します。App Protectionは、オンプレミスのCitrix Virtual Apps and Desktops展開、およびStoreFrontとWorkspaceを使用するCitrix DaaS（旧Citrix Virtual Apps and Desktopsサービス）でサポートされています。つまり、App Protectionは、すべてのクラウド環境、オンプレミス環境、ハイブリッド環境でサポートされています。App Protectionは、ADC Gateway経由でStoreFrontまたはWorkspaceに接続する場合にもサポートされます。

App Protection機能の詳細については、「機能」および「構成」のセクションを参照してください。

この機能を購入したら、App Protectionライセンスを必ず有効にしてください。

免責事項：

App Protectionポリシーは、基盤となるオペレーティングシステムの必要な機能（画面キャプチャやキーボード入力の取得に必要な特定のAPI呼び出し）へのアクセスをフィルタリングすることで機能します。これにより、App Protectionポリシーは、カスタムの専用ハッキングツールに対しても保護を提供できます。ただし、オペレーティングシステムが進化するにつれて、画面キャプチャやキーロギングの新しい方法が出現する可能性があります。Citrixはそれらを特定し対処し続けていますが、特定の構成や展開において完全な保護を保証することはできません。

Citrix App Protectionポリシーは、ICAファイルを含む基盤となるオペレーティングシステムコンポーネントと効果的に連携します。適用されるポリシーの整合性を確保するため、基盤となるコンポーネントの意図的な改ざんまたは変更が検出された場合、Citrixはサポートを提供しない可能性があります。

さまざまな環境でのApp Protectionの動作

App Protectionの動作は、App Protectionポリシーで構成されたリソースにアクセスする方法によって異なります。これらのリソースには、Virtual Apps and Desktops、内部Webアプリ、SaaSアプリが含まれます。これらのリソースには、サポートされているネイティブのCitrix Workspaceアプリクライアントまたはwebブラウザを使用してアクセスできます。App Protectionは、さまざまな環境で異なる動作をします。

- **サポートされていないCitrix ReceiverまたはCitrix Workspaceアプリ** - App Protectionポリシーで構成されたリソースは利用できません。
- **サポートされているCitrix Workspaceアプリのバージョン** - App Protectionポリシーで構成されたリソースは利用可能で、適切に起動します。
- **WorkspaceストアURLを使用したハイブリッド起動** - App Protectionポリシーで構成されたリソースは常に利用可能です。WorkspaceストアURLを使用してWebブラウザでリソースを正常に起動するには、「Workspaceのハイブリッド起動用App Protection」を参照してください。
- **StoreFrontストアURLを使用したハイブリッド起動** - StoreFrontのカスタマイズが展開されていない場合、App Protectionポリシーで構成されたリソースは利用できません。StoreFrontストアURLを使用してWebブラウザでリソースを正常に起動するには、「StoreFrontのハイブリッド起動用App Protection」を参照してください。

保護は次の条件で適用されます。

- **画面キャプチャ防止** – Windows版Citrix WorkspaceアプリおよびMac版Citrix Workspaceアプリの場合、保護されたウィンドウが画面に表示されている場合に有効になります。保護を無効にするには、保護されたすべてのウィンドウを最小化します。Linux版Citrix Workspaceアプリの場合、保護されたウィンドウがアクティブな場合に有効になります。保護を無効にするには、保護されたすべてのウィンドウを閉じます。
- **アンチキーロギング** – 保護されたウィンドウがフォーカスされている場合に有効になります。保護を無効にするには、別のウィンドウにフォーカスを変更します。

アプリ保護が保護するもの?

アプリ保護は次のCitrixウィンドウを保護します。

- Citrix® サインインウィンドウ

  Citrix サインインウィンドウ - 保護済み(/en-us/citrix-workspace-app/media/workspace-logon.png)
- Citrix Workspace app HDXセッションウィンドウ（例：管理対象デスクトップ）

Citrix Virtual Apps and Desktops Standard for Azure ウィンドウ - 保護済み(/en-us/citrix-workspace-app/media/managed-desktop.png)

- セルフサービス（ストア）ウィンドウ

  Citrix セルフサービスストアウィンドウ - 保護済み(/en-us/citrix-workspace-app/media/self-service-store.png)

- WebおよびSaaSアプリ

  - Windows版Citrix Workspace appおよびMac版Citrix Workspace app - WebおよびSaaSアプリはCitrix Enterprise Browserで開きます。アプリがCitrix Secure Private Accessを介してアプリ保護ポリシーを持つように構成されている場合、アプリ保護はタブごとに適用されます。

    WebおよびSaaSアプリのアプリ保護(/en-us/citrix-workspace-app/media/app-protection-web-saas-apps.png)

  - Linux版Citrix Workspace app - Citrix Enterprise Browserはサポートされていません。

> **注：**
>
> アプリ保護ソリューションを提供するために、`ctxapclient32.dll`や`ctxapclient64.dll`などのCitrix署名付きDLLがすべてのプロセスに挿入されます。Windows版Citrix Workspace appバージョン2405.12および2402 CU3までは、追加のDLLである`FeatureFlagHelper32.dll`と`FeatureFlagHelper64.dll`が挿入されていました。これらのDLLは無害であり、他のプロセスのログファイルにこれらのDLLの痕跡があっても安全です。

App Protectionが保護しないもの?

- ナビゲーションバーのCitrix Workspaceアプリのアイコンの下にある以下の項目：
  - 接続センター
  - 詳細設定の下にあるすべてのリンク
  - パーソナライズ
  - 更新の確認
  - サインアウト

- 仮想デスクトップを画面キャプチャ防止で保護することを選択した場合でも、ユーザーは仮想デスクトップ内のアプリから画面共有を行うことができます。ただし、仮想デスクトップ外のアプリでは、スクリーンショットを撮ったり、仮想デスクトップを録画したりすることはできません。

制限事項

設計上、以下の制限事項があります。

- App Protectionが有効な仮想アプリおよびデスクトップは、RDPセッション内でアクセスされた場合、起動がブロックされます。
- RDPセッション内では、Citrix Enterprise Browserを使用して開かれたWebアプリおよびSaaSアプリではApp Protectionはサポートされません。
- サポートされていないバージョンのCitrix WorkspaceアプリまたはCitrix Receiverを使用している場合、App Protectionはサポートされません。その場合、リソースは非表示になります。
- App Protection機能が仮想アプリおよびデスクトップに適用されている場合、最適化が使用されていると、送信画面共有に影響が出る可能性があります。
- App Protectionが有効なCitrix Workspaceアプリは、同様の基盤技術を使用する他のセキュリティソリューションやアプリと互換性がない場合があります。
- Citrix Secure Browser内から、またはRemote Browser Isolationを使用してリソースを起動する場合、App Protectionはサポートされていません。
- Linux版Citrix Workspaceアプリでは、App Protectionがインストールされている場合、snapアプリケーションを使用できません。
- MacでDisplayLinkを使用して外部モニターに接続すると、画面キャプチャ防止が有効なリソースはグレー表示されます。これは、Mac上のDisplayLinkが画面をキャストするために画面録画技術を使用するため、App Protectionによってブロックされるためです。代替策として、エンドユーザーはケーブルベースのコネクタ（例：USB Type C）を使用して外部モニターに接続できます。

コンテキストApp Protection

コンテキストApp Protectionは、ユーザー、そのデバイス、およびネットワークの状況に基づいて、App Protectionポリシーをユーザーのサブセットに条件付きで適用するためのきめ細かな柔軟性を提供します。詳細については、以下の記事を参照してください。

- StoreFront向けコンテキストApp Protection
- Workspace向けコンテキストApp Protection

ハイブリッド起動用App Protection

Citrix Virtual Apps and Desktopsのハイブリッド起動とは、ブラウザ（Citrix Workspace for Web）を介してCitrix Workspaceアプリにログインし、ネイティブのCitrix Workspaceアプリを介してアプリケーションを使用する場合を指します。「ハイブリッド」という用語は、ユーザーがCitrix Workspace app for Webとネイティブのアプリを組み合わせてリソースに接続し、使用することに由来します。App Protectionは、WorkspaceおよびStoreFrontでのハイブリッド起動をサポートしています。詳細については、以下の記事を参照してください。

- Workspace向けハイブリッド起動用App Protection
- StoreFront向けハイブリッド起動用App Protection

システム要件と互換性

システム要件

前提条件として、管理者権限を使用してCitrix Workspaceアプリをインストールしていることを確認してください。

Citrix®コンポーネントの最小バージョン

- iOS用Citrix Workspaceアプリ 24.9.0
- Linux用Citrix Workspaceアプリ 2108
- Windows用Citrix Workspaceアプリ 2203.1 LTSR
- Windows用Citrix Workspaceアプリ 2002
- Windows (Store) 用 シトリックス ワークスペース アプリ 2305.1
- Mac用Citrix Workspaceアプリ 2001
- Android用Citrix Workspaceアプリ 25.7.0
- StoreFront 1912 LTSR
- デリバリー コントローラー™ 1912
- 有効なCitrixライセンス。詳細については、Citrix営業担当者またはCitrixパートナーにお問い合わせください。

> **注:**

> App Protectionをサポートしないデバイスまたはworkspaceアプリのバージョンを使用しているユーザーは、保護されたリソースにアクセスできません。保護されたリソースには、Virtual Apps and Desktops、Webアプリ、SaaSアプリが含まれます。

ライセンス

以下のセクションでは、製品、プラットフォーム、ユースケースに基づいてApp Protectionで利用可能なさまざまな種類のライセンスについて説明します。

IT管理型VDI

IT管理型VDIのすべてのエディションで、App Protectionはアドオンとして利用できます。詳細については、IT管理型VDIを参照してください。

ハイパースケーラー向けCitrix DaaS™

- アジュール
- グーグル
- AWS

シトリックス DaaS

Citrix DaaS の機能マトリックスの記事で、**DaaS cloud Services > Security and Monitoring > App Protection**に移動します。

シトリックス Secure Private Access

App Protectionは、Citrix Secure Private Accessのスタンドアロンアタッチメントとして利用できます。詳細については、Service descriptions for Citrix Servicesの記事で、**Citrix cloud services > Citrix Secure Private Access**に移動してください。

Citrix Universal™サブスクリプション

App Protectionは、以下のサービスに含まれています。

- シトリックス ユニバーサル プレミアム
- シトリックス ユニバーサル プレミアム プラス

以下のエディションのアドオンとして利用可能です。

- シトリックス ユニバーサル アドバンスト
- シトリックス ユニバーサル アドバンスト プラス

詳細については、こちらの記事を参照してください。

オペレーティングシステムプラットフォーム

App Protectionポリシーのランタイムは、接続元のエンドポイントにインストールされ、接続先のVDAにはインストールされません。そのため、エンドポイントのオペレーティングシステムバージョンのみが重要です。(App Protectionは、Citrix Virtual Apps and Desktopsのシステム要件に記載されているサポート対象のオペレーティングシステムでホストされているVDAに接続できます。)

App Protection機能は、以下のオペレーティングシステムを実行しているエンドポイントでサポートされています。

- **ウィンドウズ:**
  - Windows 11 (64ビット版およびARM64版)
  - Windows 10 (32ビット版および64ビット版)

> **注:**
>
> Citrix Workspaceアプリ for Windowsバージョン25.7.0以降、App ProtectionはWindowsオペレーティングシステムのArm64版を搭載したデバイスでサポートされています。

- **macOS:**
  - High Sierra (10.13) 以降
- **リナックス:**
  - 64ビット Ubuntu 22.04
  - 64ビット Ubuntu 24.04
  - 64ビット RHEL 9
  - ARM64 Raspberry Pi OS (デビアン 11 Bullseye、デビアン 12 Bookworm)

> **注:**
>
> App Protection は eLux 7 以降でサポートされています。

> App Protection では、Citrix Workspace app for Linux は、サポートされているオペレーティングシステムに加えて、Gnome Display Manager を必要とします。サポートされているGNOMEバージョンは、GNOME 42.5までとGNOME 46以降です。

> App Protection は、Citrix Workspace app Linux 2411 以降で、Ubuntu 24.04 および Raspberry Pi OS (Debian 12 Bookworm) をサポートしています。

- **iOS**
  - iOS 18
  - iOS 17
  - iOS 16
- **アンドロイド**
  - アンドロイド 12
  - アンドロイド 13
  - アンドロイド 14

> **注:**
>
> 現在、Androidではアンチスクリーンキャプチャはサポートされていますが、アンチキーロギングはサポートされていません。そのため、アンチキーロギングが有効になっているリソースを起動しようとすると、起動は失敗します。

互換性マトリックス

Citrix Cloudベース製品の互換性マトリックス

Citrix Cloudベース製品と互換性のあるApp Protection機能は以下のとおりです。

機能	シトリックス クラウド™	シトリックス クラウド ジャパン
仮想アプリおよびデスクトップ向けのアンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャ	はい	はい

機能	シトリックス クラウド™	シトリックス クラウド ジャパン
WebまたはSaaSアプリ向けのアンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャ	はい	いいえ
Windows用アンチDLL	はい	はい、グループポリシーオブジェクト (GPO) 経由
Anti-DLL許可リスト	はい	はい、GPO経由
グローバルアプリ構成サービス (GACS)	はい	いいえ
Linux用認証またはセルフサービスプラグイン画面保護	はい	はい、AuthManConfig.xml経由
Mac用認証またはセルフサービスプラグイン画面保護	GACS経由で可能	GACS経由で可能
Windows用認証またはセルフサービスプラグインの画面保護	はい	GPO経由で可能
CASアプリ保護スクリーンショットイベント	はい	いいえ
コンテキストアプリ保護	はい	ユーザーに基づいて可能
ポリシー改ざん検出	はい	はい
アプリ保護ポスチャチェック	はい	はい
ローカルアプリの許可リストまたはフィルター - Windows	はい	はい (GPO経由)
ローカルアプリ保護 - Windows	はい	はい (GPO経由)

アプリ保護機能

この記事では、Windows 版 Citrix Workspace アプリ、Linux 版 Citrix Workspace アプリ、および Mac 版 Citrix Workspace アプリでサポートされている App Protection 機能について説明します。

キーロギング対策

Windows、Linux、および Mac 用 Citrix Workspace™ アプリの場合

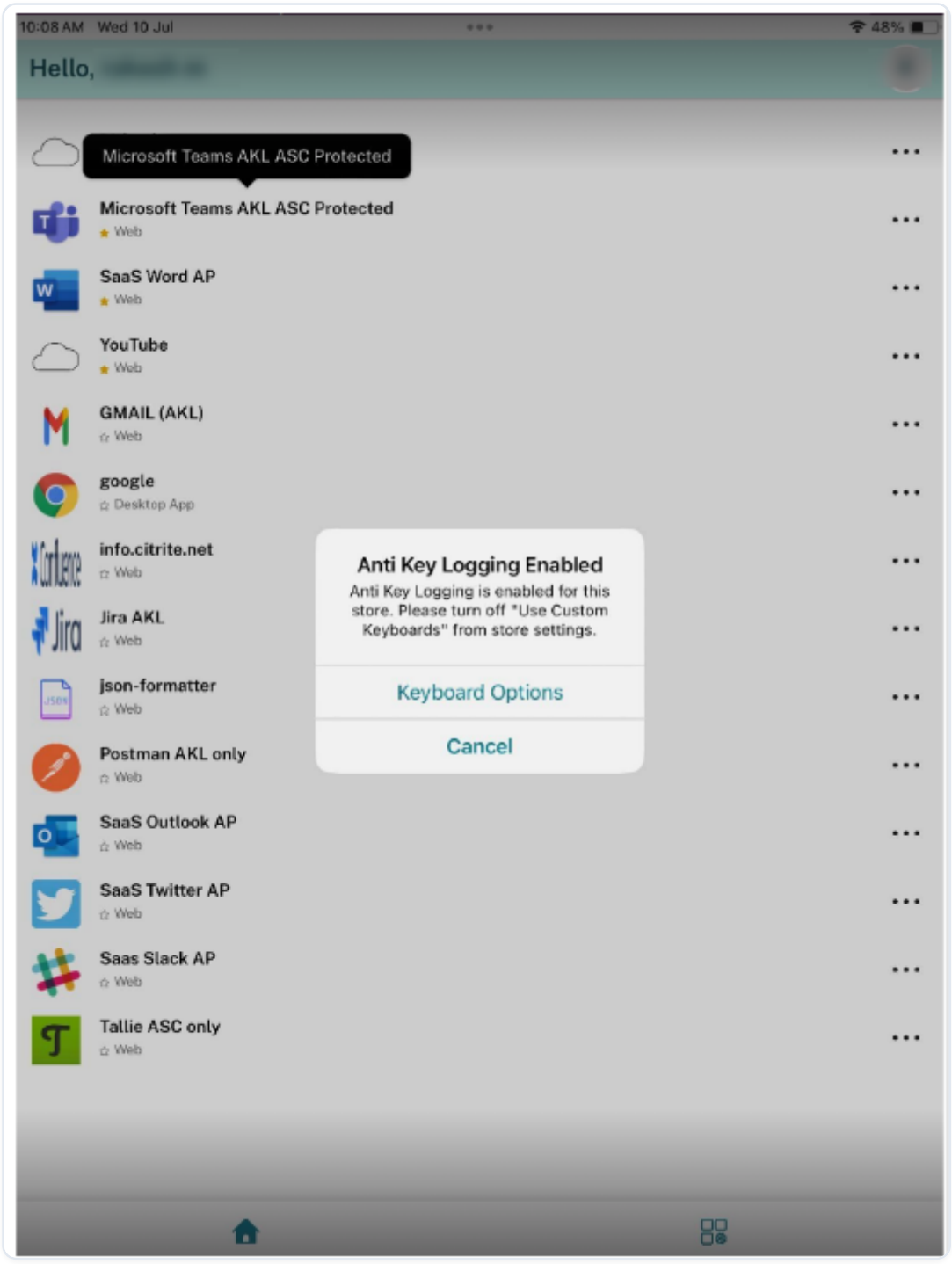
暗号化により、App Protection のキーロギング対策機能は、物理キーボードとオンスクリーンキーボードの両方でユーザーが入力しているテキストをスクランブルします。キーロギング対策機能は、キーロギングツールがカーネルまたは OS レベルからアクセスする前にテキストを暗号化します。OS またはドライバーからデータを読み取るクライアントエンドポイントにインストールされたキーロガーは、ユーザーが入力しているキーストロークではなく、ハッシュ化されたテキストをキャプチャします。App Protection ポリシーは、公開されたアプリケーションとデスクトップだけでなく、Citrix Workspace の認証ダイアログでもアクティブになります。ユーザーが最初の認証ダイアログを開いた瞬間から、Citrix Workspace は保護されます。App Protection はキーストロークをスクランブルし、解読不能なテキストをキーロガーに返します。

管理者は、次の種類のリソースに対してキーロギング対策を有効にすることを選択できます。

- 仮想アプリおよびデスクトップ
- 内部 Web アプリおよび SaaS アプリ
- 認証画面
- セルフサービスプラグイン (SSP) 画面

iOS 用 Citrix Workspace アプリの場合}

この機能は、アプリケーションレベルでのキーロギングの試行から保護し、保護されたアプリケーションに入力された機密情報が安全に保たれるようにします。この機能により、Apple が提供するデフォルトのキーボードのみを使用でき、保護されたアプリケーションに入力されたキーストロークがキャプチャされないようにします。App Protection は、キーロギング対策機能の一部としてカスタムキーボードの使用を防止します。カスタムキーボードを有効にしている場合は、それらを無効にして、App Protection のキーロギング対策機能を使用して有効になっているリソースを引き続き使用できます。



管理者は、次の項目に対してキーロギング対策を有効にすることを選択できます。

- 仮想アプリおよびデスクトップ
- WebView を介して開かれる Web および SaaS アプリ
- 認証画面

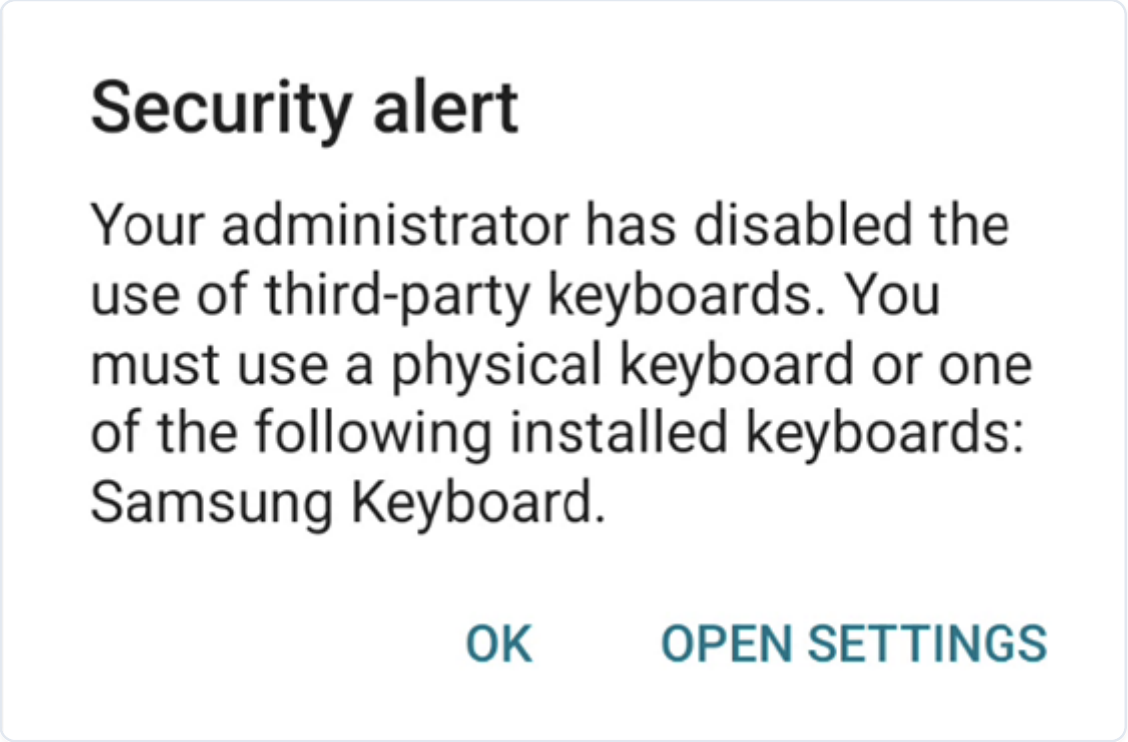
App Protection 機能の構成の詳細については、「App Protection の構成」を参照してください。

Android 用 Citrix Workspace アプリ

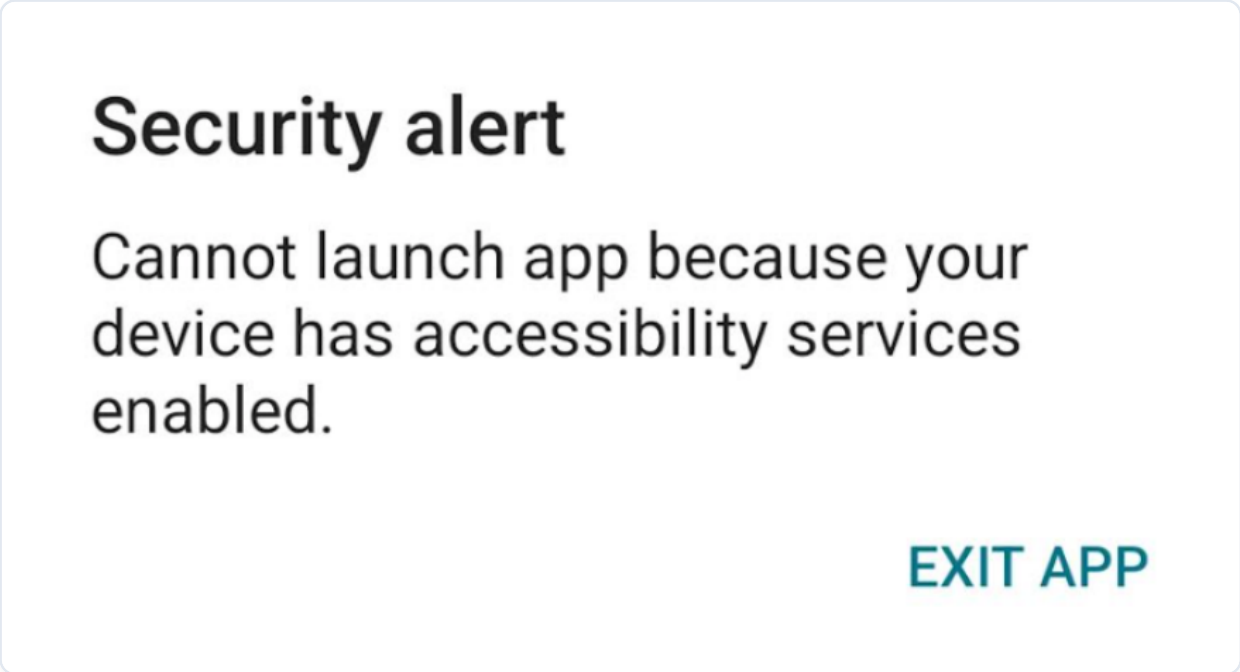
バージョン 25.7.0 以降、Android 用 Citrix Workspace アプリは App Protection のアンチキーロギング機能をサポートしています。

アンチキーロギングが有効になると、次の制限が適用されます。

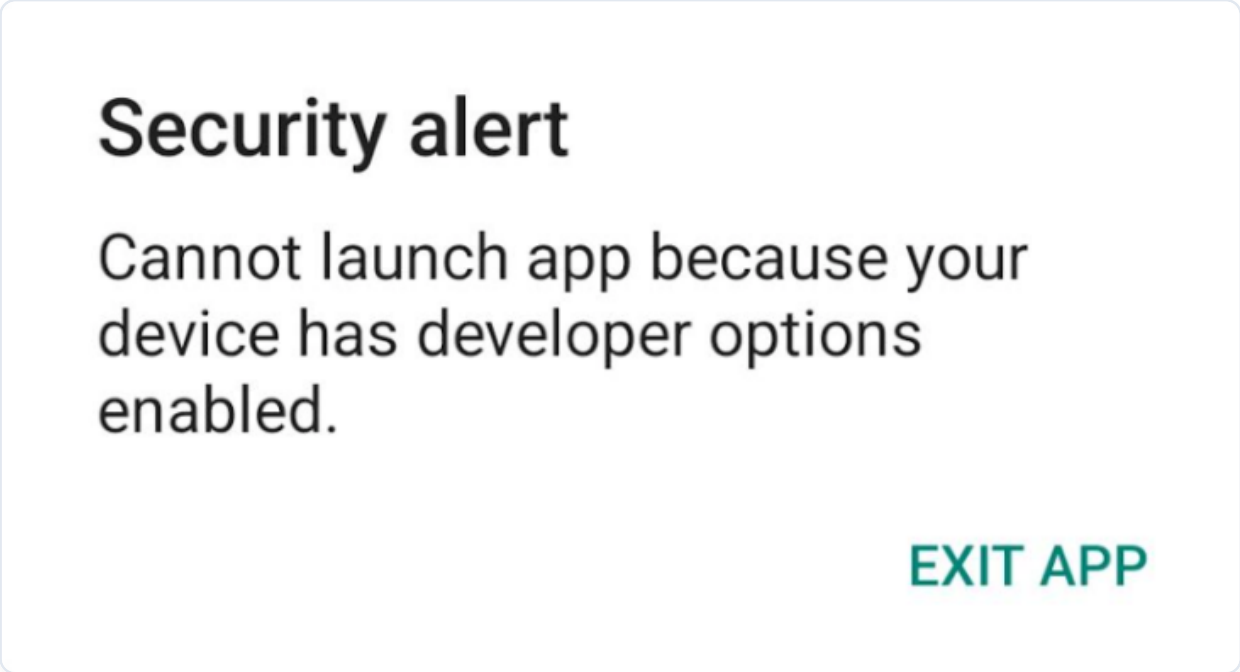
- ユーザーは、アンチキーロギングが有効なリソースで非 OEM キーボードを使用できません。たとえば、ユーザーは Samsung デバイスで Samsung キーボードを使用する必要があります。 ユーザーが非 OEM ソフトウェアキーボードを使用している場合、リソースの起動中にキーボードがブロックされます。ユーザーは起動を続行して物理キーボードを使用するか、設定に移動してキーボードを OEM キーボードに変更する必要があります。



- アクセシビリティサービスを無効にする必要があります。 アクセシビリティサービスが有効になっている場合、リソースの起動は次のエラーでブロックされます。



- 開発者モードを無効にする必要があります。 開発者モードが有効になっている場合、起動は次のエラーでブロックされます。



推奨事項

ルート検出をオンにします。ルート化されたデバイスは、エンドユーザーのセキュリティ体制を大幅に低下させます。ルート検出機能をオンにすることをお勧めします。手順はこちら。

機能の制限

Custom Chrome タブおよび **Custom Portal** では、アンチキーロギングはサポートされていません。 Citrix Workspaceアプリを管理対象デバイスにインストールした場合、そのセキュリティは主

に管理アプリによって管理されます。この設定では、管理アプリがデバイスを完全に制御し、アンチキーロギングが有効になっている場合でもキーストロークをキャプチャする可能性があります。

以前のバージョン (25.7.0より前)

Android版Citrix Workspaceアプリのバージョン25.7.0より前では、アンチキーロギング機能はサポートされていません。アンチキーロギングが有効になっているアプリを開こうとすると、アプリは起動に失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

「セキュリティ上の理由により、このリソースの起動は管理者によって無効にされています」

アンチキーロギングが無効になっているアプリ(/en-us/citrix-workspace-app/media/anti-keylogging-disabled-resource.png)

アンチスクリーンキャプチャ

Windows、Linux、およびMac版Citrix Workspaceアプリの場合

アンチスクリーンキャプチャは、仮想アプリまたはデスクトップセッション内でアプリがスクリーンショットを撮ったり、画面を記録したりするのを防ぎます。スクリーンキャプチャソフトウェアは、キャプチャ領域内のコンテンツを検出できません。アプリによって選択された領域はグレー表示されるか、アプリはコピーを期待する画面セクションの代わりに何もキャプチャしません。アンチスクリーンキャプチャ機能は、 Windowsの「切り取り & スケッチ」、「Snipping Tool」、および「**Shift+Ctrl+Print Screen**」に適用されます。

アンチスクリーンキャプチャのもう1つのユースケースは、GoToMeeting、Microsoft Teams、Zoomなどの仮想会議やWeb会議アプリケーションでの機密データの共有を防ぐことです。アプリが保護されている場合、App ProtectionはWeb会議で空白の画面を返すことで、意図しない共有を防ぎます。この機能により、機密データが組織から誤って漏洩するのを防ぎます。この機能は、データ侵害の開示時に意図が考慮されないため、規制対象業界でのコンプライアンスに役立ちます。

管理者は、次の種類のリソースに対してアンチスクリーンキャプチャを有効にすることを選択できます。

- 仮想アプリとデスクトップ
- 社内WebアプリとSaaSアプリ
- 認証画面
- セルフサービスプラグイン (SSP) 画面

> **注:**

> 画面キャプチャ防止機能が有効になっている仮想デスクトップと、有効になっていない仮想デスクトップの2つを起動した場合、画面キャプチャ防止機能は両方の仮想デスクトップに適用されます。どちらの仮想デスクトップのスクリーンショットも撮ることはできません。

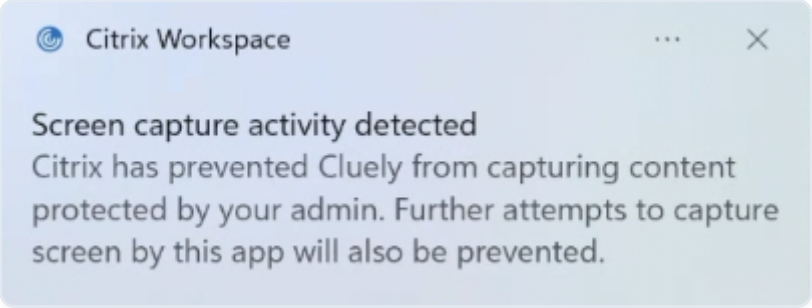
> 画面キャプチャ防止機能が有効になっている仮想デスクトップを最小化した場合でも、画面キャプチャ防止機能は、画面キャプチャ防止機能が有効になっていない仮想デスクトップにも引き続き適用されます。

画面キャプチャの検出と通知

Windows向けCitrix Workspaceアプリでは、保護されたリソースに対して画面キャプチャの試行が行われた可能性がある場合に通知が表示されます。App Protectionによって保護されるリソースの詳細については、「App Protectionは何を保護しますか？」を参照してください。

通知は、次の場合に表示されます。

- 画面キャプチャツールを介してスクリーンショットを撮るか、ビデオを録画する試行。
- Print Screenキーを介してスクリーンショットを撮る試行。



画面キャプチャ通知を無効にする手順については、ドキュメント「画面キャプチャ通知を無効にする」を参照してください。

> **注：**

> 通知は、画面キャプチャツールの実行中のインスタンスごとに1回のみ表示されます。ツールを再起動して画面をキャプチャしようとすると、通知が再度表示されます。

iOS向けCitrix Workspaceアプリの場合}

バージョン24.9.0以降、iOS向けCitrix Workspaceアプリ}は、画面キャプチャ防止機能をサポートしています。App Protectionは、ユーザー資格情報や画面に表示される機密情報などの機密情報の漏洩を防ぎます。この機能は、ユーザーや攻撃者がスクリーンショットを撮ったり、キーロガーを使用して機密情報を収集および悪用したりするのを防ぎます。

画面キャプチャ防止機能は、シングルモニターとマルチモニターの両方のシナリオでサポートされています。この機能を有効にするには、構成セクションに記載されている構成手順を実行してください。

管理者は、以下の項目に対して画面キャプチャ防止機能を有効にすることを選択できます。

- バーチャルアプリおよびデスクトップ
- WebView を介して開かれた Web アプリおよび SaaS アプリ
- 認証画面

アンチスクリーンキャプチャのサポート

この機能は、不正な画面キャプチャ、録画、QuickTime 画面ミラーリング、画面共有、およびアプリの切り替えを防止します。アンチスクリーンキャプチャ機能は、認証画面、Web アプリまたは SaaS アプリ、および Citrix Virtual Apps and Desktops で利用できます。画面をキャプチャすると、画面に表示されている実際のコンテンツの代わりに、キャプチャメディアに「**セキュリティ上の理由により、管理者によって画面キャプチャが無効にされています**」というカスタムメッセージが表示されます。アンチスクリーンキャプチャは、次のようなさまざまな形式の不正な画面アクセスから保護します。

- **スクリーンショット:** スクリーンショットの取得を防止します。
- **画面録画:** 画面録画ソフトウェアをブロックします。
- **画面ミラーリング:** 画面の他のデバイスへのミラーリングを無効にします。
- **画面共有:** 画面共有機能を制限します。
- **アプリスイッチャー:** アプリスイッチャーのプレビューで機密情報が表示されるのを防ぎます。



マルチモニター設定でアンチスクリーンキャプチャが有効なリソースの動作

マルチモニターモードとは、iOS または iPadOS デバイスが外部ディスプレイに接続され、デバイスが複数の画面を同時に使用できる構成を指します。

サポートされているモードは3つあります。

- **ミラー:** 接続された外部モニターに iPad のディスプレイを複製します。
- **プレゼンテーション**：iPadの画面がトラックパッドとして機能している間、デスクトップインターフェイスを外部モニターに投影します。

- **拡張**：各ディスプレイに異なるコンテンツを表示できるようにし、iPadと外部モニターで独立したビューを可能にします。

Virtual Apps and Desktops： 選択した表示モードに応じて、ユーザーは仮想アプリまたはデスクトップを外部モニターで確認できます。ユーザーがスクリーンショットを撮ろうとすると、すべての画面のコンテンツが保護されます。

「モードの選択」(/en-us/citrix-workspace-app/media/select-mode.png)

認証画面、WebアプリまたはSaaSアプリ： 外部モニターでは、ユーザーは実際の認証画面、Webアプリ、またはSaaSアプリの代わりに、次の画面が表示されます。

「認証画面」(/en-us/citrix-workspace-app/media/auth-screen.png)

すべてのシナリオで、ユーザーがアンチスクリーンキャプチャが有効になっているリソースのスクリーンショットをキャプチャしようとすると、ブロックされます。

Citrix Workspaceアプリ for Androidの場合

この機能は、クライアントがスクリーンキャプチャマルウェアによって侵害される可能性を制限します。また、不正なスクリーンキャプチャ、録画、ミラーリング、画面共有、アプリの切り替えも防止します。

アンチスクリーンキャプチャ機能は、認証プロセス、WebアプリまたはSaaSアプリ、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsで利用できます。Citrix Workspaceアプリ for Androidでは、スクリーンショットを撮ることはできません。画面をキャプチャしようとすると、スクリーンショットを撮ることは許可されていないというプロンプトが表示されます。

管理者は、以下のアンチスクリーンキャプチャを有効にすることを選択できます。

- 仮想アプリおよびデスクトップ
- WebアプリとSaaSアプリ
- 認証画面

Citrix Workspaceアプリ for Android 24.7.0バージョン以降、アンチスクリーンキャプチャ機能はデフォルトで利用可能です。ただし、この機能を有効にするには、構成セクションに記載されている構成手順を実行してください。

制限事項:

- App Protectionポリシーはストアごとにダウンロードされます。ポリシーがダウンロードされているストアから、ポリシーがダウンロードされていない別のストアに移動する場合、新しいストアでは画面キャプチャ防止機能は保護されません。

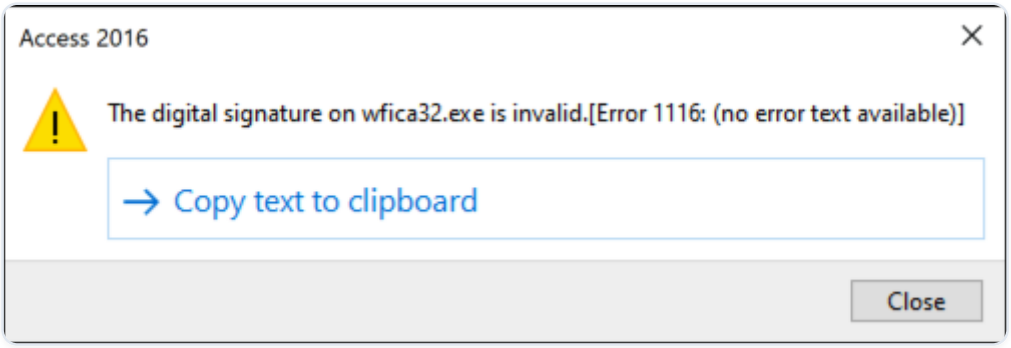
- **ChromeCustomTab**が使用されている場合、認証画面では画面キャプチャ防止機能はサポートされません。ただし、ネイティブ認証またはWebViewを使用している場合は、この機能がサポートされます。**ChromeCustomTab**はクラウドストアでデフォルトで有効になっており、PowerShellモジュールを使用してAndroidWebViewTypeをwebviewに変更することで、WebViewに変更できます。詳しくは、「Set-WorkspaceCustomConfigurations」を参照してください。

DLLインジェクション対策

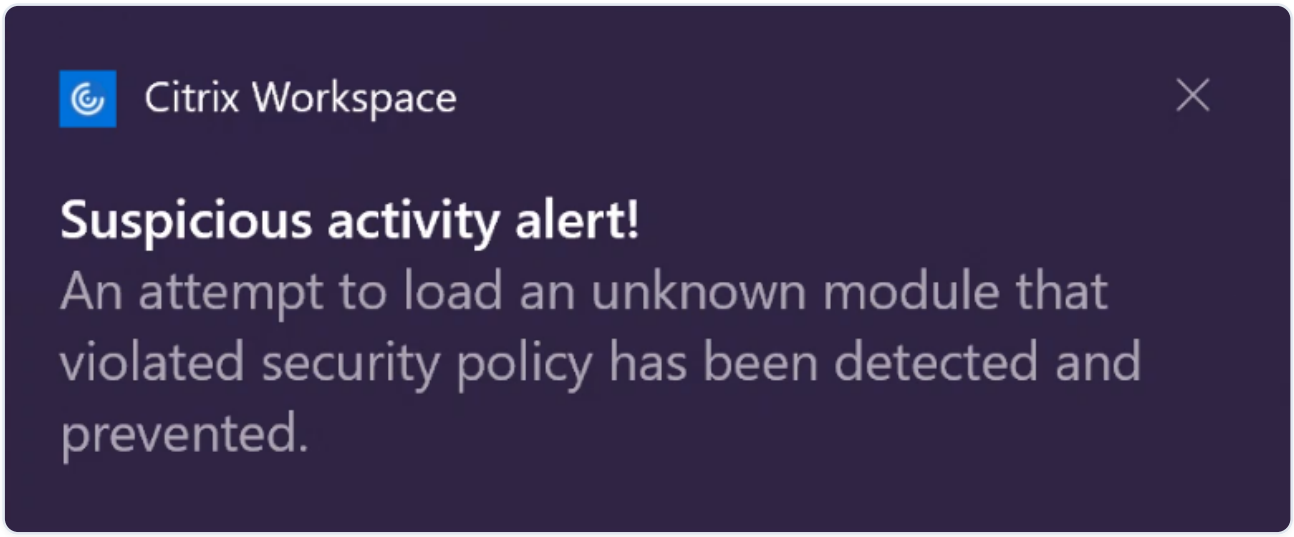
DLLインジェクション対策のセキュリティ強化機能は、Citrix Workspaceアプリを特定の不正なダイナミックリンクライブラリ（DLL）または信頼されていないモジュールから保護するのに役立ちます。このような信頼されていないモジュールがインジェクションされた場合、Citrix Workspaceアプリはこれらの介入を検出し、モジュールの読み込みを停止します。また、セッション起動前に信頼されていない、または悪意のあるDLLが検出された場合、App Protectionはセッションの起動をブロックし、エラーメッセージを表示します。エラーメッセージを閉じると、仮想アプリおよびデスクトップセッションが終了します。

この機能は、保護されたすべての仮想アプリおよびデスクトップ、およびCitrix Workspaceアプリの認証ウィンドウ（オンプレミス展開/StoreFront）に適用されます。

この強化機能は、保護されたコンポーネントに特定の信頼されていない、または悪意のあるDLLが存在する場合、セッションを直ちに終了します。



この強化機能は、信頼されていない、または悪意のあるDLLがブロックされたときに通知を表示します。メッセージを閉じると、仮想アプリおよびデスクトップセッションが終了します。



免責事項: この機能は、基盤となるオペレーティングシステムの必要な機能（DLLの読み込みに必要な特定のAPI呼び出し）へのアクセスをフィルタリングすることで機能します。これにより、特定のカスタムおよび専用のハッカーツールに対しても保護を提供できます。ただし、オペレーティングシステムが進化するにつれて、DLLを読み込む新しい方法が出現する可能性があります。Citrixはそれらを特定し対処し続けていますが、特定の構成および展開における完全な保護を保証することはできません。

この機能は、Citrix Workspaceアプリ for Windowsバージョン2206以降をサポートしています。

Microsoft Teams向けHDX™最適化との互換性

最適化されたMicrosoft Teamsは、Citrix WorkspaceアプリがDesktop Viewerモードでのみ App Protectionで有効になっている場合に画面共有をサポートします。Microsoft Teamsで**コンテンツを共有**をクリックすると、画面ピッカーに次のオプションが表示されます。

- **ウィンドウ**オプションで開いているアプリを共有 - このオプションは、VDAバージョンが2109以降の場合にのみ表示されます。
- **Desktop** オプション: VDA デスクトップのコンテンツを共有します - このオプションは、以下のバージョンの Citrix Workspace アプリでのみ表示されます:
  - Citrix Workspace app for Linux バージョン 2311 以降
  - Citrix Workspace app for Mac バージョン 2308 以降
  - Citrix Workspace app for Windows バージョン 2309 以降

> **注:**

Citrix Workspace app for Linux の場合、デスクトップ共有オプションはデフォルトで無効になっています。これを有効にするには、*config.json* ファイルに `UseGbufferScreenSharing` パラメーターを次のように追加します:

```
mkdir -p /var/.config/citrix/hdx_rtc_engine

vim /var/.config/citrix/hdx_rtc_engine/config.json

{

      "UseGbufferScreenSharing":1

}
```

App Protection が有効な最適化された Microsoft Teams は、Citrix 仮想モニターレイアウトもサポートしており、各仮想モニターを個別に共有できます。

制限事項:

- App Protection が有効な最適化された Microsoft Teams は、Local App Access (LAA) が有効な公開デスクトップでの画面共有をサポートしていません。
- BCR を使用したブラウザコンテンツなどのクライアントレンダリングコンテンツは、キャプチャまたは共有できません。画面キャプチャを試みると、黒い画面として表示されます。

注:

Citrix Workspace app for Linux の場合、この機能はテクニカルプレビュー版です。

ローカルアプリ保護 (プレビュー)

App Protection は、キーロガーや、エンドポイントでの偶発的および悪意のある画面キャプチャから顧客を保護するための強化されたセキュリティを提供します。現在、App Protection 機能は Workspace リソースに対してのみ提供されています。この機能により、App Protection 機能はエン

ドポイント上のローカルアプリに拡張されます。Citrix Workspace app 2210 for Windows 以降、App Protection は Windows デバイス上のローカルアプリに適用できます。

この機能のプレビューに、Podio フォーム を使用して登録してください。

ポリシー改ざん検出

ポリシー改ざん検出機能は、App Protectionのアンチスクリーンキャプチャおよびアンチキーロギングポリシーが改ざんされた場合、ユーザーが仮想アプリまたはデスクトップセッションにアクセスするのを防ぎます。ポリシーの改ざんが検出されると、仮想アプリまたはデスクトップセッションは終了します。

> **注：**
>
> ポリシー改ざん検出機能は、Citrix Virtual Apps and Desktops (CVAD) バージョン2511以降、デフォルトで有効になります。
>
> CVAD 2511以降、`Default.ica`ファイルを使用してApp Protectionを有効にしている場合、セッションの起動は失敗します。代わりに、Web StudioまたはPowerShellを使用して、Desktop Delivery Controller (DDC) からデリバリーグループでポリシーを有効にしてください。詳細については、「アンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャの構成」を参照してください。
>
> ポリシー改ざん検出を構成するには、「ポリシー改ざん検出の構成」を参照してください。

ポスチャチェック

ポリシー改ざん検出機能をサポートしないCitrix Workspaceアプリのバージョンから、App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリおよびデスクトップの起動を検出し、ブロックするには、App Protectionポスチャチェックを有効にします。

> **注：**
>
> ポスチャチェックが有効になっており、ポスチャチェックをサポートしないCitrix Workspaceアプリのバージョンを使用している場合、App Protectionポリシーが有効になっているセッションは終了します。

> VDAでポスチャチェックポリシーが構成されており、管理者またはユーザーがRDPを使用してVDAマシンに接続しようとすると、RDPクライアントがApp Protectionポリシーをサポートできないため、セッションは切断されます。

> ポスチャチェックを構成するには、「ポスチャチェックの構成」を参照してください。

> **制限事項：**

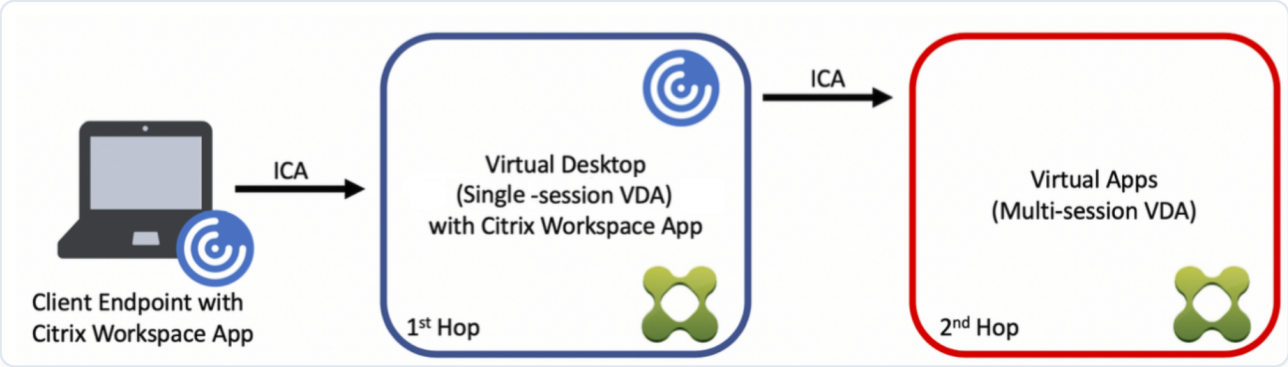
> VDA 2308を使用し、Microsoft AzureでホストされているWindows Workstation VDAを使用している場合、ポスチャチェックが断続的に機能しなくなります。この制限事項は、VDAバージョン2311以降で解決されています。

ダブルホップシナリオでのApp Protectionのサポート

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2405バージョン以降、App Protectionは、シングルセッションVDA用のワークステーションVDA（Windows 10やWindows 11など）にインストールされている場合、ダブルホップシナリオでサポートされます。

ダブルホップとは、Citrix Virtual Desktopセッション内でCitrix Virtual AppまたはVirtual Desktopセッションが実行されているシナリオを指します。詳細については、「Citrix Virtual Apps and Desktopsにおけるダブルホップ」を参照してください。

次の図は、ダブルホップシナリオを示しています。



ダブルホップでのApp Protectionとは、最初のホップから開かれる仮想アプリおよびデスクトップでApp Protectionポリシーが有効になっていることを意味します。

App Protection機能が有効になっており、保護された仮想アプリまたはデスクトップを開く最初のホップは、シングルセッションOS VDAである必要があります。

マルチセッションOS VDAおよびシングルセッションVDAにおけるダブルホップでのApp Protectionの期待される動作は次のとおりです。

マルチセッションOS VDAでのApp Protection

App Protectionは、マルチセッションOS VDA（Windows Server 2k19やWindows Server 2k22など）ではサポートされていません。したがって、App Protectionはこのようなマシンにはインストールされません。

マルチセッションOSにApp ProtectionなしでCitrix Workspaceアプリをインストールできます。ただし、App Protectionポリシーが有効になっているリソースは、マルチセッションOS VDAでは列挙されず、開くこともできません。

シングルセッションOS VDAでのApp Protection

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2405バージョンでは、ワークステーションVDA（Windows 10やWindows 11など）にインストールされている場合、App Protection機能がサポートされます。

現在サポートされている機能は次のとおりです。

- キーロギング対策
- スクリーンショット対策

制限事項:

1. **シングルセッションプールVDAでのApp Protection**
    - App Protectionにはドライバーがあるため、管理者はCitrix Workspaceアプリのアップグレードやアンインストールなど、ベースイメージでの再起動が必要な操作を実行する必要があります。
    - プールされたセッション内で管理者権限を持つエンドユーザーが操作を実行した場合、それはベースイメージに永続化されず、マシンが不整合な状態になる可能性があります。
2. ディスプレイキャプチャがDDAPI (Display Device API) を使用するように構成されている場合、ダブルホップでアンチスクリーンキャプチャが有効なリソースを起動することはサポートされていません。

サポートされているシナリオ?

アンチスクリーンキャプチャとアンチキーロギングが有効になっているセカンドホップの仮想アプリまたはデスクトップが、ファーストホップの仮想デスクトップセッション内で開かれた場合、ファーストホップの仮想デスクトップセッション内で実行されているスクリーンキャプチャおよびキーロギングツールから保護されます。

サポートされていないシナリオ?

- ファーストホップの仮想デスクトップでApp Protectionポリシーが有効になっていない場合、セカンドホップでApp Protectionポリシーが有効になっていても、クライアントエンドポイントにインストールされているスクリーンキャプチャおよびキーロギングツールが画面やキーストロークをキャプチャする可能性があります。
- エンドユーザーがRDPセッションを使用してファーストホップマシンにアクセスしている場合、セカンドホップのApp Protectionはサポートされません。

この機能はデフォルトで有効になっています。そのため、個別の構成は不要です。管理者はリソースのApp Protectionポリシーを構成する必要があります。

エンドツーエンドの保護に関する推奨事項

エンドツーエンドの保護を実現するには、各ホップ（ファーストホップとセカンドホップの両方）でApp Protectionポリシーを有効にすることをお勧めします。これにより、クライアントまたはファーストホップのいずれかで実行されているキーロギングおよびスクリーンキャプチャツールは、セカンドホップセッションの機密コンテンツをキャプチャできなくなります。

ダブルホップ起動のブロック

Citrix Workspaceアプリ for Windowsバージョン2405より古いものを使用している場合、ダブルホップシナリオではApp Protection機能はサポートされません。App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリ、デスクトップ、Webアプリ、またはSaaSアプリをダブルホップシナリオで開くことはできます。ただし、App Protection機能は適用されません。

ダブルホップシナリオでApp Protection機能が有効になっている仮想アプリ、デスクトップ、Webアプリ、またはSaaSアプリの起動をブロックできます。

Block Double-hop Launch設定の有効化の詳細については、Block Double-Hop Launch設定を有効にするを参照してください。

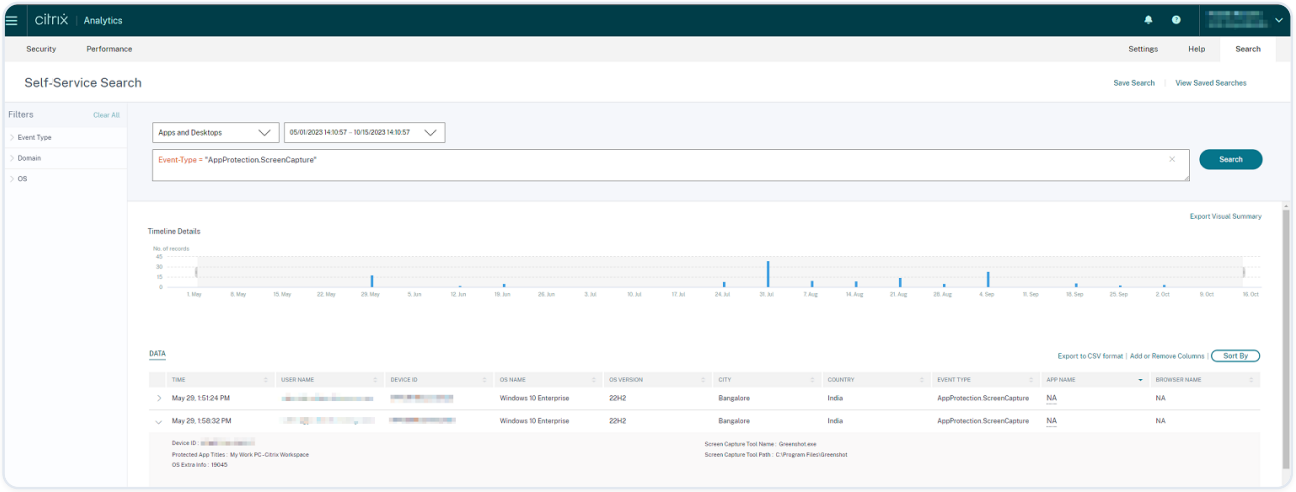
App Protection向けCitrix Analyticsサービス

Citrix Virtual Apps and Desktopsを使用すると、ユーザーの活動や操作に対応するユーザーイベントが生成されます。Citrix Analytics for Securityには、これらのユーザーイベントを記録し、それらに関するインサイトを提供する**セルフサービス検索**という機能があります。**セルフサービス検索**を使用すると、これらのユーザーイベントを検索、フィルタリング、探索して、どのようなユーザーイベントが実行されたかを理解し、イベントの重大度に応じて対応できます。**セルフサービス検索**の詳細については、セルフサービス検索を参照してください。

Apps and Desktops向けセルフサービス検索には、App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリまたはデスクトップのスクリーンショットを撮ろうとする試みがあったかどうかを判断できるイベントタイプ`AppProtection.ScreenCapture`があります。ユーザーイベントの検索方法の詳細については、イベントをフィルタリングするための検索クエリを指定するを参照してください。

このサービスは、以下の情報を提供します。

- デバイスID
- 保護されたアプリのタイトル
- OS追加情報
- 画面キャプチャツールの名前
- 画面キャプチャツールのパス



画面キャプチャ許可リスト

Citrix Workspaceアプリ、仮想アプリとデスクトップ、またはSaaSアプリでApp Protectionの画面キャプチャ防止ポリシーが有効になっている場合、いかなる画面キャプチャツールを使用してもそれらの画面をキャプチャすることはできません。

ただし、Citrix Workspaceアプリ for Windows 2402リリース以降、画面キャプチャ許可リスト機能により、アプリを画面キャプチャ許可リストに追加できるようになりました。この機能を使用すると、許可リストに登録されたアプリを使用して、App Protectionの画面キャプチャ防止ポリシーが有効になっているリソースの画面をキャプチャできます。アプリを画面キャプチャ許可リストに追加するには、画面キャプチャ許可リストを構成するを参照してください。

重要:

許可リストに登録されたアプリをデバイスで長期間実行することはお勧めしません。セキュリティ体制が低下するためです。トラブルシューティングなどのシナリオで一時的に画面を共有するために、許可リストに登録されたアプリを使用できます。以下の条件に従うことをお勧めします。

- App Protectionの画面キャプチャ防止機能が有効になっているリソースとともに、許可リストに登録されたアプリを短期間実行してください。
- 必要なタスクが完了したらすぐに、許可リストに登録されたアプリを終了してください。
- セキュリティを強化するために、App Protectionの画面キャプチャ防止機能が有効になっているリソースを使用しながら画面を共有する際に、ウォーターマークを追加してください。

画面キャプチャの許可リストはGACSで構成する必要があります。この機能は、GACSが構成されている場合、オンプレミス環境とクラウド環境の両方と互換性があります。

プロセス除外リスト

デバイスでプロセスまたはアプリケーションを起動すると、App Protectionが有効になっている場合、App Protection DLLが各プロセスに挿入されます。場合によっては、DLLとの互換性の問題により、プロセスまたはアプリケーションが動作しないことがあります。

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2402リリース以降、App Protection DLLの特定のプロセスへの挿入を回避し、App Protection DLLの存在によって引き起こされる互換性の問題から回復するために、プロセス除外リストに任意のプロセスを追加できます。プロセス除外リストを構成するには、「プロセス除外リストの構成」を参照してください。

重要:

プロセスを除外することはお勧めしません。セキュリティ体制が低下するためです。これは、アプリケーションの使用を一時的にブロック解除し、さらなる調査のためにサポートチケットを提出するために使用できます。

プロセス除外リストはGACSで構成する必要があります。この機能は、GACSが構成されている場合、オンプレミス環境とクラウド環境の両方と互換性があります。

USBフィルタードライバー除外リスト

重要:

USBフィルタードライバー除外リストはGACSで構成する必要があります。この機能は、GACSが構成されている場合、オンプレミス環境とクラウド環境の両方と互換性があります。

Citrix Workspaceアプリでゲーミングキーボードなどの特殊な外部キーボードを使用している場合、App Protection USBフィルタードライバーが互換性の問題を引き起こし、キーボードの使用をブロックすることがあります。

Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402リリース以降、USBフィルタードライバー除外リスト機能を使用すると、デバイスのベンダーIDと製品IDを使用して、Citrix Workspaceアプリとの互換性の問題があるUSBデバイスを除外できます。USBフィルタードライバー除外リストにデバイスを追加するには、「USBフィルタードライバー除外リストの構成」を参照してください。

注：

デバイスを恒久的に除外することはお勧めしません。この機能を使用して、ユーザーがデバイスを使用できない状態を一時的に解除し、互換性の問題をさらに調査するためにサポートチケットを起票してください。

Linux向けCitrix WorkspaceアプリでLD_PRELOAD機能を使用するアプリの許可リスト

LD_PRELOADを使用する他のアプリが実行されている場合、App Protectionは保護されたセッションの起動をブロックします。正当なアプリを許可するには、管理者の承認を得て許可リスト機能を構成できます。この機能は、Linux向けCitrix Workspaceアプリ専用です。

この機能を有効にするには、「許可リストLD_PRELOADの構成」セクションに記載されている構成手順を実行してください。

このマトリックスは、さまざまなプラットフォームにおけるApp Protection機能の概要を一覧で示します

プラットフォーム機能マトリックス

機能	ウィンドウズ	MAC	リナックス	IOS	アンドロイド	HTML5	CHROME OS
キーロギング対策 (Virtual Apps & Desktops)	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗
スクリーンキャプチャ対策 (Virtual Apps & Desktop)	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗
アンチキーロギング (Web & SaaS - CEP)	✓	✓	✗	-	-	✗	✗

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	ウィンドウズ	MAC	リナックス	IOS	アンドロイド	HTML5	CHROM EOS
認証/セルフサービス画面保護	✓	✓	✓	-	-	✗	✗
スクリーンキャプチャ許可リストのサポート	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
DLLインジェクション対策	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
Anti-DLL許可リスト	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗
コンテキストに応じたアプリ保護	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗
デバイスコンテキストに基づいて、CVADセッションのアン	✓	✗	✗	✗	✗	✗	✗

機能	ウィンドウズ	MAC	リナックス	IOS	アンドロイド	HTML5	CHROM EOS
チキーロギングを動的に有効または無効にする							
ポリシー改ざん検出	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗
アプリ保護ポスチャチェック	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗

凡例

| ✓ サポート対象 | ✗ サポート対象外 | - 該当なし / 未記載 |

主要なプラットフォームに関する注意事項

- **Linux:** App Protection は、Windows/Mac とは異なり、保護されたウィンドウがアクティブな場合（表示されているだけでなく）にのみアクティブになります。Enterprise Browser (Web/SaaS 保護) はサポートされていません。GNOME Display Manager (バージョン 42.5 までおよび 46 以降) が必要です。
- **Mac:** DisplayLink 外部モニターでは、DisplayLink がアンチスクリーンキャプチャと競合する画面記録テクノロジーを使用しているため、保護されたコンテンツが灰色で表示されます。
- **Windows ARM64:** Citrix Workspace アプリバージョン 25.7.0 以降でサポートされています。
- **iOS:** Citrix Workspace アプリバージョン 24.9.0 以降でサポートされています。
- **HTML5 / ChromeOS:** App Protection はこれらのプラットフォームでは完全にサポートされていません。利用可能な機能はありません。
- **RDP セッション:** RDP セッション内から App Protection が有効なリソースを起動することは、すべてのプラットフォームで設計上ブロックされています。App Protection はエンドポイ

ントの OS レベルの API にフックしますが、RDP プロトコルはそれらの保護が機能する前にフレームバッファをリモート処理するため、アンチスクリーンショット制御をバイパスします。

カスタム Web ストア

カスタム Web ストアを使用すると、ユーザーは Citrix Workspace アプリでブラウザのようなエクスペリエンスを得ることができます。管理者は、Global App Configuration サービスを使用してこの機能を構成できます: Global App Configuration サービス REST API の概要。

前提条件

- **Windows 向け Citrix Workspace アプリ**: バージョン 2203 以降
- **Mac 向け Citrix Workspace アプリ**: バージョン 2204 以降

  （詳細については、「このリリースについて、Mac 向け Citrix Workspace アプリ」を参照してください）
- **iOS 向け Citrix Workspace アプリ**: バージョン 2511 以降
- **Citrix Workspace app for Android**: バージョン 2603 以降 (今後追加予定)

テクニカルプレビューの機能

テクニカルプレビューの機能は、非本番環境または限定的な本番環境で使用でき、お客様がフィードバックを共有する機会を提供します。Citrix® は、テクニカルプレビューの機能に関するサポートケースは受け付けていませんが、それらの改善のためのフィードバックを歓迎します。Citrix は、フィードバックの重大度、重要度、および優先度に基づいて対応する場合があります。

App Protectionの構成

App Protectionは、Citrix Workspaceアプリを使用する際にセキュリティを強化します。この機能は、クライアントがキーロギングや画面キャプチャマルウェアによって侵害される可能性を制限します。App Protectionは、ユーザー資格情報や画面に表示される機密情報などの機密情報の持ち出しを防ぎます。この機能により、ユーザーや攻撃者がスクリーンショットを撮ったり、キーロガーを使用して機密情報を収集・悪用したりするのを防ぎます。

この記事では、さまざまなプラットフォーム上のCitrix WorkspaceアプリでApp Protectionを構成する方法について説明します。

App Protectionは、以下のプラットフォーム向けのCitrix Workspaceアプリで利用できます。

- Windows向けCitrix Workspaceアプリ(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure.html#citrix-workspace-app-for-windows)
- Mac向けCitrix Workspaceアプリ(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure.html#citrix-workspace-app-for-mac)
- Linux向けCitrix Workspaceアプリ(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure.html#citrix-workspace-app-for-linux)
- iOS向けCitrix Workspaceアプリ}](/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure.html#citrix-workspace-app-for-ios)
- Android向けCitrix Workspaceアプリ(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure.html#citrix-workspace-app-for-android)

> **免責事項**

> App Protectionポリシーは、基盤となるオペレーティングシステムの必要な機能へのアクセスをフィルタリングします。画面やキーボードの押下をキャプチャするには、特定のAPI呼び出しが必要です。App Protectionポリシーは、カスタムおよび目的別に構築されたハッカーツールに対しても保護を提供します。ただし、オペレーティングシステムが進化するにつれて、画面をキャプチャしたりキーをログに記録したりする新しい方法が出現する可能性があります。当社はそれらを特定し対処し続けますが、特定の構成や展開における完全な保護を保証することはできません。

Windows向けCitrix Workspaceアプリ

前提条件

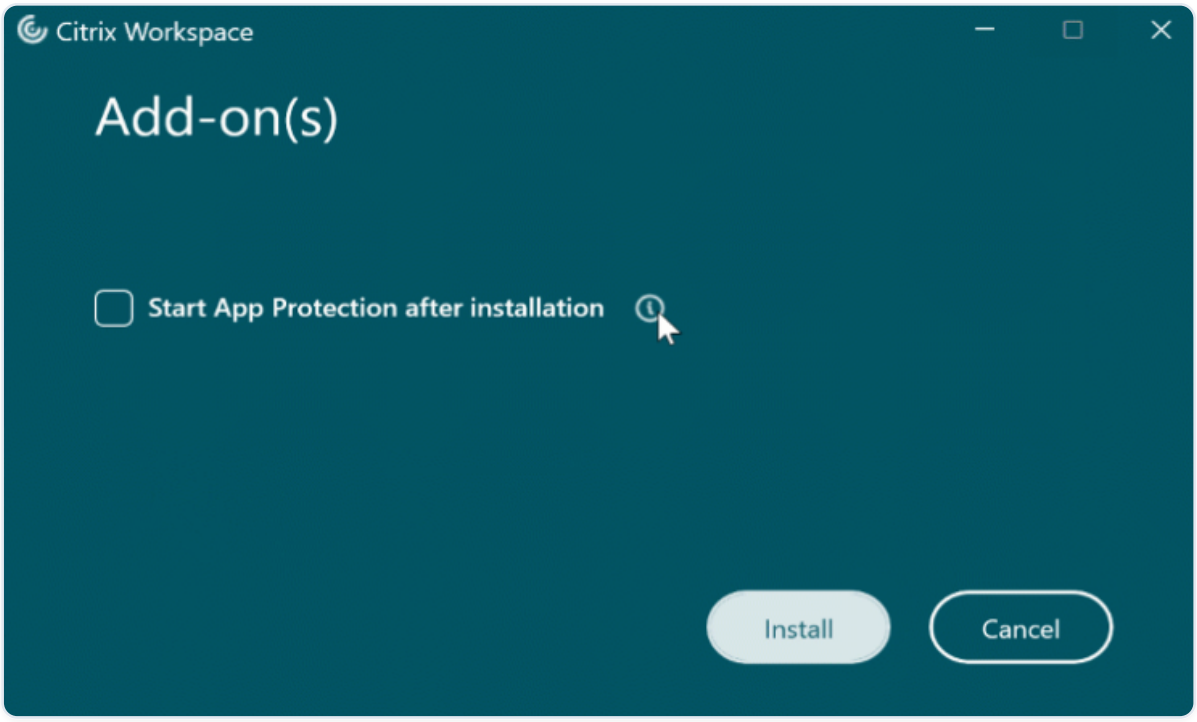
- シトリックス バーチャルアプリおよびデスクトップ™ バージョン 1912 LTSR 以降。
- StoreFrontバージョン1912 LTSRまたはWorkspace。
- Citrix Workspaceアプリ バージョン 2203.1 LTSR 以降。
- 有効なApp Protectionライセンス
- Citrix Workspaceアプリ バージョン2212以降、App ProtectionコンポーネントはCitrix Workspaceアプリのインストール中にデフォルトでインストールされます。

  インストール中に表示される**App Protectionを有効にする**チェックボックスは、**インストール後にApp Protectionを開始する**に置き換えられます。

  - Citrix Workspaceアプリ バージョン2311より前の場合：



- Citrix Workspaceアプリ バージョン2311以降の場合：



このチェックボックスを選択すると、インストール直後にApp Protectionが開始されます。

> **注：**

> このチェックボックスを有効にしない場合、App Protectionの資格を持つお客様の場合、保護されたリソースまたはコンポーネントの初回起動時にApp Protectionが自動的に開始されます。

構成

Windows向けCitrix Workspaceアプリで、以下のApp Protection機能を構成します。

- **キーロギング対策とスクリーンショット対策：**
  - Virtual Apps and Desktopsについては、「Virtual Apps and Desktopsのキーロギング対策とスクリーンショット対策を構成する」を参照してください。
  - WebおよびSaaSアプリの場合、WebおよびSaaSアプリのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成を参照してください。
  - 認証およびセルフサービスプラグインの場合：
    - Global App ConfigurationサービスUIを使用する場合、Global App ConfigurationサービスUIを使用した認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成を参照してください。
    - グループポリシーオブジェクトを使用する場合、グループポリシーオブジェクトを使用した認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成を参照してください。
    - APIを使用する場合、GACS APIを使用した認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成を参照してください。
- Anti-DLLインジェクション機能を構成するには、Anti-DLLインジェクション機能の構成を参照してください。
- App Protectionポリシーの改ざんを構成するには、App Protectionポリシーの改ざんの構成を参照してください。
- App Protectionポスチャチェックを構成するには、App Protectionポスチャチェックの構成を参照してください。
- DoubleHop起動ブロック設定を有効にするには、DoubleHop起動ブロックを参照してください。

制限事項

- この機能は、Windows 11やWindows 10などのデスクトップオペレーティングシステムでのみサポートされています。

- バージョン2006.1以降、Citrix WorkspaceアプリはWindows 7ではサポートされていません。そのため、App ProtectionはWindows 7では機能しません。詳しくは、廃止を参照してください。
- この機能は、リモートデスクトッププロトコル（RDP）ではサポートされていません。

コマンドラインインターフェイス

App Protectionコンポーネントは、`/startappprotection`コマンドラインパラメーターを使用して起動できます。ただし、以前の`/includeappprotection`スイッチは非推奨です。

以下の表は、展開に応じて保護される画面に関する情報を提供します。

APP PROTECTIONの展開	保護される画面	保護されない画面
Citrix Workspaceアプリに含まれる	セルフサービスプラグインと認証マネージャー / ユーザー資格情報ダイアログ	接続センター、デバイス、Citrix Workspaceアプリのエラーメッセージ、自動クライアント再接続、アカウントの追加
コントローラーで構成済み	ICAセッション画面（アプリとデスクトップの両方）	接続センター、デバイス、Citrix Workspaceアプリのエラーメッセージ、自動クライアント再接続、アカウントの追加

スクリーンショットを撮る際、保護されたウィンドウのみが黒く表示されます。保護されたウィンドウの外側の領域のスクリーンショットを撮ることはできます。ただし、Windows 10デバイスで**PrtScr**キーを使用してスクリーンショットをキャプチャする場合は、保護されたウィンドウを最小化する必要があります。

> **注：**

> このGPOポリシーは、ICAおよびSaaSセッションには適用されません。ICAおよびSaaSセッションは、引き続きDelivery ControllerとCitrix Secure Private Accessを使用して制御されます。

> **App Protectionの機能強化：**

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2305以降では、以下のいずれかの条件が満たされている場合、認証画面およびセルフサービスプラグイン画面でアンチキーロギングが有効になります。

- 以下のいずれかの方法でApp Protectionを有効にしました。
  - インストール中に**Start App Protection**チェックボックスをオンにします。
  - **/startappprotection**コマンドラインパラメーターを使用してApp Protectionコンポーネントを起動します。
- インストール中に**Start App Protection**チェックボックスをオンにしなかった場合、または**/startappprotection**コマンドラインパラメーターを使用しなかった場合、最初の保護されたリソースを起動した後にアンチキーロギング保護が有効になります。

> **注：**
>
> Global App Configurationサービスとグループポリシーオブジェクトの設定は、上記の動作を上書きします。たとえば、これらの画面でGACSまたはGPOポリシーを無効にしている場合、認証画面とSSP画面ではアンチキーロギングは有効になりません。

Linux向けCitrix Workspaceアプリ

バージョン2108以降、App Protection機能は完全に機能するようになりました。この機能はVirtual Apps and Desktopsをサポートし、デフォルトで有効になっています。ただし、認証マネージャーとセルフサービスプラグインインターフェイスでApp Protection機能を有効にするには、`AuthManConfig.xml`ファイルで構成する必要があります。

App Protectionコンポーネントのインストール

1. tarballパッケージを使用してCitrix Workspaceアプリをインストールすると、次のメッセージが表示されます。**App Protectionコンポーネントをインストールしますか？警告：この機能は無効にできません。無効にするには、Citrix Workspaceアプリをアンインストールする必要があります。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。：**
2. **Y**と入力してApp Protectionコンポーネントをインストールします。App Protectionはデフォルトではインストールされません。
3. 変更を反映させるには、マシンを再起動してください。App Protectionは、マシンを再起動した後にのみ正常に動作します。

RPMパッケージへのApp Protectionコンポーネントのインストール

バージョン2104以降、App ProtectionはCitrix WorkspaceアプリのRPMバージョンでサポートされています。

App Protectionをインストールするには、次の手順を実行します。

1. Citrix Workspaceアプリをインストールします。
2. Citrix WorkspaceアプリインストーラーからApp Protection `ctxappprotection<version>.rpm` パッケージをインストールします。
3. 変更を反映させるためにシステムを再起動します。

DebianパッケージへのApp Protectionコンポーネントのインストール

バージョン2101以降、App ProtectionはCitrix WorkspaceアプリのDebianバージョンでサポートされています。

App Protectionコンポーネントをインストールするには、Citrix Workspaceアプリをインストールする前に、ターミナルから次のコマンドを実行します。

```
export DEBIAN_FRONTEND="noninteractive"

sudo debconf-set-selections <<< "icaclient app_protection/
install_app_protection select yes"



sudo debconf-show icaclient

* app_protection/install_app_protection: yes



sudo apt install -f ./icaclient_<version>._amd64.deb
```

バージョン2106以降、Citrix Workspaceアプリでは、認証マネージャーとセルフサービスプラグインインターフェイスの両方で、キーロギング対策機能と画面キャプチャ対策機能を個別に構成するオプションが導入されています。

構成

Linux向けCitrix WorkspaceアプリのApp Protection機能を構成します。

- 認証画面のキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「認証マネージャーのAuthManConfig.xmlを使用した構成」を参照してください。
- セルフサービスプラグイン画面のキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「セルフサービスプラグインインターフェイスのAuthManConfig.xmlを使用した構成」を参照してください。
- Virtual Apps and Desktopsのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「Virtual Apps and Desktopsのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する」を参照してください。
- App Protectionポリシーの改ざんを構成するには、「App Protectionポリシーの改ざんを構成する」を参照してください。
- App Protectionポスチャチェックを構成するには、「App Protectionポスチャチェックを構成する」を参照してください。

アップグレード

注:

App Protectionサービスは現在、アップグレードをサポートしていません。Citrix Workspaceアプリと一緒にインストールされている場合、Citrix Workspaceアプリをアップグレードすると、App Protectionサービスが破損し、次のエラーメッセージが表示される可能性があります。

App Protectionコンポーネントがインストールされている間は、アップグレード操作はサポートされていません。アップグレードするには、Linux向けCitrix Workspaceアプリをアンインストールし、マシンを再起動してから、新しいバージョンをインストールしてください。

アップグレード中の問題を回避するため、新しいバージョンをインストールする前に、Linux向けCitrix Workspaceアプリの古いバージョンをアンインストールし、マシンを再起動することをお勧めします。詳しくは、「インストール、アンインストール、および更新」を参照してください。

Mac向けCitrix Workspaceアプリ

Mac向けCitrix Workspaceアプリの次のApp Protection機能を構成します。

- Global App ConfigurationサービスUIを使用して認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「Global App ConfigurationサービスUIを使用して認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する」を参照してください。
- APIを使用して認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「GACS APIを使用して認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する」を参照してください。
- Virtual Apps and Desktopsのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「Virtual Apps and Desktopsのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する」を参照してください。
- WebおよびSaaSアプリのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、「WebおよびSaaSアプリのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する」を参照してください。
- App Protectionポリシーの改ざんを構成するには、「App Protectionポリシーの改ざんを構成する」を参照してください。
- App Protectionポスチャチェックを構成するには、「App Protectionポスチャチェックを構成する」を参照してください。

iOS向けCitrix Workspaceアプリ}

キーロギング対策

前提条件

- Citrix Virtual Apps and Desktopsバージョン1912 LTSR以降。
- StoreFront™バージョン1912 LTSRまたはWorkspace。
- iOS版Citrix Workspaceアプリバージョン24.9.0以降。
- 有効なApp Protectionライセンス。

> **免責事項：**

> App Protectionポリシーは、基盤となるオペレーティングシステムの必須機能（画面キャプチャやキーボード入力の取得に必要な特定のAPI呼び出し）へのアクセスをフィルタリングすることで機能します。これは、App Protectionポリシーが、カスタムおよび専用のハッキングツールに対しても保護を提供するということを意味します。しかし、オペレーティングシステムが進化するにつれて、画面キャプチャやキーロギングの新しい方法が出現します。

> 当社はそれらを特定し対処し続けていますが、特定の構成や展開において完全な保護を保証することはできません。

構成

iOS版Citrix Workspace™アプリでは、以下の**キーロギング対策**および**画面キャプチャ対策**機能を構成できます。

- **Citrix Virtual Apps and Desktops** - Citrix Virtual Apps and Desktopsの**キーロギング対策**および**画面キャプチャ対策**機能は、DDCで構成できます。App Protectionポリシーは、DDCのデリバリーグループに適用されます。詳しくは、「仮想アプリおよびデスクトップのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成」を参照してください。
- **WebアプリおよびSaaSアプリ** - WebアプリおよびSaaSアプリの**キーロギング対策**および**画面キャプチャ対策**機能は、Secure Private Accessポリシーを通じて構成できます。詳しくは、「WebアプリおよびSaaSアプリのキーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成」を参照してください。
- **認証画面** - 認証画面の**キーロギング対策**および**画面キャプチャ対策**機能は、Global App ConfigurationサービスとUnified Endpoint Managementソリューションを使用して構成できます。

GLOBAL APP CONFIGURATIONサービスの使用

認証画面の**画面キャプチャ対策**機能は、以下を使用して構成できます。

- UIの使用
- APIの使用

UIの使用:

Citrix Workspaceアプリ for iOS 24.9.0バージョン以降、Citrix Workspaceアプリでは、Global App Configurationサービス (GACS) を使用して認証画面向けにApp Protectionを構成できます。

GACSを使用してアンチスクリーンキャプチャ機能を有効にすると、認証画面に適用されます。

管理者は、Workspace Configuration UIを使用してApp Protectionを構成できます。

1. Citrix Cloud™アカウントにサインインし、**Workspace Configuration**を選択します。

   Workspace構成(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-1-workspace-configuration.png)
2. **アプリ構成 > セキュリティと認証 > アプリ保護** を選択します。

   セキュリティと認証(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-2-security-and-authentication.png)

3. **Anti Key Logging**をクリックし、次にiOSオペレーティングシステムを選択します。
4. **Anti Screen Capture**をクリックし、次にiOSオペレーティングシステムを選択します。
5. **Enabled**トグルボタンをクリックし、次に**Publish Drafts**をクリックします。
6. **Publish Settings**ダイアログボックスで、**Yes**をクリックします。

公開設定(/en-us/citrix-workspace-app/media/publish-settings.png)

APIの使用:

管理者はAPIを使用してApp Protection機能を構成できます。Citrix Workspaceアプリ for iOSの設定は次のとおりです。

アンチスクリーンキャプチャを有効または無効にする設定:

```
“name”: “enable anti screen capture for auth ” “value”: “true” or “false”
```

アンチキーロギングを有効または無効にする設定:

```
“name”: “enable anti key-logging for auth ” “value”: “true” or “false”
```

例:

以下は、GACSのCitrix Workspaceアプリ向けにアンチスクリーンキャプチャおよびアンチキーロギング機能を有効にするためのサンプルJSONファイルです。

```
{

          "category": "App Protection",

          "userOverride": false,

          "assignedTo": [

            "AllUsersNoAuthentication"

          ],

          "settings": [{

            "name": "Enable Anti Screen Capture For Auth",
```

```
            "value": "true"
          },
          {
            "name": "Enable Anti Key Logging For Auth",
            "value": "true"
          }]
        }
```

統合エンドポイント管理ソリューションの使用

iOS版Citrix Workspaceアプリのバージョン24.9.0以降、管理者は認証画面でApp Protection機能を有効にできます。管理者は、AppConfigベースのキーと値のペアを使用してこの機能を構成できます。

- アンチスクリーンキャプチャを有効にするには：
  - キー: `enableAntiScreenCaptureForAuth`
  - 値の型: ブール値
  - 値:
    - trueに設定すると、アンチスクリーンキャプチャ機能が有効になります。
    - falseに設定すると、アンチスクリーンキャプチャ機能が有効になります。
- アンチキーロギングを有効にするには：
  - キー: `enableAntiKeyLoggingForAuth`
  - 値の型: ブール値
  - 値:
    - true に設定すると、キーロギング対策機能が有効になります。
    - false に設定すると、キーロギング対策機能が有効になります。

カスタムキーボードを無効にする手順

キーロギング対策機能が有効で、**カスタムキーボードを使用**トグルスイッチがオンになっている場合、仮想アプリ、仮想デスクトップ、Webアプリ、またはSaaSアプリを開くことができず、次の警告メッセージが表示されます。

キーロギング対策が有効です(/en-us/citrix-workspace-app/media/anti-keylogging-enabled-options.png)

カスタムキーボードを無効にするには、次の手順を実行します。

1. 前述の警告ダイアログボックスで、**キーボードオプション**をクリックします。
2. ストア設定から**カスタムキーボードを使用**のチェックを外します。**カスタムキーボードを無効にする**ダイアログボックスが表示されます。
3. **カスタムキーボードを無効にする**ダイアログボックスで**終了**をクリックします。**終了中**ダイアログボックスが表示されます。
4. **OK**をクリックします。Citrix Workspaceアプリが終了し、変更を反映するために自動的に再起動します。

制限事項

- **キーロギング防止:**

  キーロギング防止は、ソフトキーボードを介してのみ有効です。ハードウェアキーボードは、キーロギング対策機能によって保護されません。

- **認証画面のキーロギング対策:**

  複数のストアが関与する場合、ポリシーの違いにより競合が発生する可能性があります。

- **システムブラウザ:**

  システムブラウザを使用している場合、認証画面のキーロギング対策機能はサポートされません。

- **Webインターフェース認証画面:**

  Webインターフェース認証画面では、画面キャプチャ対策機能とキーロギング対策機能はサポートされません。

画面キャプチャ対策

iOS版Citrix Workspaceアプリバージョン24.9.0以降では、以下の機能が有効になります。

Android版Citrix Workspaceアプリ

前提条件

- Citrix Virtual Apps and Desktopsバージョン1912 LTSR以降。
- StoreFrontバージョン1912 LTSRまたはWorkspace。
- Android版Citrix Workspaceアプリバージョン24.7.0以降。
- 有効なApp Protectionライセンス

構成

以下の項目について、**画面キャプチャ対策**機能を構成できます。

- **Citrix Virtual Apps and Desktops** - Citrix Virtual Apps and Desktopsの**画面キャプチャ防止**機能はDDCで構成できます。App Protectionポリシーは、DDCのデリバリーグループに適用されます。詳細については、「Virtual Apps and Desktopsのキーロギング防止と画面キャプチャ防止の構成」を参照してください。
- **WebおよびSaaSアプリ** - WebおよびSaaSアプリの**画面キャプチャ防止**機能は、Secure Private Accessポリシーを通じて構成できます。詳細については、「WebおよびSaaSアプリの画面キャプチャ防止の構成」を参照してください。
- **認証画面** - 認証画面の**画面キャプチャ防止**機能は、Global App Configurationサービスおよび Unified Endpoint Managementソリューションを使用して構成できます。

Global App Configurationサービスの使用

認証画面の**画面キャプチャ防止**機能は、以下を使用して構成できます。

- UIの使用
- APIの使用

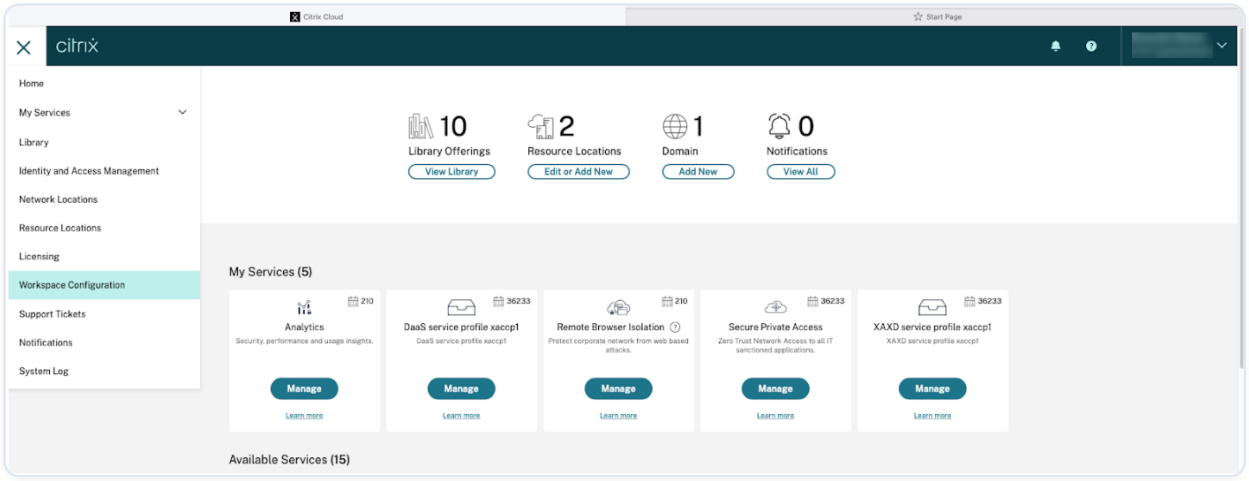
UIの使用:

Citrix Workspaceアプリでは、Global App Configurationサービス（GACS）を使用して、認証画面のApp Protectionを構成できます。

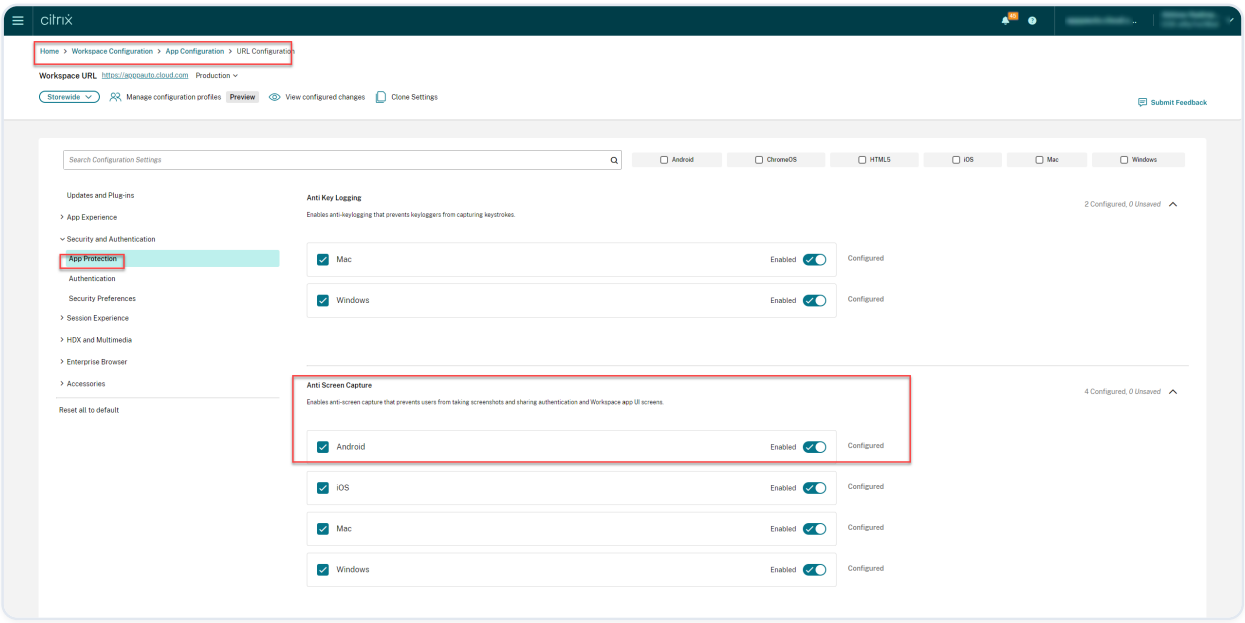
GACSを使用して画面キャプチャ防止機能を有効にすると、認証画面に適用されます。

管理者は、Workspace Configuration UIを使用してApp Protectionを構成できます。

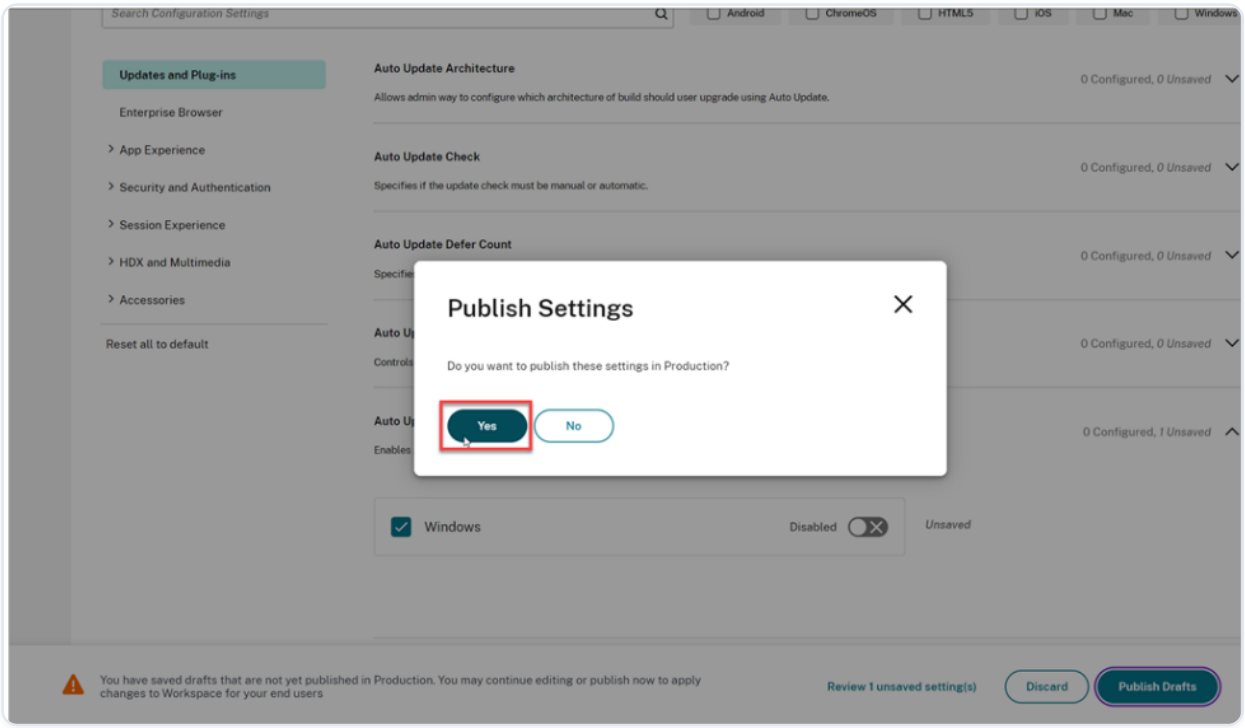
1. Citrix Cloudアカウントにサインインし、**Workspace Configuration**を選択します。



2. **アプリ構成 > セキュリティと認証 > アプリ保護**を選択します。



3. 「**アンチスクリーンキャプチャ**」をクリックし、Androidオペレーティングシステムを選択します。
4. 「**有効**」トグルボタンをクリックし、「**ドラフトの公開**」をクリックします。
5. 「**公開設定**」ダイアログボックスで、「**はい**」をクリックします。



APIの使用：

管理者はAPIを使用してApp Protection機能を構成できます。Citrix Workspaceアプリ（Android向け）のアンチスクリーンキャプチャを有効または無効にする設定：

```
“name”: “enable anti screen capture for auth ” “value”: “true” or “false”
```

例： 以下は、GACSでCitrix Workspaceアプリのアンチスクリーンキャプチャ機能を有効にするためのJSONファイルのサンプルです。

```
{

          "category": "App Protection",

          "userOverride": false,

          "assignedTo": [

            "AllUsersNoAuthentication"

          ],

          "settings": [{

            "name": "Enable Anti Screen Capture For Auth",
```

```
            "value": "true"

          },

         ]

        }
```

Unified Endpoint Managementソリューションの使用

Citrix Workspaceアプリ（Android向け）のバージョン24.7.0以降、管理者は認証画面でApp Protection機能を有効にできます。管理者は、AppConfigベースのキーと値のペアを使用してこの機能を構成できます。

- アンチスクリーンキャプチャを有効にするには：
  - キー：`enableAntiScreenCaptureForAuth`
  - 値の型：Boolean
  - 値：
    - trueに設定すると、アンチスクリーンキャプチャ機能が有効になります。
    - falseに設定すると、アンチスクリーンキャプチャ機能が無効になります。

推奨事項

アプリ保護ポリシーは、主にエンドポイントのセキュリティと保護を強化することに重点を置いています。環境内の他のすべてのセキュリティ推奨事項とポリシーを確認してください。リスク許容度が低い環境では、推奨される構成のために**セキュリティと制御**ポリシーテンプレートを使用できます。詳細については、「ポリシーテンプレート」を参照してください。

キーロギング対策と画面キャプチャ対策の構成

キーロギング対策と画面キャプチャ対策は、以下に対して構成できます。

- 認証およびセルフサービスプラグイン
- 仮想アプリおよびデスクトップ(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure/configure-anti-keylogging-and-anti-screen-capture.html#configure-anti-keylogging-and-anti-screen-capture-for-virtual-apps-and-desktops)
- WebおよびSaaSアプリ

認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成する

認証およびセルフサービスプラグインのキーロギング対策と画面キャプチャ対策は、以下の方法で構成できます。

構成方法	WINDOWS向けCITRIX WORKSPACE™アプリ	MAC向けCITRIX WORKSPACEアプリ	LINUX向けCITRIX WORKSPACEアプリ	IOS向けCITRIX WORKSPACEアプリ	ANDROID向けCITRIX WORKSPACEアプリ
グループポリシーオブジェクトの使用	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
Global App Configurationサービスを使用	はい	はい	いいえ	はい	はい
AuthManConfig.xmlを使用	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ

グループポリシーオブジェクトの使用

1. `gpedit.msc`を実行して、Citrix Workspaceアプリのグループポリシーオブジェクト管理用テンプレートを開きます。
2. **コンピューターの構成**ノードで、**管理用テンプレート** > **Citrix Components** > **Citrix Workspace**に移動します。
3. 認証マネージャーまたはセルフサービスプラグインのどちらにApp Protectionを構成するかに応じて、次のいずれかの手順を使用します。

   - **認証マネージャー**

     認証マネージャーのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、**ユーザー認証** > **App Protectionの管理**ポリシーを選択します。

   - **セルフサービスプラグインインターフェイス**

     セルフサービスプラグインインターフェイスのキーロギング対策と画面キャプチャ対策を構成するには、**セルフサービス** > **App Protectionの管理**ポリシーを選択します。

4. 次のいずれかまたは両方のオプションを選択します。
    - **キーロギング対策**: キーロガーによるキーストロークのキャプチャを防止します。
    - **画面キャプチャ対策**: ユーザーによるスクリーンショットの撮影や画面共有を防止します。
5. **適用**をクリックし、**OK**をクリックします。

予期される動作:

予期される動作は、保護されたリソースを持つStoreFrontにアクセスする方法によって異なります。

グローバルアプリ構成サービスUI の使用

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2302またはCitrix Workspaceアプリ for Windows 2301バージョン以降、Citrix Workspaceアプリでは、Global App Configuration service (GACS) を使用して、認証画面とセルフサービスプラグインのApp Protectionを構成できます。

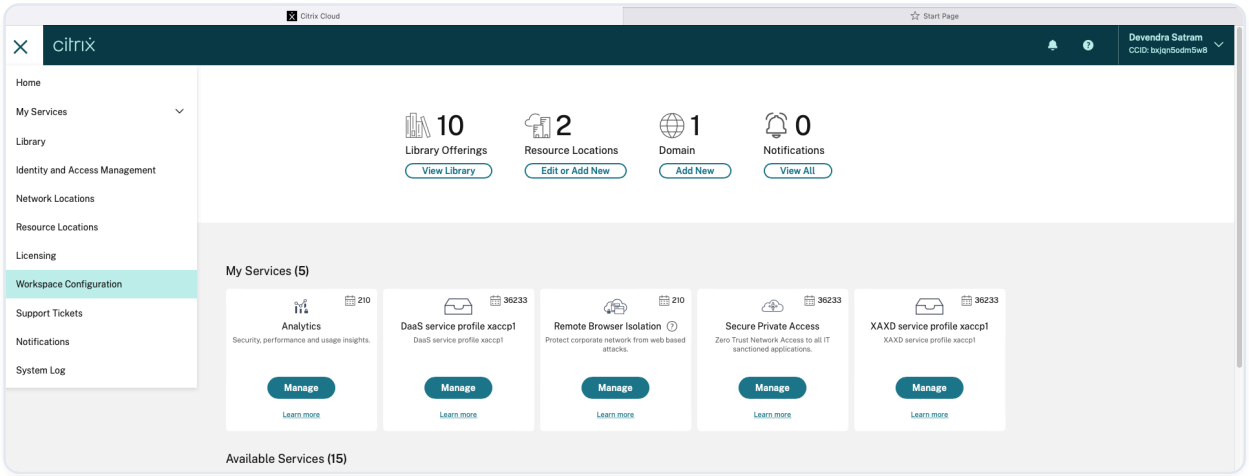
GACS を使用してアンチキーロギング機能とアンチスクリーンキャプチャ機能を有効にすると、それらは認証画面とセルフサービスプラグイン画面の両方に適用されます。

注:

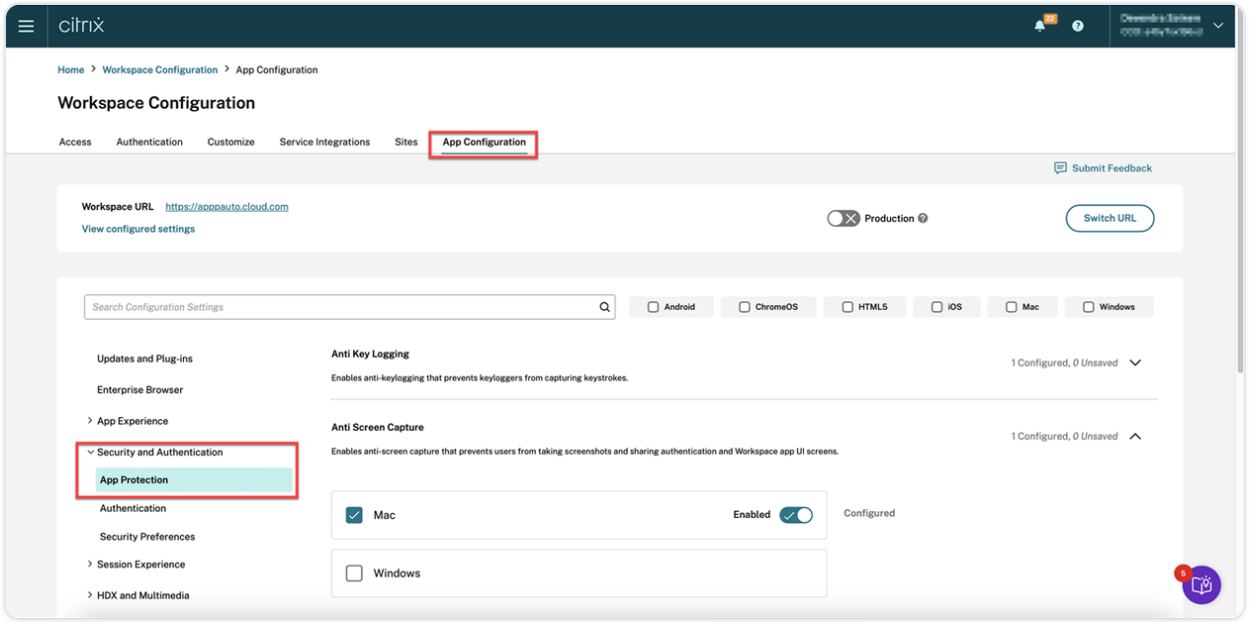
- GACS を使用した認証およびセルフサービスプラグインのアンチキーロギングまたはアンチスクリーンキャプチャの構成は、Citrix Workspaceアプリ for Windows および Citrix Workspaceアプリ for Mac に適用されます。Citrix Workspaceアプリ for Linux には適用されません。
- GACS の構成は、Virtual App and Desktops、Web および SaaS アプリには適用されません。これらのリソースは、引き続き Delivery Controller および Citrix Secure Private Access を使用して制御されます。
- Citrix Workspaceアプリ for Mac 2311バージョン以降、Global App Configuration service UI を使用して、クラウドストアとオンプレミスの両方で認証およびセルフサービスプラグインのApp Protectionを構成できます。ただし、Citrix Workspaceアプリ for Mac 2311 バージョンより前のバージョンを使用している場合は、クラウドストアのみで構成できます。

管理者は、Workspace Configuration UI を使用してApp Protectionを構成できます。

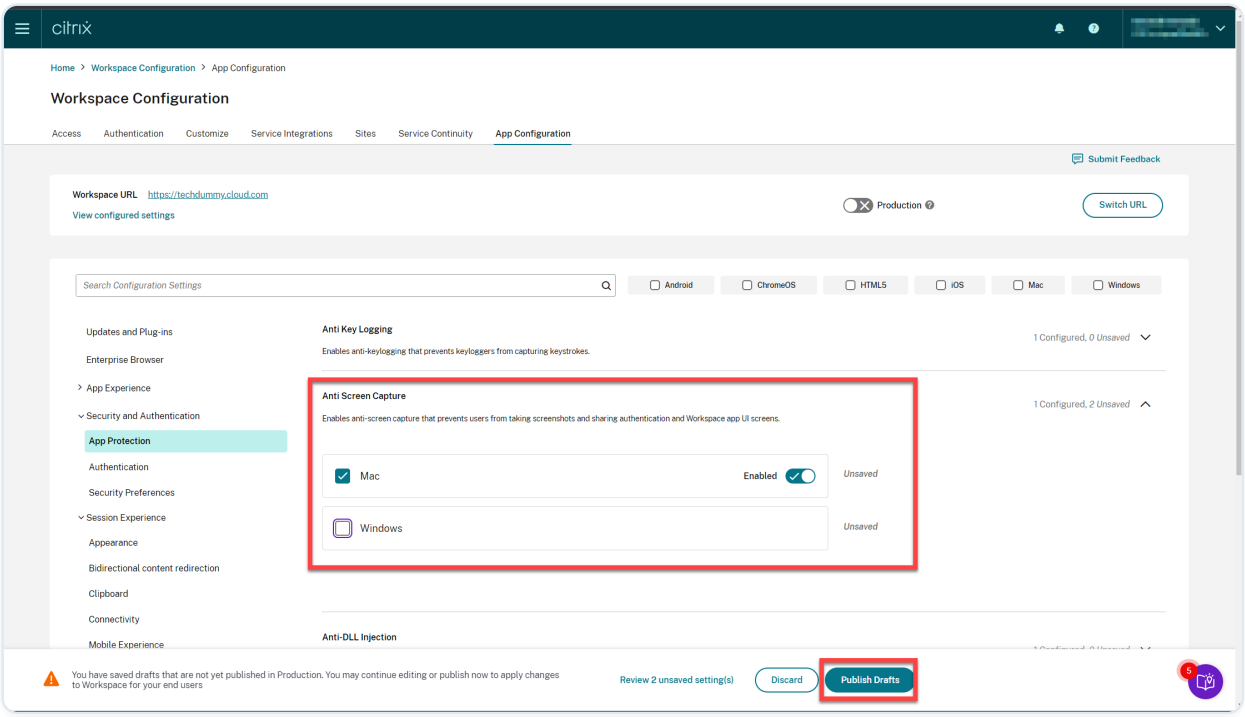
1. Citrix Cloud アカウントにサインインし、**Workspace Configuration** を選択します。



2. **アプリ構成** > **セキュリティと認証** > **アプリ保護** を選択します。



3. **Anti Screen Capture** をクリックし、関連するオペレーティングシステム (Windows または Mac) を選択します。
4. **Enabled** トグルボタンをクリックし、**Publish Drafts** をクリックします。



5. 「**アンチキーロギング**」をクリックし、関連するオペレーティングシステム（WindowsまたはMac）を選択します。
6. 「**有効**」トグルボタンをクリックし、「**ドラフトの公開**」をクリックします。

   アンチスクリーンおよびキーログを有効にする(/en-us/citrix-workspace-app/media/gacs-anti-keylogging.png)
7. 「**公開設定**」ダイアログボックスで、「**はい**」をクリックします。

   公開設定(/en-us/citrix-workspace-app/media/gacs-publish-drafts.png)

Global App ConfigurationサービスAPIの使用

管理者はAPIを使用して、これらのApp Protection機能を構成できます。設定は次のとおりです。

- **アンチスクリーンキャプチャを有効または無効にする設定:**

  “name”: "認証およびセルフサービスプラグインのアンチスクリーンキャプチャを有効にする" “value”: “true” または “false”
- **アンチキーロギングを有効または無効にする設定:**

  “name”: “認証およびセルフサービスプラグインのアンチキーロギングを有効にする" “value”: “true” または “false”

例: 以下は、GACSでCitrix Workspaceアプリのアンチスクリーンキャプチャおよびアンチキーロギング機能を有効にするためのJSONファイルのサンプルです。

```
{

        "category": "App Protection",

        "userOverride": true,

        "assignedTo": [

          "AllUsersNoAuthentication"

        ],

        "settings": [

          {

            "name": "enable anti screen capture for auth and ssp",

            "value": true

          },
```

```
            {

              "name": "enable anti key-logging for auth and ssp",

              "value": true

            }

          ]}
```

認証マネージャーにAuthManConfig.xmlを使用する

`$ICAROOT/config/AuthManConfig.xml`に移動し、ファイルを次のように編集します。

```
/opt/Citrix/ICAClient/config$ cat AuthManConfig.xml | grep -i authmananti
-A 1

    <key>AuthManAntiScreenCaptureEnabled</key>

    <value>true</value>

    <key>AuthManAntiKeyLoggingEnabled</key>

    <value>true </value>
```

セルフサービスプラグインインターフェイスにAuthManConfig.xmlを使用する

`$ICAROOT/config/AuthManConfig.xml` に移動し、ファイルを次のように編集します。

```
/opt/Citrix/ICAClient/config$ cat AuthManConfig.xml | grep -i protection
-A 4

<!-- Selfservice App Protection configuration -->

    <Selfservice>

      <AntiScreenCaptureEnabled>true</AntiScreenCaptureEnabled>

      <AntiKeyLoggingEnabled>true</AntiKeyLoggingEnabled>

    </Selfservice>
```

Virtual Apps and Desktops のアンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャを構成する

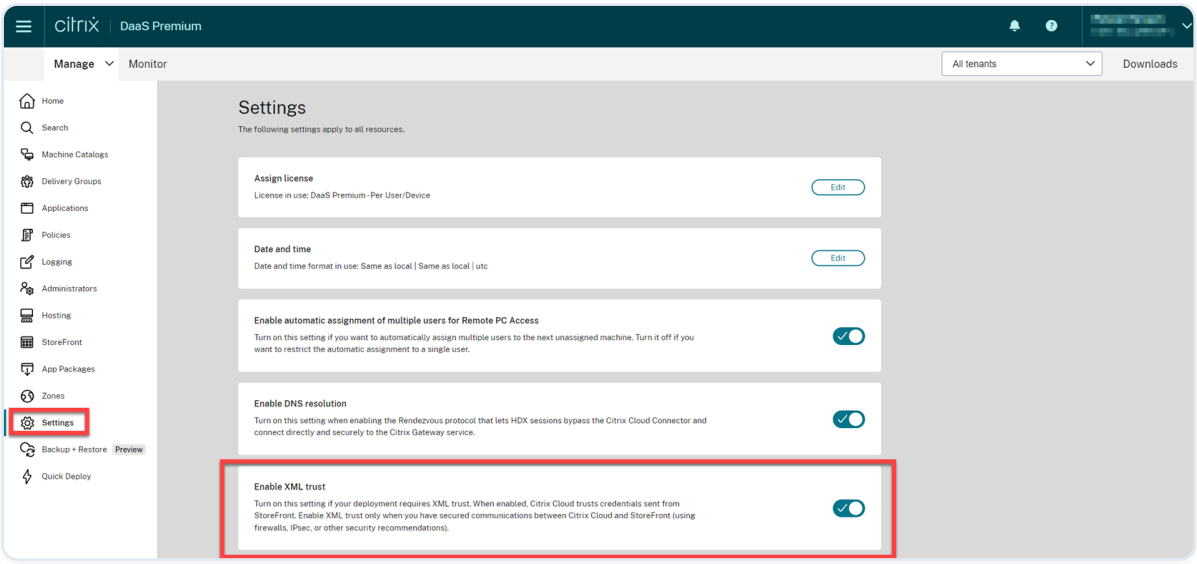
2つのポリシーにより、セッション内でアンチキーロギングおよびアンチスクリーンキャプチャ機能が提供されます。Virtual Apps and Desktops のアンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャは、次のように構成できます。

> **注：**
>
> バージョン2103以降、Citrix DaaSはStoreFrontおよびWorkspaceでのApp Protectionをサポートしています。

Web Studioの使用

Web Studioを介してCitrix Virtual Apps™またはDesktopsのアンチキーロギングとアンチスクリーンキャプチャを構成するには、次の手順を実行します。

1. App ProtectionにはXML信頼が必要です。XML信頼を有効にするには、次の手順を実行します。
    a. Citrix DaaS™アカウントにサインインし、**Manage** > **Settings** > **Enable XML trust** に移動します。

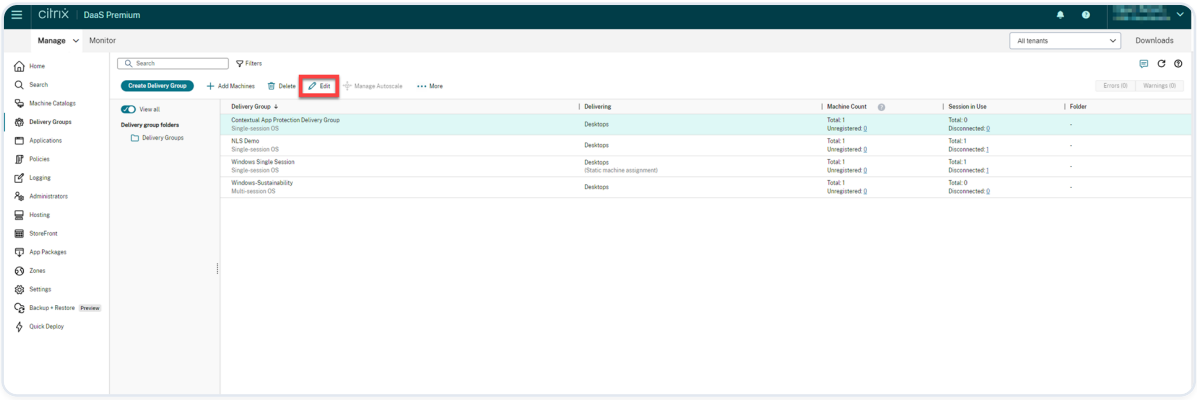


b. **Enable XML trust** トグルをオンにします。

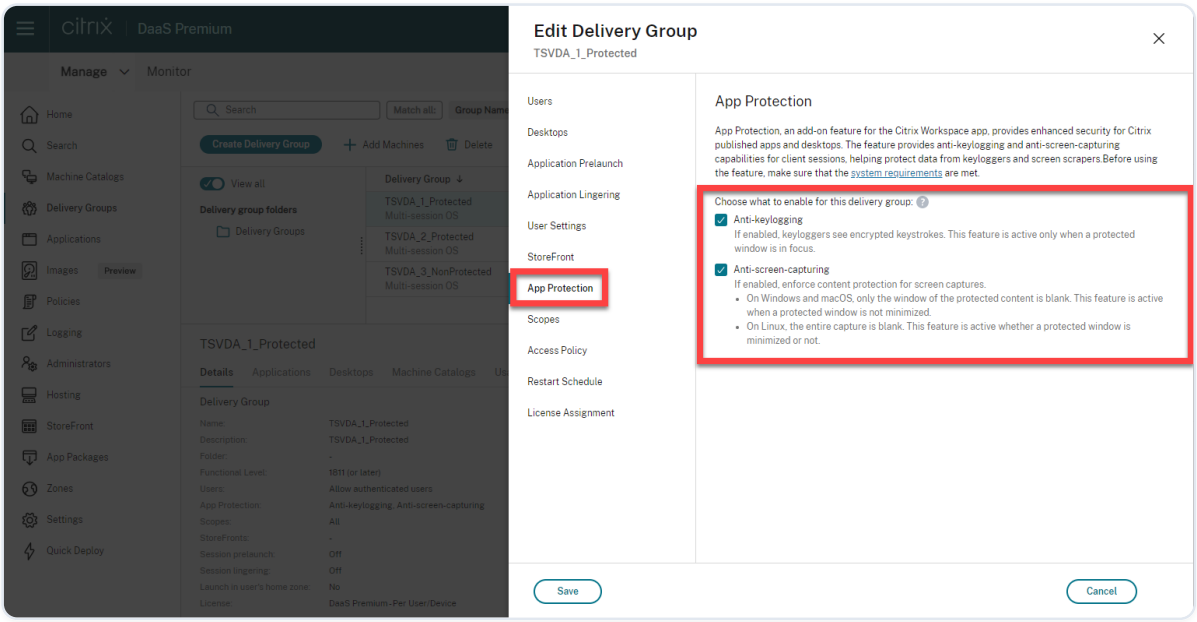
2. デリバリーグループのApp Protection方法を選択するには、次の手順を実行します。

   a. Citrix DaaSで、**Manage** > **Delivery Groups** に移動します。

   b. デリバリーグループを選択し、アクションバーで **Edit** をクリックします。



c. **App Protection**をクリックし、**Anti-keylogging**と**Anti-screen capturing**のチェックボックスをオンにします。



d. **保存**をクリックします。

PowerShell の使用

> **注：**
>
> Citrix DaaS環境では、Citrix Virtual Apps and Desktops Remote PowerShell SDK のコマンドレットを任意のコンピューター（Citrix Cloud Connector マシンを除く）で使用して、このセクションのコマンドを発行します。
>
> インストールされている任意のDelivery Controllerマシン、またはFMA PowerShellスナップインがインストールされているスタンドアロンStudioがインストールされたマシンで、Citrix Virtual Apps and Desktops SDK を使用して、アプリ保護デリバリーグループに対して次のプロパティを有効にします。

- `AppProtectionKeyLoggingRequired`：`True`
- `AppProtectionScreenCaptureRequired`：`True`

これらのポリシーは、デリバリーグループごとに個別に有効にできます。たとえば、DG1にはキーロギング保護のみを、DG2には画面キャプチャ保護のみを構成できます。DG3には両方のポリシーを有効にできます。

例：

DG3という名前のデリバリーグループに対して両方のポリシーを有効にするには、サイト内の任意のDelivery Controller™で次のコマンドを実行します。

```
Set-BrokerDesktopGroup -Name DG3 -AppProtectionKeyLoggingRequired $true
-AppProtectionScreenCaptureRequired $true
```

設定を検証するには、次のコマンドレットを実行します。

```
Get-BrokerDesktopGroup -Property Name, AppProtectionKeyLoggingRequired,
AppProtectionScreenCaptureRequired | Format-Table -AutoSize
```

また、XML信頼を有効にします。

```
Set-BrokerSite -TrustRequestsSentToTheXmlServicePort $true
```

StoreFrontとBroker間のネットワークを保護してください。詳細については、Knowledge Centerの記事CTX236929およびSecuring the XenApp and XenDesktop XML Serviceを参照してください。

WebアプリおよびSaaSアプリのキーロギング対策とスクリーンショット対策を構成する

WebアプリおよびSaaSアプリは、Windows版Citrix WorkspaceアプリおよびMac版Citrix WorkspaceアプリのCitrix Enterprise Browserで開きます。Citrix Secure Private Accessを介してアプリ保護ポリシーが構成されている場合、アプリ保護はタブごとに適用されます。

以下を使用して、WebアプリおよびSaaSアプリのアプリ保護を構成します。

- WorkspaceのWebアプリおよびSaaSアプリのアプリ保護を構成するには、Citrix Secure Private Access for Citrix Workspaceを参照してください。
- StoreFrontのWebアプリおよびSaaSアプリのアプリ保護を構成するには、Citrix Secure Private Access support for StoreFrontを参照してください。

Anti-DLLインジェクションを構成する

デフォルトでは、Anti-DLLインジェクション機能は無効になっています。この機能は、以下を使用して有効にできます。

- グループポリシーオブジェクト (GPO)
- グローバルアプリ構成サービス (GACS)

グループポリシーオブジェクトを使用して構成する

Anti-DLLインジェクション機能を構成するために、以下のポリシーが追加されます。

- Anti-DLLインジェクション
- Anti-DLLインジェクションモジュール許可リスト

Anti-DLLインジェクションポリシーの使用

このポリシーを使用して、Anti-DLLインジェクション機能を有効または無効にします。このポリシーが構成されていない場合、Anti-DLLインジェクション機能は無効になります。設定可能な値は次のとおりです。

- **有効** – Anti-DLLインジェクション機能は、Citrix Authentication Manager、Citrix WorkspaceアプリUI、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsで有効になります。管理者は、Anti-DLLインジェクション機能を有効にするために必要なコンポーネントを選択できます。
- **無効** – Anti-DLLインジェクション機能は、Citrix Authentication Manager、Citrix WorkspaceアプリUI、およびCitrix Virtual Apps and Desktopsで無効になります。

Anti-DLLインジェクションポリシーを有効にするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行して、Citrix Workspaceアプリのグループポリシーオブジェクト管理用テンプレートを開きます。

   `gpedit.msc`

2. 「**コンピューターの構成**」ノードで、「**管理用テンプレート**」>「**Citrixコンポーネント**」>「**Citrix Workspace**」>「**アプリ保護**」>「**Anti-DLLインジェクション**」の順に移動します。

   Anti-DLLインジェクションポリシーを有効にする(/en-us/citrix-workspace-app/media/anti-dll-gpo.png)

3. 「**Anti-DLLインジェクション**」ポリシーをクリックし、「**有効**」を選択します。すべてのコンポーネントが選択されます。ただし、オプションセクションからコンポーネントの選択を変更できます。

   Anti-DLLインジェクションポリシーを有効にする(/en-us/citrix-workspace-app/media/enable-anti-dll-injection-policy.png)

4. 「**OK**」をクリックします。

Anti-DLLインジェクションモジュール許可リストポリシーの使用

管理者は、このポリシーを使用して、Anti-DLLインジェクション機能から任意のDLLを除外できます。Citrix®は、例外的なシナリオを処理する場合にのみこのポリシーを使用することをお勧めします。このポリシーが構成されていない場合、許可リストにDLLは含まれません。すべてのDLLがAnti-DLL保護の対象となります。設定可能な値は次のとおりです。

- 「**有効**」 - 許可リストに追加されたDLLをAnti-DLL保護から除外します。
- 「**無効**」 - 許可リストに追加されたDLLのリストをクリアします。

Anti-DLLインジェクションモジュール許可リストポリシーを有効にするには、次の手順を実行します。

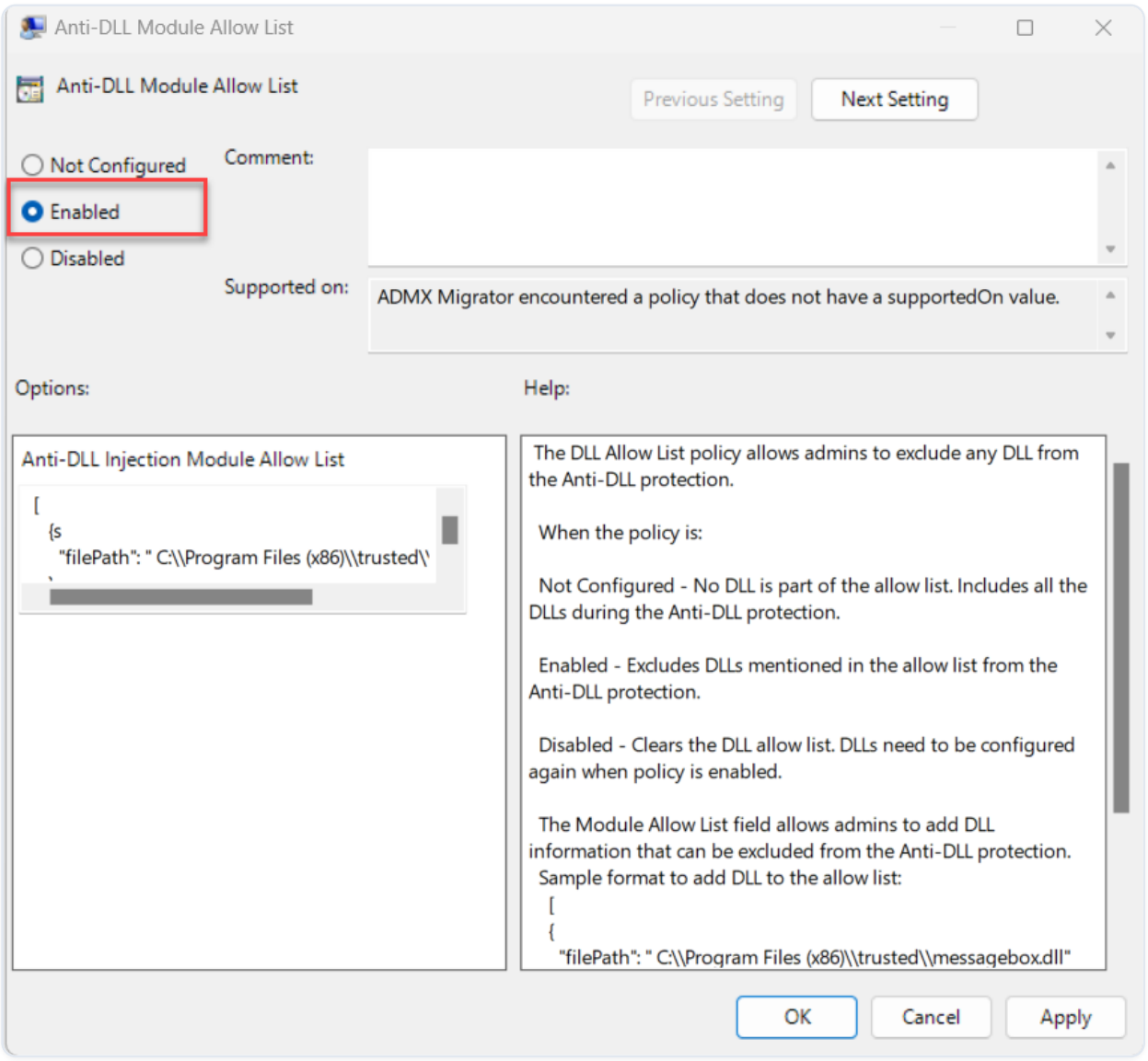
1. Citrix Workspaceアプリのグループポリシーオブジェクト管理用テンプレートを開くには、次のコマンドを実行します。

   `gpedit.msc`

2. 「**コンピューターの構成**」ノードで、「**管理用テンプレート**」>「**Citrixコンポーネント**」>「**Citrix Workspace**」>「**アプリ保護**」>「**Anti-DLLモジュール許可リスト**」の順に移動します。

   Anti-DLLインジェクションポリシーを有効にする(/en-us/citrix-workspace-app/media/anti-dll-gpo.png)

3. 「**Anti-DLLモジュール許可リスト**」ポリシーをクリックし、「**有効**」を選択します。



4. アンチDLL保護から除外したいモジュールのリストを、**アンチDLLインジェクションモジュール許可リスト**フィールドに追加します。 許可リストにDLLを追加するためのサンプル形式：

```
[
    {
        "filePath":"C:\\Program Files (x86)\\trusted\\messagebox.dll"
    },
    {
        "filePath":"%PROGRAMFILES%\\trusted\\logging.dll"
    }
]
```

5. **OK**をクリックします。

Global App Configurationサービスを使用した構成

管理者はGACSを使用してアンチDLLインジェクション機能を構成できます。設定は次のとおりです。

- anti dll injection – アンチDLLインジェクション機能を有効にするために必要なモジュールを追加します
- anti dll module allow list – アンチDLL保護から除外したい必要なDLLを追加します

詳細については、Global App Configurationサービスを参照してください。

以下は、GACSのWindows向けCitrix Workspaceアプリで**anti dll injection**および**anti dll module allow list**を有効にするためのサンプルJSONファイルです。

```
{
  "serviceURL": {
    "url": "https://tuleshtest.cloudburrito.com:443"
  },
```

```
"settings": {
  "appSettings": {
    "windows": [
      {
        "category": "App Protection",
        "userOverride": false,
        "assignedTo": [
          "AllUsersNoAuthentication"
        ],
        "assignmentPriority": 0,
        "settings": [
          {
            "name": "anti dll injection",
            "value": [
              "Citrix Auth Manager",
              "Citrix Virtual Apps And Desktops",
              "Citrix Workspace app UI"
            ]
          },
          {
            "name": "anti dll module allow list",
            "value": [
```

```
                {

                  "filePath": "C:\\Program Files (x86)\\Citrix\\ICA
Client\\wfica32.exe"

                },

                {

                  "filePath": "C:\\Program Files (x86)\\Citrix\\ICA
Client\\AuthManager\\AuthManSvr.exe"

                }

              ]

            }

          ]

        }

      ]

    },

    "name": "name",

    "description": "desc",

    "useForAppConfig": true

  }

}
```

ポリシー改ざん検出を構成する

前提条件

ポリシー改ざん検出機能を構成するには、以下が必要です。

- クラウド展開の場合 - Cloud Desktop Delivery Controller™ バージョン115以降
- オンプレミス展開の場合 - Citrix Virtual Apps and Desktops™ バージョン2308以降
- Windows Virtual Delivery Agent インストーラー バージョン 2308 以降
- Windows向け - Citrix Workspace アプリ for Windows 2309 以降
- Macの場合 - Citrix Workspace app for Mac 2308以降
- Linux向け - Citrix Workspace アプリ for Linux 2308 以降
- Android向け - Citrix Workspace アプリ for Android バージョン 25.3.0
- iOS向け - Citrix Workspace アプリ for iOS} 24.9.0

> **注:**

> Citrix Virtual Apps and Desktops (CVAD) 2511以降、ポリシー改ざん検出はデフォルトで有効になっています。追加の構成は不要です。

> CVAD 2511より前のバージョンでポリシー改ざん検出を有効にするには、管理者はApp Protectionで構成された仮想アプリとデスクトップをホストしているTs/WS VDA上で**Citrix AppProtection Service**を開始する必要があります。ポリシー改ざん検出を有効にするには、以下のいずれかの手順を実行します。

- コマンドプロンプトを使用する:

  a. タスクバーの左端で、**検索** アイコンをクリックします。「**cmd**」と入力し、**管理者として実行** をクリックします。**コマンドプロンプト** 画面が表示されます。

  b. 次のコマンドを実行します。

```
sc config ctxappprotectionsvc start=auto

sc start ctxappprotectionsvc
```

- ユーザーインターフェイスを使用する場合：

  a. タスクバーの左端で、**検索** アイコンをクリックします。「**services.msc**」と入力し、**Enter** キーを押します。**サービス** 画面が表示されます。

b. **Citrix AppProtection Service** を選択し、**開始** をクリックします。

c. **Citrix AppProtection Service** を右クリックし、**プロパティ** を選択します。

d. **全般** > **スタートアップの種類** > **自動** を選択し、**OK** をクリックして、システム起動時にサービスが自動的に開始されるようにします。

ポリシー改ざん検出機能が正常に有効になりました。

ポリシー改ざん検出をサポートしない以前のバージョンのCitrix Workspaceアプリを検出してブロックするには、アプリ保護ポスチャチェックを構成します。アプリ保護ポスチャチェックの詳細については、アプリ保護ポスチャチェック を参照してください。

アプリ保護がポリシー改ざんを検出した場合の予期される動作

- ポリシー改ざん検出VDA Citrixポリシーが有効になっており、ポリシー改ざん検出機能をサポートしないCitrix Workspace™アプリのバージョンを使用している場合、セッションはエラーメッセージを表示せずに終了します。
- ポリシー改ざん検出機能をサポートするCitrix Workspaceアプリのバージョンを使用している場合、使用しているOSに基づいて、次のエラーメッセージが表示されてセッションが終了します。
  - Windowsの場合:

    Windowsでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/policy-tampering-windows-error.png)
  - Mac

    Macでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/policy-tampering-mac-error.png)
  - リナックス

    Linuxでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/policy-tampering-linux-error.png)
  - アンドロイド

    Androidでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/policy-tampering-android-error.png)
  - iOS

iOSでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/policy-tampering-ios-error.png)

App Protection ポスチャチェックを構成する

App Protection ポスチャチェックを有効にするには、この機能に関連する新しいVDA Citrixポリシーを構成します。

前提条件

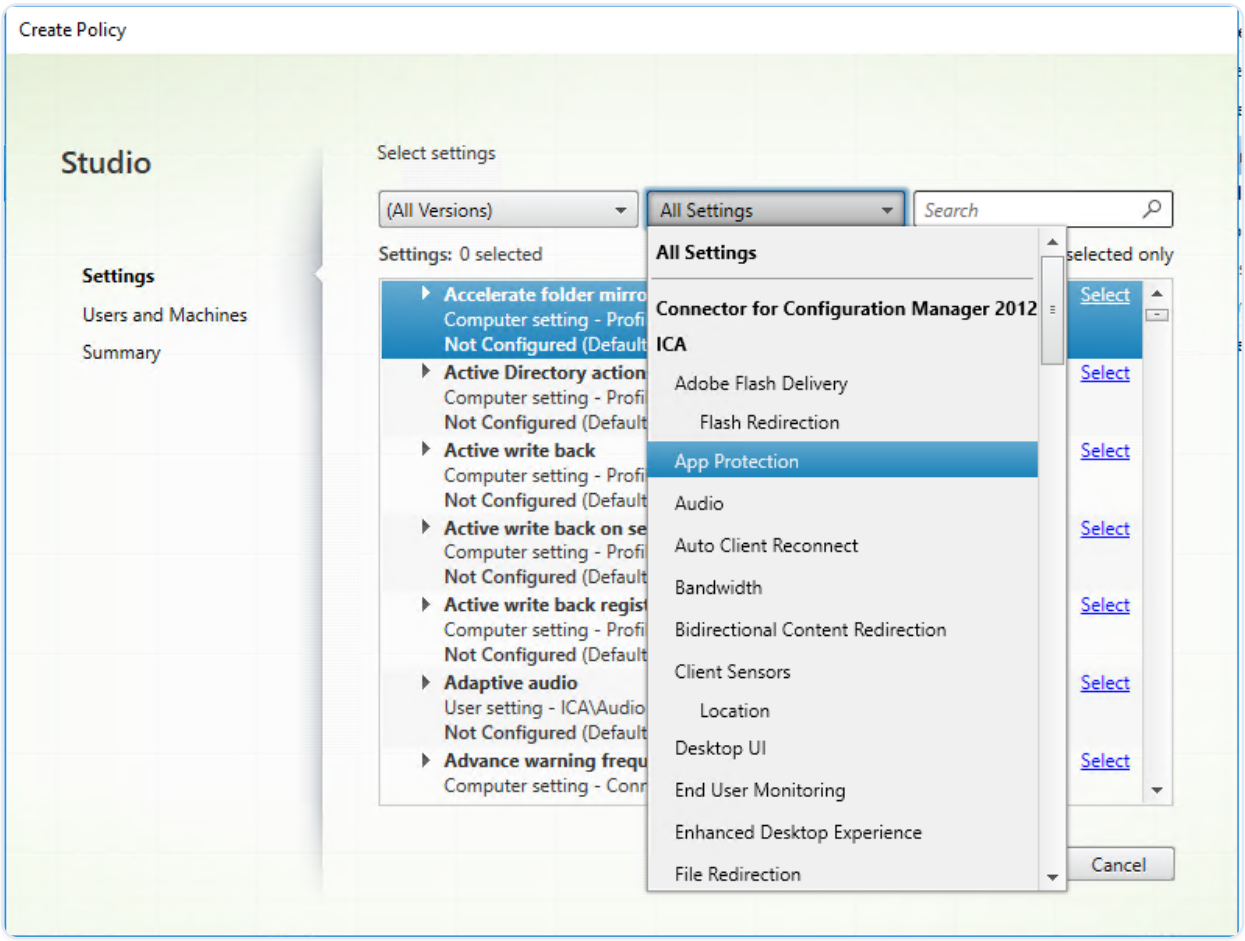
以下があることを確認してください。

- クラウド展開の場合 - Cloud Desktop Delivery Controller™ バージョン 115 以降
- オンプレミス展開の場合 - Citrix Virtual Apps and Desktops™ バージョン 2308 以降
- Windows Virtual Delivery Agent インストーラー バージョン 2308 以降
- Windows の場合 - Windows 用 Citrix Workspace アプリ 2309 以降
- Mac の場合 - Citrix Workspace app for Mac 2308 以降
- Linux の場合 - Linux 版 Citrix Workspace アプリ 2308 以降
- Android の場合 - Android 版 Citrix Workspace アプリ 25.3.0
- iOS 向け - Citrix Workspace アプリ (iOS 用)} 24.9.0

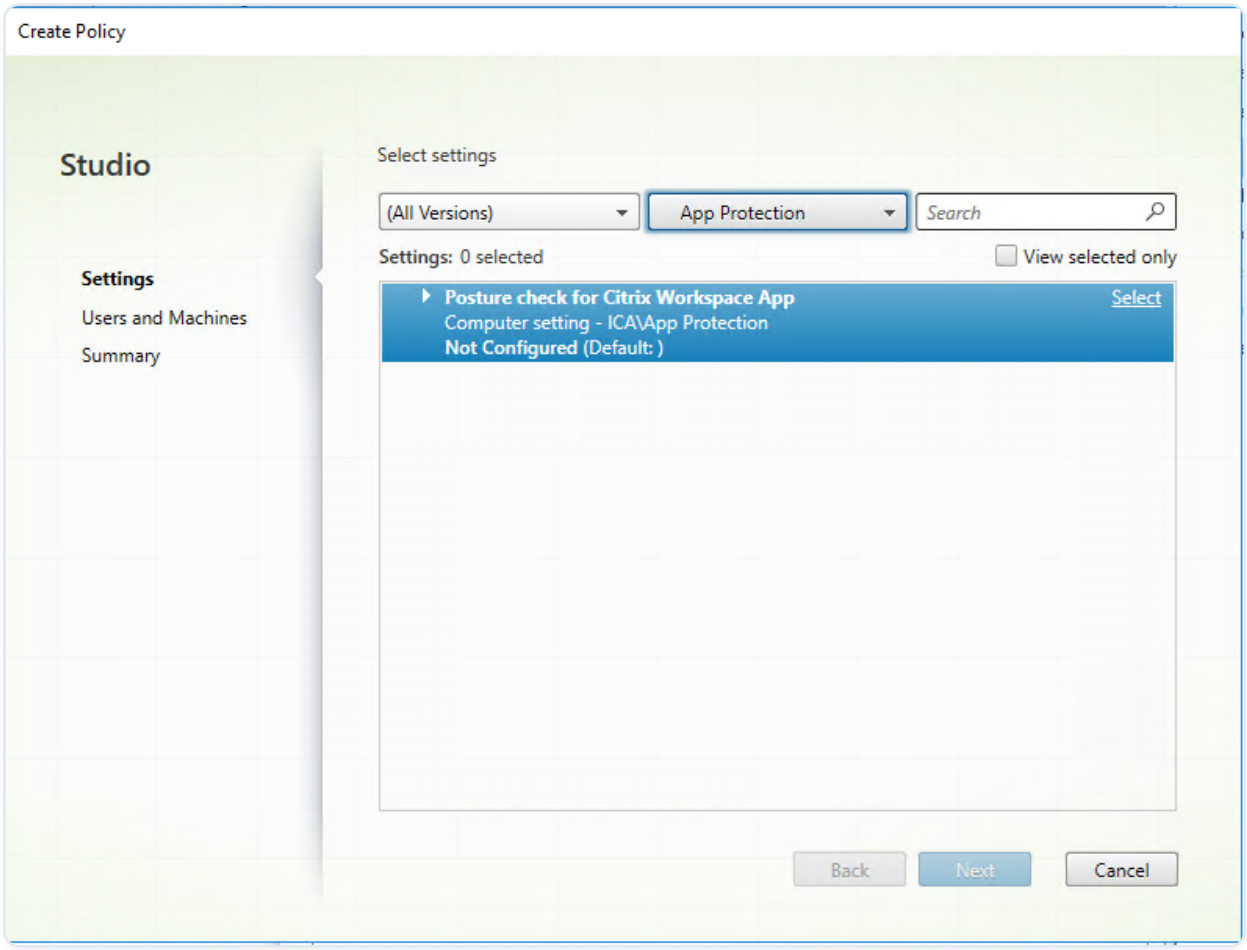
ポスチャチェック用の新しいVDA Citrixポリシーを次のように構成します。

> **注:**
>
> この新しいVDA Citrixポリシーは、Citrix StudioとWeb Studioの両方を使用して展開できます。以下の手順はCitrix Studioを介して展開されますが、Web Studioでも同じ手順を使用できます。

1. オンプレミス環境の場合はDesktop Delivery Controller (DDC)で、またはクラウド展開の場合はWeb StudioでCitrix Studioアプリを開き、**ポリシー**を選択します。
2. **アクション**の下で、**ポリシー** > **ポリシーの作成**を選択します。
3. **すべての設定**ドロップダウンメニューをクリックし、**ICA**の下にある**アプリ保護**を選択します。



4. **Citrix Workspaceアプリのポスチャチェック**を選択し、**選択**をクリックします。

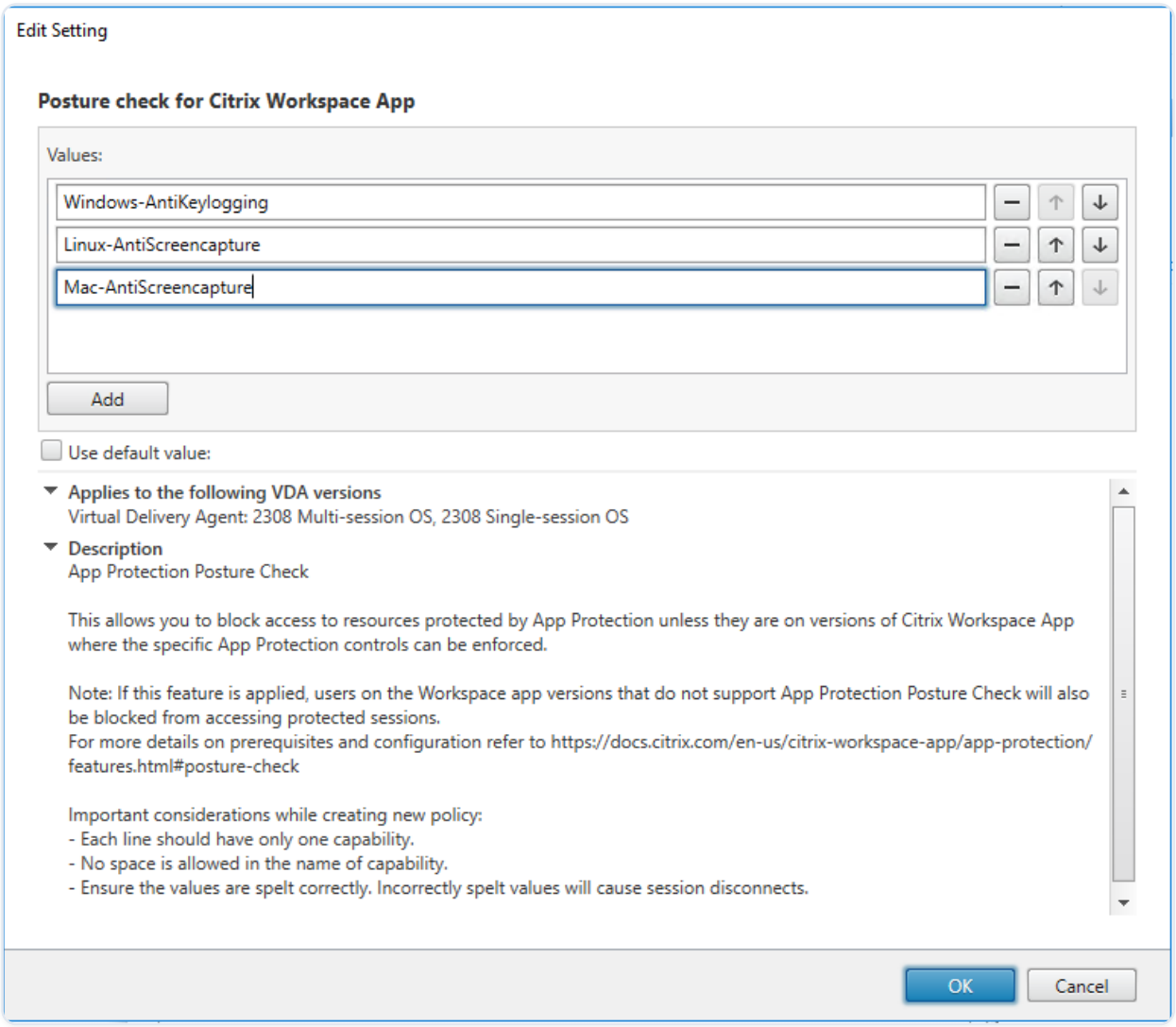


設定の編集ウィンドウが表示されます。

5. **デフォルト値を使用**チェックボックスをオフにします。
6. **追加**をクリックし、以下から関連する値を入力します。

   - Windows-スクリーンキャプチャ防止
   - Windows-キーロギング防止
   - Linux-スクリーンキャプチャ防止
   - Linux-キーロギング防止
   - Mac-AntiScreencapture
   - Mac-AntiKeylogging
   - Android-アンチスクリーンキャプチャ
   - iOS-AntiScreencapture
   - iOS-AntiKeylogging

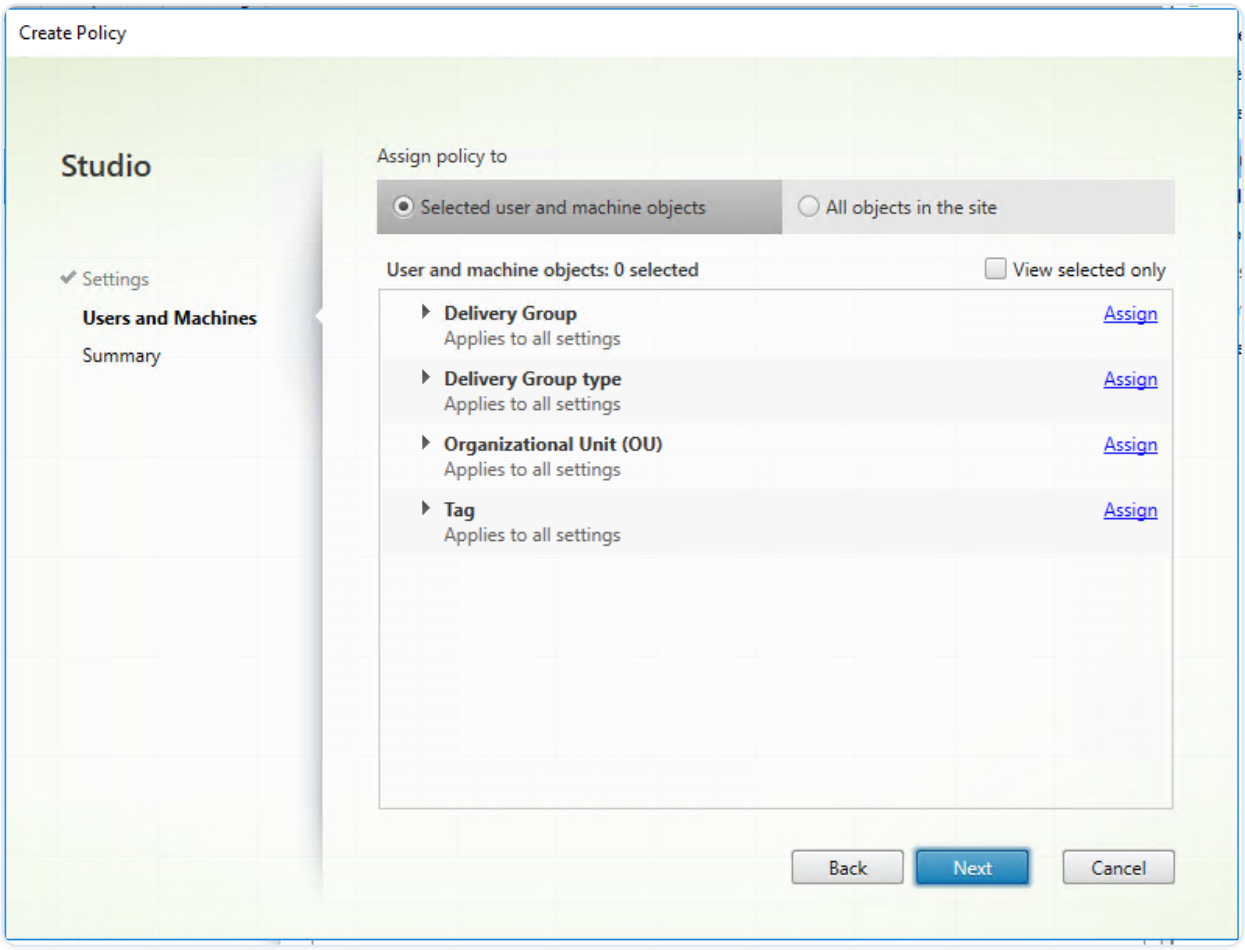
   例えば、「Windows-AntiScreencapture」と「Windows-AntiKeylogging」を追加した場合、ポスチャチェックをサポートし、これらの機能を備えたWindows版Citrix Workspaceアプリは、VDAへの接続が許可されます。



注:

- 各エントリには、1つの機能のみを含める必要があります。
- 機能名にスペースは使用できません。
- 値が正しく入力されていることを確認してください。値のスペルが間違っていると、セッションが終了します。
- Windows-、Linux-、Android-、iOS-、またはMac-のプレフィックスを持たない値は無視されます。

7. 必要な値をすべて追加したら、**OK**をクリックします。
8. **次へ**をクリックします。
9. **ポリシーの割り当て先 > 選択したユーザーとマシンオブジェクト**を選択します。



10. このポリシーを展開する必要があるデリバリーグループを選択し、**OK**をクリックします。

    デリバリーグループの選択(/en-us/citrix-workspace-app/media/select-dgs.png)

11. 「**次へ**」をクリックします。
12. 「**ポリシー名**」フィールドにポリシー名を入力し、**ポリシーを有効にする**チェックボックスをオンにします。

    ポリシー名の追加(/en-us/citrix-workspace-app/media/add-policy-name.png)

13. 「**完了**」をクリックします。

ポスチャチェックのポリシーが作成されます。

App Protectionポスチャチェックが失敗した場合の予期される動作

- ポスチャチェックVDA Citrixポリシーが有効になっていて、ポスチャチェック機能をサポートしていないCitrix Workspaceアプリのバージョンを使用している場合、セッションはエラーメッセージを表示せずに終了します。
- ポスチャチェック機能をサポートしているCitrix Workspaceアプリのバージョンを使用している場合、セッションはそれぞれ次のエラーメッセージを表示して終了します。

- ウィンドウズ:

  Windowsでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/posture-check-error-windows.png)

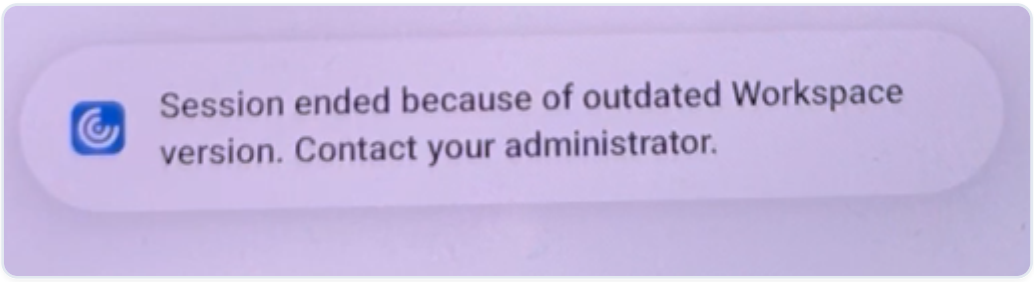
- Mac

  Macでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/posture-check-error-mac.png)

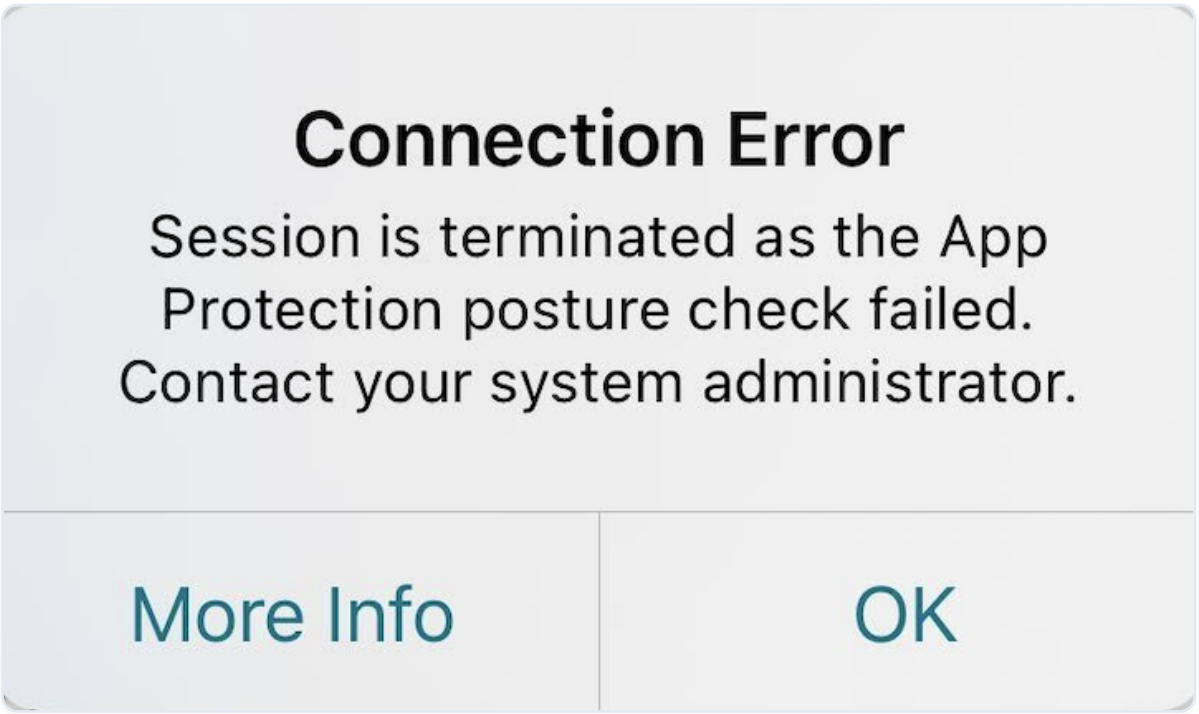
- リナックス

  Linuxでのポスチャチェックエラー(/en-us/citrix-workspace-app/media/posture-check-error-linux.png)

- アンドロイド



- iOS



DoubleHop起動のブロック

App Protection機能が有効になっている仮想アプリ、デスクトップ、Webアプリ、またはSaaSアプリの起動を、ダブルホップシナリオでブロックできます。

前提条件:

- 仮想アプリまたはデスクトップの起動をブロックするには、最初のホップでCitrix Workspaceアプリ for Windows 2309以降が実行されていることを確認してください。
- WebアプリまたはSaaSアプリの起動をブロックするには、Citrix Enterprise Browserバージョン123以降を使用していることを確認してください。

最初のホップ上のすべてのVDAに以下の構成をデプロイします。

1. 最新のGPOポリシーを更新します。詳細については、「最新のGPOポリシーを更新する」を参照してください。
2. **グループポリシーエディター**を起動し、**コンピューターの構成** > **管理用テンプレート** > **Citrixコンポーネント** > **Citrix Workspace** > **App Protection** > **Block DoubleHop Launch**の順に移動します。

3. **有効**を選択し、次に**OK**をクリックします。

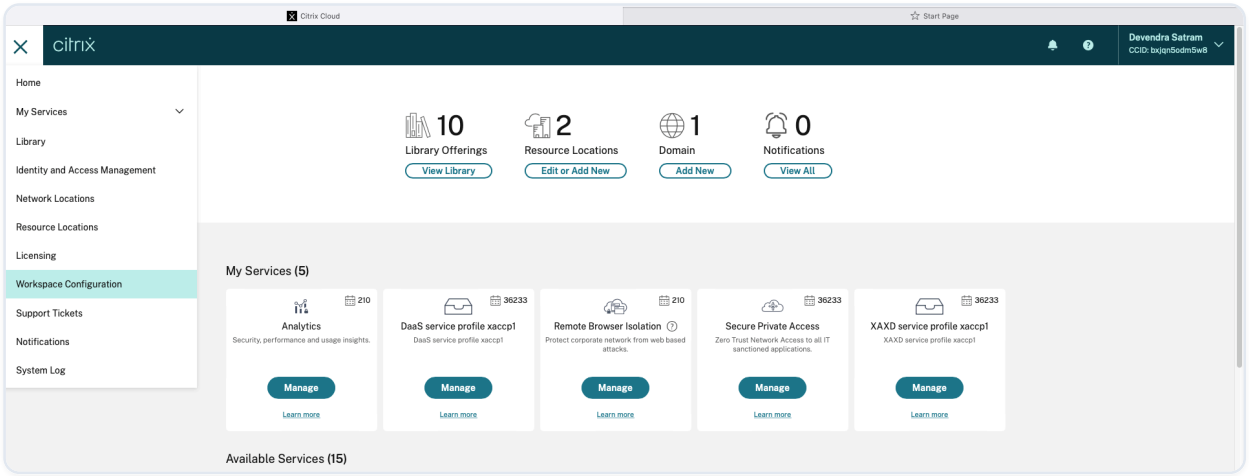
   Block DoubleHop Launch設定が有効になり、ダブルホップ起動を試みるとブロックされます。

> **注:**
>
> Windows Server OSはApp Protectionをサポートしていません。そのため、最初のホップでWindows Server OSを実行している場合、App Protectionが有効になっている仮想アプリおよびデスクトップは表示されません。

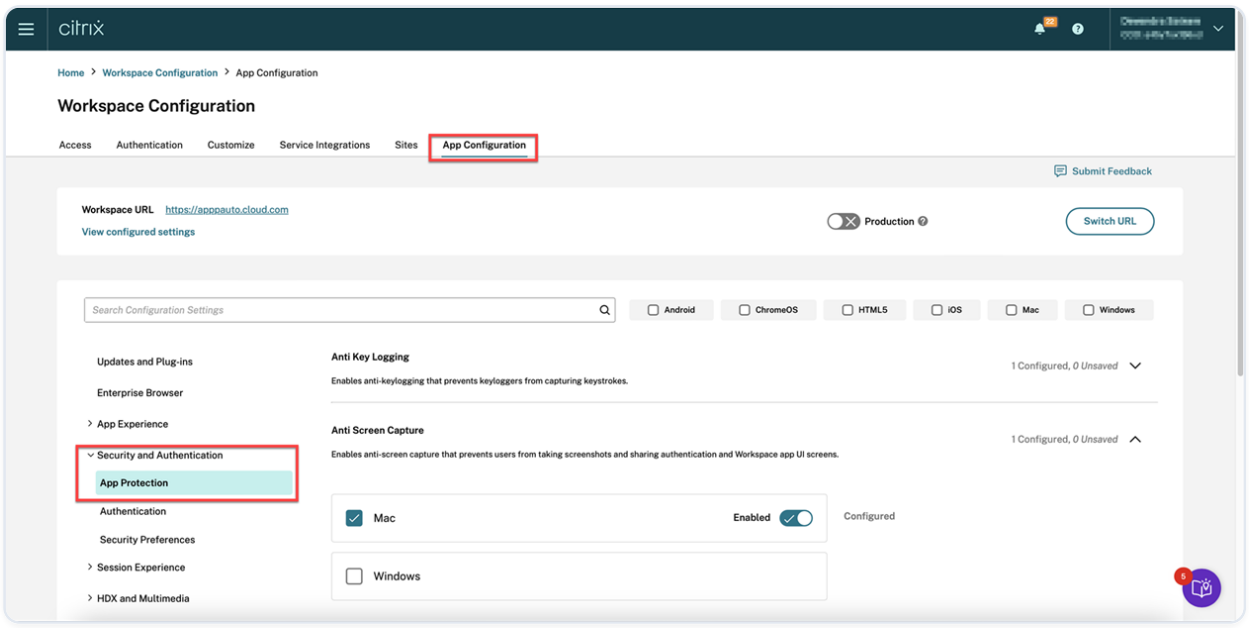
スクリーンキャプチャ許可リストを構成する

スクリーンキャプチャ許可リストにアプリを追加するには、次の手順を実行します。

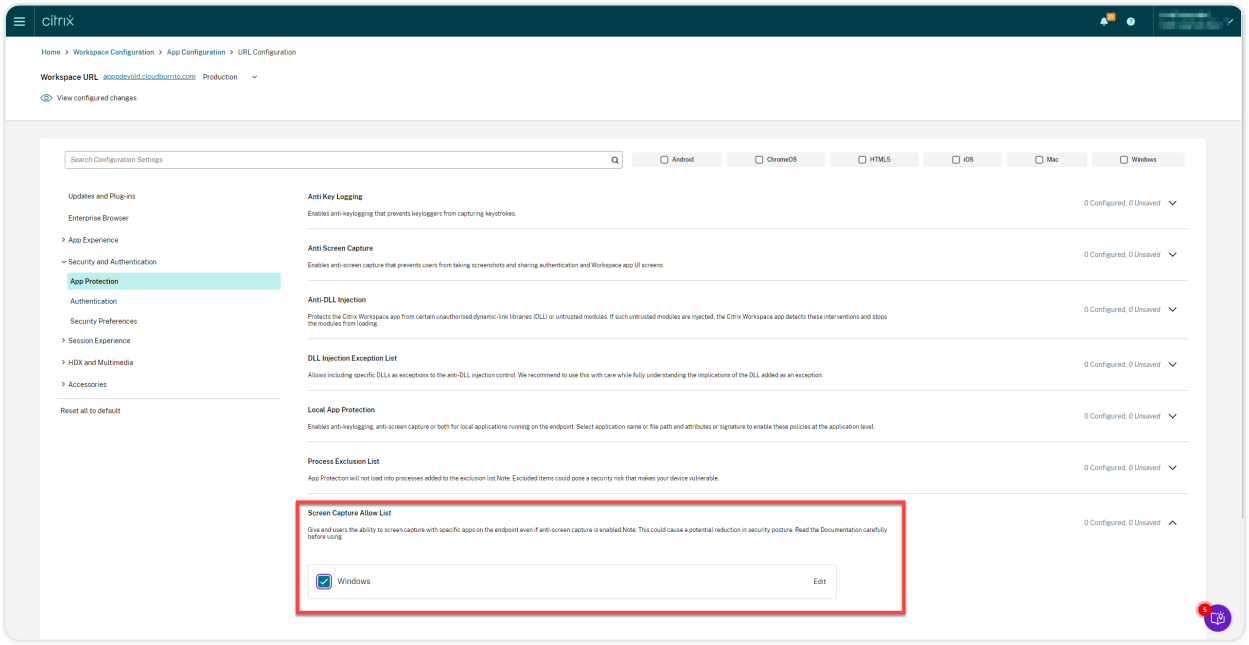
1. Citrix Cloud™アカウントにサインインし、**Workspace Configuration**を選択します。



2. **アプリ構成** > **セキュリティと認証** > **構成** > **アプリ保護**を選択します。



3. **Screen Capture Allow List**をクリックし、**Windows**チェックボックスを選択します。



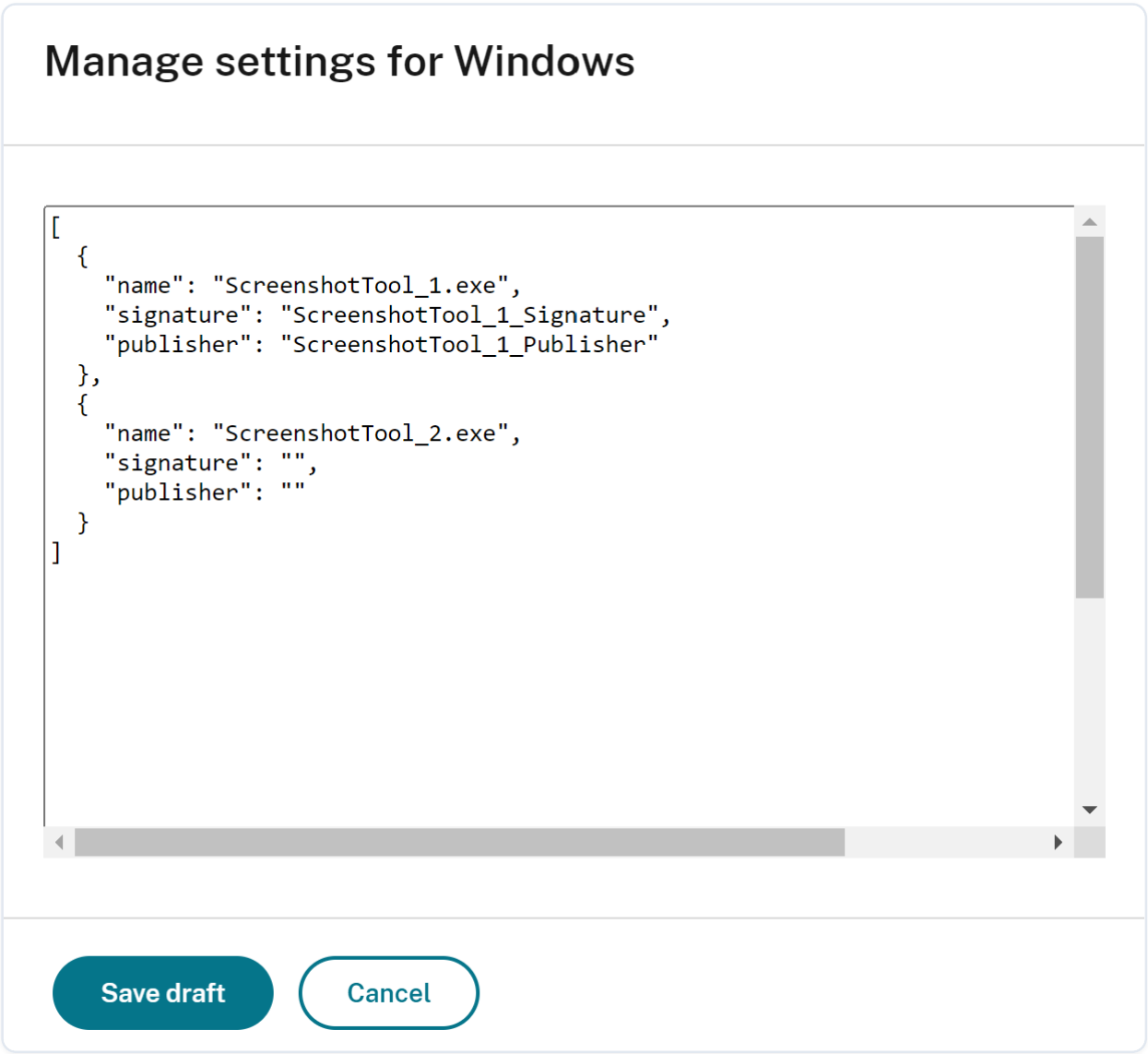
4. **Edit**オプションをクリックします。

   Manage settings for Windows画面が表示されます。

5. スクリーンキャプチャ許可リストに追加するアプリの情報を追加します。

   例：

```
[
 {
 "name": "ScreenshotTool_1.exe",
 "signature": "ScreenshotTool_1 Signature",
 "publisher": "ScreenshotTool_1 Publisher"
 },
 {
  "name": "Screenshottool_2.exe",
  "signature": "",
  "publisher": ""
 }
]
```

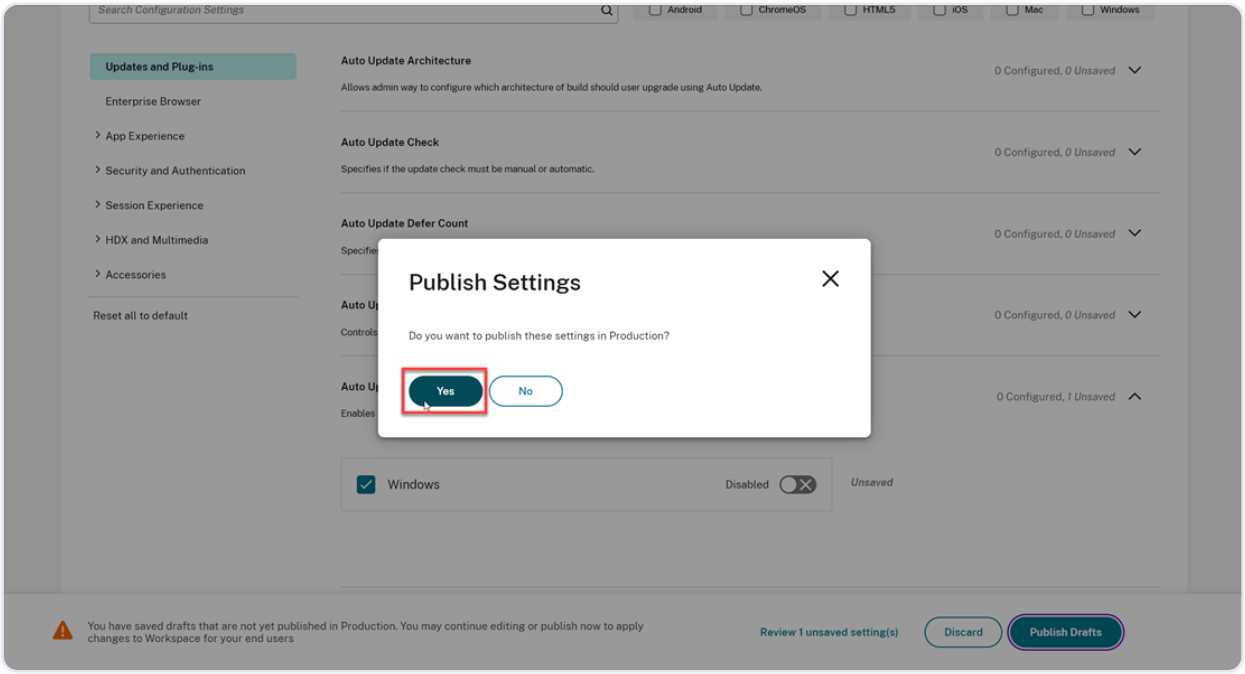


注：

- `name` は必須入力です。同時に、`publisher` と `signature` は必須ではありません。ただし、許可リストに登録されたアプリのみがスクリーンショットを撮れるように、関連する `publisher` と `signature` を追加することをお勧めします。
- `publisher` と `signature` の値がない場合、同じ名前の悪意のあるアプリケーションがスクリーンショットを取得できてしまいます。
- また、このブロックに複数のエントリを追加することで、画面キャプチャの許可リストに複数のアプリを追加できます。

`publisher` と `signature` の情報を取得するには、`publisher` と `signature` の情報の取得 を参照してください。

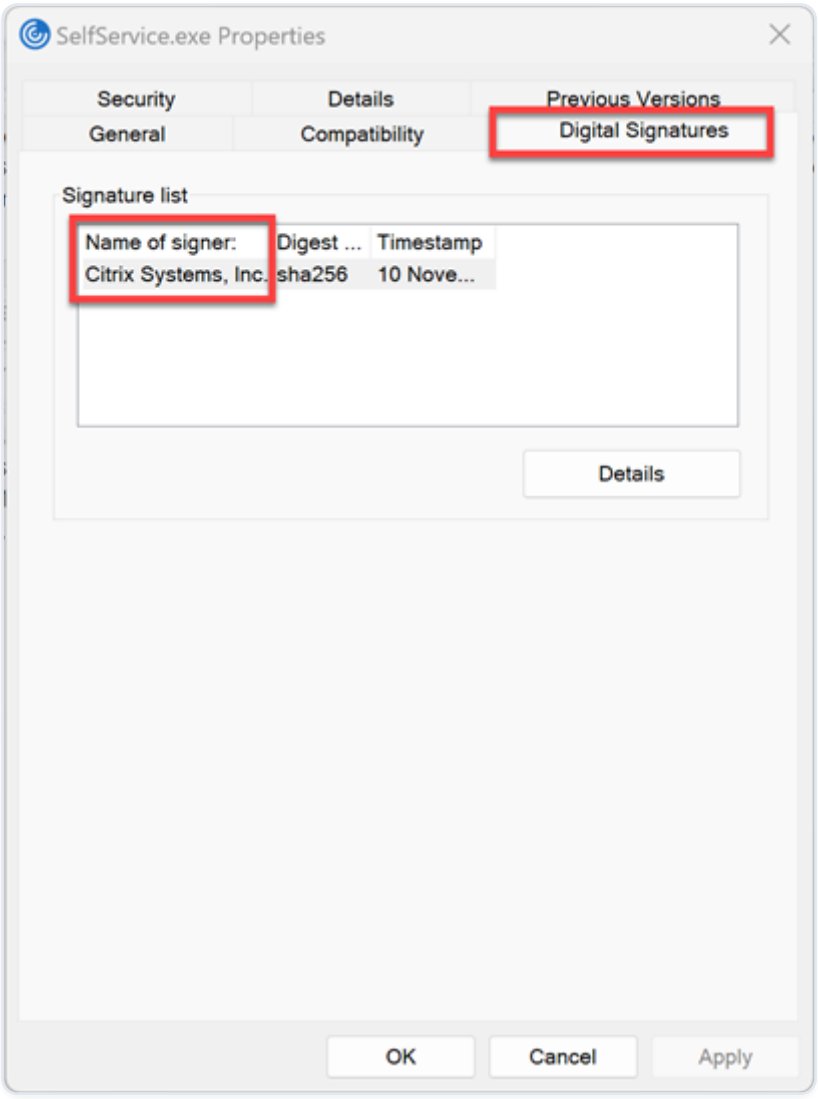
6. **下書きを保存** をクリックし、続いて **下書きを公開** をクリックします。
7. **設定の公開** ダイアログボックスで、**はい** をクリックします。



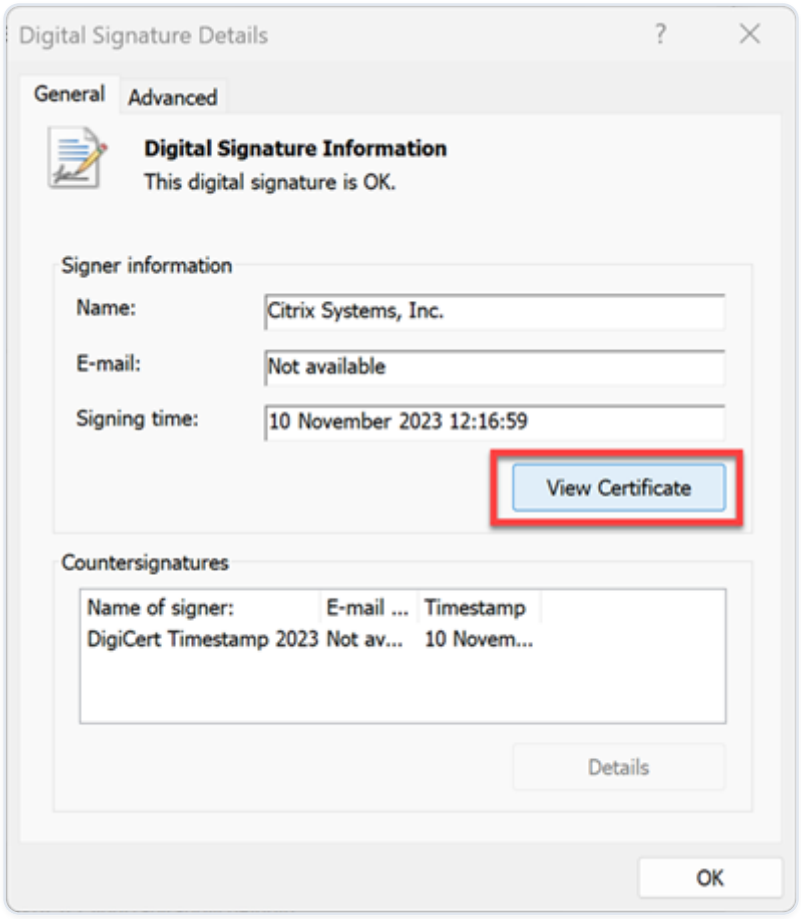
`publisher` と `signature` の情報の取得

`publisher` と `signature` の情報を取得するには、次の手順を実行します。

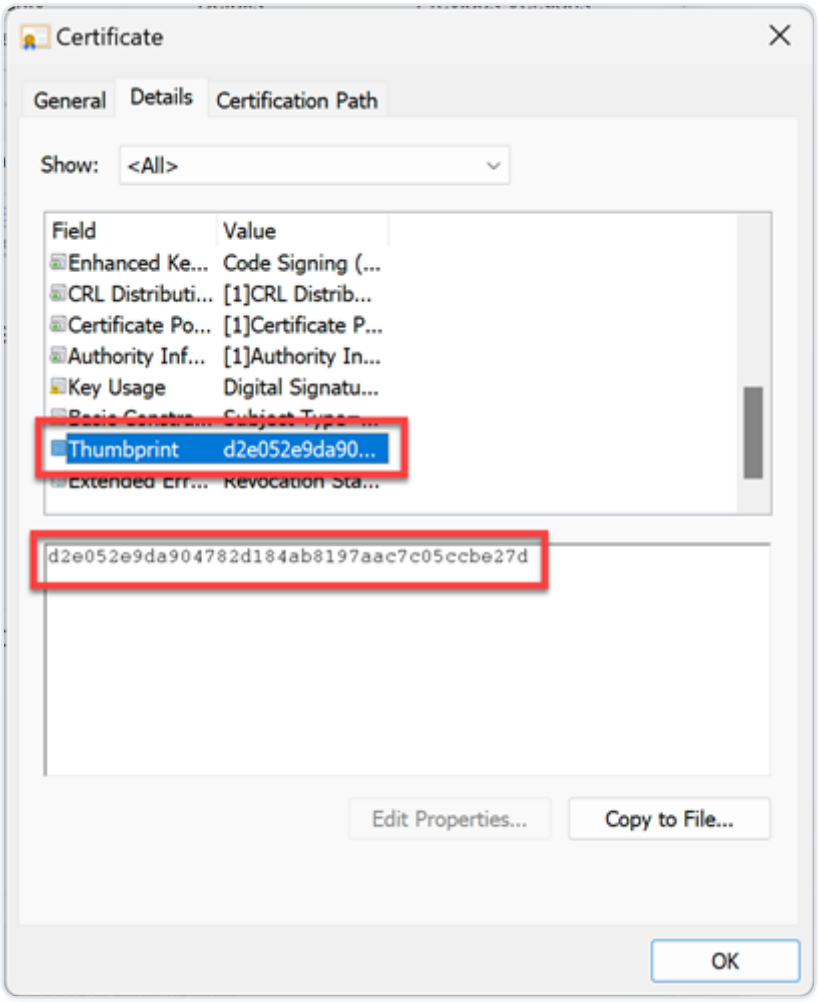
1. アプリの該当する `.exe` ファイルがある場所を開きます。
2. `.exe` ファイルを右クリックし、**プロパティ** をクリックします。プロパティのポップアップ画面が表示されます。
3. **デジタル署名** をクリックします。**署名者名** が `publisher` の値です。



4. **署名者名** の最初のエントリをクリックし、**詳細** > **証明書の表示** をクリックします。



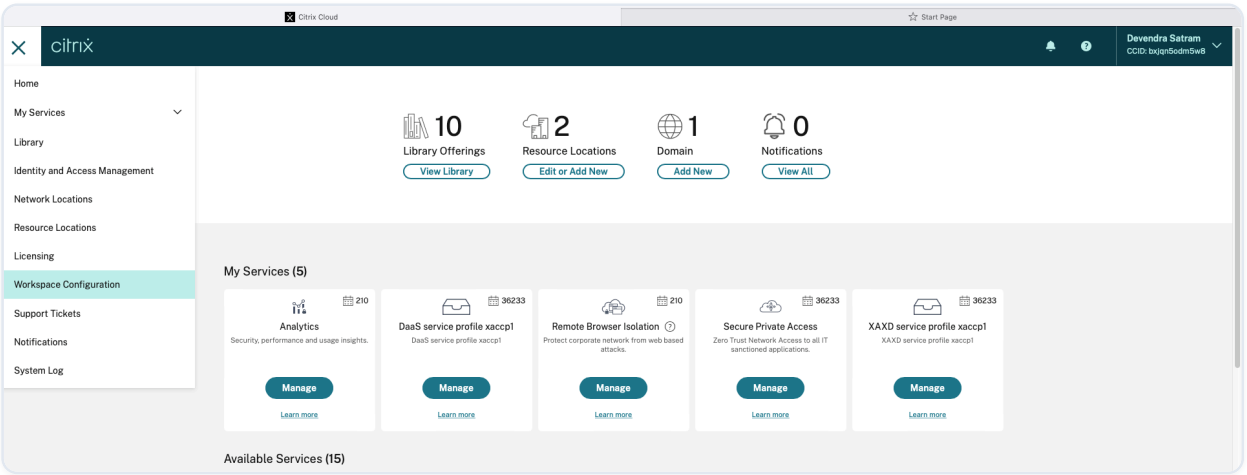
5. **詳細** > **拇印** をクリックします。テキストボックスに表示される内容が `signature` です。



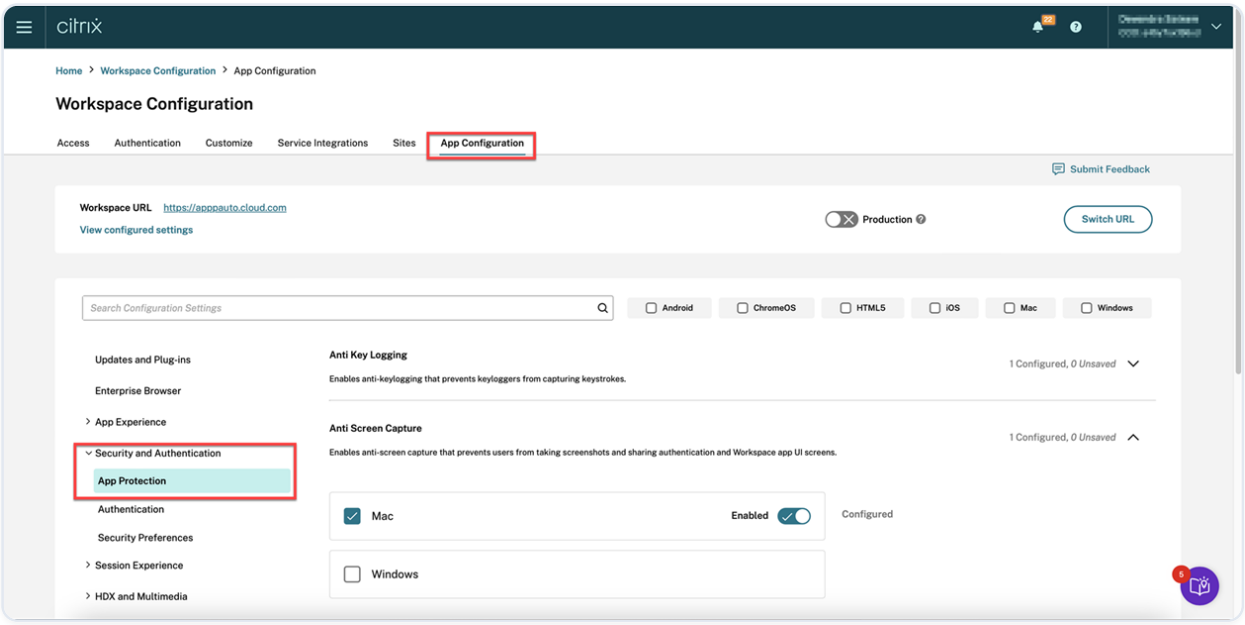
プロセス除外リストの構成

プロセス除外リストにプロセスを追加するには、次の手順を実行します。

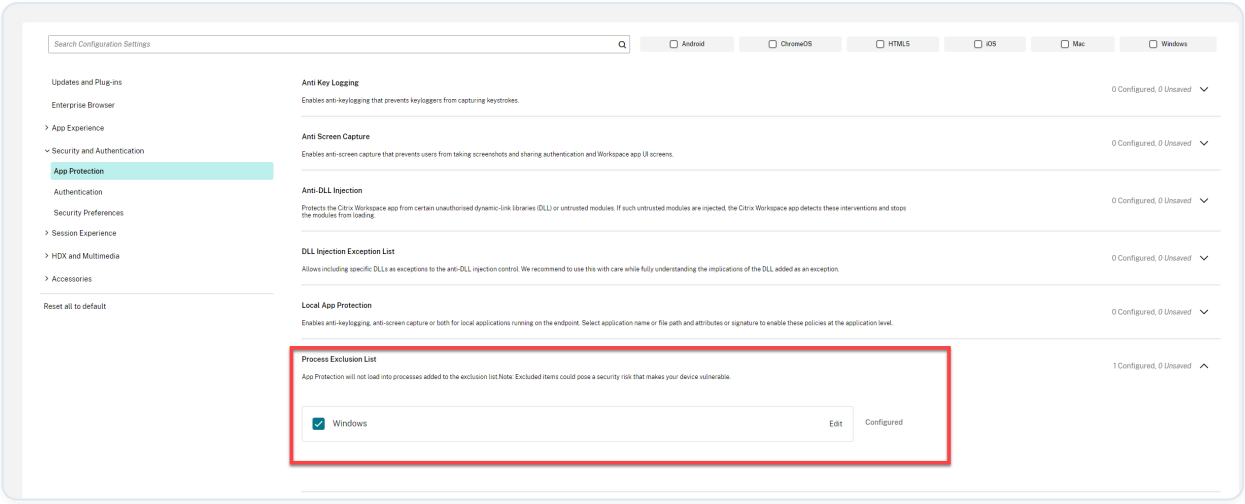
1. Citrix Cloud™アカウントにサインインし、**ワークスペース構成**を選択します。



2. **アプリ構成** > **セキュリティと認証** > **構成** > **アプリ保護**の順に選択します。



3. **プロセス除外リスト**をクリックし、次に**Windows**チェックボックスをオンにします。



4. **編集**オプションをクリックします。

   Windows の設定を管理画面が表示されます。

5. プロセス除外リストに追加するプロセスに関する情報を追加します。

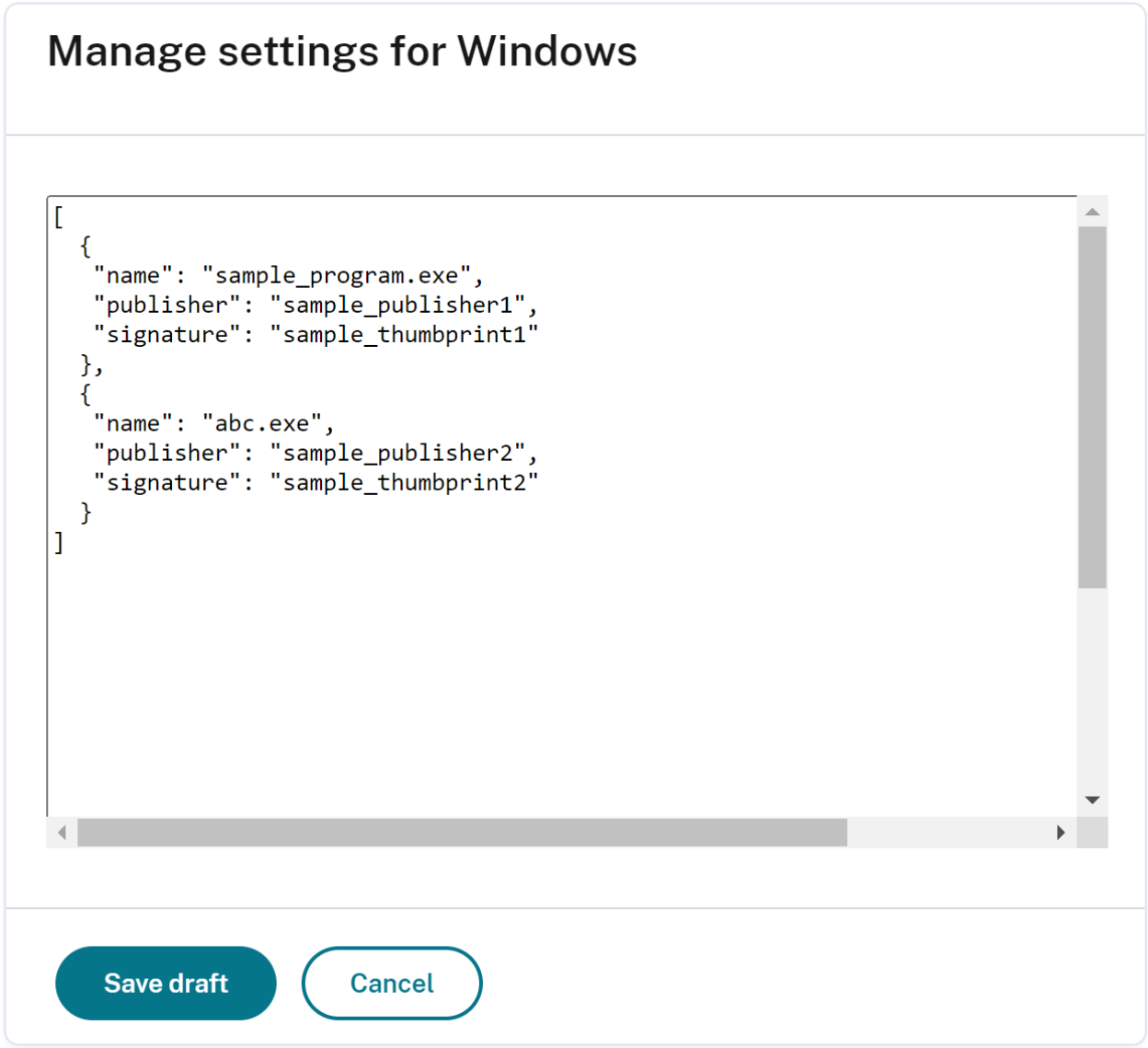
   例:

```
[
 {
  "name": "sample_program.exe",
  "publisher": "sample_publisher1",
```

```
  "signature": "sample_thumbprint1"

 }

]
```



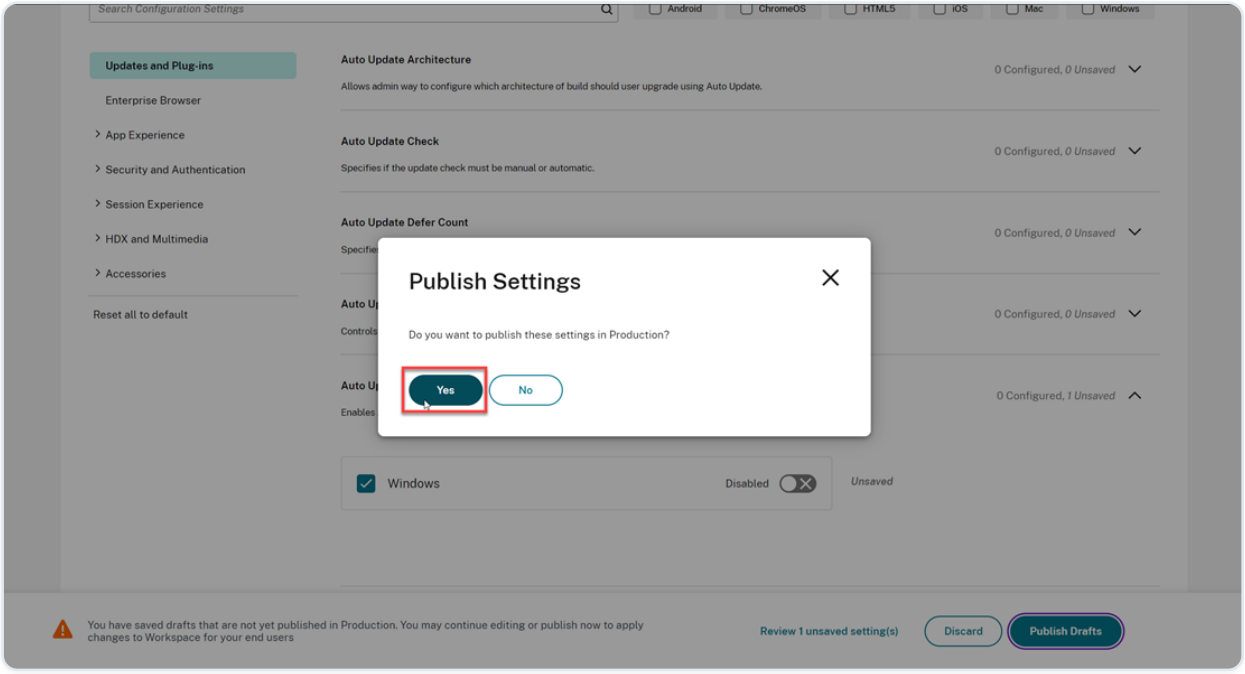
注:

- `name` は必須入力です。同時に、`publisher` と `signature` は必須ではありません。ただし、正しいプロセスがリストに追加されていることを確認するために、`publisher` と `signature` を追加することをお勧めします。

- また、このブロックに複数のエントリを追加することで、プロセス除外リストに複数のプロセスを追加できます。

`publisher`と`signature`の情報を取得するには、`publisher`と`signature`の情報を取得するを参照してください。

6. **下書きを保存**をクリックし、次に**下書きを公開**をクリックします。
7. **公開設定**ダイアログボックスで、**はい**をクリックします。



8. Citrix Workspaceアプリを再起動します。

USBフィルタードライバー除外リストを構成する

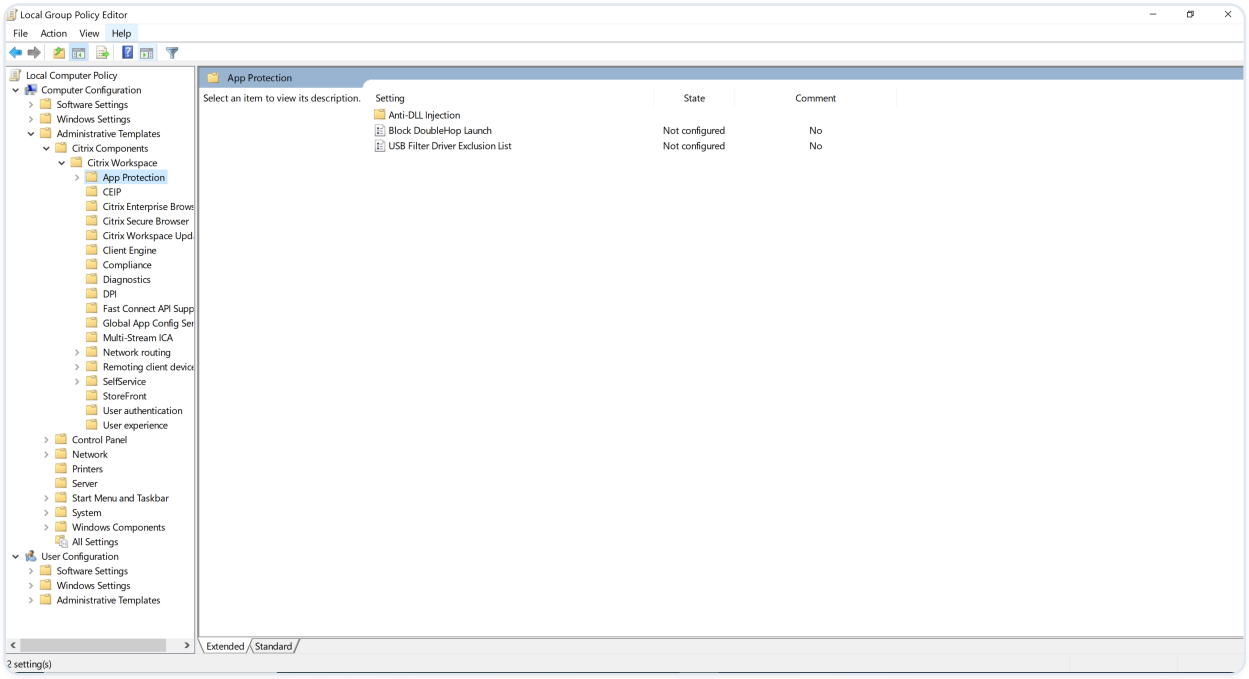
以下のいずれかの方法を使用して、USBデバイスをUSBフィルタードライバー除外リストに追加できます。

- グループポリシーオブジェクトを使用する
- グローバル アプリケーション構成サービス UI を使用する

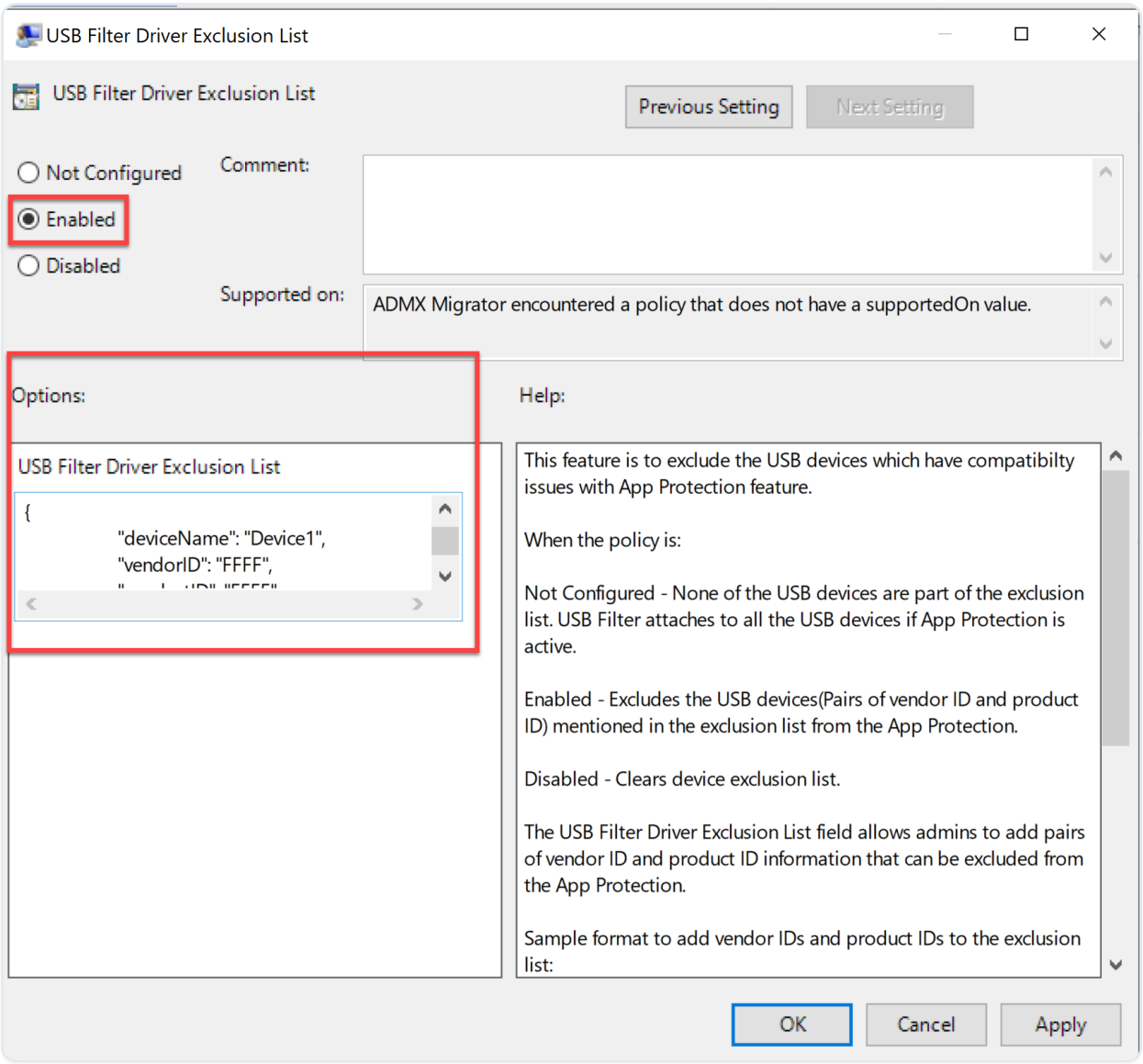
グループポリシーオブジェクトを使用する

1. `gpedit.msc`を実行して、Citrix Workspaceアプリのグループポリシーオブジェクト管理用テンプレートを開きます。詳細については、グループポリシーオブジェクトを参照してください。

2. **コンピューターの構成**ノードで、**管理用テンプレート** > **Citrix Components** > **Citrix Workspace™** > **App Protection** > **USB Filter Driver Exclusion List**の順に移動します。



3. **有効**を選択し、除外するUSBデバイスの**ベンダーID**と**製品ID**を**オプション**テキストボックスに入力します。



注：

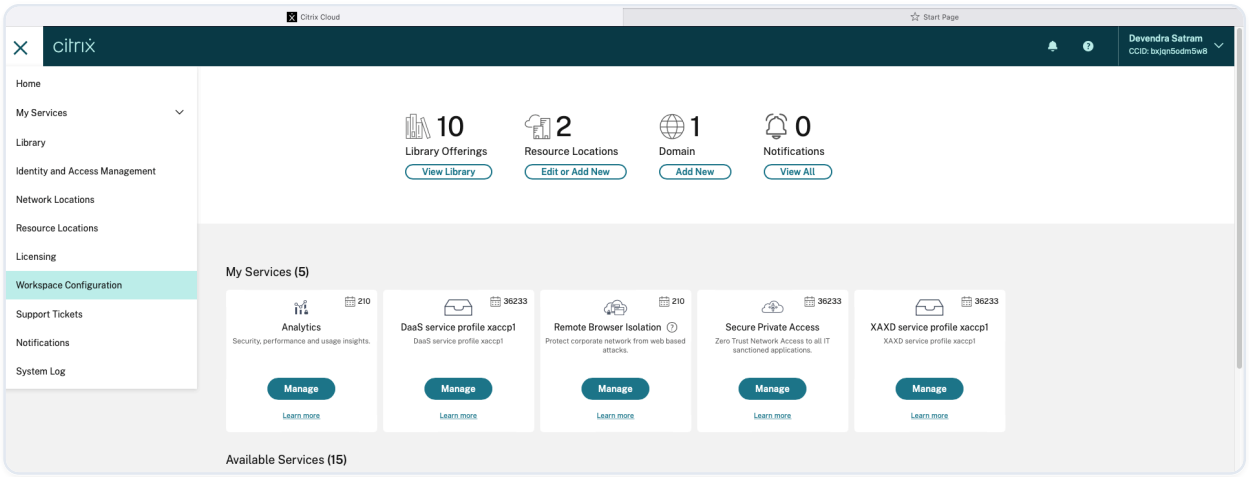
- `productID`と`vendorID`は必須入力です。一方、`deviceName`は必須ではありません。
- また、このブロックに複数のエントリを追加することで、複数のUSBデバイスを除外リストに追加できます。

`productID`と`vendorID`を取得するには、`productID`と`vendorID`を取得するを参照してください。

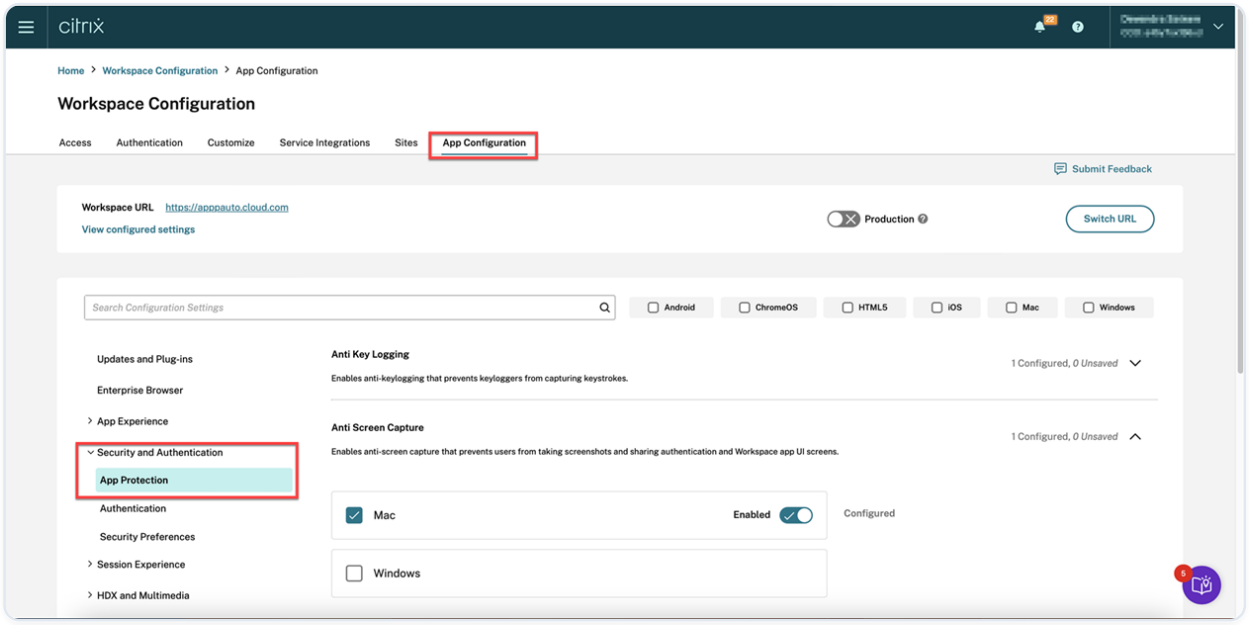
4. **OK**をクリックします。

グローバルアプリ構成サービスUIの使用

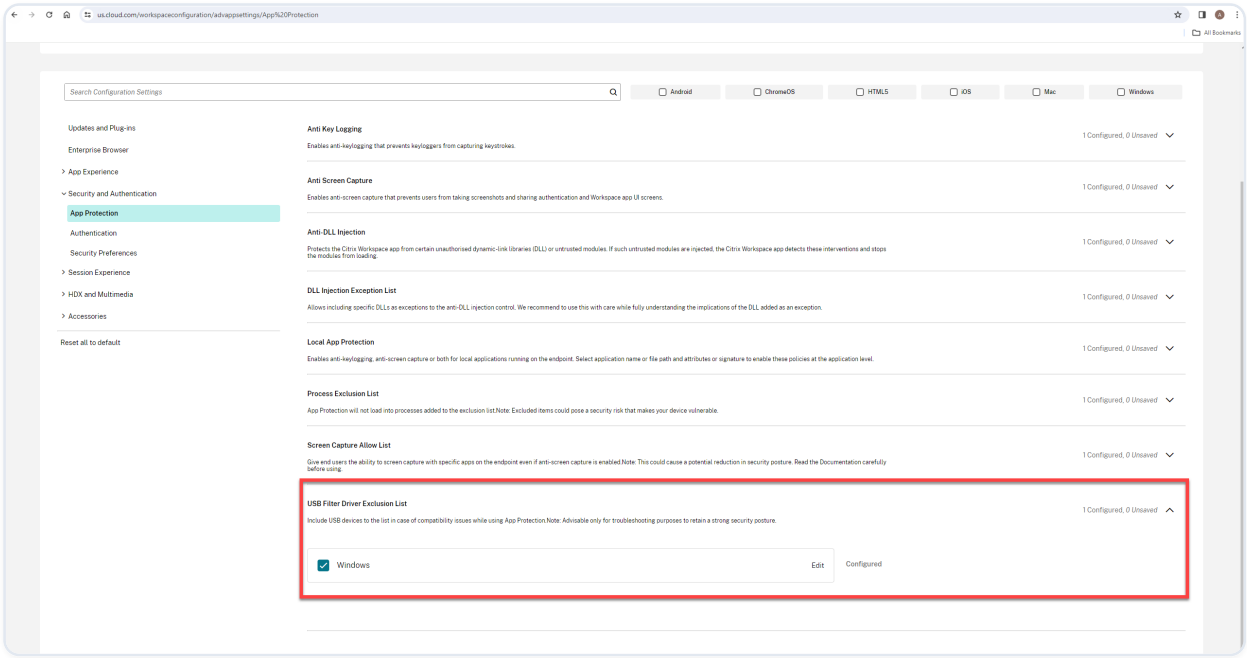
1. Citrix Cloud™アカウントにサインインし、**Workspace Configuration**を選択します。



2. **アプリ構成** > **セキュリティと認証** > **構成** > **アプリ保護**を選択します。



3. **USB Filter Driver Exclusion List**をクリックし、**Windows**チェックボックスを選択します。



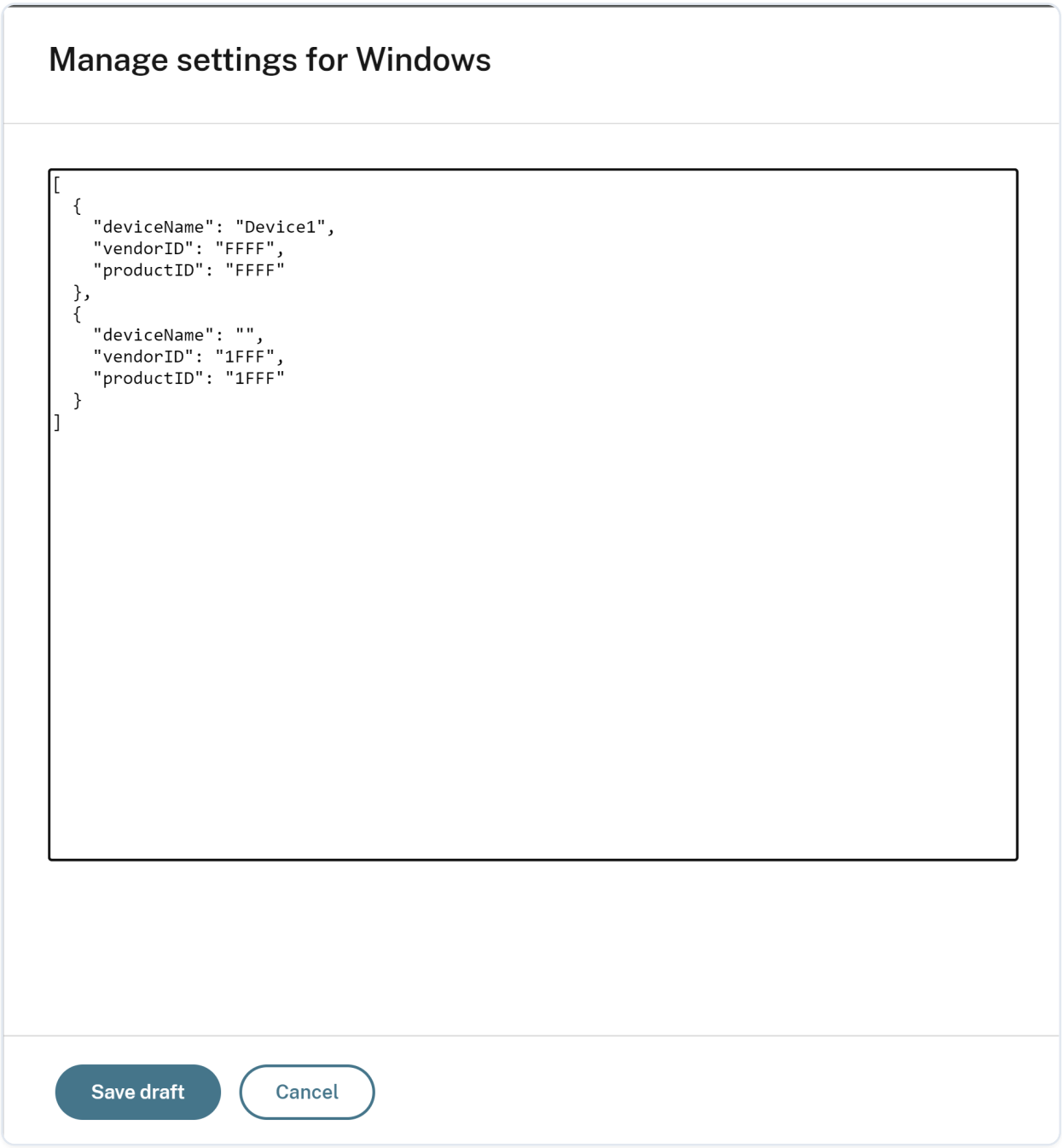
4. **Edit**オプションをクリックします。

   Manage settings for Windows画面が表示されます。

5. USBフィルタードライバー除外リストに追加するプロセスまたはアプリに関する情報を追加します。

   例：

```
[
 {
  "deviceName": "Device1",
  "vendorID": "FFFF",
  "productID": "FFFF"
 }
]
```

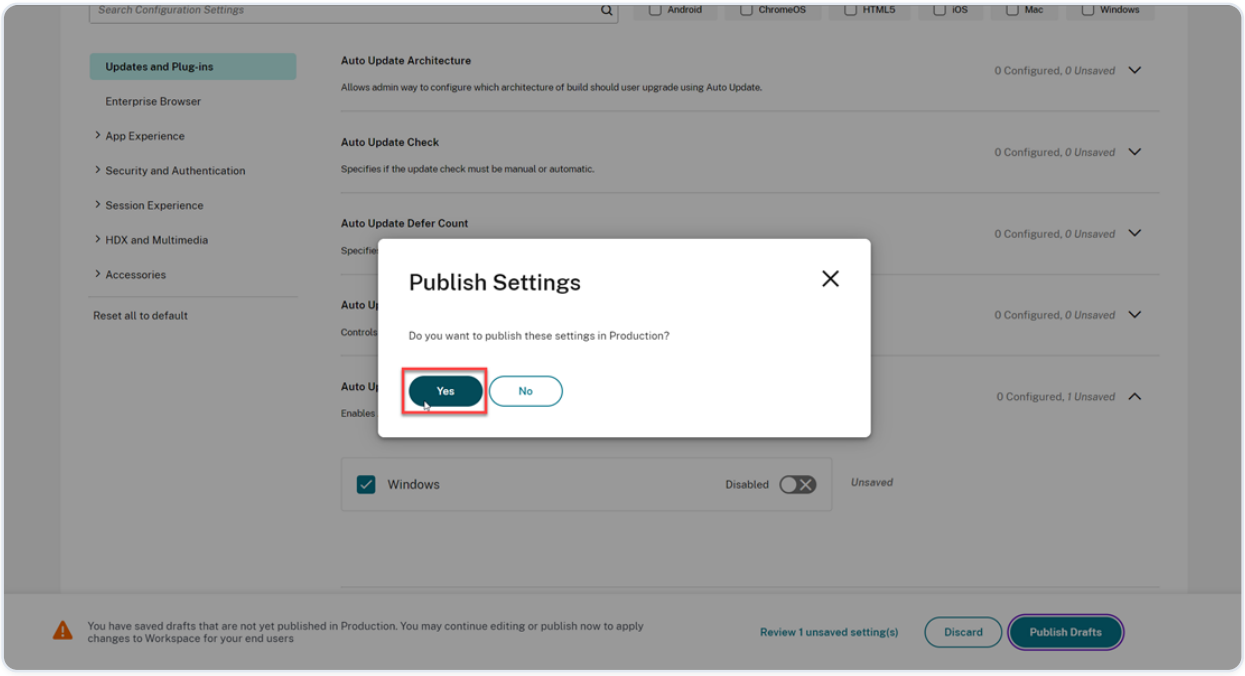


注：

- `productID` と `vendorID` は必須入力です。一方、 `deviceName` は必須ではありません。
- また、このブロックに複数のエントリを追加することで、複数のUSBデバイスを除外リストに追加できます。

> `productID` と `vendorID` を取得するには、`productID` と `vendorID` を取得する を参照してください。

6. **Save draft** をクリックし、次に **Publish Drafts** をクリックします。
7. **Publish Settings** ダイアログボックスで、**Yes** をクリックします。

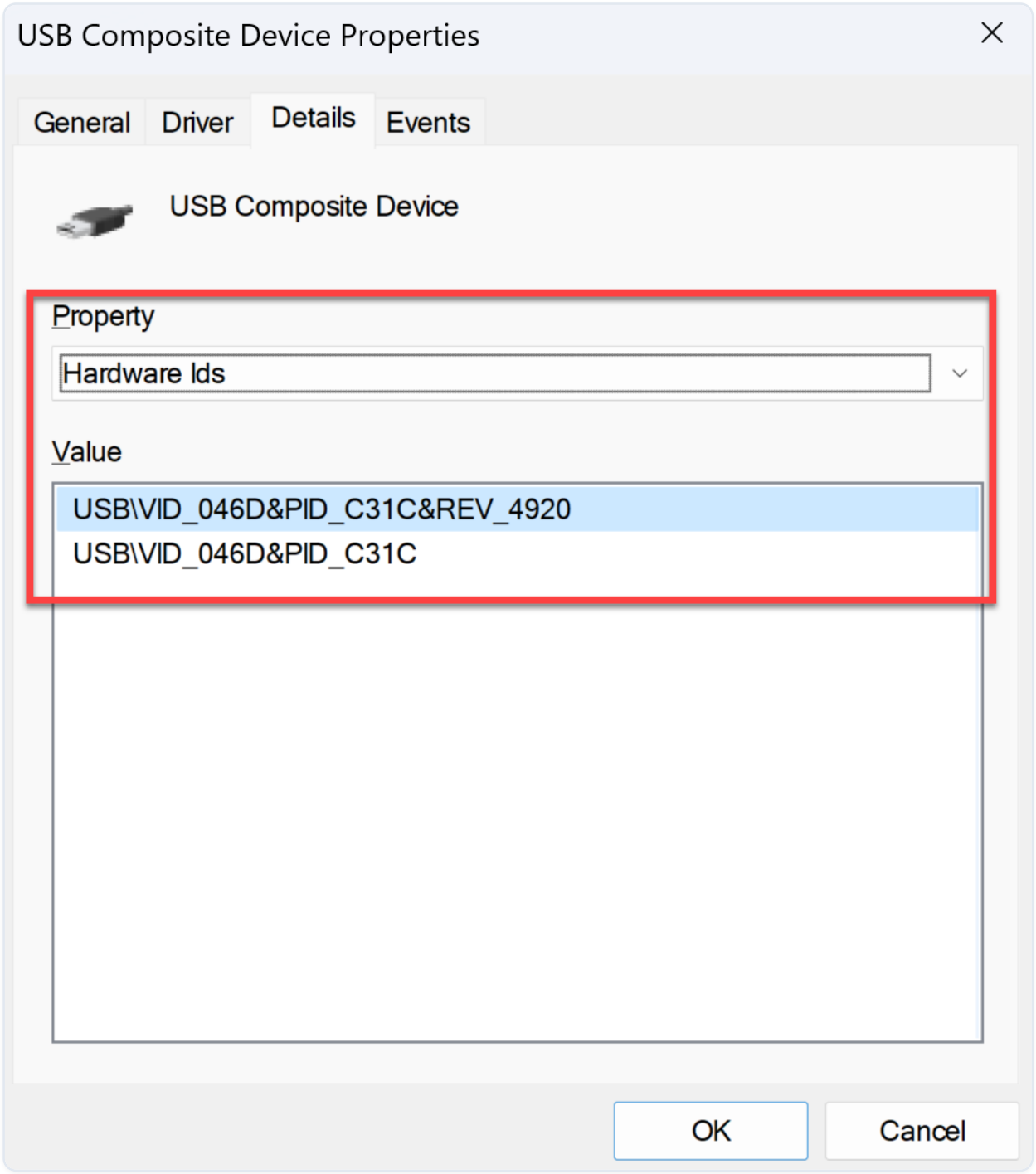


8. Citrix Workspace アプリを再起動します。

`productID` と `vendorID` を取得する

`productID` と `vendorID` を取得するには、次の手順を実行します。

1. **デバイスマネージャー**を開き、除外リストに追加するデバイスを見つけます。
2. デバイス名を右クリックし、**プロパティ**をクリックします。プロパティのポップアップ画面が表示されます。
3. **詳細**をクリックし、**プロパティ**リストから**ハードウェアID**オプションを選択します。
4. **値**フィールドで、`VID_` のプレフィックスを持つ値が `vendorID` であり、`PID_` のプレフィックスを持つ値が `productID` です。



LD_PRELOAD機能を使用するアプリの許可リストを構成する

注記:

LD_PRELOAD機能を使用した許可リストの構成は、Linux版Citrix Workspace™アプリでのみ利用可能です。

> App Protectionは、他の実行中のアプリがLD_PRELOADを使用している場合、保護されたセッションの起動をブロックします。正規のアプリである場合、または管理者が承認している場合は、許可リスト機能を使用できます。LD_PRELOADを使用する他のアプリの使用を許可するには、許可リストを構成する必要があります。

App Protectionは、LD_PRELOADを使用している他のアプリが実行されている場合、保護されたセッションの開始を停止します。ただし、正当なアプリである場合、または管理者が承認している場合は、許可リスト機能を使用できます。これらのアプリの実行を許可するには、許可リストを設定する必要があります。

次の手順で、プリロード機能を持つアプリを許可リストに追加できます。

1. 保護されたVDA/アプリセッションの開始をブロックしているプロセスを特定します。
2. 許可リストの構成ファイルを作成し、特定されたプロセスを追加します。

保護されたVDAの起動を妨げているプロセスを特定する

App ProtectionがLD_PRELOADの使用により保護されたVDAの起動を妨げる場合、LD_PRELOADを使用しているプロセスを確認します。正規のプロセスは許可リストに追加できます。

`LD_PRELOAD`を使用しているプロセスを特定するには、次のスクリプトを使用します。`.sh`拡張子で保存し、ターミナルウィンドウで`sudo`として実行します。

```
#!/bin/bash



declare -A map



append_kv() {

  local key="$1"

  local val="$2"

  local sep="$3"



  if [[ -v "map[$key]" && -n "${map[$key]}" ]]; then
```

```
    map["$key"]+="$sep$val"
  else
    map["$key"]="$val"
  fi
}

escape_json_string() {
    local str="$1"
    # Escape backslashes first, then quotes, then other control characters
    str="${str//\\/\\\\}"     # \ → \\
    str="${str//\"/\\\"}"     # " → \"
    str="${str//$'\t'/\\t}"   # tab → \t
    str="${str//$'\n'/\\n}"   # newline → \n
    str="${str//$'\r'/\\r}"   # carriage return → \r
    printf '%s' "$str"
}

print_procs_JSON() {
    printf "{\n"
    first=true
    for key in "${!map[@]}"; do
        if [ "$first" = true ]; then
```

```
            first=false
        else
            printf ",\n"
        fi
        printf "  \"%s\": \"%s\"" "$(escape_json_string "$key")" "$
(escape_json_string "${map[$key]}")"
    done
    printf "\n}\n"
}

validate_json() {
    local json="$1"

    if command -v jq >/dev/null 2>&1; then
        printf '%s' "$json" | jq -e . >/dev/null 2>&1
        return $?
    fi

    if command -v python3 >/dev/null 2>&1; then
        printf '%s' "$json" | python3 -c 'import json, sys;
json.load(sys.stdin)' >/dev/null 2>&1
        return $?
    fi
```

```
    # No validator available on PATH.
    return 2
}

for pid in /proc/*/; do
    pid=${pid%*/}
    pid=${pid##*/}

    # Only numeric /proc entries are process IDs.
    [[ "$pid" =~ ^[0-9]+$ ]] || continue

    environ_file="/proc/$pid/environ"
    cmdline_file="/proc/$pid/cmdline"

    if [[ ! -r "$environ_file" || ! -r "$cmdline_file" ]]; then
        continue
    fi

    # Check if the process has the LD_PRELOAD environment variable set
    ld_preload=$(cat "$environ_file" 2>/dev/null | tr '\0' '\n' | grep
'^LD_PRELOAD=' | cut -d '=' -f 2-)
```

```
    if [ -n "$ld_preload" ]; then
        # Keep only argv[0] (the executable path/name) from cmdline.
        cmdline=$(cat "$cmdline_file" 2>/dev/null | tr '\0' '\n' | head -n
1)
        [ -n "$cmdline" ] || continue
        # Output the LD_PRELOAD value and the process cmdline in JSON
format
        append_kv "LD_PRELOAD=$ld_preload" "$cmdline" "|"
    fi
done


# Generate and validate JSON output before printing.


json_output="$(print_procs_JSON)"

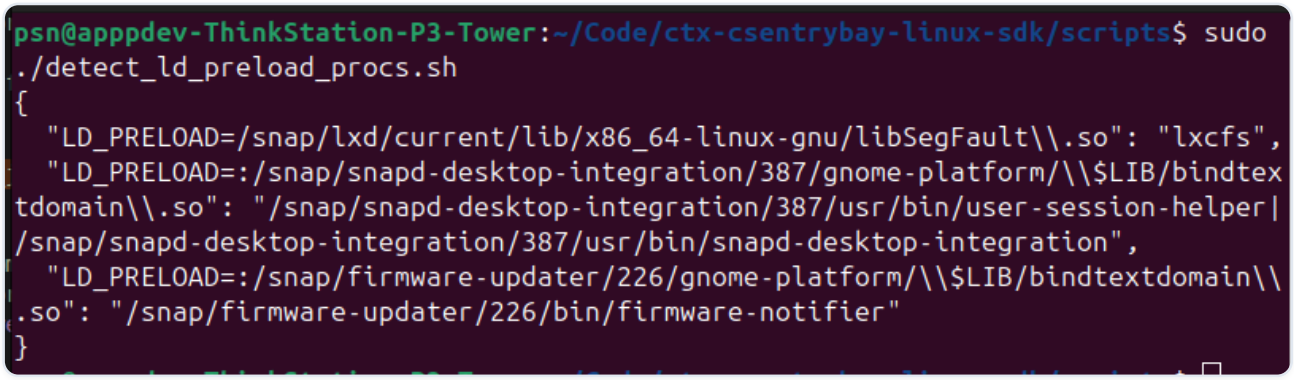

if ! validate_json "$json_output"; then
    status=$?
    if [ "$status" -eq 2 ]; then
        echo "Warning: could not validate JSON (no jq/python3 found)." >&2
        printf '%s\n' "$json_output"
        exit 0
    fi
```

```
    echo "Error: generated invalid JSON output." >&2
    exit 1
fi


printf '%s\n' "$json_output"
```

上記のスクリプトの出力に基づいて、保護されたVDAの起動失敗の原因となっているプロセスを特定し、それらのプロセスを許可リストに追加します。

以下に、プリロードリストを持つアプリのリストを含む出力を表示するサンプル画像を示します。



許可リスト構成ファイルの作成

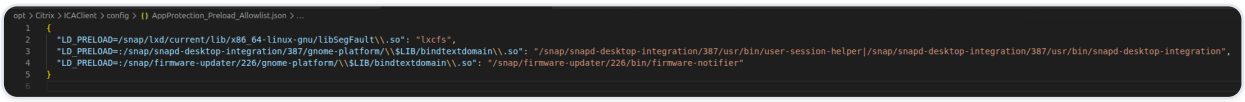
プロセス許可リスト構成ファイルは、セキュリティ上の理由からデフォルトではインストールされません。この構成ファイルは、必要になったときに初めて作成する必要があります。

1. 「$ICAROOT/config/」フォルダーにAppProtection_Preload_Allowlist.jsonという名前の空のファイルを作成します。
2. 次の形式でプロセス詳細を追加します。2番目のエントリは、LD_PRELOADで同じライブラリを使用する複数のプロセスを管理する方法について説明しています。

```
{
    "LD_PRELOAD_PATH1" : "PROCESS_PATH1",
    "LD_PRELOAD_PATH2" : "PROCESS_PATH2|PROCESS_PATH3"
```

```
}
```

新しく追加された構成を表示するサンプル画像を次に示します。



3. ファイルを保存し、次のコマンドを使用してAppProtection_Preload_Allowlist.jsonファイルのアクセス許可を設定します。

```
sudo chmod 644 $ICAROOT/config/AppProtection_Preload_Allowlist.json
```

注：

冗長性を防ぐため、構成エントリでは最小限の正規表現が許可されています。特殊な正規表現文字は確認し、二重のバックスラッシュ (\\) でエスケープする必要があります。

- たとえば、スクリプトの出力が次のようになっているとします。

```
LD_PRELOAD=:/snap/firmware-updater/226/gnome-platform/\\$LIB/bindtextdomain\
\.so": "/snap/firmware-updater/226/bin/firmware-notifier
```

- 126のような可変要素を使用するには、より汎用的な許可リストエントリに正規表現を使用できます。

```
LD_PRELOAD=:/snap/firmware-updater/\\d+/gnome-platform/\\$LIB/bindtextdomain\
\.so": "/snap/firmware-updater/226/bin/firmware-notifier
```

- 出力には、正規表現パターン内の特殊文字である「.」と「$」が含まれており、これらはエスケープされていることがわかります。

```
LD_PRELOAD=:/snap/firmware-updater/226/gnome-platform/\\$LIB/bindtextdomain\
\.so": "/snap/firmware-updater/226/bin/firmware-notifier
```

- `"` (引用符) や `\^` (キャレット) のような他の特殊文字がある場合は、同様にエスケープします。

アプリ保護を無効にする

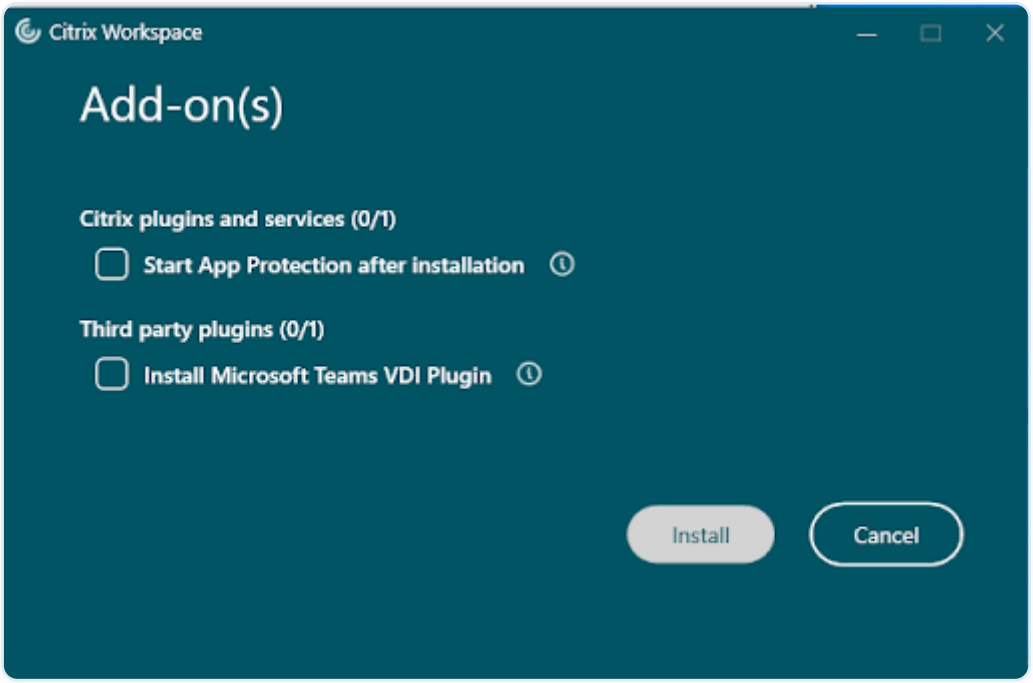
Windowsでアプリ保護を無効にする手順

アプリ保護が実行されている場合、アプリ保護の無効化はサポートされていません。唯一推奨される解決策は、Citrix Workspaceアプリを再インストールし、インストーラーに**アプリ保護の開始**オプションを渡さないことです。

アプリ保護を無効にするには、次の手順を実行してください。

1. Workspaceアプリをアンインストールします。
2. アンインストールが完了したら、マシンを再起動します。
3. Workspaceアプリを再度インストールします。

    - UIベースのインストールの場合、**インストール後にアプリ保護を開始**チェックボックスがオフになっていることを確認してください。



    - コマンドラインベースのインストールの場合、`/startAppProtection`コマンドラインオプションを追加せずにインストールが開始されていることを確認してください。

      例: `PS C:\Users\WDKRemoteUser\Downloads> .\CitrixWorkspaceApp.exe`

4. インストールが完了したら、アプリ保護が停止状態にあることを確認します。コマンドプロンプトで次のコマンドを実行して、4つのコンポーネントすべてが「停止」状態にあることを確認します。各コンポーネントについて、対応する視覚表現に示されているように、ステータスが**STATE: 1 STOPPED**と表示されるはずです。

- `sc query appprotectionsvc`

```
C:\Users\WDKRemoteUser>sc query appprotectionsvc

SERVICE_NAME: appprotectionsvc
        TYPE               : 10  WIN32_OWN_PROCESS
        STATE              : 1  STOPPED
        WIN32_EXIT_CODE    : 1077  (0x435)
        SERVICE_EXIT_CODE  : 0  (0x0)
        CHECKPOINT         : 0x0
        WAIT_HINT          : 0x0
```

- `sc query ctxapinject`

「アプリ保護クエリを無効にする」(/en-us/citrix-workspace-app/media/disable-appprotection-query.png)

- `sc query ctxapdriver`

「アプリ保護クエリを無効にする」(/en-us/citrix-workspace-app/media/disable-appprotection-driver.png)

- `sc query ctxapusbfilter`

「アプリ保護フィルターを無効にする」(/en-us/citrix-workspace-app/media/disable-appprotection-filter.png)

> **注:**
>
> `Start App Protection after installation`チェックボックスをオフにしたままにするか、`/startAppProtection`コマンドラインオプションなしでインストールしても、アプリ保護が停止または休止状態に保たれるわけではありません。アプリ保護が有効になっているリソース（仮想アプリ、仮想デスクトップ、認証、Web/SaaSアプリ）が起動されると、すべてのアプリ保護サービスが実行状態に移行します。アプリ保護を休止状態に保ちたい場合は、すべてのアプリ保護構成が「無効」に設定されていることを確認してください。さまざまなコンポーネントを無効にする手順については、こちらを参照してください。

スクリーンショット通知を無効にする

このドキュメントでは、スクリーンショット通知を無効にする方法について説明します。

Windowsでスクリーンショット通知を無効にするには、次の方法を使用します。

GPO設定によるスクリーンショット通知の無効化

1. グループポリシーエディターを開きます。
2. **コンピューターの構成** > **管理用テンプレート** > **Citrix Components** > **Citrix Workspace™** > **App Protection** の順に移動し、**Screen Capture Notification** を選択します。

   GPOによるスクリーンショットの無効化(/en-us/citrix-workspace-app/media/disable-screen-capture-gpo.png)
3. 起動した設定で **Disabled** を選択します。

   GPO設定によるスクリーンショットの無効化(/en-us/citrix-workspace-app/media/disable-screen-capture-gpo-setting.png)
4. **適用** を選択します。

無効化時の動作

無効化すると、ユーザーが保護されたリソースをキャプチャしようとしても、スクリーンショット通知は表示されません。

> **注：**
>
> この設定が構成されているときにスクリーンショットの許可リストに登録されたアプリが起動されると、スクリーンショット通知設定は無視され、エンドユーザーに通知が表示されるようになります。

トラブルシューティング

この記事では、Citrix Workspaceアプリのさまざまなプラットフォームでの App Protectionのトラブルシューティング方法について説明します。

トラブルシューティングのシナリオについては、以下を参照してください。

- 一般的なトラブルシューティングのシナリオ
- ポリシー改ざんの検出
- App Protectionの姿勢チェック

App Protectionがインストールされているか確認する

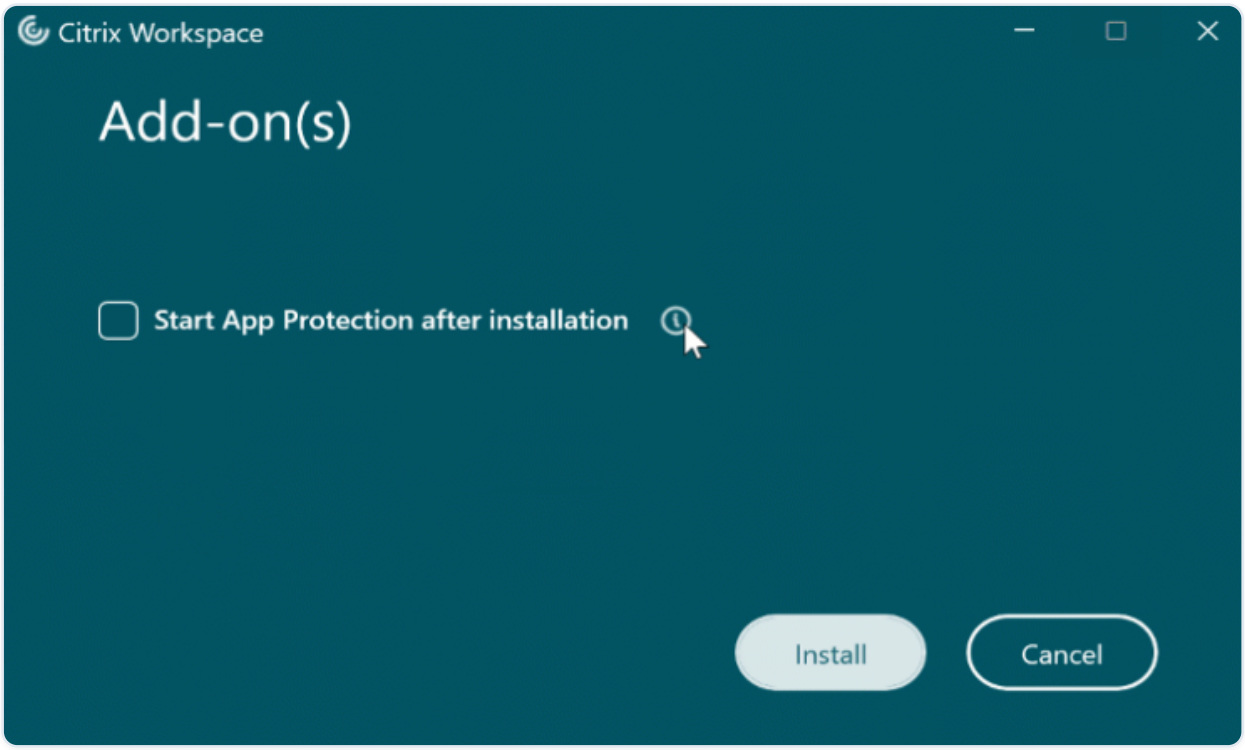
Windows向けCitrix Workspaceアプリ

Citrix Workspaceアプリバージョン2212以降、App Protectionはデフォルトでインストールされます。ただし、ユーザーが**インストール後にApp Protectionを開始する**チェックボックスを選択したかどうかに応じて、コンポーネントはアクティブ状態または休止状態になる場合があります。

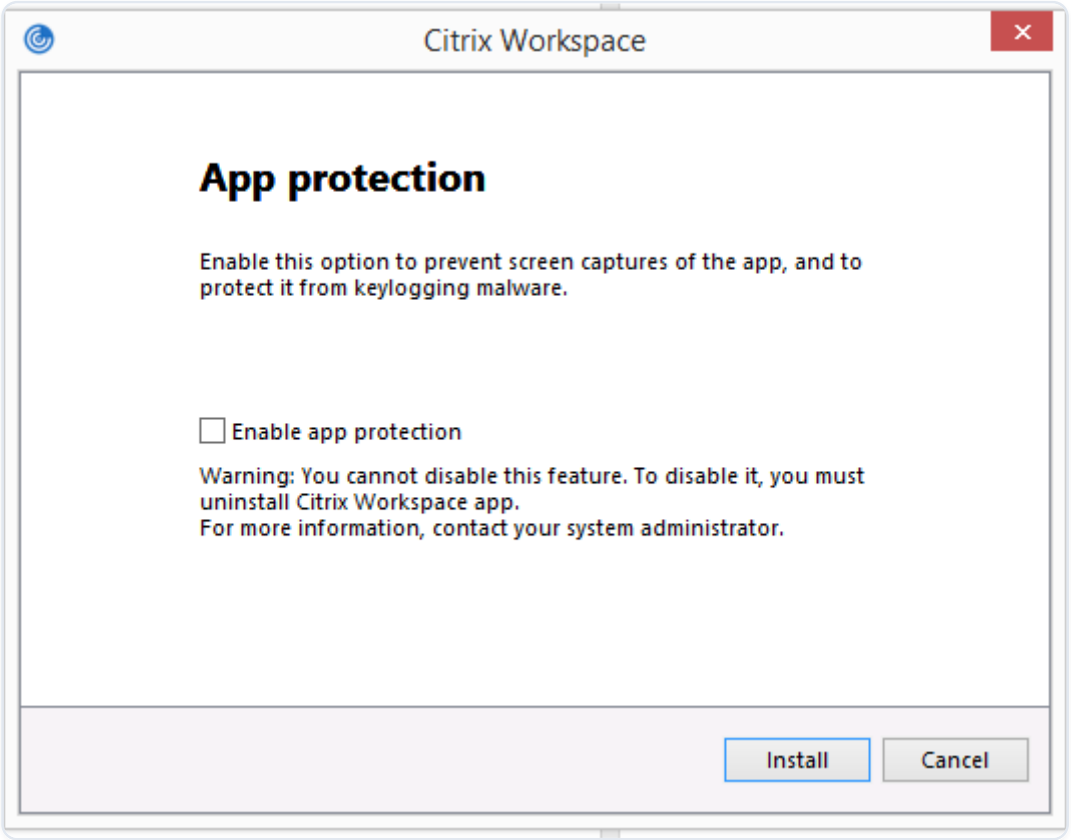
- Citrix Workspaceアプリバージョン2311より前の場合：



- Citrix Workspaceアプリバージョン2311以降の場合：



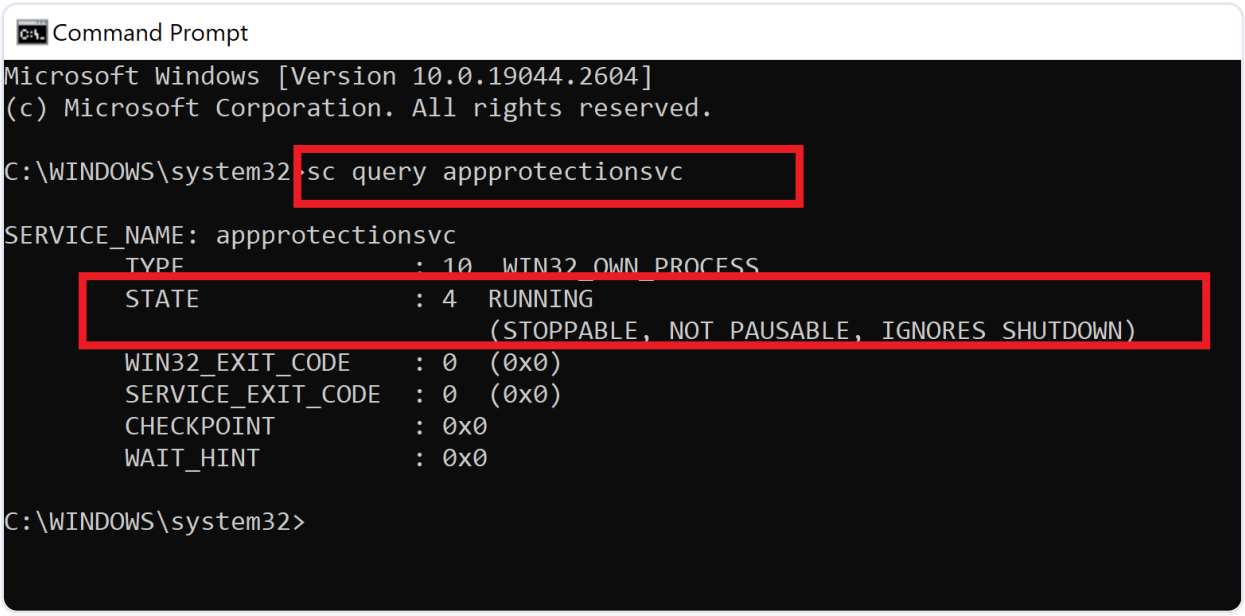
Citrix Workspaceアプリバージョン2212より前の場合、App Protectionは、Citrix Workspaceアプリのインストール時に**App Protectionを有効にする**チェックボックスを選択した場合にのみインストールされ、アクティブ状態になります。



アプリ保護は、**停止**状態または**実行中**状態のいずれかになります。 サービスのステータスを確認するには、次のいずれかの手順を実行します。

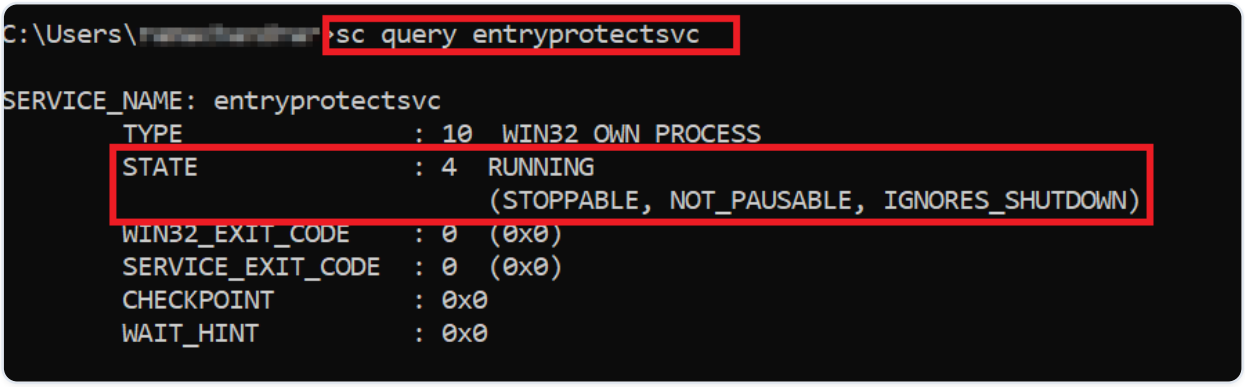
- Citrix Workspaceアプリバージョン2206以降の場合、次のコマンドを実行します。

```
sc query appprotectionsvc
```



- Citrix Workspaceアプリバージョン2206より前の場合、次のコマンドを実行します。

```
sc query entryprotectsvc
```



注：

Citrix Workspaceアプリバージョン2212より前では、Citrix Workspaceアプリのインストール時に**アプリ保護を有効にする**チェックボックスを選択せず、前述のコマンドを実行してステータスを確認した場合、次のエラーメッセージが表示されます。

```
C:\Windows\system32>sc query appprotectionsvc
[SC] EnumQueryServicesStatus:OpenService FAILED 1060:

The specified service does not exist as an installed service.
```

Windows向けCitrix Workspaceアプリ

1. ログ収集に記載されているようにログを収集します。
2. **Win + R**を押して「ファイル名を指定して実行」ボックスを開き、`cmd`と入力し、**Enter**キーを押します。
3. 次のコマンドを実行します。
   - Citrix Workspaceアプリ for Windowsバージョン2311より前を使用している場合は、次のコマンドを実行します。
     - `sc query appprotectionsvc`
     - `sc query entryprotectdrv`
     - `sc query epinject6`
     - `sc query epusbfilter`
   - Citrix Workspace app for Windows バージョン 2311 以降を使用している場合は、次のコマンドを実行します。
     - `sc query appprotectionsvc`
     - `sc query ctxapdriver`
     - `sc query ctxapinject`
     - `sc query ctxapusbfilter`

ログ収集ツールから収集したトレースとともに結果を提供してください。

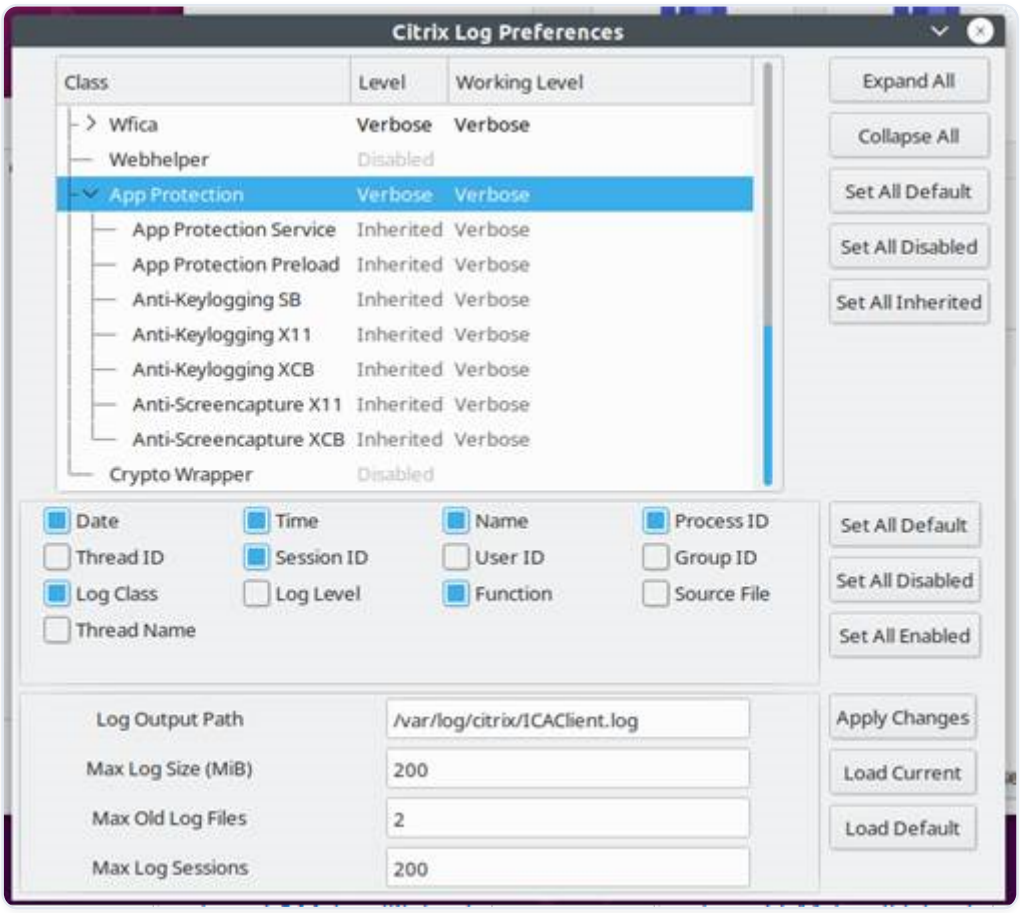
Mac版 Citrix Workspaceアプリ

ログ収集に記載されている方法でログを収集して提供してください。

Linux版 Citrix Workspaceアプリ

1. インストールの *util* フォルダーにある set log 実行可能ファイルを実行します。例: `/opt/Citrix/ICAClient/util/setlog`。

2. **Set All Disabled** をクリックします（この手順はオプションであり、必要なログのみが収集されるようにします）。
3. App Protection ロギングに移動します。
4. App Protection のログレベルを、右クリックして Verbose を選択することで Verbose に設定します（警告とエラーのみがログに記録されます）。
5. App Protection クラスを展開し、その子要素を右クリックします。**グループ > 継承**を選択します。
6. **wfica**のログを有効にします。**wfica**を右クリックし、**Verbose**を選択します。App Protection がインストールされていないか、**wfica**によって検出できない場合、ログは** < P3563 > citrix-wfica: App Protection is not installed**として表示されます。
7. セッションを起動すると、ログは設定されたログの*ログ出力パス*に記載されているファイルに記録されます。



一般的なトラブルシューティング

アプリ保護コンポーネントによる起動制限

Citrix Workspace™アプリ for Linuxでプリロードを使用する別のアプリケーションが実行されている場合、ユーザーは次のエラーに遭遇します。

起動できません(/en-us/citrix-workspace-app/media/unable-to-launch.png)

この問題を解決するには、次の手順に従ってください。

1. 次のコマンドを使用して、アプリ保護サービスが実行されていることを確認します。

   ```
   systemctl status AppProtectionService-install.service
   ```

2. マシンを再起動して、もう一度試してください。
3. 再起動後も問題が解決しない場合は、(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure/configure-allowlist-for-ld-preload.html#identify-the-process-preventing-protected-vda-launch)で提供されているスクリプトを使用して、問題の原因となっているプロセスを特定します。
4. 干渉しているプロセスを閉じて、再試行してください。
5. アプリケーションが不可欠な場合は、LD_PRELOAD許可リストの使用を検討してください。構成の詳細については、(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/configure/configure-allowlist-for-ld-preload.html)を参照してください。
6. 問題が解決しない場合は、関連するログを収集してサポートに連絡してください。詳細については、(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/troubleshoot/log-collection.html)を参照してください。

アプリ保護ポリシーで有効になっているリソースがネイティブアプリに表示されない

アプリ保護ポリシーで有効になっているリソースがネイティブアプリに表示されない場合は、次の手順を実行してください。

1. Citrix Workspaceアプリが以下のバージョンよりも古い場合は、より新しいバージョンに更新してください。
   - Windows向けCitrix Workspaceアプリ 2002
   - Citrix Workspace app 2305.1 Windows向け (ストア版)
   - シトリックス ワークスペース アプリ 2203.1 LTSR Windows版
   - シトリックス ワークスペース アプリ 2001 Mac版
   - Citrix Workspace アプリ 2108 Linux向け
   - Citrix Workspace アプリ 24.7.0 Android向け
   - iOS 向けの Citrix Workspace app バージョン 24.9.0
2. Windows 2K16やWindows 2K22などのWindowsマルチセッションオペレーティングシステムにCitrix Workspaceアプリをインストールしていないことを確認してください。

3. 上記の条件が満たされているにもかかわらずリソースが表示されない場合は、ログを収集し、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集について詳しくは、ログの収集を参照してください。

オンプレミスストアを使用しているときに、App Protectionポリシーが有効になっているリソースがブラウザに表示されない

オンプレミスストアを使用しているときに、App Protectionポリシーが有効になっているリソースがブラウザに表示されない場合は、次の手順を実行してください。

1. Delivery Controller™のバージョンが1912より前ではないことを確認してください。

> **注：**
>
> バージョン1912より前のDelivery Controllerを使用している場合、App Protectionはサポートされていません。

2. StoreFrontバージョン1912から2203を使用している場合は、StoreFrontのカスタマイズを有効にしているか確認してください。StoreFrontのカスタマイズを有効にする方法について詳しくは、StoreFrontのカスタマイズを有効にするを参照してください。
3. StoreFrontバージョン2308以降を使用している場合は、StoreFrontのカスタマイズを有効にする必要はありません。StoreFrontでのハイブリッド起動のためにApp Protectionを正しく有効にしているか、StoreFrontバージョン2308以降でのハイブリッド起動を使用して確認してください。
4. デリバリーグループのApp Protection機能が正しく有効になっているか確認します。
5. 前述の条件が満たされているにもかかわらずリソースが表示されない場合は、ログを収集してCitrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集について詳しくは、「Citrix Workspaceアプリのログを収集する」および「StoreFrontのログを収集する」を参照してください。

App Protectionが有効なリソースの起動時にセキュアな環境を確立できない

Windows向けCitrix Workspaceアプリの場合、App Protectionサービスが開始され、セキュアな環境が確立されるように、インストール中に**インストール後にApp Protectionを開始する**チェックボックスを有効にする必要があります。インストール中に**インストール後にApp Protectionを開始する**チェックボックスを有効にしなかった場合、App Protectionポリシーが有効なリソースを起動すると、App Protectionサービスが自動的に開始されます。システム負荷によっては、App Protectionの起動に時間がかかる場合があります。場合によっては、起動しないか、タイムアウト

になることがあります。そのため、インストール中に**インストール後にApp Protectionを開始する**チェックボックスを選択することをお勧めします。通常、App Protectionが有効なリソースを再起動すると、セキュアな接続が確立されるはずです。ただし、App Protectionが有効なリソースを起動できない場合は、次の手順を実行してください。

1. コマンドプロンプトを管理者として開き、次のコマンドを実行して、App Protectionサービスが実行されているかどうかを確認します。

   ```
   sc query AppProtectionSvc
   ```

2. App Protectionサービスが実行されていない場合は、次のコマンドを実行してサービスを開始します。

   ```
   sc start AppProtectionSvc
   ```

3. エラーが引き続き発生する場合は、ログを収集してCitrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集について詳しくは、「ログの収集」を参照してください。

App Protectionを有効または無効にできない

Web StudioまたはPowerShellを使用して、オンプレミスまたはクラウドのデリバリーグループでApp Protectionを有効または無効にできない場合は、次の手順を実行してください。

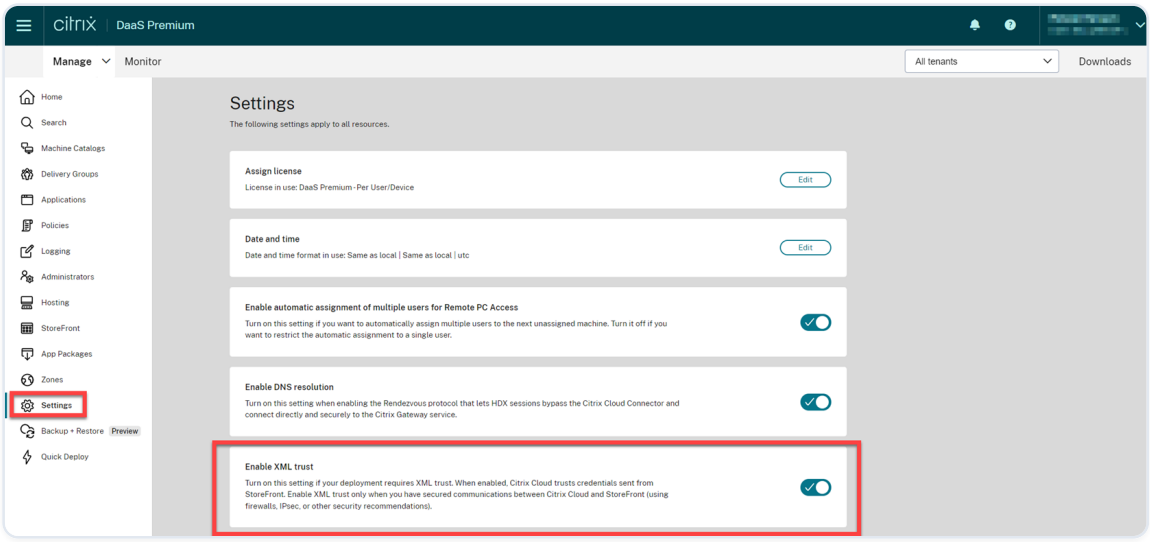
1. 必要なライセンスがあるか確認します。必要なライセンスがない場合、App Protectionを有効にすることはできません。
2. 必要なライセンスがない場合は、必要なライセンスを取得して追加します。
3. ライセンスを追加したら、ライセンスサーバーを再起動し、App Protectionを再度有効にしてみてください。
4. 有効なライセンスがあるにもかかわらずApp Protectionを有効または無効にできない場合は、次のコマンドを実行して`TrustRequestsSentToTheXmlServicePort`が有効になっているか確認します。

   ```
   Get-BrokerSite | Select-Object TrustRequestsSentToTheXmlServicePort
   ```

5. `TrustRequestsSentToTheXmlServicePort`が有効になっていない場合は、次のいずれかの方法でXML信頼を有効にします。

   - **Web Studioを使用する：**

a. Citrix DaaS™アカウントにサインインし、**管理** > **設定** > **XML信頼を有効にする**に移動します。



b. **XML信頼を有効にする**トグルをオンにします。

- **PowerShellを使用する:** XML信頼を有効にするには、次のコマンドを実行します。

```
Set-BrokerSite -TrustRequestsSentToTheXmlServicePort $true
```

6. `TrustRequestsSentToTheXmlServicePort`を有効にした後、App Protectionを再度有効にします。
7. 前述の条件が満たされているにもかかわらず、App Protectionを有効または無効にできない場合は、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。

App Protectionポリシーが正しく適用されない

1. 次の条件が満たされていることを確認してください。
   - サポートされているバージョンのCitrix Workspaceアプリを使用していること。
   - デリバリーグループに適切な機能が有効になっていること。
   - その機能がエンドポイントにインストールされていること。
   - Citrix Workspaceアプリが`/includeappprotection`スイッチを有効にしてインストールされていること。
2. 前述の条件が満たされているにもかかわらず、App Protectionポリシーが正しく適用されない場合は、ログを収集し、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集について詳しくは、「Citrix Workspaceアプリのログを収集する」を参照してください。

Citrix以外のウィンドウでスクリーンショットが機能しない:

- 保護されたCitrixウィンドウ（Citrix Workspaceアプリを含む）を最小化または閉じます。

LinuxにApp Protection付きのCitrix Workspaceアプリがインストールされている場合、OSを起動できません

1. Citrix Workspaceアプリのバージョン2204より前のものを使用している場合、App Protection機能は`glibc` 2.34以降を使用するオペレーティングシステムをサポートしていません。
2. インストールした場合、システムの再起動時にOSの起動が失敗する可能性があります。OSの起動失敗から回復するには、次のいずれかを実行してください。
    - OSを再インストールします。
    - OSのリカバリモードに入り、ターミナルを使用してCitrix Workspaceアプリをアンインストールします。
    - ライブOSから起動し、既存のOSから`rm -rf /etc/ld.so.preload`ファイルを削除します。

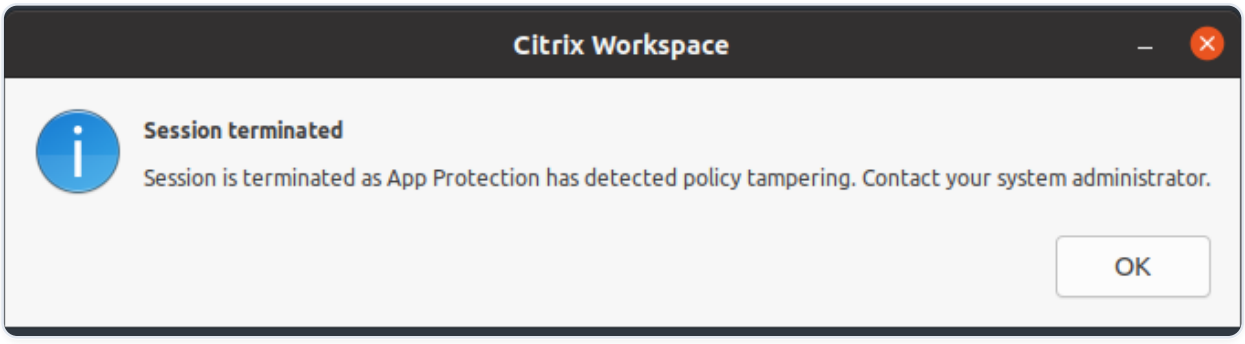
ポリシー改ざん検出のトラブルシューティング

以下のセクションでは、発生する可能性のあるいくつかの問題と、そのトラブルシューティング方法について説明します。

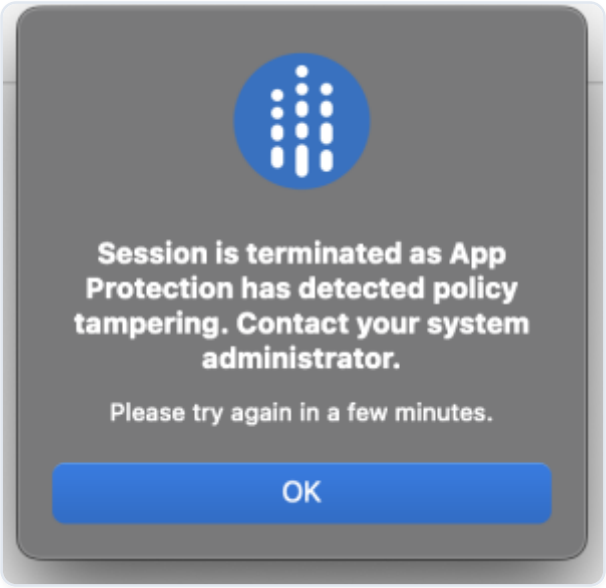
ICA®ファイルが改ざんされているにもかかわらずセッションが実行されている

App Protectionポリシー改ざん検出機能が有効になっている仮想アプリまたはデスクトップセッションのICAファイルが改ざんされた場合、セッションは終了し、以下のいずれかのエラーメッセージが表示されるはずです。

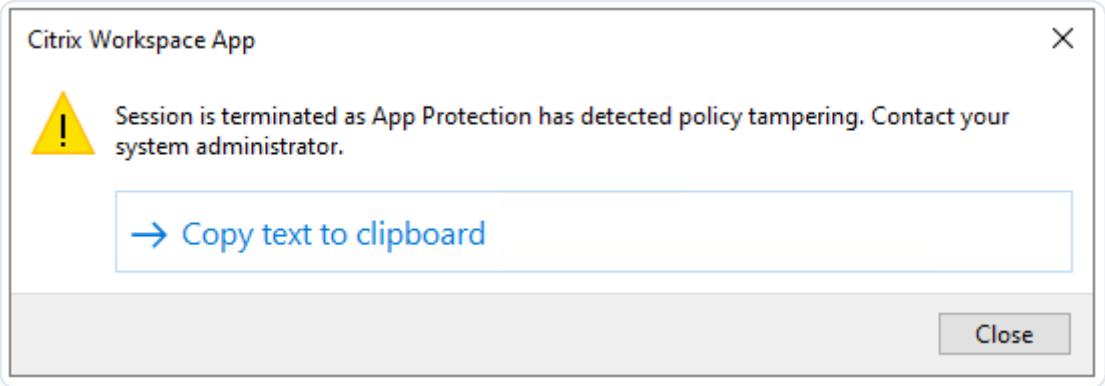
- Linux向けCitrix Workspaceアプリ



- Mac向けCitrix Workspaceアプリ



- Windows向けCitrix Workspaceアプリ



ただし、ICAファイルが改ざんされており、ポリシー改ざん検出が有効になっているにもかかわらずセッションが実行されている場合は、以下の手順を実行してください。

1. Virtual Delivery Agentで、以下を実行します。

   a. 次のコマンドを実行し、`ctxappprotectionsv`サービスが実行されているかどうかを確認します。

      `sc query ctxappprotectionsvc`

   b. `ctxappprotectionsvc`サービスが実行されていない場合、サービスを開始するには、以下の手順を実行します。

      i. `ctxappprotectionsvc` サービスのスタートアップの種類を自動に変更するには、次のコマンドを実行します。

         `sc config ctxappprotectionsvc start=auto`

      ii. 次のコマンドを実行してサービスを開始します。

```
sc start ctxappprotectionsvc
```

2. クライアントで、次の操作を行います。

   a. *vdappp.dll* ファイルがCitrix Workspaceアプリのインストール場所に存在するかどうかを確認します。Citrix Workspaceアプリのデフォルトのインストール場所は次のとおりです。

      - ウィンドウズ - C:\Program Files (x86)\Citrix\ICA Client
      - リナックス - /opt/Citrix/ICAClient
      - Mac - 該当なし

   b. Windows向けCitrix Workspaceアプリの場合、*procexp.exe* を使用して、*vdappp.dll* ファイルが *wfica32.exe* にロードされているかどうかを確認します。

   c. Linux向けCitrix Workspaceアプリの場合、*vdappp.dll* ファイルが *wfica.exe* にロードされているかどうかを確認します。

3. セッションがまだ実行中の場合は、ログを収集してCitrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集の詳細については、「ログの収集」を参照してください。

Virtual Delivery Agentの再起動後にポリシー改ざん検出が機能しなくなる

Virtual Delivery Agentを再起動した後にポリシー改ざん検出機能が動作しなくなった場合、再起動後にApp Protectionサービスが実行されていないことが原因である可能性があります。Virtual Delivery Agentで次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを実行し、`ctxappprotectionsvc` サービスが実行中で **自動** に設定されていることを確認します。

   ```
   sc query ctxappprotectionsvc
   ```

2. `ctxappprotectionsvc` サービスが実行されていない場合は、サービスを開始するために次の手順を実行します。

   a. 次のコマンドを実行して、`ctxappprotectionsvc` サービスのスタートアップの種類を**自動**に変更します。

      ```
      sc config ctxappprotectionsvc start=auto
      ```

   b. 次のコマンドを実行してサービスを開始します。

      ```
      sc start ctxappprotectionsvc
      ```

3. ポリシー改ざん検出機能がまだ動作しない場合は、ログを収集し、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集の詳細については、ログの収集を参照してください。

アプリ保護ポスチャチェックのトラブルシューティング

以下のセクションでは、発生する可能性のあるいくつかの問題と、そのトラブルシューティング方法について説明します。

エラーメッセージなしでセッションが終了しました

仮想アプリまたはデスクトップセッションが突然終了し、エラーメッセージが表示されない場合は、以下の手順を実行してください。

1. Citrix Workspaceアプリのバージョンが以下のいずれかのバージョンより古いかどうかを確認してください。

    - Windows向けCitrix Workspaceアプリ 2309
    - Mac向けCitrix Workspaceアプリ 2308
    - Linux向けCitrix Workspaceアプリ 2308

    > **注：**
    >
    > Citrix Workspaceアプリのバージョンが手順1に記載されているバージョンより古く、App Protectionポスチャチェック機能が有効になっている場合、仮想アプリまたはデスクトップセッションはエラーメッセージを表示せずに終了します。ただし、Citrix Workspaceアプリのバージョンが手順1に記載されているバージョン以上で、App Protectionポスチャチェック機能が有効になっている場合、仮想アプリまたはデスクトップセッションはエラーメッセージを表示して終了します。

2. App Protectionポスチャチェック機能が有効になっているかどうかを確認してください。
3. Citrix Workspaceアプリのバージョンが上記のバージョン以上で、ポスチャチェック機能もアクティブな場合は、ログを収集し、Citrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集に関する詳細については、ログ収集を参照してください。

App Protectionポスチャチェックが有効になっているが、古いバージョンではセッションが終了しない

通常、App Protectionポスチャチェック機能が有効になっていて、古いバージョンのCitrix Workspaceアプリを介して接続している場合、セッションは終了する必要があります。

しかし、セッションが終了しない場合は、以下の手順を実行してください。

1. Virtual Delivery Agentで、以下を実行します。

a. 次のコマンドを実行し、`ctxappprotectionsvc`サービスが実行されているか確認します。

```
sc query ctxappprotectionsvc
```

b. `ctxappprotectionsvc`サービスが実行されていない場合は、次の手順を実行してサービスを開始します。

i. 次のコマンドを実行して、`ctxappprotectionsvc service`のスタートアップの種類を**自動**に変更します。

```
sc config ctxappprotectionsvc start=auto
```

ii. 次のコマンドを実行してサービスを開始します。

```
sc start ctxappprotectionsvc
```

2. 入力したポスチャチェック値に、次のいずれかのプレフィックスがあることを確認します。
   - Windows向けCitrix Workspaceアプリの場合、`windows-`
   - Linux向けCitrix Workspaceアプリの場合、`linux-`
   - Mac向けCitrix Workspaceアプリの場合、`mac-`
3. ポスチャチェック値が、関連するプラットフォームに従って正しく追加されていることを確認します。これらはプラットフォーム固有です。
4. `reg`の場所（`Computer\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Citrix\AppProtectionPolicies`）を確認し、ポスチャチェックがVirtual Delivery Agentと同期されていることを確認します。
5. 上記のすべての条件が満たされていても、古いバージョンのCitrix Workspaceアプリでセッションがまだ接続されている場合は、ログを収集してCitrixテクニカルサポートにお問い合わせください。ログの収集について詳しくは、「ログの収集」を参照してください。

App Protection Posture Check があるプラットフォームでは機能するが、別のプラットフォームでは機能しない

App Protection Posture Check 機能は、あるプラットフォームでは機能するが、別のプラットフォームでは機能しない場合があります。たとえば、App Protection Posture Check 機能は Citrix Workspace アプリ for Windows では機能するが、Citrix Workspace アプリ for Linux では機能しない、といったケースです。

このようなシナリオでは、次の手順を実行します。

1. 入力したポスチャチェック値に、次のいずれかのプレフィックスがあるか確認します。
   - Citrix Workspace アプリ for Windows の場合、`windows-`
   - Citrix Workspace アプリ for Linux の場合、`linux-`
   - Citrix Workspace アプリ for Mac の場合、`mac-`
2. ポスチャチェック値が、関連するプラットフォームに応じて正しく追加されているか確認します。これらはプラットフォーム固有です。
3. Virtual Delivery Agent 上の `reg` の場所 (`Computer\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Citrix\AppProtectionPolicies`) を確認し、ポスチャチェックが Virtual Delivery Agent と同期されているか検証します。これらは Studio で構成されたものと一致している必要があります。
4. 上記のすべての条件が満たされ、Citrix Workspace アプリの古いバージョンでセッションがまだ接続されている場合は、ログを収集して Citrix テクニカルサポートに連絡してください。ログの収集の詳細については、「ログの収集」を参照してください。

ログの収集

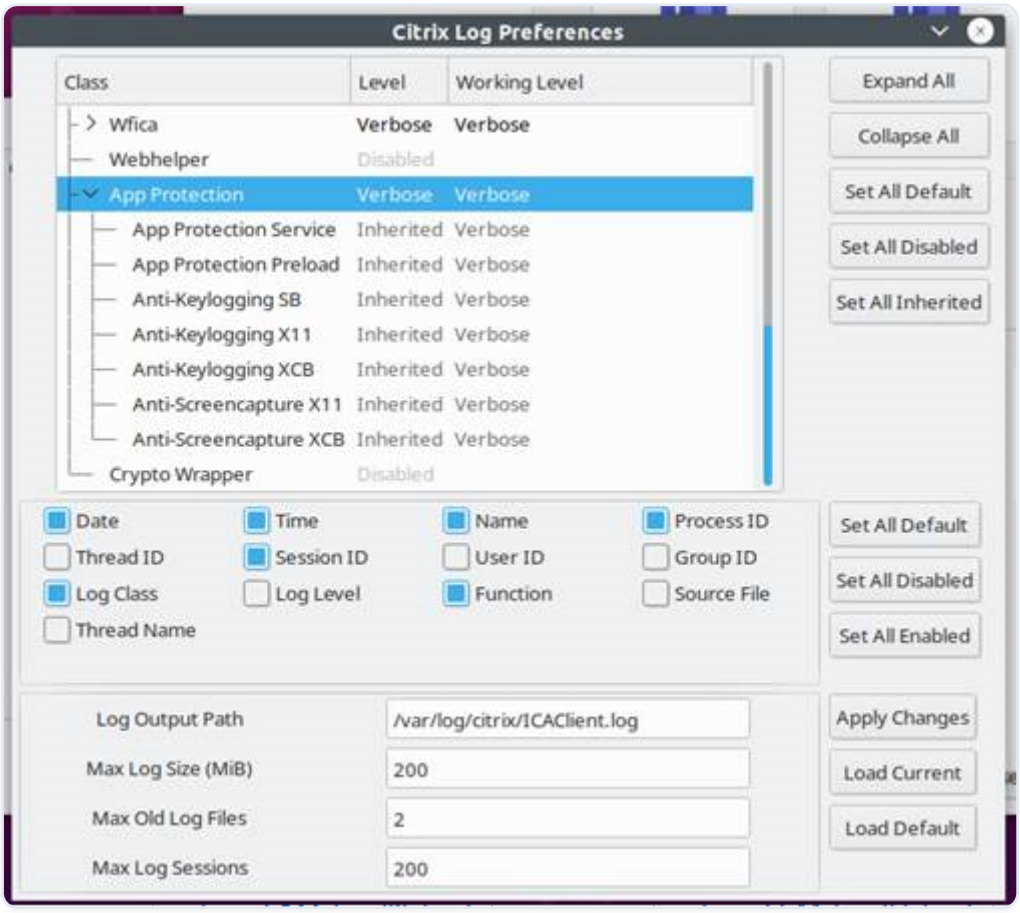
- Windows向けCitrix Workspaceアプリのログを収集するには、「Windows向けログの収集」を参照してください。
- Mac向けCitrix Workspaceアプリのログを収集するには、「Mac向けログの収集」を参照してください。
- Android向けCitrix Workspaceアプリのログを収集するには、「ログの収集方法」を参照してください。
- Linux向けCitrix Workspaceアプリのログを収集するには、次の手順を実行します。
  a. インストールの*util*ディレクトリにあるログ設定実行可能ファイルを実行します。例：*/opt/Citrix/ICAClient/util/setlog*。
  b. (オプション) **［すべて無効にする］** をクリックし、必要なログのみが収集されていることを確認します。
  c. アプリ保護のログ記録に移動します。
  d. アプリ保護のログレベルを右クリックして **［詳細］** を選択し、詳細に設定します（警告とエラーのみがログに記録されます）。
  e. アプリ保護クラスを展開し、その子要素を右クリックします。**［グループ］** > **［継承］** を選択します。

f. Linuxログユーティリティ（*インストールディレクトリ*から*util/setlog*を起動）を使用して、仮想チャネルのログレベルを詳細に変更します。

g. **wfica**のログを有効にします。**wfica**を右クリックして **［詳細］** を選択します。アプリ保護がインストールされていないか、**wfica**で検出できない場合、ログは **< P3563 > citrix-wfica: App Protection is not installed** となります。

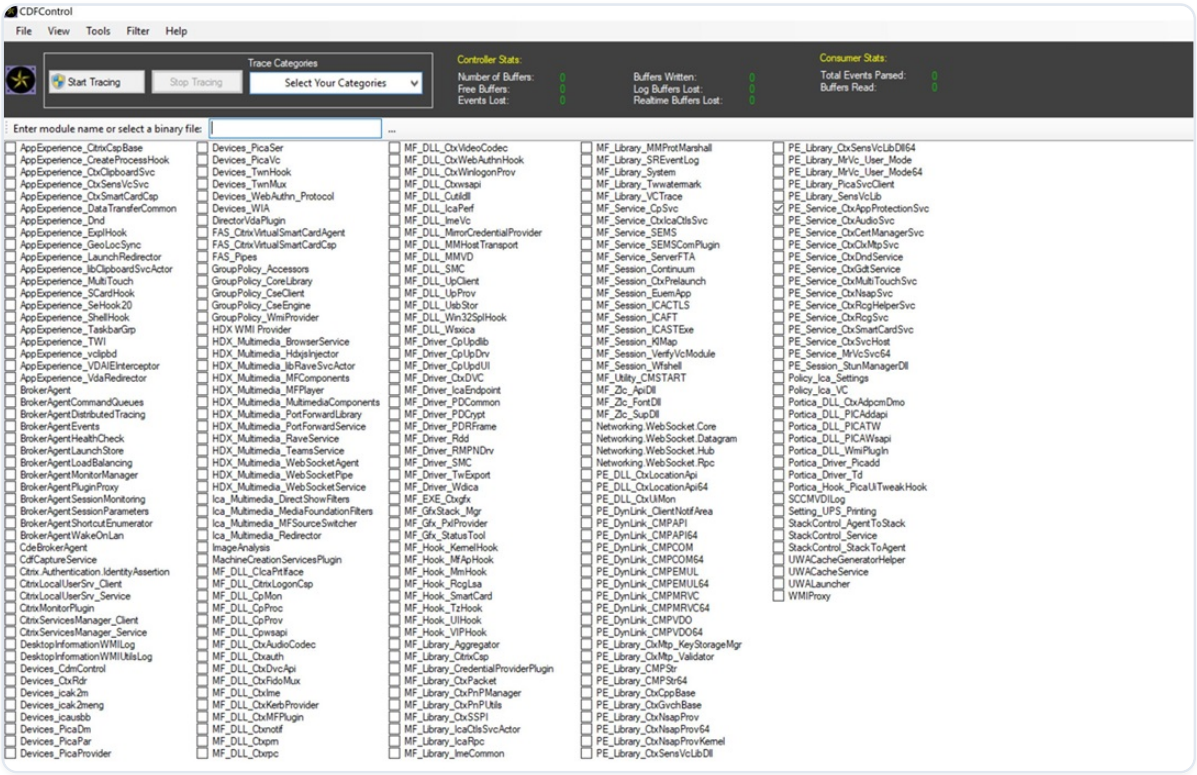
h. **wfica**をクリックし、**winstation driver**のログレベルを **［詳細］** に変更します。

i. セッションを起動すると、ログはログ設定のログ出力パスに記載されているファイルに記録されます。



- Virtual Delivery Agent のログを収集するには、次の手順を実行します。

a. CDF コントロールを介して App Protection サービスからトレースを取得するには、すべてのモジュールを選択します。



b. 場合によっては、別のマシンから cdf トレースをキャプチャする必要があるかもしれません。cdf トレースを収集するには、CTX237216 を参照してください。

Windowsでの高度なトラブルシューティング

以下のガイドでは、問題固有のログを収集するための体系的なアプローチを提供し、エンドユーザーと問題のトリアージを担当するエンジニア間のコミュニケーションを削減します。

App Protectionを有効にしてCWAをインストールした後、アプリケーションが応答しなくなる

1. ログ収集セクションに記載されているCitrix Workspaceアプリのログを収集します。
2. システム詳細セクションに記載されている**システム詳細**を収集します。
3. 問題環境セクションに記載されている**問題環境**を収集します。
4. 環境詳細セクションに記載されている**環境詳細**を収集します。
5. その他の詳細セクションに記載されている**その他の詳細**を収集します。
6. プロセスハングなどのパフォーマンス問題の場合、関連するプロセスの完全なメモリダンプを次の方法でキャプチャします。

   - `procdump -ma 1234 C:\dumps\myprocess.dmp`
   - `1234`は、関連するアプリのプロセスIDです。
   - `C:\dumps\myprocess.dmp`は、ダンプファイルへのパスです。

7. 収集したすべてのログをzipファイルに保存し、Citrixサポートケースにアップロードします。

App Protectionを有効にしてCWAをインストールした後、アプリケーションがクラッシュする

1. ログ収集セクションに記載されているCitrix Workspaceアプリのログを収集します。
2. 「System details」セクションに記載されているように、**システム詳細**を収集します。
3. 「Issue Environment」セクションに記載されているように、**問題環境**を収集します。
4. 「Environment Details」セクションに記載されているように、**環境詳細**を収集します。
5. 「Other details」セクションに記載されているように、**その他の詳細**を収集します。
6. クラッシュするアプリケーションの完全なメモリダンプをキャプチャするようにWindowsを構成します。詳細については、MSDNの「Collecting User-Mode Dumps」を参照してください。
7. 収集したすべてのログをzipファイルに保存し、Citrixサポートケースにアップロードします。

AppProtectionをインストールしたCWAでシステムがBSODに遭遇する

1. 「log collection」セクションに記載されているように、Citrix Workspaceアプリのログを収集します。
2. 「System details」セクションに記載されているように、**システム詳細**を収集します。
3. 「Issue Environment」セクションに記載されているように、**問題環境**を収集します。
4. 「Environment Details」セクションに記載されているように、**環境詳細**を収集します。
5. 「Other details」セクションに記載されているように、**その他の詳細**を収集します。
6. BSODページに表示される**停止エラーコード**をメモします。
7. BSODの完全なメモリダンプを収集するようにWindowsを構成します。ガイダンスについては、リンク「Generate a Kernel or Complete Crash Dump」を参照してください。
8. 収集したすべてのログをzipファイルに保存し、Citrixサポートケースにアップロードします。

App Protection を使用して CWA をインストールした後、アプリケーションが期待どおりに動作しない

アプリケーションの動作が遅い、グラフィックが破損している、キーボードに問題があるなど、予期しない動作を示す場合は、次の手順に従ってください。

1. ログ収集セクションに記載されているCitrix Workspaceアプリのログを収集します。
2. システム詳細セクションに記載されている**システム詳細**を収集します。
3. 問題環境セクションに記載されている**問題環境**を収集します。

4. 環境詳細セクションに記載されている**環境詳細**を収集します。
5. その他の詳細セクションに記載されている**その他の詳細**を収集します。
6. 収集したすべてのログをzipファイルに保存し、Citrixサポートケースにアップロードしてください。

システム詳細

1. 高度なシステム詳細を取得するには、次のコマンドを実行し、結果の.nfoファイルを提供してください。
   - msinfo32 /nfo `C:\path\to\output\systeminfo.nfo` を実行します。
   - Citrixと共有する`.nfo`ファイルを保存します
2. 次のPowerShellコマンドを使用して、インストールされているアプリケーションを一覧表示し、出力をファイルに保存します。

   `Get-WmiObject -Query "SELECT * FROM Win32_Product" | Select-Object -Property Name, Version | Out-File -FilePath "C:\path\to\your\installed_apps.txt"`
3. Citrixと共有する`installed_apps.txt`ファイルを保存します。

問題の環境

1. **アップグレードの詳細**: 最近のOS、CWA、またはソフトウェアのアップグレードに関する情報を含め、以前のパッチまたはバージョンと更新されたパッチまたはバージョンの詳細を指定してください。
2. **アップグレード方法**: アップグレードが手動か自動更新によるものかを示してください。
3. **システム再起動**: インストール後にシステムが再起動されたかどうかを確認してください。
4. **ソフトウェア固有の問題**: 問題が特定のソフトウェアに関連する場合は、包括的な詳細を提供してください。
5. **構成設定**: GACS、MDM、SPA、GPIO、Director-Monitor、またはApp Protectionなどの関連する構成を含めてください。
6. **再現手順**: 問題を再現するための詳細な手順を提供してください。
7. **問題の発生頻度**: 問題がどのくらいの頻度で発生するかを指定してください（例：常に、1回、1/10、5/10）。

環境の詳細

1. **セットアップの種類**: 環境がオンプレミス、クラウド、またはハイブリッドのいずれであるかを指定してください。

2. **ゲートウェイの詳細**: 使用中のゲートウェイに関する情報を提供してください。
3. **CVADバージョン**: Citrix Virtual Apps and Desktopsのバージョンを記載してください。
4. **ブローカーバージョン**: 使用中のブローカーバージョンを記載してください。
5. **StoreFront/WSPバージョン**: StoreFrontまたはWorkspace Services Platformのバージョン詳細を含めてください。
6. **アンチウイルスおよびアンチマルウェア**: インストールされているセキュリティソフトウェアとバージョン情報をリストアップしてください。
7. **仮想化ソフトウェア**: 使用中の仮想化ソフトウェアを記載してください。
8. **ビデオ録画**: より良い分析のために、問題の録画を提供してください。

その他の詳細

1. **テストセットアップと資格情報**: 正確な問題の再現とテストのために、資格情報を含むテスト環境へのアクセスを提供してください。
2. **デバッグのための顧客連絡先**: トラブルシューティングを支援するために、知識豊富な顧客担当者の連絡先を共有してください。
3. **互換性とベンダーとの連携**: 連携を促進するために、他のベンダーとの互換性問題に関するサポートチケットを共有してください。
4. **影響を受けるデバイス**: 解決のためのリソースを優先順位付けし、割り当てるために、影響を受けるデバイスの数を報告してください。

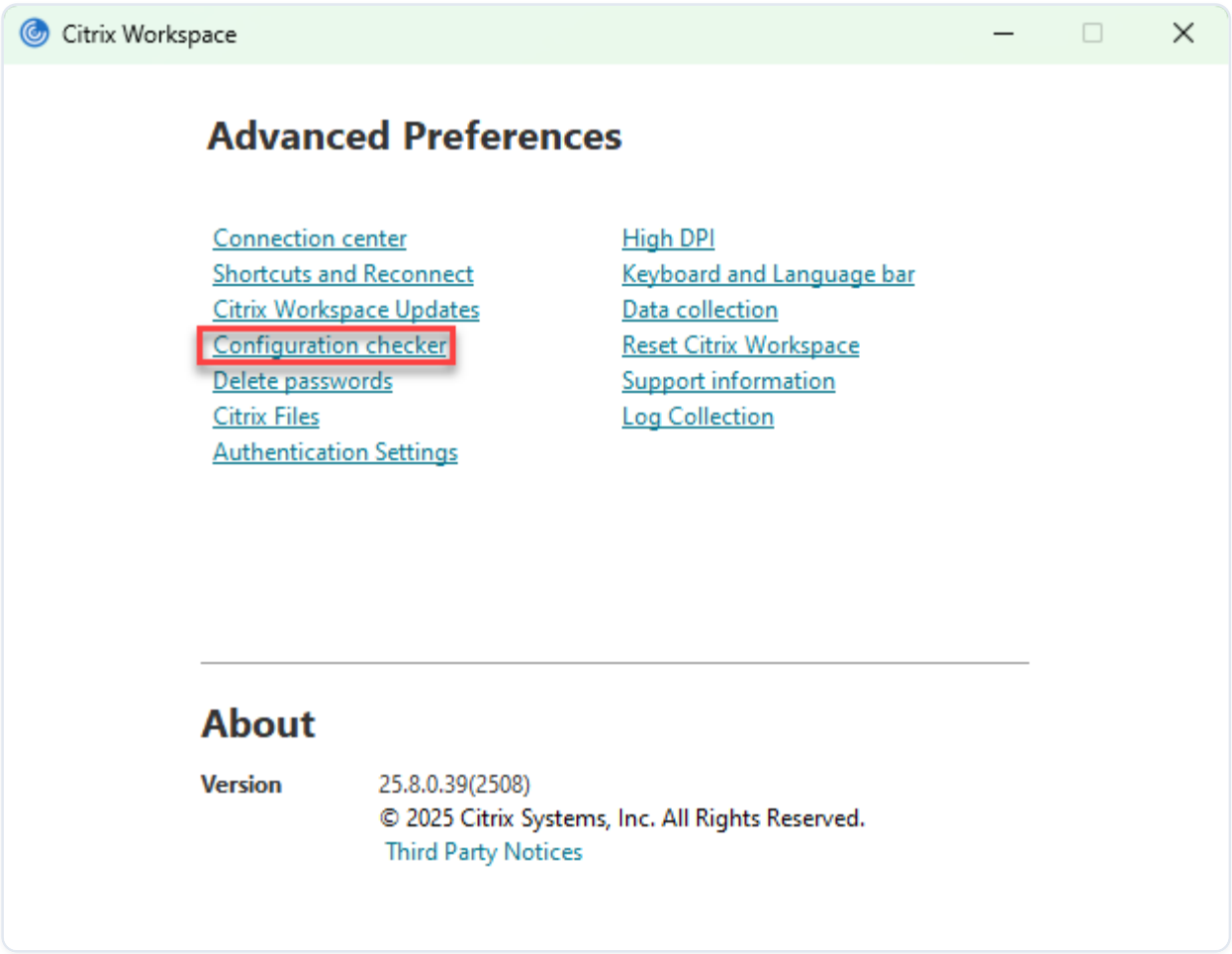
App Protection ヘルスチェッカー

「**App Protection ヘルスチェッカー**」は、Citrix Workspaceアプリ (CWA) の詳細設定の一部です。構成チェッカー内にあります。このツールは、ローカルCWAクライアントからAppProtection環境の健全性とセットアップを確認するのに役立ちます。これを使用して、問題を早期に発見し、スムーズなエクスペリエンスを維持できます。

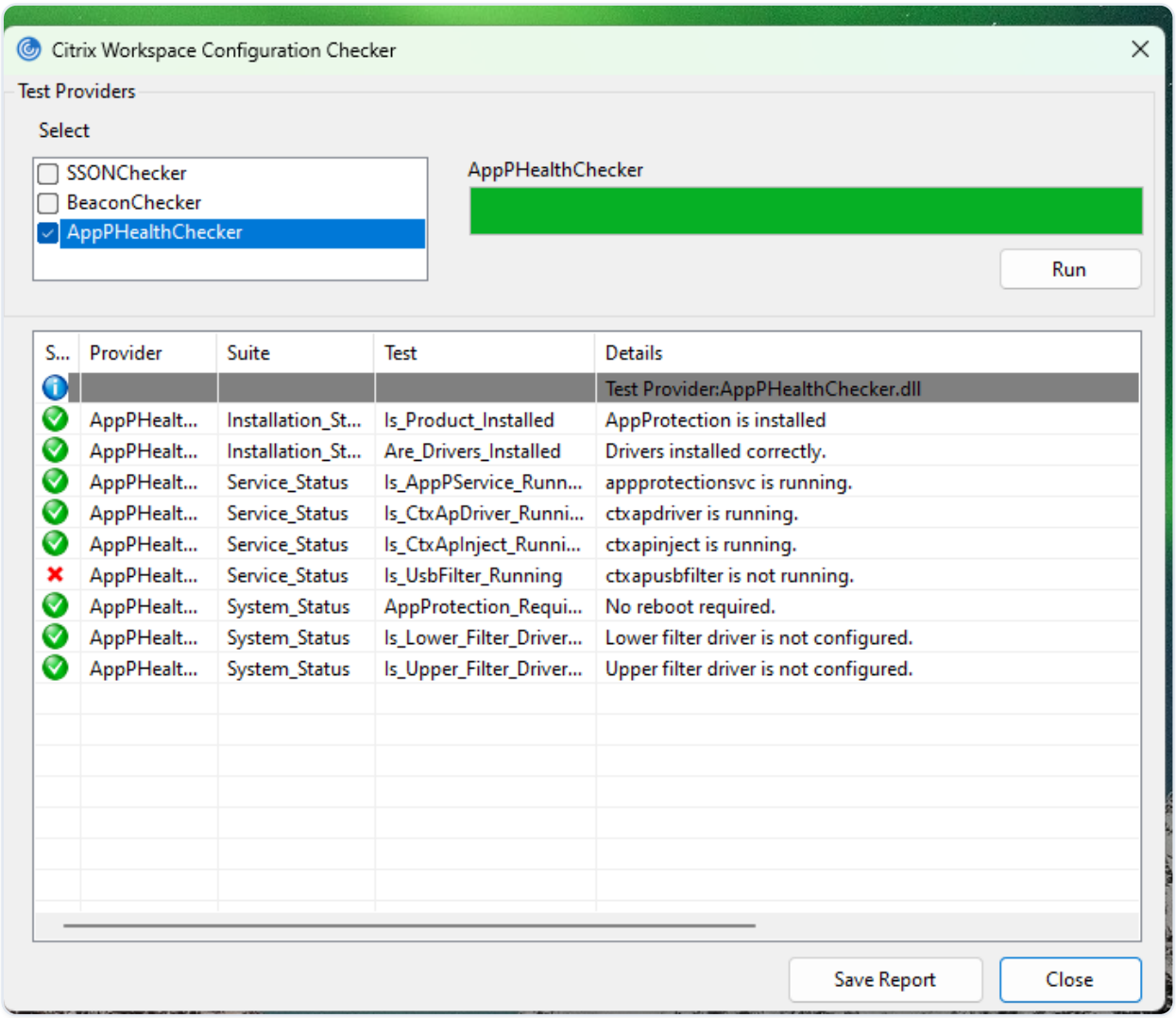
App Protection ヘルスチェッカーへのアクセス方法

以下の手順に従って、CWAの詳細設定からこの機能にアクセスできます。

1. Citrix Workspaceアプリを開きます。
2. **詳細設定**に移動します。
3. **構成チェッカー**セクションを選択します。



4. App Protection ヘルスチェッカーはこのセクション内で利用できます。



App Protection ヘルスチェッカーの使用

App Protection ヘルスチェッカーは、システムのAppProtection構成と動作状況に関する診断チェックを実行します。このツールは、環境の健全性に関する洞察を提供します。潜在的な構成の不一致や運用上の問題を特定するのに役立ちます。

> **注:**
>
> このツールは問題を自動的に修復しません。ただし、その出力はトラブルシューティングのための診断情報を提供します。この診断情報を使用することで、アプリケーションのパフォーマンスと信頼性が向上します。

Workspace 向けコンテキスト App Protection

コンテキスト App Protectionは、ユーザー、そのデバイス、およびネットワークの状況に基づいて、App Protectionポリシーをユーザーのサブセットに条件付きで適用するためのきめ細かな柔軟性を提供します。

コンテキスト App Protectionの実装

Broker Accessポリシー規則で定義された接続フィルターを使用して、コンテキスト App Protectionを実装できます。Broker Accessポリシーは、ユーザーのデリバリーグループへのアクセスを制御する規則を定義します。ポリシーは一連の規則で構成されます。各規則は単一のデリバリーグループに関連付けられ、接続フィルターとアクセス権制御のセットを持ちます。

ユーザーは、接続の詳細がBroker Accessポリシーの1つ以上の規則の接続フィルターと一致する場合に、デリバリーグループへのアクセス権を取得します。ユーザーは、デフォルトではサイト内のどのデリバリーグループにもアクセスできません。要件に基づいて、さらにBroker Accessポリシーを作成できます。複数の規則を同じデリバリーグループに適用できます。詳細については、New-BrokerAccessPolicyRuleを参照してください。

Broker Accessポリシー規則の以下のパラメーターは、ユーザーの接続がアクセスポリシー規則で定義された接続フィルターと一致する場合に、App Protectionをコンテキストに応じて有効にする柔軟性を提供します。

- `AppProtectionKeyLoggingRequired`
- `AppProtectionScreenCaptureRequired`

Broker Accessポリシー規則で参照されているSmart Accessポリシーを使用して、接続フィルターをさらに絞り込みます。この記事で説明されているシナリオを参照して、Smart Accessポリシーを使用してコンテキスト App Protectionを設定する方法を理解してください。

コンテキスト App Protectionのシナリオ

コンテキスト App Protectionを有効にする方法に関するいくつかのシナリオを以下に示します。

- Access Gateway経由でアクセスする外部ユーザー向けApp Protectionを有効にする
- 信頼されていないデバイス向けApp Protectionを有効にする
- デバイスポスチャの結果に基づいてApp Protectionを有効にする
- 特定のユーザーグループ向けApp Protectionを有効にする

前提条件

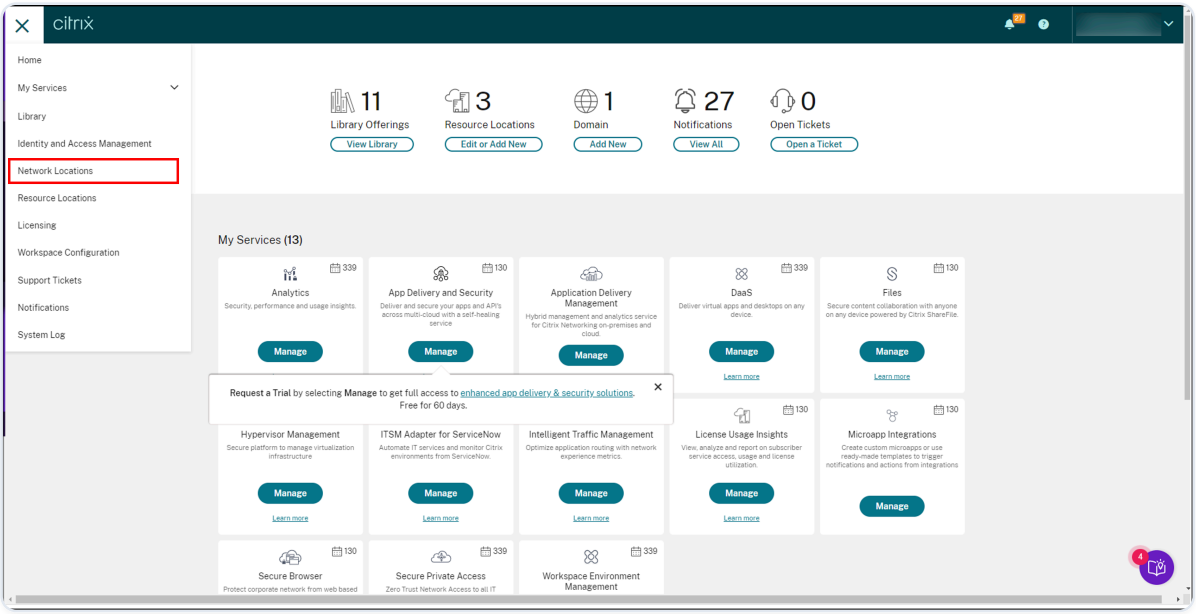
以下があることを確認してください。

- ユーザーのネットワークロケーションに基づくシナリオの場合、ネットワークロケーションサービス (NLS)
- ライセンス要件 -
  - DaaS 用のアプリ保護
  - Smart Access ポリシーを使用するシナリオの場合のAdaptive Authenticationエンタイトルメント。

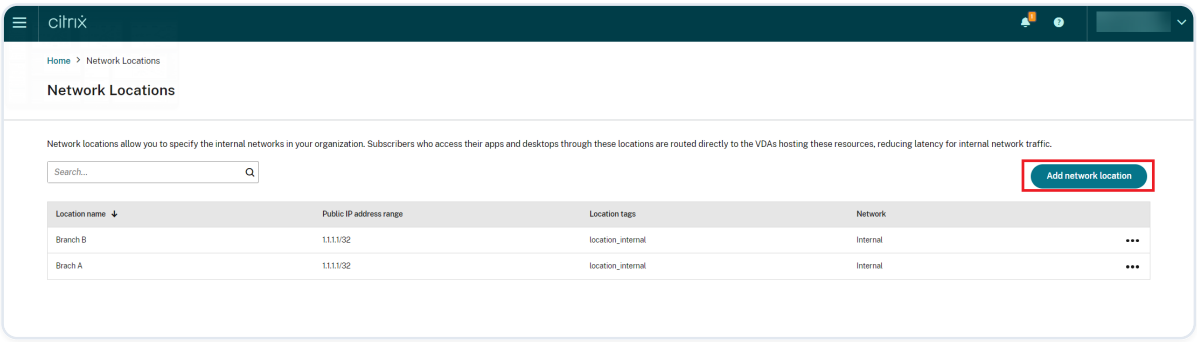
シナリオ 1

このシナリオでは、Access Gateway を介してアクセスする外部ユーザーに対して App Protection を有効にする方法について説明します。

1. アダプティブ認証を構成する。
2. ネットワークの場所に基づいてアダプティブアクセスを構成します。
   a. Citrix Cloud にサインインし、**ネットワークの場所**に移動します。



   b. **ネットワークの場所を追加**をクリックします。



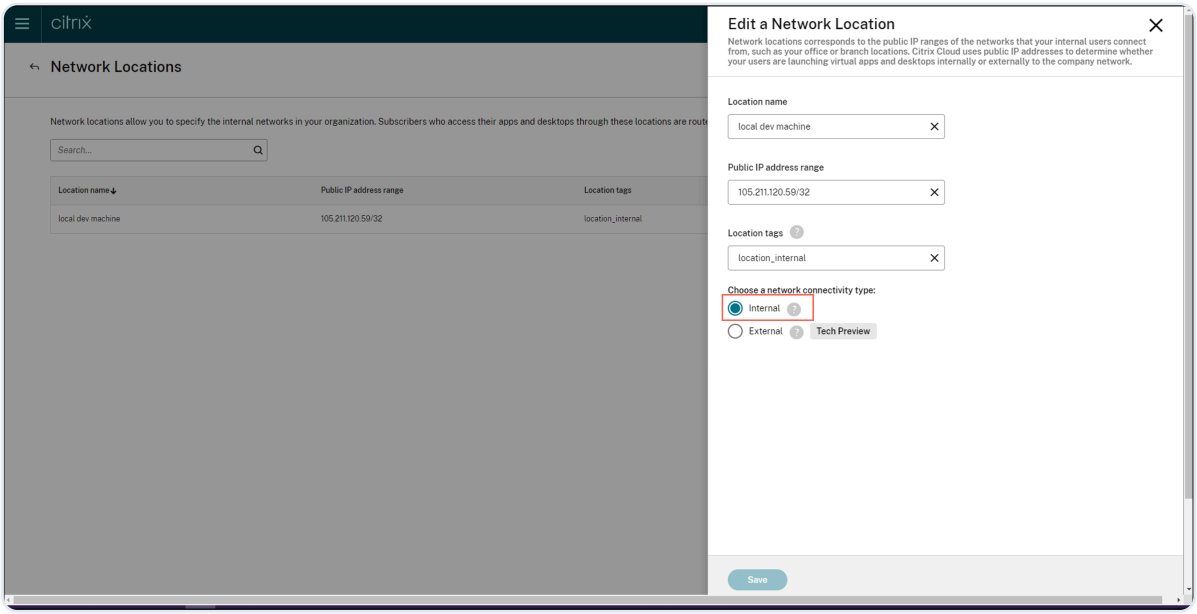
ネットワークの場所を追加画面が表示されます。

c. **場所の名前**フィールドに、関連する場所の名前を入力します。

d. **パブリック IP アドレス範囲**フィールドに、内部ネットワークと見なしたいネットワーク IP アドレスまたはサブネットを入力します。

e. **場所のタグ**フィールドに「**location_internal**」と入力します。場所のタグの詳細については、「場所のタグ」を参照してください。

f. **ネットワーク接続タイプを選択**で、*内部*を選択します。



ネットワーク接続タイプを選択設定で IP アドレスが *内部* として構成されているデバイスから Cloud Store にサインインすると、その接続は内部接続と見なされます。

3. ブローカーアクセス ポリシー ルールを構成する

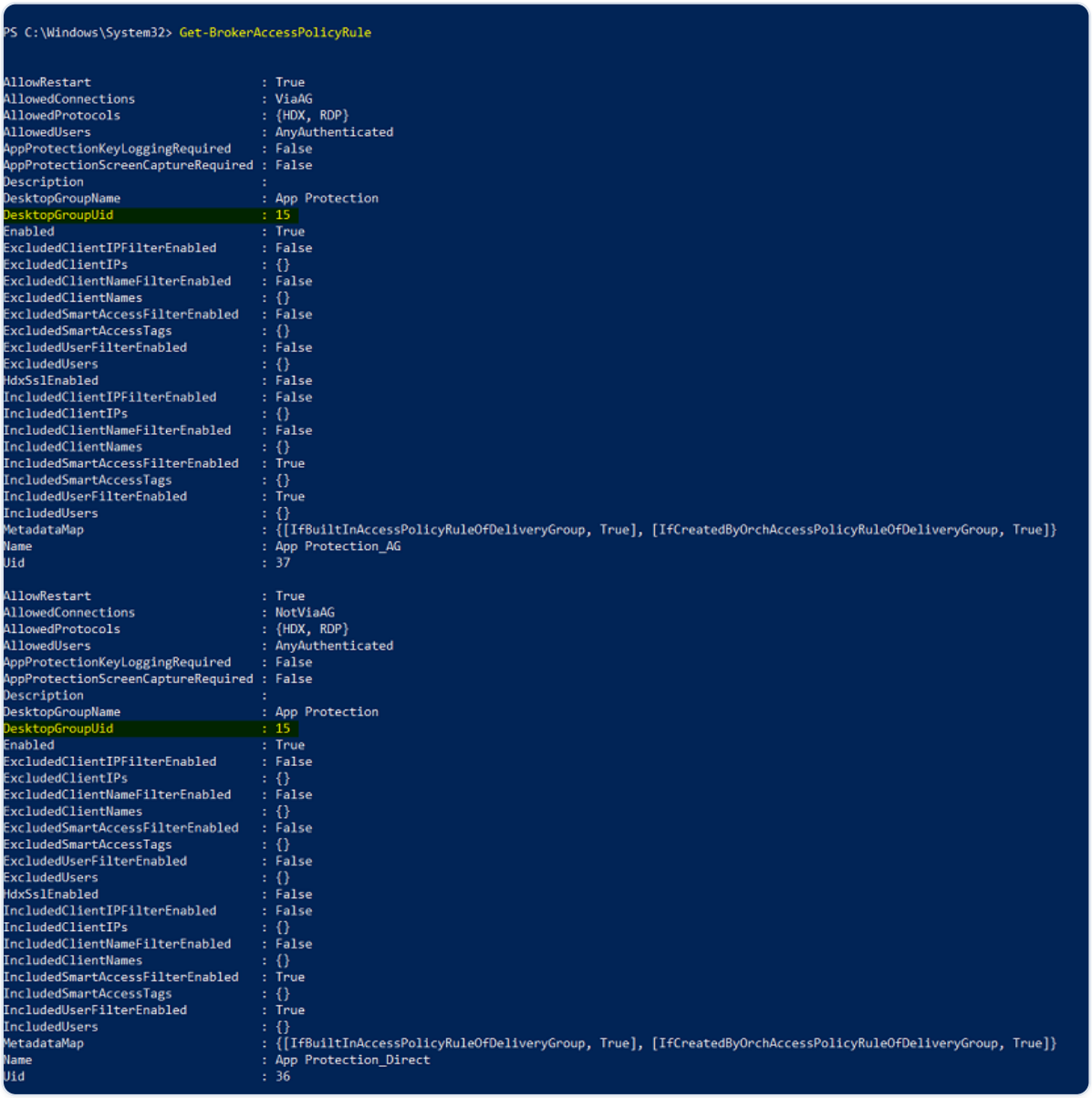
各デリバリーグループに対して、デフォルトで2つのブローカーアクセス ポリシーが作成されます。1つのポリシーはAccess Gateway経由の接続用で、もう1つのポリシーは直接接続用です。App Protectionは、Access Gateway経由の接続（外部接続）に対してのみ有効にできます。ブローカーアクセス ポリシー ルールを構成するには、以下の手順を使用します。

a. Citrix PowerShell SDKをインストールし、CitrixブログのCitrix CloudでのPowerShell自動化の開始で説明されているようにクラウドAPIに接続します。

b. コマンド `Get-BrokerAccessPolicyRule` を実行します。

存在するすべてのデリバリーグループのブローカーアクセス ポリシーのリストが表示されます。

c. 変更したいデリバリーグループの**DesktopGroupUid**を見つけます。



d. **DesktopGroupUid**を使用して、デリバリーグループに適用されるポリシーを取得するために、次のコマンドを実行します。少なくとも2つのポリシーがあり、1つは*AllowedConnections*に*ViaAG*があり、もう1つは*NotViaAG*があります。

```
Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupUid 15
```

```
PS C:\Windows\System32> Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupUid 15


AllowRestart                    : True
AllowedConnections              : ViaAG
AllowedProtocols                : {HDX, RDP}
AllowedUsers                    : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                     :
DesktopGroupName                : App Protection
DesktopGroupUid                 : 15
Enabled                         : True
ExcludedClientIPFilterEnabled   : False
ExcludedClientIPs               : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled : False
ExcludedClientNames             : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags         : {}
ExcludedUserFilterEnabled       : False
ExcludedUsers                   : {}
HdxSslEnabled                   : False
IncludedClientIPFilterEnabled   : False
IncludedClientIPs               : {}
IncludedClientNameFilterEnabled : False
IncludedClientNames             : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags         : {}
IncludedUserFilterEnabled       : True
IncludedUsers                   : {}
MetadataMap                     : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                            : App Protection_AG
Uid                             : 37

AllowRestart                    : True
AllowedConnections              : NotViaAG
AllowedProtocols                : {HDX, RDP}
AllowedUsers                    : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                     :
DesktopGroupName                : App Protection
DesktopGroupUid                 : 15
Enabled                         : True
ExcludedClientIPFilterEnabled   : False
ExcludedClientIPs               : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled : False
ExcludedClientNames             : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags         : {}
ExcludedUserFilterEnabled       : False
ExcludedUsers                   : {}
HdxSslEnabled                   : False
IncludedClientIPFilterEnabled   : False
IncludedClientIPs               : {}
IncludedClientNameFilterEnabled : False
IncludedClientNames             : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags         : {}
IncludedUserFilterEnabled       : True
IncludedUsers                   : {}
MetadataMap                     : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                            : App Protection_Direct
Uid                             : 36
```

スクリーンショットには、2つのポリシーが表示されています。

- App Protection_AG - *AllowedConnections*に*ViaAG*が設定されているポリシーで、アクセスゲートウェイ経由の接続用です
- App Protection_Direct – *AllowedConnections*に*NotViaAG*が設定されているポリシーで、アクセスゲートウェイ経由ではない接続用です

4. 以下のコマンドを使用して、App Protectionポリシーを外部接続に対してのみ有効にし、内部接続に対しては無効にします。

- `Set-BrokerAccessPolicyRule "App Protection_AG" -IncludedSmartAccessFilterEnabled $true -IncludedSmartAccessTags Workspace:LOCATION_internal -AppProtectionScreenCaptureRequired $false -AppProtectionKeyLoggingRequired $false`

- `New-BrokerAccessPolicyRule "App Protection_AG_Exclude" -ExcludedsmartAccessFilterEnabled $true -ExcludedSmartAccessTags Workspace:LOCATION_internal -AppProtectionScreenCaptureRequired $true -AppProtectionKeyLoggingRequired $true -DesktopGroupUid 15 -AllowedConnections ViaAG -AllowedProtocols HDX, RDP`
- `Remove-BrokerAccessPolicyRule "App Protection_Direct”`

5. 検証:

   Citrix Workspaceアプリからサインアウトし、再度サインインします。外部接続から保護されたリソースを起動します。App Protectionポリシーが適用されていることがわかります。最初のステップで構成されたIPアドレス範囲内のデバイスである内部接続から、同じリソースを起動します。App Protectionポリシーが無効になっていることがわかります。

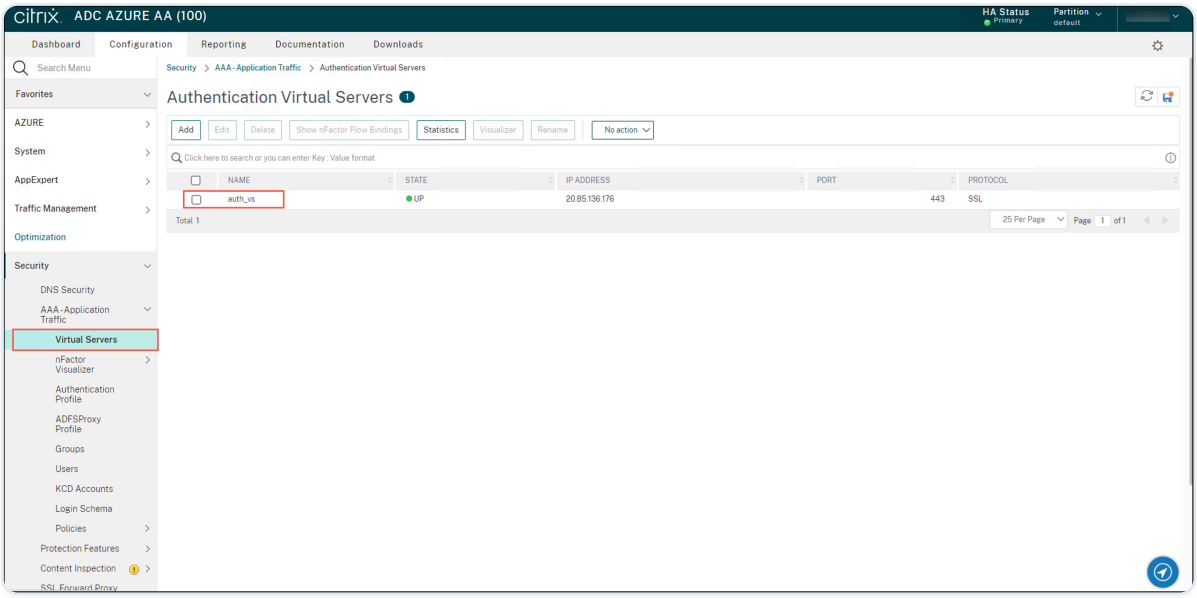
シナリオ 2

このシナリオでは、信頼されていないデバイスに対してApp Protectionを有効にする方法について説明します。

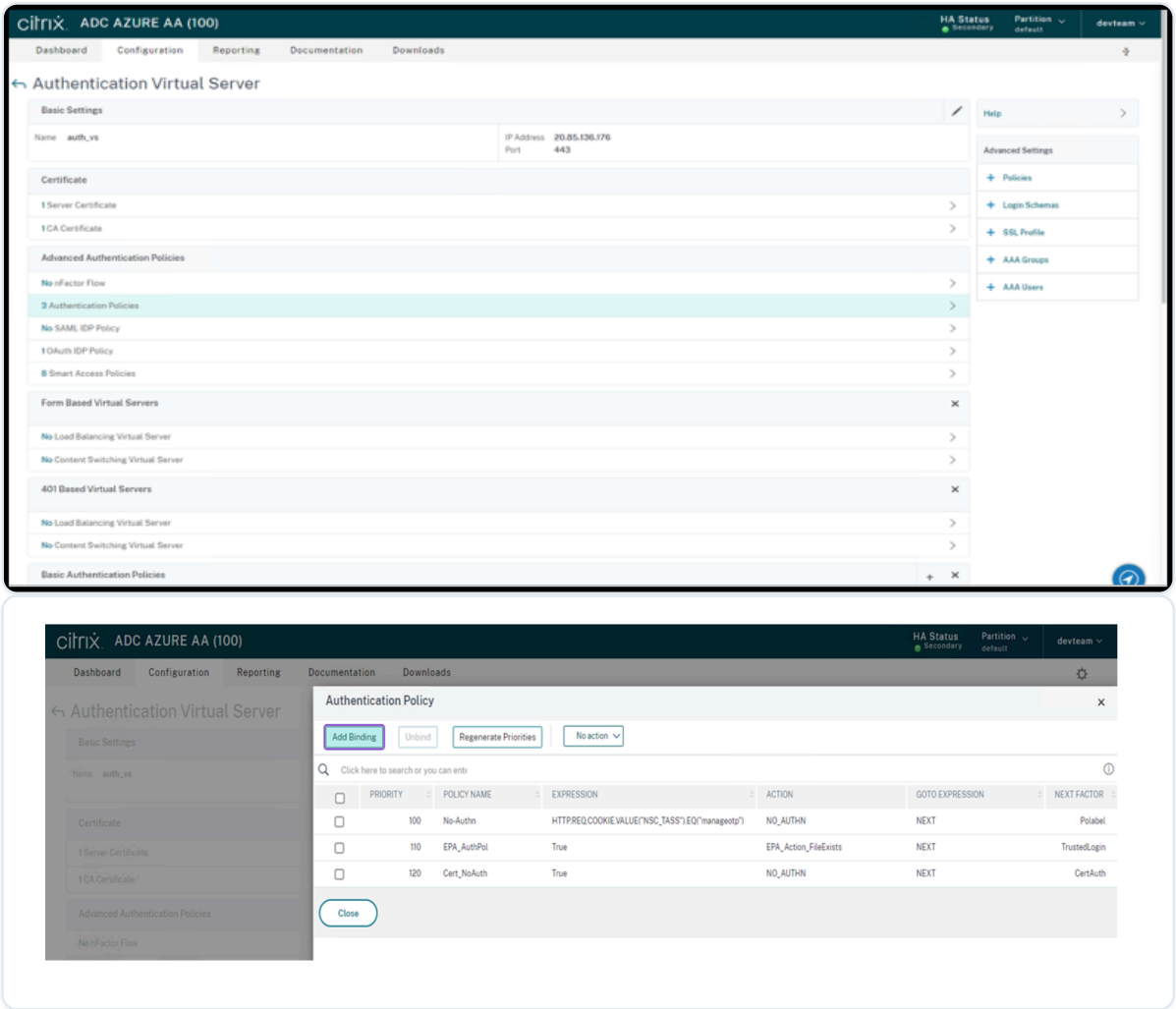
信頼されているデバイスと信頼されていないデバイスには多くの定義があります。このシナリオでは、エンドポイント分析 (EPA) スキャンが成功した場合にデバイスが信頼されていると見なします。その他のすべてのデバイスは信頼されていないデバイスと見なされます。

1. アダプティブ認証を構成する。
2. 以下の手順で、EPAスキャンを含む認証ポリシーを作成します。

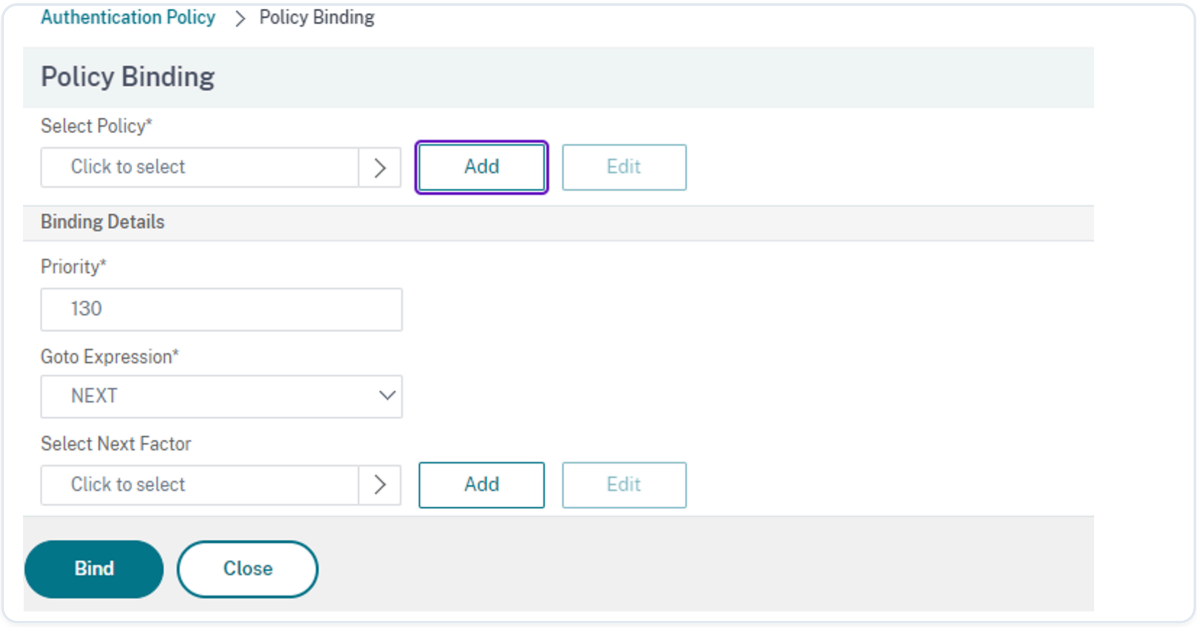
   a. Citrix ADC管理UIにサインインします。**Configuration**タブで、**Security > AAA-Application Traffic > Virtual Servers**に移動します。使用する仮想サーバー（この場合は *auth_vs*）をクリックします。



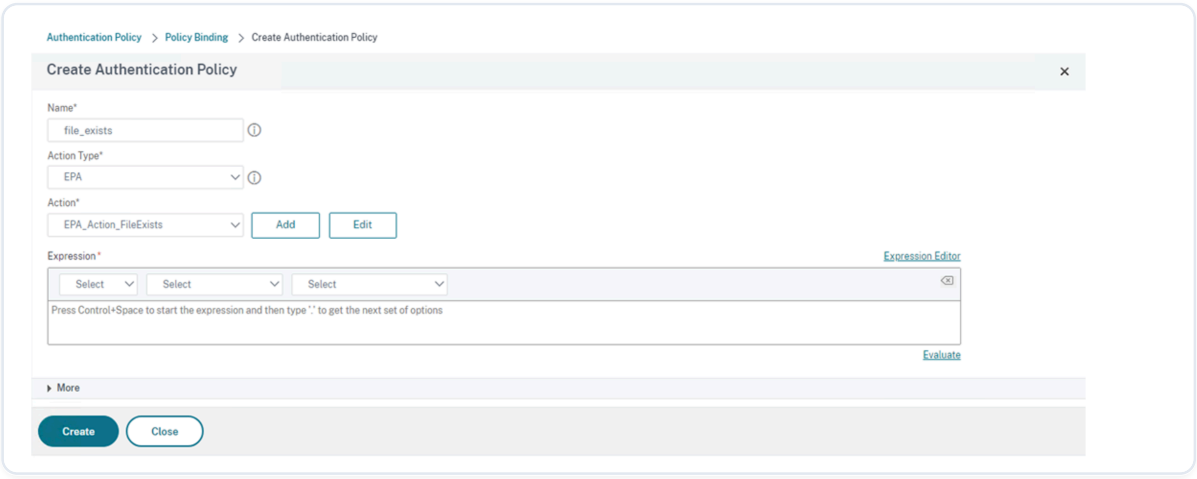
b. **Authentication Policies > Add Binding**に移動します。



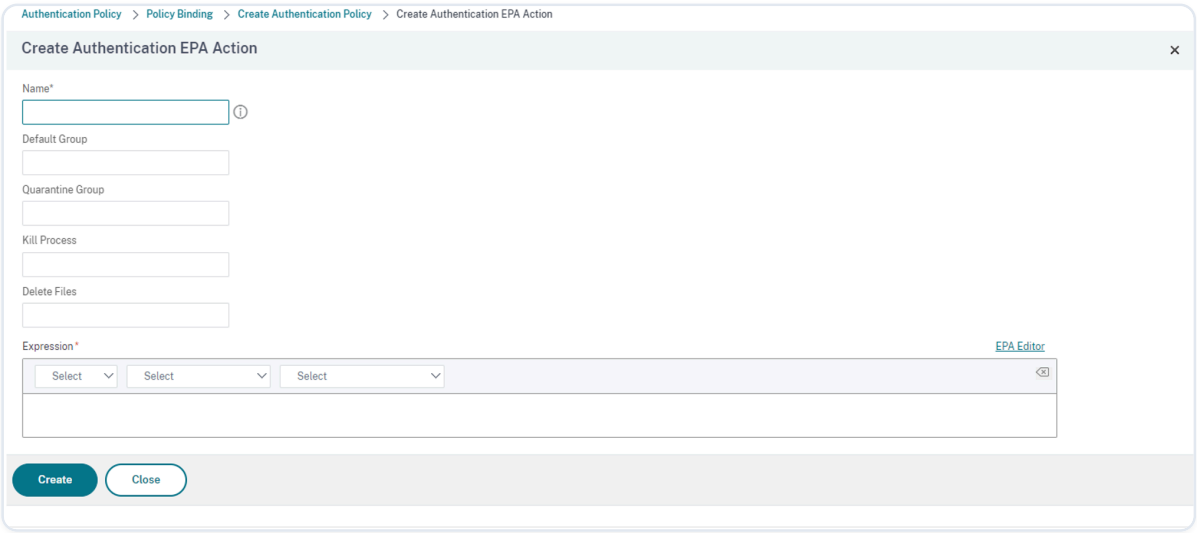
c. **Add**をクリックしてポリシーを作成します。



d. EPAスキャンに基づいて認証ポリシーを作成します。ポリシーの名前を入力します。**Action Type**として*EPA*を選択します。**Add**をクリックしてアクションを作成します。



Create Authentication EPA Action画面が表示されます。

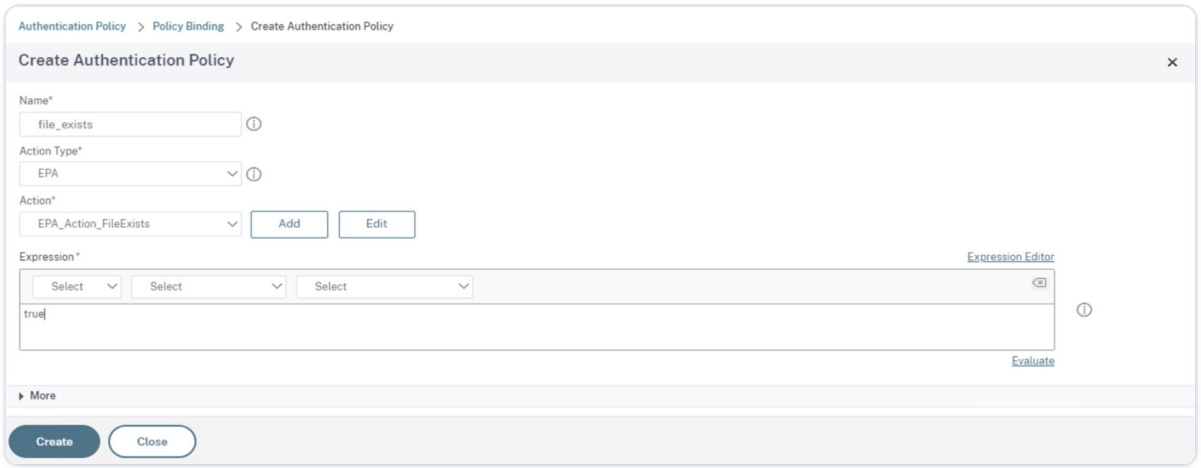


e. 「**認証EPAアクションの作成**」画面で、次の詳細を入力し、**作成**をクリックしてアクションを作成します。

- **名前**: EPAアクションの名前。この場合は*EPA_Action_FileExists*。
- **デフォルトグループ**: デフォルトグループ名を入力します。EPA式が*True*の場合、ユーザーはデフォルトグループに追加されます。この場合の**デフォルトグループ**は*FileExists*です。
- **隔離グループ**: 隔離グループ名を入力します。EPA式が*False*の場合、ユーザーは隔離グループに追加されます。
- **式**: スキャンするEPA式を追加します。この例では、特定のファイルが存在する場合にEPAスキャンが成功したと見なします。`sys.client_expr("file_0_C:\\\\epa\\\\avinstalled.txt")`

「**認証ポリシーの作成**」画面に戻ります。

f. 式エディターに**true**と入力し、**作成**をクリックします。



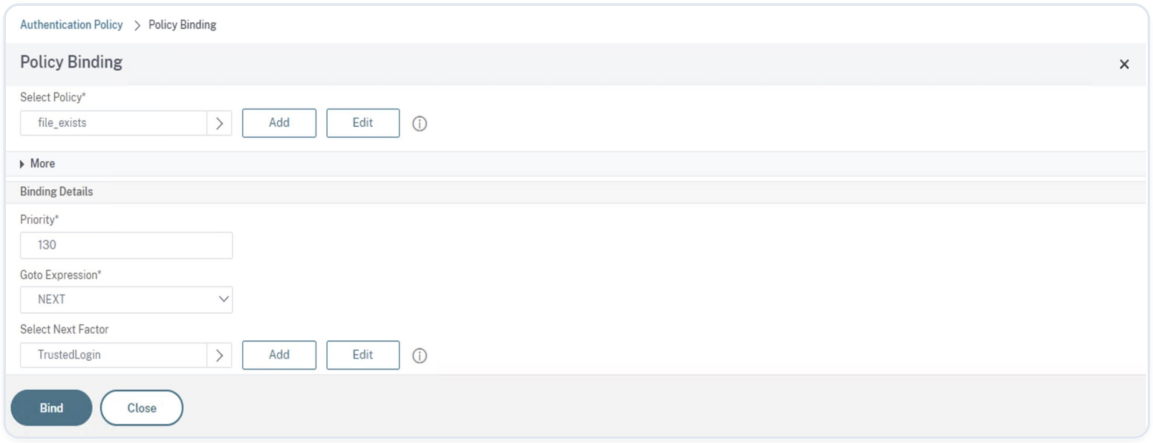
「**ポリシーバインディング**」画面に戻ります。

g. 「**ポリシーバインディング**」画面で、次の操作を行います。

i. **Goto Expression**を**NEXT**として選択します。

ii. 「**次の要素の選択**」セクションで、Application Delivery Controller™ (ADC) の認証用に構成したLDAPポリシーを選択します。

iii. **バインド**をクリックします。



3. 信頼済みデバイス向けスマートアクセス ポリシーを作成します。

   a. *auth_vs*サーバーの**認証仮想サーバー**ページで、**スマートアクセス ポリシー**を選択します。

      認証仮想サーバー(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-3-a.png)

   b. **バインドの追加**をクリックします。

      バインドの追加(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-3-b.png)

   c. **ポリシーバインド**画面で、**ポリシーの選択**セクションの**追加**をクリックします。

      ポリシーの選択(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-3-c.png)

      認証スマートアクセス ポリシーの作成画面が表示されます。

      認証スマートアクセス(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-3-d.png)

   d. **認証スマートアクセス ポリシーの作成**画面で、スマートアクセス ポリシーの**名前**を入力し、スマートアクセス プロファイルを作成するために**追加**をクリックします。

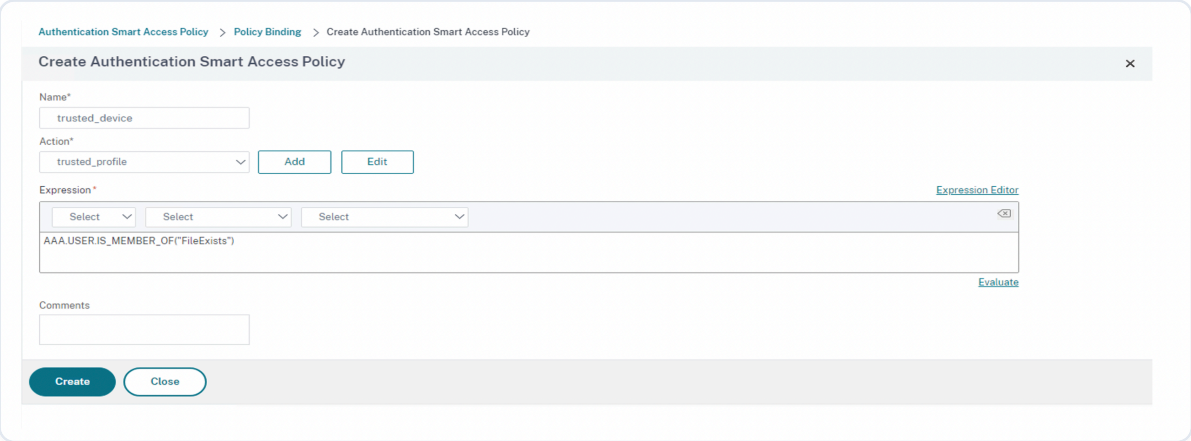
      認証スマートアクセス プロファイルの作成画面が表示されます。

   e. アクションの**名前**を追加します。**タグ**に*trusted*と入力します。このタグは、後で構成用のBroker Access Policyルールで参照されます。**作成**をクリックします。

      認証プロファイルの作成(/en-us/citrix-workspace-app/media/step-3-e.png)

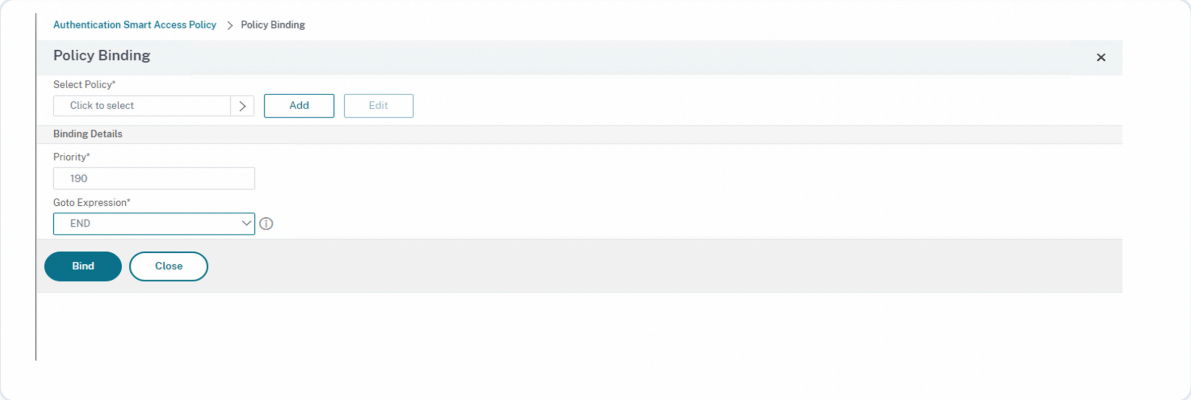
      認証スマートアクセス ポリシーの作成画面に戻ります。

   f. **式**セクションで、タグをプッシュする式を入力します。この場合、タグは信頼済みデバイスにプッシュされるため、`AAA.USER.IS_MEMBER_OF("FileExists")`と入力します。**作成**をクリックします。



ポリシーバインド画面に戻ります。

g. **Goto Expression**を*End*として選択し、**Bind**をクリックします。



4. 信頼されていないデバイスのスマートアクセスポリシーを作成します。

   a. サブステップ**v**と**vi**を除き、前の手順の指示に従います。

   b. サブステップ**v**では、**認証スマートアクセスプロファイルの作成**画面で、アクションの**名前**を追加します。**タグ**に*untrusted*と入力します。このタグは、後で構成用のブローカーアクセスポリシールールで参照されます。**作成**をクリックします。

   c. サブステップ**vi**では、**認証スマートアクセスポリシーの作成**画面の**式**セクションで、タグをプッシュする式を入力します。この場合、タグは信頼されていないデバイスにプッシュされるため、`AAA.USER.IS_MEMBER_OF("FileExists").NOT`と入力します。

5. ブローカーアクセスポリシーのルールを構成します。

   a. Citrixブログ「Getting started with PowerShell automation for Citrix Cloud」で説明されているように、Citrix PowerShell SDKをインストールし、クラウドAPIに接続します。

   b. コマンド`Get-BrokerAccessPolicyRule`を実行します。

      存在するすべてのデリバリーグループのすべてのブローカーアクセスポリシーのリストが表示されます。

c. 変更するデリバリーグループの**DesktopGroupUid**を見つけます。

```
PS C:\Windows\System32> Get-BrokerAccessPolicyRule


AllowRestart                     : True
AllowedConnections               : ViaAG
AllowedProtocols                 : {HDX, RDP}
AllowedUsers                     : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired  : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                      :
DesktopGroupName                 : App Protection
DesktopGroupUid                  : 15
Enabled                          : True
ExcludedClientIPFilterEnabled    : False
ExcludedClientIPs                : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled  : False
ExcludedClientNames              : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags          : {}
ExcludedUserFilterEnabled        : False
ExcludedUsers                    : {}
HdxSslEnabled                    : False
IncludedClientIPFilterEnabled    : False
IncludedClientIPs                : {}
IncludedClientNameFilterEnabled  : False
IncludedClientNames              : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags          : {}
IncludedUserFilterEnabled        : True
IncludedUsers                    : {}
MetadataMap                      : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                             : App Protection_AG
Uid                              : 37

AllowRestart                     : True
AllowedConnections               : NotViaAG
AllowedProtocols                 : {HDX, RDP}
AllowedUsers                     : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired  : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                      :
DesktopGroupName                 : App Protection
DesktopGroupUid                  : 15
Enabled                          : True
ExcludedClientIPFilterEnabled    : False
ExcludedClientIPs                : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled  : False
ExcludedClientNames              : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags          : {}
ExcludedUserFilterEnabled        : False
ExcludedUsers                    : {}
HdxSslEnabled                    : False
IncludedClientIPFilterEnabled    : False
IncludedClientIPs                : {}
IncludedClientNameFilterEnabled  : False
IncludedClientNames              : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags          : {}
IncludedUserFilterEnabled        : True
IncludedUsers                    : {}
MetadataMap                      : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                             : App Protection_Direct
Uid                              : 36
```

d. 特定のデリバリーグループにのみ適用されるポリシーを、次のコマンドを使用して取得します。

```
Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupUid 7
```

e. 信頼されたデバイスを使用しているユーザーをフィルタリングするには、次のコマンドを使用して別のBroker Accessポリシーを作成します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule -Name CAP_Desktops_AG_Trusted-DesktopGroupUid 7 -AllowedConnections ViaAG -AllowedProtocols HDX, RDP -AllowedUsers AnyAuthenticated -AllowRestart $true -Enabled $true-IncludedSmartAccessFilterEnabled $true
```

f. 信頼されたデバイスのApp Protectionを無効にし、信頼されていないデバイスのApp Protectionを有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule CAP_Desktops_AG_trusted -IncludedSmartAccessTags Workspace:trusted -AppProtectionKeyLoggingRequired $false -AppProtectionScreenCaptureRequired $false
```

```
Set-BrokerAccessPolicyRule CAP_Desktops_AG -IncludedSmartAccessTags Workspace:untrusted -AppProtectionKeyLoggingRequired $true -AppProtectionScreenCaptureRequired $true
```

6. 検証:

Citrix Workspaceアプリからサインアウトし、再度サインインします。EPAスキャン条件を満たす信頼されたデバイスから、保護されたリソースを起動します。App Protectionポリシーが適用されていないことがわかります。信頼されていないデバイスから同じリソースを起動します。App Protectionポリシーが適用されていることがわかります。

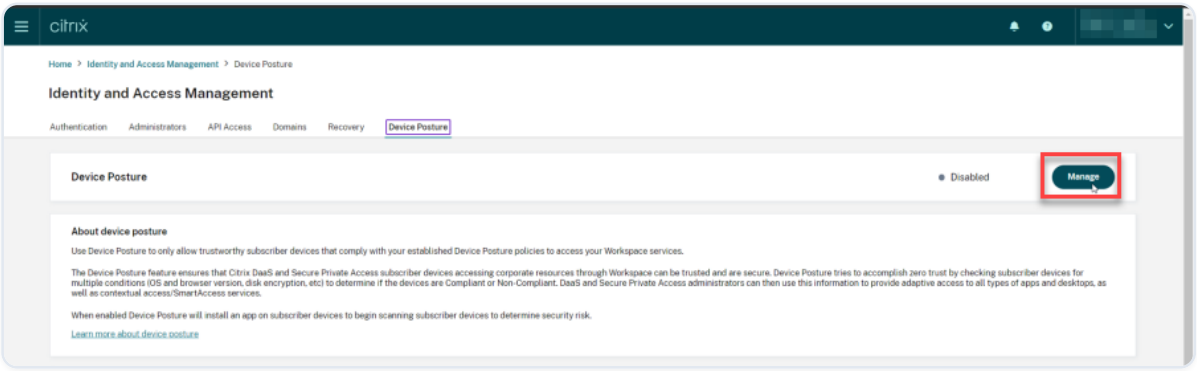
シナリオ 3

このシナリオでは、デバイスポスチャの結果に基づいてアプリ保護を有効にする方法を説明します。

1. デバイスポスチャサービスを構成します:

a. Citrix Cloudにサインインします。

b. **Identity and Access Management** > **Device Posture** に移動し、**Manage** をクリックします。



c. **Create device policy** をクリックします。

Create devicy policy ページが表示されます。

d. **Policy rules** で、**Select Rule** ドロップダウンメニューをクリックし、*Citrix Workspace app Version* を選択します。

e. **Select a rule** ドロップダウンメニューをクリックし、*Greater or equal to* >= を選択します。

f. 条件として設定するCitrix Workspaceアプリのバージョンを入力します。この例では、*23.7.0.19* です。

g. **Policy result** で、**Compliant** を選択します。

h. **Name** フィールドに、ポリシーの名前を入力します。

i. **Priority** フィールドに、ポリシーの優先度を入力します。

j. ポリシーを作成したため、**Enable when created** チェックボックスを選択してポリシーを有効にします。

k. **作成**をクリックします。

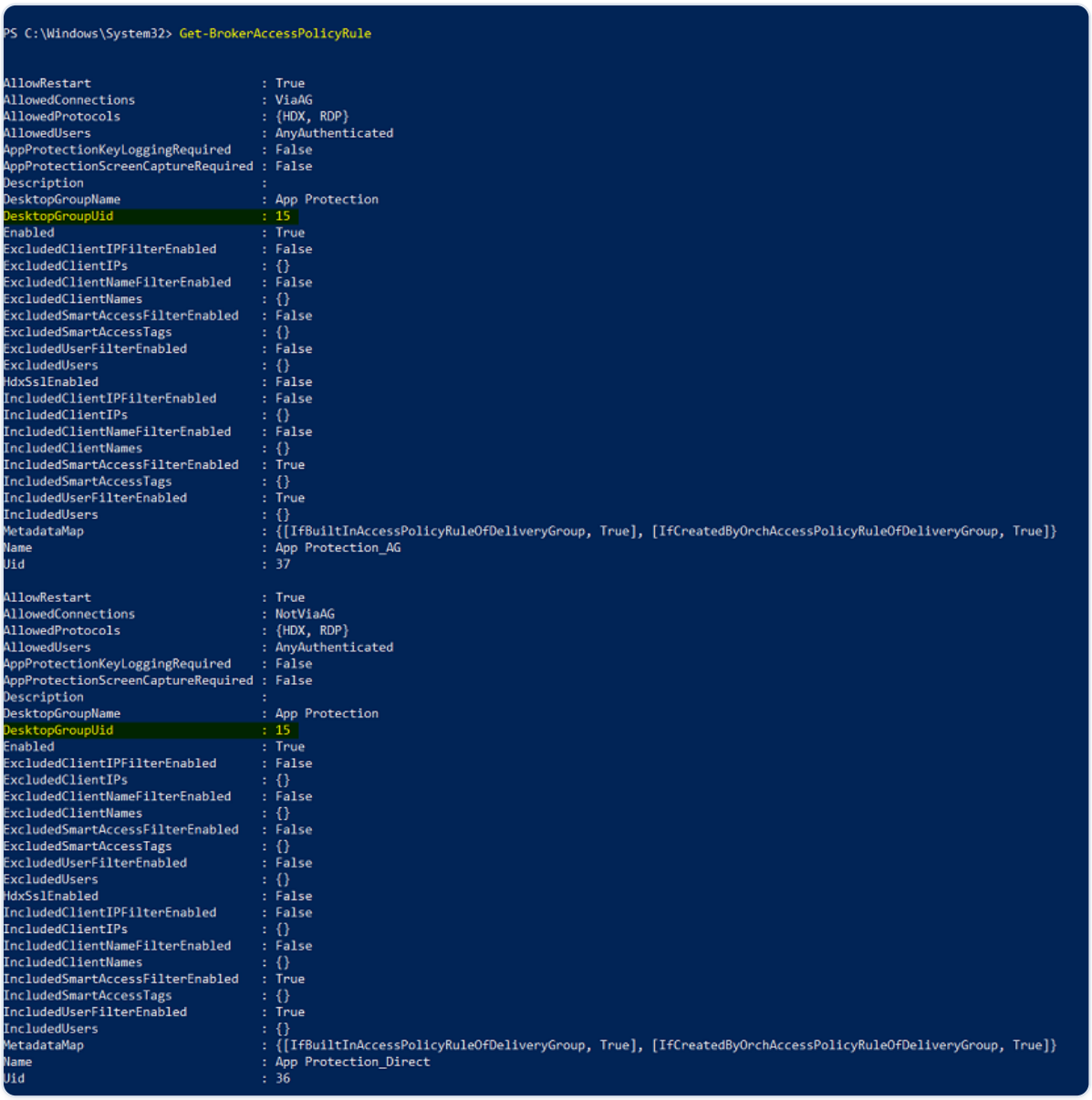
2. ブローカーアクセス ポリシールールを構成します。

a. Citrix PowerShell SDK をインストールし、Citrix ブログ「Getting started with PowerShell automation for Citrix Cloud」で説明されているようにクラウド API に接続します。

b. コマンド `Get-BrokerAccessPolicyRule` を実行します。

存在するすべてのデリバリーグループのすべてのブローカーアクセス ポリシーのリストが表示されます。

c. 変更するデリバリーグループの **DesktopGroupUid** を見つけます。



d. 特定のデリバリーグループにのみ適用されるポリシーを、次のコマンドを使用して取得します。

```
Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupUid 7
```

e. 準拠デバイスに App Protection を適用するには、次のコマンドを実行します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule "Contextual App Protection Delivery Group_AG" -IncludedSmartAccessFilterEnabled $true -IncludedSmartAccessFilterEnabled Workspace:COMPLIANT
```

f. 非準拠デバイスに App Protection を適用するには、次のコマンドを実行します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule "Contextual App Protection Delivery Group_AG_NonCompliant"-DesktopGroupUid 7 -AllowedConnections ViaAG -AllowedProtocols HDX, RDP -Enabled $true -AllowRestart $true
```

```
-ExcludedSmartAccessFilterEnabled $true -ExcludedSmartAccessTags
Workspace:COMPLIANT-IncludedSmartAccessFilterEnabled $true
```

3. 検証:

   Citrix Workspace アプリからサインアウトします。デバイスポリシーに準拠している Citrix Workspace アプリのバージョンからサインインします。App Protection ポリシーが適用されていないことがわかります。再度、Citrix Workspace アプリからサインアウトし、デバイスポリシーに準拠していない Citrix Workspace アプリのバージョンからサインインします。App Protection ポリシーが適用されていることがわかります。

シナリオ 4

このシナリオでは、特定のユーザーグループに対してApp Protectionを有効にする方法について説明します。

次の手順で、特定のグループのユーザーに対してApp Protectionを有効にできます。

1. ユーザーに対してApp Protectionポリシーを有効にするActive Directoryユーザーグループを選択します。この例では、Active Directoryユーザーグループは**ProductManagers**です。
2. ブローカーアクセス ポリシールールを構成します。

   a. Citrixブログ「Citrix CloudのPowerShell自動化の開始」で説明されているように、Citrix PowerShell SDKをインストールし、クラウドAPIに接続します。

   b. コマンド`Get-BrokerAccessPolicyRule`を実行します。

      存在するすべてのデリバリーグループのすべてのブローカーアクセスポリシーのリストが表示されます。

   c. 変更したいデリバリーグループの**DesktopGroupUid**を見つけます。

```
PS C:\Windows\System32> Get-BrokerAccessPolicyRule


AllowRestart                     : True
AllowedConnections               : ViaAG
AllowedProtocols                 : {HDX, RDP}
AllowedUsers                     : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired  : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                      :
DesktopGroupName                 : App Protection
DesktopGroupUid                  : 15
Enabled                          : True
ExcludedClientIPFilterEnabled    : False
ExcludedClientIPs                : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled  : False
ExcludedClientNames              : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags          : {}
ExcludedUserFilterEnabled        : False
ExcludedUsers                    : {}
HdxSslEnabled                    : False
IncludedClientIPFilterEnabled    : False
IncludedClientIPs                : {}
IncludedClientNameFilterEnabled  : False
IncludedClientNames              : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags          : {}
IncludedUserFilterEnabled        : True
IncludedUsers                    : {}
MetadataMap                      : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                             : App Protection_AG
Uid                              : 37

AllowRestart                     : True
AllowedConnections               : NotViaAG
AllowedProtocols                 : {HDX, RDP}
AllowedUsers                     : AnyAuthenticated
AppProtectionKeyLoggingRequired  : False
AppProtectionScreenCaptureRequired : False
Description                      :
DesktopGroupName                 : App Protection
DesktopGroupUid                  : 15
Enabled                          : True
ExcludedClientIPFilterEnabled    : False
ExcludedClientIPs                : {}
ExcludedClientNameFilterEnabled  : False
ExcludedClientNames              : {}
ExcludedSmartAccessFilterEnabled : False
ExcludedSmartAccessTags          : {}
ExcludedUserFilterEnabled        : False
ExcludedUsers                    : {}
HdxSslEnabled                    : False
IncludedClientIPFilterEnabled    : False
IncludedClientIPs                : {}
IncludedClientNameFilterEnabled  : False
IncludedClientNames              : {}
IncludedSmartAccessFilterEnabled : True
IncludedSmartAccessTags          : {}
IncludedUserFilterEnabled        : True
IncludedUsers                    : {}
MetadataMap                      : {[IfBuiltInAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True], [IfCreatedByOrchAccessPolicyRuleOfDeliveryGroup, True]}
Name                             : App Protection_Direct
Uid                              : 36
```

d. 特定のデリバリーグループにのみ適用されるポリシーを、次のコマンドを使用して取得します。

```
Get-BrokerAccessPolicyRule -DesktopGroupUid 7
```

e. **ProductManagers**ユーザーグループのユーザーに対してApp Protectionポリシーを有効にするには、次のコマンドを実行します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule "Example Rule Name_1" -DesktopGroupUid 7
-AllowedConnections AnyViaAG -AllowedProtocols HDX -AllowedUsers Filtered
-AppProtectionScreenCaptureRequired $true -IncludedUserFilterEnabled $true
-IncludedUsers domain.com\ProductManagers
```

f. **ProductManagers**ユーザーグループに属していないユーザーに対してApp Protectionポリシーを無効にするには、次のコマンドを実行します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule "Example Rule Name_2" -DesktopGroupUid 7
-AllowedConnections AnyViaAG -AllowedProtocols HDX -AllowedUsers Filtered
-AppProtectionScreenCaptureRequired $false-ExcludedUserFilterEnabled $true
-ExcludedUsers domain.com\ProductManagers
```

3. 検証:

   Citrix Workspaceアプリが既に開いている場合は、サインアウトします。**ProductManagers** Active Directoryユーザーグループのユーザーとして Citrix Workspaceアプリにサインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが無効になっていることがわかります。Citrix Workspaceアプリからサインアウトし、**ProductManagers** Active Directoryユーザーグループに属していないユーザーとして再度サインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが有効になっていることがわかります。

StoreFront向けコンテキストApp Protection

コンテキストApp Protectionは、ユーザー、デバイス、ネットワークの状態に基づいて、App Protectionポリシーをユーザーのサブセットに条件付きで適用するためのきめ細かな柔軟性を提供します。

コンテキストApp Protectionの実装

コンテキストApp Protectionは、Brokerアクセス ポリシー規則で定義された接続フィルターを使用して実装できます。Brokerアクセス ポリシーは、ユーザーのデリバリーグループへのアクセスを制御する規則を定義します。このポリシーは一連の規則で構成されます。各規則は単一のデリバリーグループに関連付けられ、一連の接続フィルターとアクセス権制御を持ちます。

ユーザーは、接続の詳細がBrokerアクセス ポリシーの1つ以上の規則の接続フィルターと一致する場合に、デリバリーグループへのアクセス権を取得します。ユーザーは、デフォルトではサイト内のどのデスクトップグループにもアクセスできません。要件に基づいて、さらにBrokerアクセス ポリシーを作成できます。複数の規則を同じデリバリーグループに適用できます。詳しくは、「New-BrokerAccessPolicyRule」を参照してください。

Brokerアクセス ポリシー規則の次のパラメーターは、ユーザーの接続がアクセス ポリシー規則で定義された接続フィルターと一致する場合に、App Protectionをコンテキストに応じて有効にする柔軟性を提供します。

- `AppProtectionKeyLoggingRequired`
- `AppProtectionScreenCaptureRequired`

Brokerアクセス ポリシーで参照されているSmart Accessフィルターを使用して、接続フィルターを絞り込みます。Smart Accessフィルターの構成については、CTX227055を参照してください。Smart Accessポリシーを使用してコンテキストApp Protectionを設定する方法を理解するには、次のシナリオを参照してください。

注：

デリバリーグループでApp Protectionが有効になっている場合、コンテキストApp Protectionはデフォルトでは適用できません。次のコマンドを使用して、デリバリーグループでApp Protectionを無効にします。

```
Set-BrokerDesktopGroup -Name "Admin Desktop"
-AppProtectionKeyLoggingRequired $false
-AppProtectionScreenCaptureRequired $false
```

前提条件

StoreFront向けコンテキストApp Protectionを有効にするには、「前提条件」セクションに記載されている要件を満たしていることを確認してください。

コンテキストApp Protectionを有効にする

- **CVADバージョン2209以降の場合：**

  コンテキストApp Protectionはデフォルトで有効になっています。追加の設定は不要です。

- **CVAD 2209およびそれ以前のバージョン向け:**

  CVAD 2209およびそれ以前のバージョンでコンテキストApp Protectionを有効にするには、以下の手順に従ってください。

  - Citrix Virtual Apps and Desktopsのバージョンに対応するコンテキストApp Protectionポリシー（機能テーブル）を、Citrix Downloadsページからダウンロードします。
  - デリバリーコントローラー™で以下のPowerShellコマンドを実行します。

    ```
    asnp Citrix*

    Set-BrokerSite -TrustRequestsSentToTheXmlServicePort $true
    ```

- デリバリーコントローラーでコンテキストApp Protectionを有効にするには、以下のコマンドを実行します。

```
Import-ConfigFeatureTable <path to the downloaded feature table>
```

例:

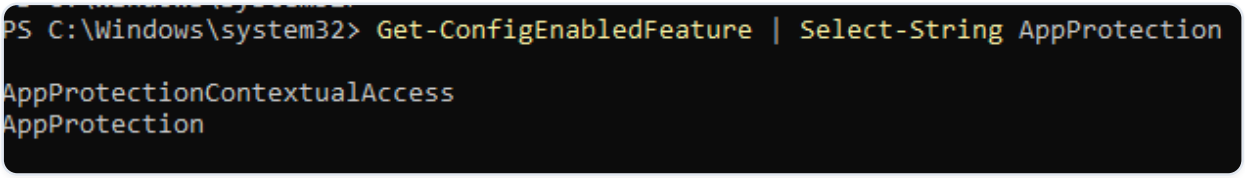
```
Import-
ConfigFeatureTable\Downloads\FeatureTable.OnPrem.AppProtContextualAc
cess.xml
```

機能の状態を確認するには

1. コンテキストApp Protectionが有効になっているかを確認するには、以下のコマンドを実行します。

   `Get-ConfigEnabledFeature | Select-String AppProtection`

2. 有効になっている場合、出力に`AppProtectionContextualAccess`が表示されます。



コンテキストApp Protectionのシナリオ

コンテキストApp Protectionを有効または無効にする方法に関するいくつかのシナリオを以下に示します。

- 特定のデバイスタイプでApp Protectionを無効にする
- ブラウザベースのアクセスから開始された接続に対してアプリ保護を無効にし、Citrix Workspaceアプリからの接続に対してアプリ保護を有効にする
- 特定のActive Directoryグループのユーザーに対してアプリ保護を無効にする
- EPAスキャン結果に基づいてデバイスに対してアプリ保護を有効にする
- 特定のユーザーグループに対してアプリ保護を有効にする

前提条件

以下があることを確認してください。

- Citrix Virtual Apps and Desktops™ バージョン 2109 以降

- Delivery Controller™ バージョン 2109 以降
- StoreFront バージョン 1912 LTSR 以降
- VPN仮想サーバーまたはゲートウェイ、および認証仮想サーバーの構成
- NetScalerとStoreFront間の接続が成功していること。詳細については、「NetScaler GatewayとStoreFrontの統合」を参照してください。
- Citrix Virtual Apps and Desktops バージョン 2006 までは、XMLテーブルのインポートが必要です
- Citrix Virtual Apps and Desktops バージョン 2209 までは、コンテキストApp Protection機能テーブルのインポートが必要です
- Smart Accessタグが必要なシナリオでは、NetScaler GatewayでSmart Accessを有効にします。詳細については、こちらのサポート記事を参照してください。
- ライセンス要件 -
  - App Protectionオンプレミスライセンス
  - Smart Accessタグを使用するシナリオ向けのCitrix Gateway Universalライセンス

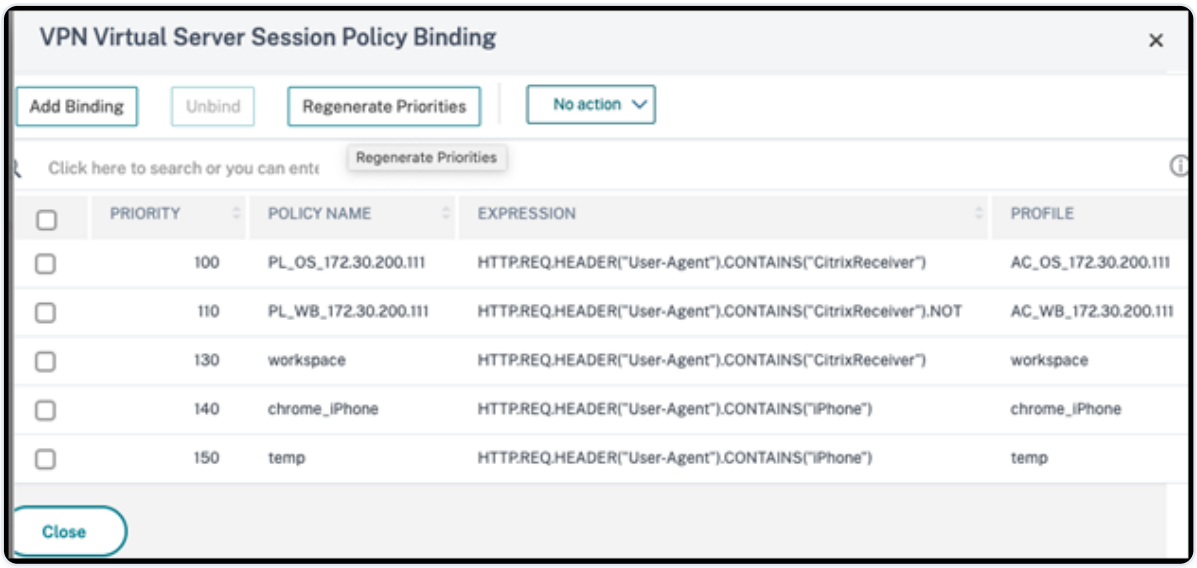
シナリオ 1

このシナリオでは、特定のデバイスタイプに対してApp Protectionを無効にする方法について説明します。

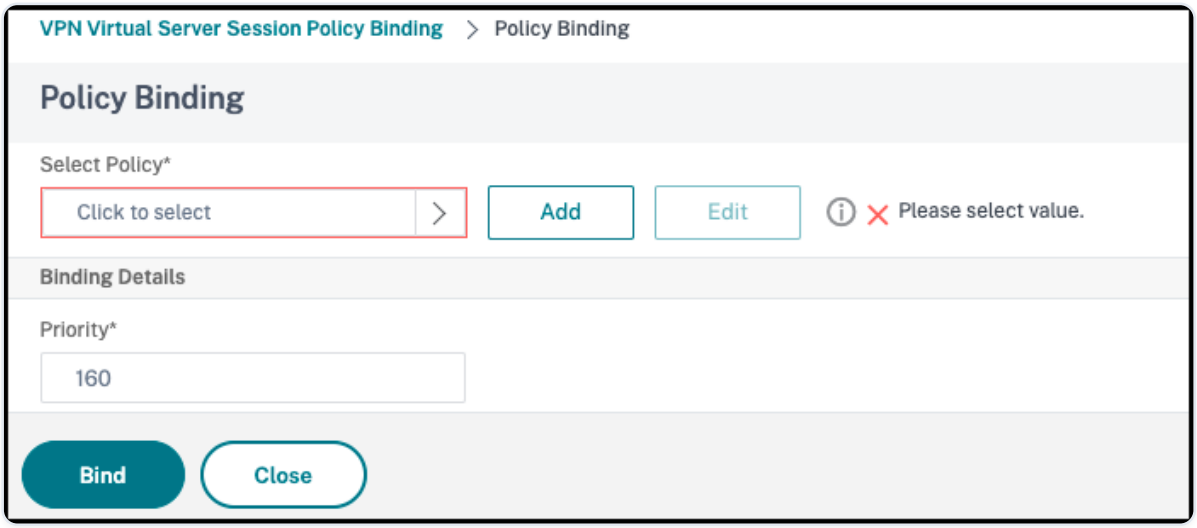
`Win10Desktop`というデリバリーグループのiPhoneユーザーに対してApp Protectionを無効にする手順は次のとおりです。

1. スマートアクセスポリシーを作成します。
   a. Citrix ADC管理UIにサインインします。
   b. 左側のナビゲーションメニューで、**Citrix Gateway** > **Virtual Servers**に移動します。

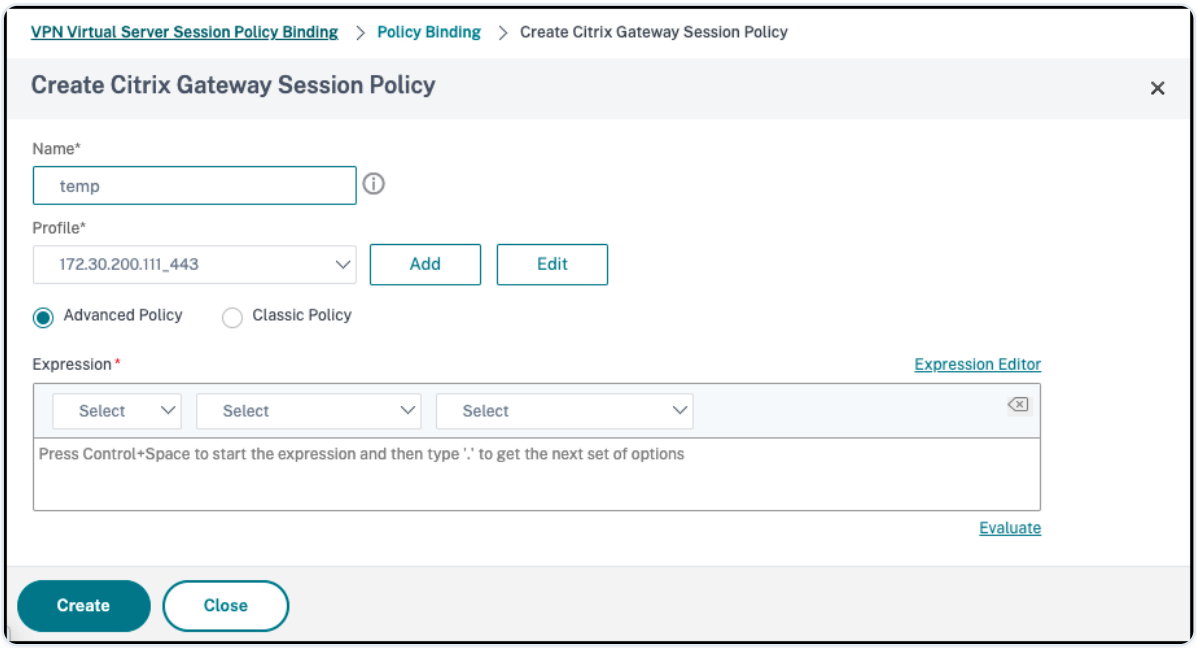
      後でブローカーアクセスポリシーを構成するために必要となるVPN仮想サーバー名をメモします。
   c. **VPN Virtual Server**をクリックします。ページの下部までスクロールし、**Session policies**をクリックします。セッションポリシーのリストが表示されます。
   d. **Add Binding**をクリックします。



e. **Add**をクリックしてセッションポリシーを作成します。



f. セッションポリシーの名前を入力します。このシナリオでは、*temp*です。



g. プロファイルの横にある**Add**をクリックしてプロファイル名を指定します。**Create**をクリックします。

プロファイル名を指定(/en-us/citrix-workspace-app/media/create-citrix-gateway-session-profile.png)

h. セッションポリシーウィンドウから**式エディター**をクリックします。

i. **ユーザーエージェント**文字列で*iPhone*をチェックするには、次の式を作成します。

```
HTTP.REQ.HEADER("User-Agent").CONTAINS("iPhone")
```

式を作成(/en-us/citrix-workspace-app/media/expression-editor.png)

j. セッションポリシーを作成するには、**バインド**をクリックします。

2. ブローカーアクセス ポリシー ルールを作成します。

アクセスゲートウェイ経由で`Win10Desktop`にアクセスするiPhoneユーザーにポリシーを適用するには、次の手順を実行します。

a. Delivery controller™ (DDC)で次のコマンドを実行します。

```
Get-BrokerAccessPolicyRule
```

これは、DDCで定義されているすべてのブローカーアクセス ポリシー を一覧表示します。このシナリオでは、デリバリーグループ`Win10Desktop`のブローカーアクセス ポリシーは`Win10Desktop_AG`と`Win10Desktop_Direct`です。次のステップのために、デリバリーグループのデスクトップグループUIDをメモしておきます。

b. 次のコマンドを使用して、アクセスゲートウェイ経由でアクセスするiPhoneユーザーをフィルター処理するには、`Win10Desktop`のブローカーアクセス ポリシー ルールを作成します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule -Name Win10Desktop_AG_iPhone
-DesktopGroupUid <Uid_of_desktopGroup> -AllowedConnections ViaAG
-AllowedProtocols HDX, RDP -AllowedUsers AnyAuthenticated
-AllowRestart $true -AppProtectionKeyLoggingRequired $false
-AppProtectionScreenCaptureRequired $false -Enabled $true
-IncludedSmartAccessFilterEnabled $true
```

Uid_of_desktopGroupは、ステップ1でGetBrokerAccessPolicy Ruleを実行して取得したデリバリーグループのDesktopGroupUIDです。

c. アクセスゲートウェイ経由でアクセスする`Win10Desktop`のiPhoneユーザーに対してApp Protectionを無効にするには、ステップ1で作成したSmart Accessタグ*temp*を参照します。次のコマンドを使用してSmart Access ポリシー を作成します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG_iPhone
-IncludedSmartAccessTags Primary_HDX_Proxy:temp
-AppProtectionScreenCaptureRequired $false
-AppProtectionKeyLoggingRequired $false
```

Primary_HDX_Proxyは、ステップ1の「Smart Access ポリシー の作成」で以前に指定したVPN仮想サーバー名です。

d. 残りの`Win10desktop`ユーザーに対してApp Protection ポリシー を有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG
-AppProtectionScreenCaptureRequired $true
-AppProtectionKeyLoggingRequired $true
```

3. **検証**

iPhoneの場合：Citrix Workspaceアプリがiphoneで既に開いている場合は、サインアウトします。アクセスゲートウェイ接続を介して、外部からCitrix Workspaceアプリにサインインします。StoreFrontで必要なリソースが表示され、App Protectionは無効になっている必要があります。

iPhone以外のデバイスの場合：Citrix Workspaceアプリがデバイスで既に開いている場合は、サインアウトします。アクセスゲートウェイ接続を介して、外部からCitrix Workspaceアプリにサインインします。StoreFrontで必要なリソースが表示され、App Protectionは無効になっている必要があります。

シナリオ 2

このシナリオでは、ブラウザベースのアクセスから開始された接続に対してApp Protectionを無効にし、Citrix Workspaceアプリから開始された接続に対してApp Protectionを有効にする方法について説明します。

以下は、ブラウザから接続が開始された場合に`Win10Desktop`というデリバリーグループのApp Protectionを無効にし、Citrix Workspaceアプリからの接続に対してApp Protectionを有効にする手順です。

1. スマートアクセスポリシーを作成します。

   a. Citrix Workspaceアプリから開始された接続をフィルタリングするスマートアクセスポリシーを、前のシナリオ「**特定のデバイスタイプに対するApp Protectionの無効化**」で定義されているように作成します。**User Agent**文字列に**CitrixReceiver**があるかどうかを確認するために、以下の式を作成します。

   ```
   HTTP.REQ.HEADER("User-Agent").CONTAINS("CitrixReceiver")
   ```

   このシナリオでは、スマートアクセスポリシーは`cwa`です。

   b. Citrix Workspaceアプリから開始されていない接続をフィルタリングする別のスマートアクセスポリシー`HTTP.REQ.HEADER("User-Agent").CONTAINS("CitrixReceiver").NOT`を作成します。この場合、このスマートアクセスポリシーは*browser*です。

2. ブローカーアクセスポリシー規則を作成します。

   a. `Win10Desktop`の2つのブローカーアクセスポリシーを表示するには、`GetBrokerAccessPolicyRule`を実行します。デリバリーグループ`Win10Desktop`の場合、ブローカーアクセスポリシーは`Win10Desktop_AG`と`Win10Desktop_Direct`です。`Win10Desktop`のデスクトップグループUIDをメモします。

   b. 以下のコマンドを使用して、Citrix Workspaceアプリから開始された接続をフィルタリングするための`Win10Desktop`のブローカーアクセスポリシーを作成します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule -Name Win10Desktop_AG_CWA
-DesktopGroupUid <Uid_of_desktopGroup> -AllowedConnections ViaAG
-AllowedProtocols HDX, RDP -AllowedUsers AnyAuthenticated
-AllowRestart $true -Enabled $true -IncludedSmartAccessFilterEnabled
$true
```

Uid_of_desktopGroupは、ステップ1でGetBrokerAccessPolicy Ruleを実行して取得したデリバリーグループのDesktopGroupUIDです。

c. 以下のコマンドを使用して、スマートアクセスタグ`cwa`を参照し、CWAを介してくる接続に対してのみApp Protectionポリシーを有効にします。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG_CWA
-IncludedSmartAccessTags Primary_HDX_Proxy:cwa
-AppProtectionScreenCaptureRequired $true
-AppProtectionKeyLoggingRequired $true
```

Primary_HDX_Proxyは、ステップ1「スマートアクセスポリシーの作成」で以前にメモしたVPN仮想サーバー名です。

d. ブラウザ経由で接続される残りの接続に対してApp Protectionポリシーを無効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG -IncludedSmartAccessTags
Primary_HDX_Proxy:browser -AppProtectionScreenCaptureRequired $false
-AppProtectionKeyLoggingRequired $false
```

3. **検証**

Citrix Workspaceアプリがすでに開いている場合は、サインアウトします。Citrix Workspaceアプリに再度サインインし、アクセスゲートウェイ経由で外部接続から必要なリソースを起動します。リソースに対してApp Protectionポリシーが有効になっていることがわかります。同じリソースをブラウザから外部接続経由で起動すると、App Protectionポリシーが無効になっていることがわかります。

シナリオ 3

このシナリオでは、特定のActive Directoryグループのユーザーに対してApp Protectionを無効にする方法について説明します。

Active Directoryグループ **xd.local\sales** に属する `Win10Desktop` ユーザーに対してApp Protectionを無効にする手順は次のとおりです。

1. `Get-BrokerAccessPolicyRule` を実行して、`Win10Desktop` の2つのブローカーアクセスポリシーを表示します。デリバリーグループ `Win10Desktop` には、`Win10Desktop_AG` と `Win10Desktop_Direct` の2つのブローカーアクセスポリシーがあります。`Win10Desktop` のデスクトップグループUIDをメモします。
2. `Win10Desktop` のブローカーアクセスポリシー規則を作成し、Active Directoryグループ `xd.local\sales` のユーザーからの接続をフィルタリングします。

   ```
   New-BrokerAccessPolicyRule -Name Win10Desktop_AG_Sales_Group
   -DesktopGroupUid <Uid_of_desktopGroup> -AllowedConnections ViaAG
   -AllowedProtocols HDX, RDP -AllowedUsers Filtered -AllowRestart $true
   -Enabled $true
   ```

   Uid_of_desktopGroup は、手順1でGetBrokerAccessPolicy Ruleを実行して取得したデリバリーグループのDesktopGroupUIDです。
3. ADグループ **xd.local\sales** に属するWindows 10デスクトップユーザーに対してApp Protectionポリシーを無効にするには、次のコマンドを使用します。

   ```
   Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG_Sales_Group -AllowedUsers
   Filtered -IncludedUsers xd.local\sales -IncludedUserFilterEnabled $true
   -AppProtectionScreenCaptureRequired $false
   -AppProtectionKeyLoggingRequired $false
   ```
4. **xd.local\sales** のユーザーを除く、残りのゲートウェイ接続に対してApp Protectionポリシーを有効にするには、次のコマンドを使用します。

   ```
   Set-BrokerAccessPolicyRule Win10Desktop_AG -AllowedUsers
   Anyauthenticated -ExcludedUserFilterEnabled $true -ExcludedUsers
   xd.local\sales -AppProtectionScreenCaptureRequired $true
   -AppProtectionKeyLoggingRequired $true
   ```
5. **検証**

   Citrix Workspaceアプリがすでに開いている場合はサインアウトします。**xd.local\sales** Active Directoryグループのユーザーとして Citrix Workspaceアプリにサインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが無効になっていることがわかります。

Citrix Workspaceアプリからサインアウトし、**xd.local\sales** に属さないユーザーとして再度サインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが有効になっていることがわかります。

シナリオ 4

このシナリオでは、EPAスキャン結果に基づいてデバイスのApp Protectionを有効にする方法について説明します。

EPAスキャンに合格したデバイスに対してApp Protectionを有効にする手順は次のとおりです。

前提条件：

以下があることを確認してください。

- 認証、承認、および監査ユーザーグループ（デフォルトおよび隔離されたユーザーグループ用）と関連ポリシー
- LDAPサーバー構成と関連ポリシー

1. Citrix ADCにサインインし、**Configuration** > **Citrix Gateway** > **Virtual Servers**の順に移動します。
2. 関連する仮想サーバーを選択し、**Edit**をクリックします。
3. 既存の認証プロファイルを編集します。
4. 関連する仮想サーバーを選択し、**Edit**をクリックします。
5. **Authentication Policies** > **Add Binding**をクリックします。
6. **Select Policy**の下で、**Add**をクリックします。
7. **Name**フィールドに、認証ポリシーの名前を入力します。
8. **Action Type**ドロップダウンリストで、**EPA**を選択します。
9. 「**Expression**」フィールドに`True`を入力します。

   認証ポリシーの構成(/en-us/citrix-workspace-app/media/configure-authentication-policy.png)
10. 「**Action**」の下で、「**Add**」をクリックします。
11. 「**Name**」フィールドに、EPAアクションの名前を入力します。
12. 「**Default Group**」と「**Quarantine Group**」の名前を入力します。このシナリオでは、「**Default Group**」の名前は「**FileExists**」で、「**Quarantine Group**」の名前は「**FileNotExists**」です。
13. 「**Expression**」フィールドに、次の値を入力します。

```
sys.client_expr("file_0_c:\\\\epa\\\\compliance.txt") ||
sys.client_expr("file_0_c:\\\\epa\\\\trusteddevice.txt") ||
sys.client_expr("file_0_/tmp/compliance.txt") ||
sys.client_expr("file_0_/tmp/trusteddevice.txt")
```

認証EPAアクションの構成(/en-us/citrix-workspace-app/media/configure-authentication-epa-action.png)

14. 「**Create**」をクリックし、その後「**Bind**」をクリックします。
15. 「**Session Policies**」>「**Add Binding**」をクリックします。
16. 「**Select Policy**」の下で、「**Add**」をクリックします。
17. 「**Name**」フィールドに、セッションポリシーの名前を入力します。
18. 「**Expression**」フィールドに、次の値を入力します。

```
AAA.USER.IS_MEMBER_OF("FileExists")
```

Citrix Gatewayセッションポリシーの構成(/en-us/citrix-workspace-app/media/configure-citrix-gateway-session-policy.png)

19. 「**Create**」をクリックし、その後「**Bind**」をクリックします。
20. タスクバーの左端で、「**Search**」検索アイコン(/en-us/citrix-workspace-app/media/search-icon.png)をクリックします。
21. 「**Powershell**」と入力し、「**Windows Powershell**」を開きます。
22. **Smart Accessタグ「EPA_GW:Trusted-Device-PC」**を参照して、EPAスキャンに合格したデバイスのApp Protectionポリシーを無効にするには、次のコマンドを使用します。

```
Set-BrokerAccessPolicyRule "Contextual App Protection Delivery
Group_AG" -IncludedSmartAccessFilterEnabled $true
-IncludedSmartAccessTags EPA_GW:Trusted-Device-PC
-AppProtectionScreenCaptureRequired $false
```

ここで、*EPA_GW*はVPN仮想サーバー名です。

23. **Smart Accessタグ「EPA_GW:Trusted-Device-PC」**を参照して、EPAスキャンに失敗したデバイスのApp Protectionポリシーを有効にするには、次のコマンドを使用します。

```
New-BrokerAccessPolicyRule "Contextual App Protection Delivery
Group_AG_NonCompliant"-DesktopGroupUid 17 -AllowedConnections ViaAG
-AllowedProtocols HDX, RDP -Enabled $true -AllowRestart $true
-ExcludedSmartAccessFilterEnabled $true -ExcludedSmartAccessTags
EPA_GW:Trusted-Device-PC -IncludedSmartAccessFilterEnabled $true
-AppProtectionScreenCaptureRequired $true
```

24. **検証**

    Citrix Workspaceアプリがすでに開いている場合は、サインアウトします。信頼できるデバイスからCitrix Workspaceアプリにサインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが無効になっていることがわかります。

    Citrix Workspaceアプリからサインアウトし、信頼できないデバイスから再度サインインします。保護されたリソースを起動すると、App Protectionが有効になっていることがわかります。

シナリオ 5

このシナリオでは、特定のユーザーグループに対して App Protection を有効にする方法について説明します。

特定のグループのユーザーに対して App Protection を有効にするには、特定のユーザーグループに対して App Protection を有効にする を参照してください。

Workspace を介したハイブリッド起動の App Protection サポート

Citrix Virtual Apps and Desktops のハイブリッド起動とは、ネイティブブラウザにストアURLを入力して Citrix Workspace for Web にサインインし、ネイティブの Citrix Workspace アプリとその HDX エンジンを介して仮想アプリとデスクトップを起動することです。ハイブリッドという用語は、Citrix Workspace app for Web とネイティブの Citrix Workspace アプリを組み合わせてリソースに接続し、使用することに由来します。

注:

エンドポイントにネイティブの Citrix Workspace アプリコンポーネントがインストールされていない場合、Citrix Workspace ストアと HDX エンジンの両方がブラウザ内にあるゼロインストール構成となります。このシナリオは、Citrix Workspace または Citrix StoreFront の

> いずれかでホストされる Citrix Workspace app for HTML5 として知られています。このドキュメントでは、このシナリオについては説明していません。

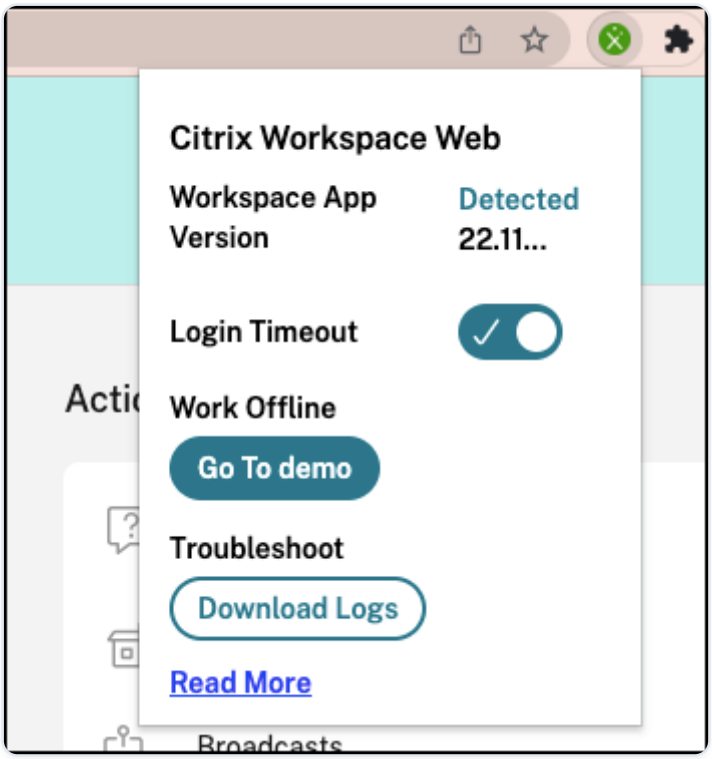
前提条件

- Citrix Workspace Web 拡張機能 をサポートするブラウザを使用していることを確認してください。
- 以下のいずれかのバージョンの Citrix Workspace アプリを使用していることを確認してください。
  - Windows 版 シトリックス ワークスペース アプリ 2106 以降
  - macOS 版 シトリックス ワークスペース アプリ 2106 以降
- デフォルトの cloud.com ドメインの代わりに、カスタムドメインを Workspace URL として使用している場合:
  - Citrix Web Extension のバージョンが 24.4.0 以降であることを確認してください。
  - ワークスペースURLに「Citrix」が含まれていること。例: `prod.mycompany.com/xyz/Citrix/*`。

ハイブリッド起動の App Protection を有効にする

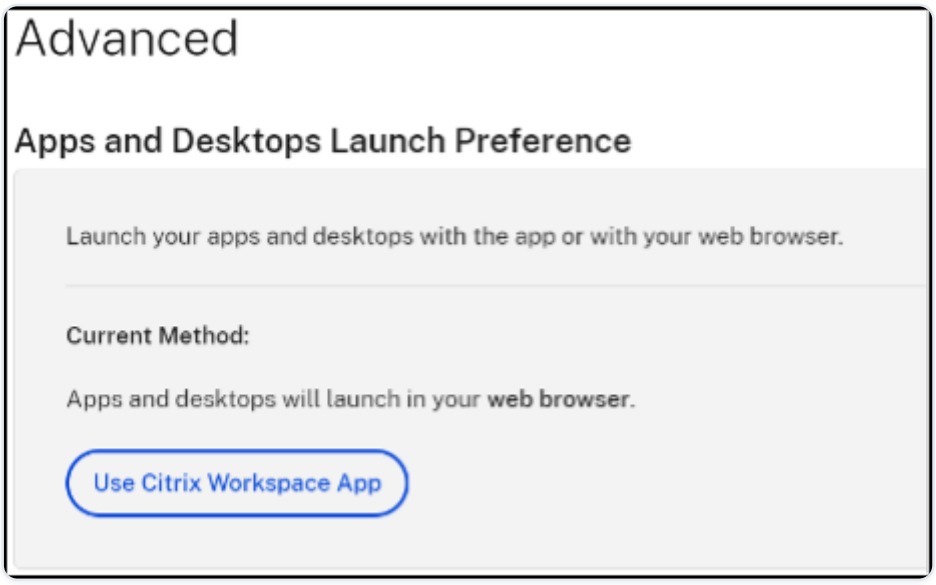
1. ストアを追加する前に、お使いのブラウザ用の Citrix Workspace Web 拡張機能をインストールしてください。お使いのブラウザに応じて、以下のいずれかのリンクを使用してください。
   - クローム
   - エッジ クロミウム

   拡張機能をインストールすると、ブラウザの拡張機能セクションに表示されます。

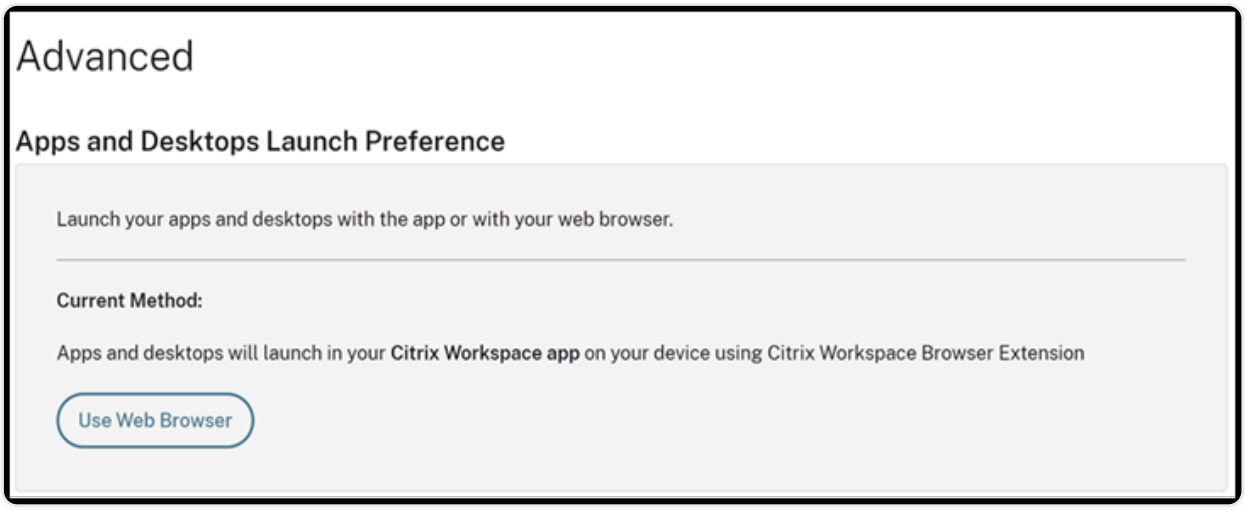


2. ネイティブブラウザからストアにサインインします。
3. **プロファイル > アカウント設定 > 詳細**に移動します。

   アプリとデスクトップの起動設定セクションで、現在Webブラウザでアプリとデスクトップが起動している方法を確認できます。**Citrix Workspaceアプリを使用**をクリックします。



   Citrix Workspaceアプリを使用してリソースを起動している場合、次のオプションが表示されます。この場合、変更は不要です。

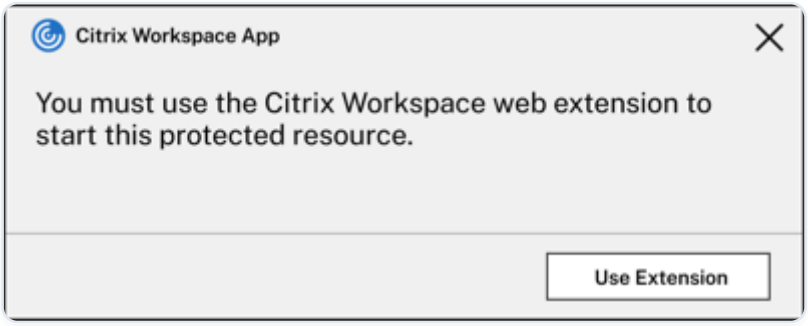


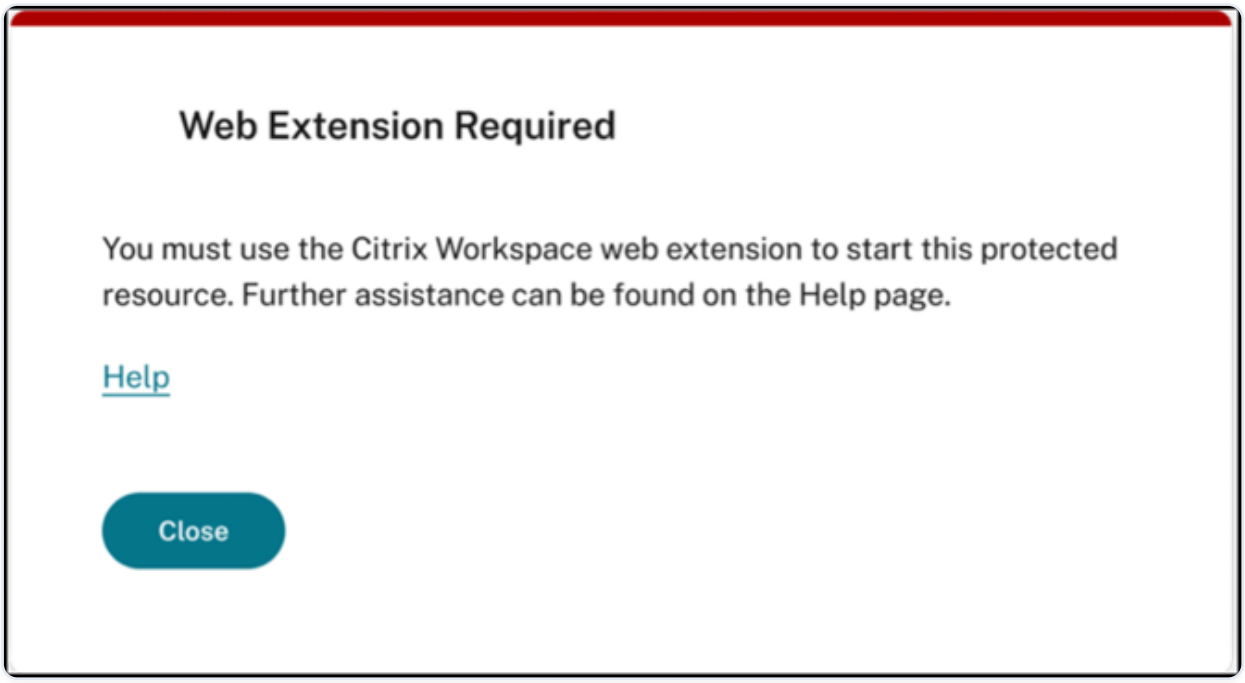
4. これで、保護された仮想アプリまたはデスクトップを起動できます。

一般的な障害シナリオ

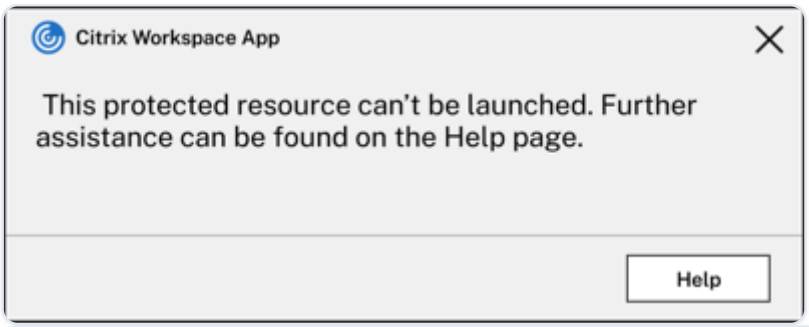
起動の失敗と、その修正方法を示すいくつかのシナリオを以下に示します。

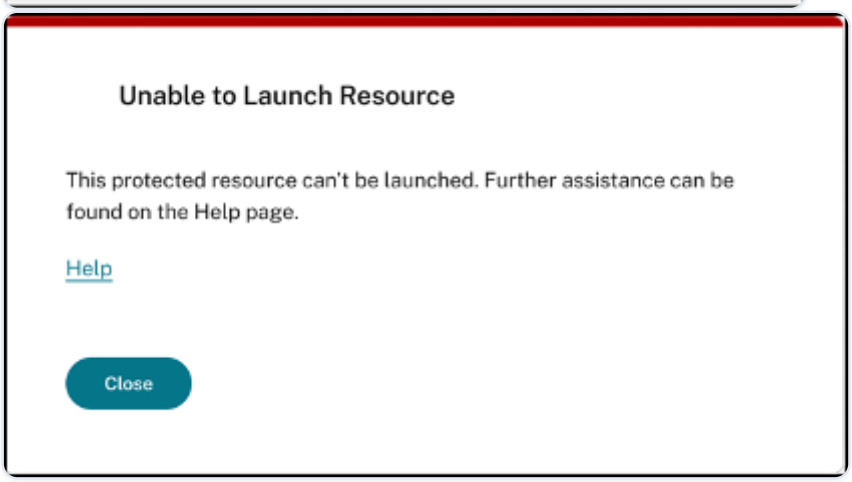
- 保護されたアプリケーションを起動する前にCitrix Workspace Web拡張機能を無効にするかアンインストールすると、次のいずれかのエラーが発生します。これを回避するには、Citrix Workspace for Webにログインする前に拡張機能をインストールしてください。





- 起動設定が**Web Browser**に設定されている場合、以下のいずれかのエラーが発生します。このエラーを解決するには、起動設定を**Use Citrix Workspace app**に変更してください。詳細については、このサポート記事を参照してください。





StoreFrontを介したハイブリッド起動に対するApp Protectionのサポート

Citrix Virtual Apps and Desktopsのハイブリッド起動とは、ネイティブブラウザでストアURLを入力してStoreFront for Webにサインインし、ネイティブのCitrix Workspaceアプリとそのエンジンを介して仮想アプリとデスクトップを起動することです。「ハイブリッド」という用語は、StoreFront for Webとネイティブの Citrix Workspaceアプリを組み合わせてリソースに接続し、使用することに由来します。

> **注:**
>
> エンドポイントにネイティブのCitrix Workspaceアプリコンポーネントがインストールされていない場合、Citrix WorkspaceストアとHDXエンジンの両方がブラウザ内にあるゼロインストール構成になります。このシナリオはCitrix Workspace app for HTML5として知られており、Citrix WorkspaceまたはCitrix StoreFrontのいずれかでホストされます。このドキュメントでは、そのシナリオについては説明していません。

StoreFrontを介したハイブリッド起動に対するApp Protectionのサポートは、App Protectionが有効なリソースをブラウザから表示および起動する機能を提供します。

> **注:**
>
> **軽量バージョンを使用**（HTML5クライアントを使用）または**すでにインストール済み**のオプションを選択した場合、Citrix Workspaceアプリがブラウザで正常に検出されないため、App Protectionが有効なセッションはブロックされます。

StoreFront 2308以降を使用している場合、StoreFrontが適切に構成され、ブラウザがネイティブのCitrix Workspaceアプリを正常に検出すると、App Protectionポリシーが有効になっているアプリとデスクトップにWebブラウザを使用してアクセスできます。StoreFront 1912から2203のバージョンを使用している場合、(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/app-protection-hybrid-launch-storefront.html#how-to-deploy)セクションで説明されているカスタマイズを適用する必要があります。

> **制限事項:**

> StoreFrontは、初めてWebサイトにサインインしたときにCitrix Workspaceアプリのバージョンを決定します。その後、異なるバージョンのCitrix Workspaceアプリをインストールしても、StoreFrontはその変更を認識しません。そのため、App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリとデスクトップの起動を誤って許可または拒否する可能性があります。Citrixは、App Protectionをサポートしていない以前のバージョンのCitrix Workspaceアプリからの仮想アプリとデスクトップの起動をブロックするApp Protectionポスチャチェックを構成することを推奨します。ポスチャチェックの詳細については、(/ja-jp/citrix-workspace-app/app-protection/features.html#posture-check)を参照してください。

StoreFrontバージョン2308以降を介したハイブリッド起動

StoreFrontバージョン2308には、App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリとデスクトップのハイブリッド起動のサポートが含まれていますが、これはデフォルトで無効になっています。StoreFront 2308以降でのハイブリッド起動に対するApp Protectionの有効化の詳細については、(/ja-jp/storefront/current-release/manage-citrix-receiver-for-web-site/app-protection)を参照してください。

StoreFrontバージョン1912から2203を介したハイブリッド起動

StoreFrontバージョン1912から2203は、App Protectionポリシーが有効になっている仮想アプリとデスクトップのハイブリッド起動を、次のようにカスタマイズを使用して有効にすることをサポートしています。

Citrixは、StoreFront 2308以降にアップグレードする際に、このカスタマイズを削除することを推奨します。

前提条件

App Protectionに必要なCitrixコンポーネントのバージョンについては、システム要件を参照してください。

展開方法

1. StoreFrontサーバーマシンに展開する必要があるすべてのファイルを含む、*stf-customization-AppP.zip*という名前のZipファイルをダウンロードします。Citrix Downloadsからファイルをダウンロードしてください。ファイルには以下が含まれます。

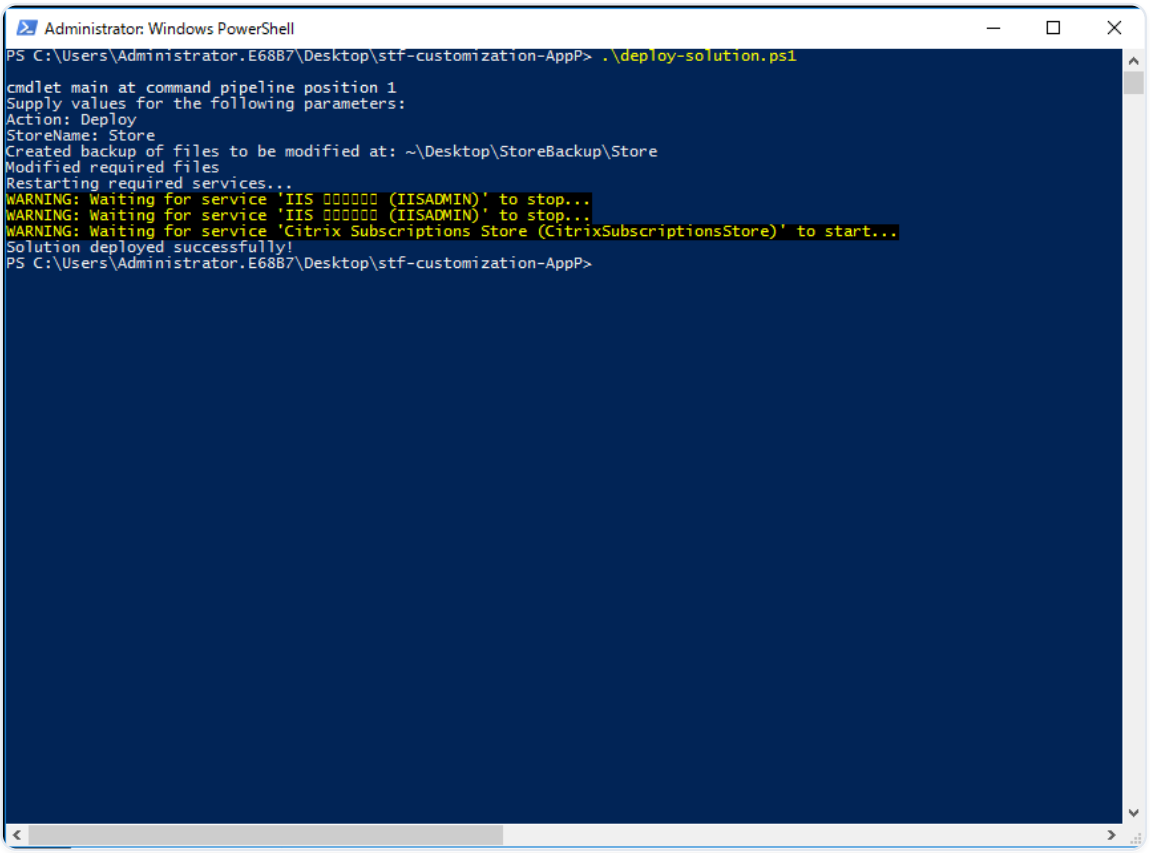
    - ストアのbinフォルダーにコピーする必要があるDLL
    - ソリューションが機能するために必要なJavaScriptファイルおよびその他のファイル

- StoreFront管理者がソリューションを展開するために使用する*deploy-solution.ps1* PowerShellスクリプト

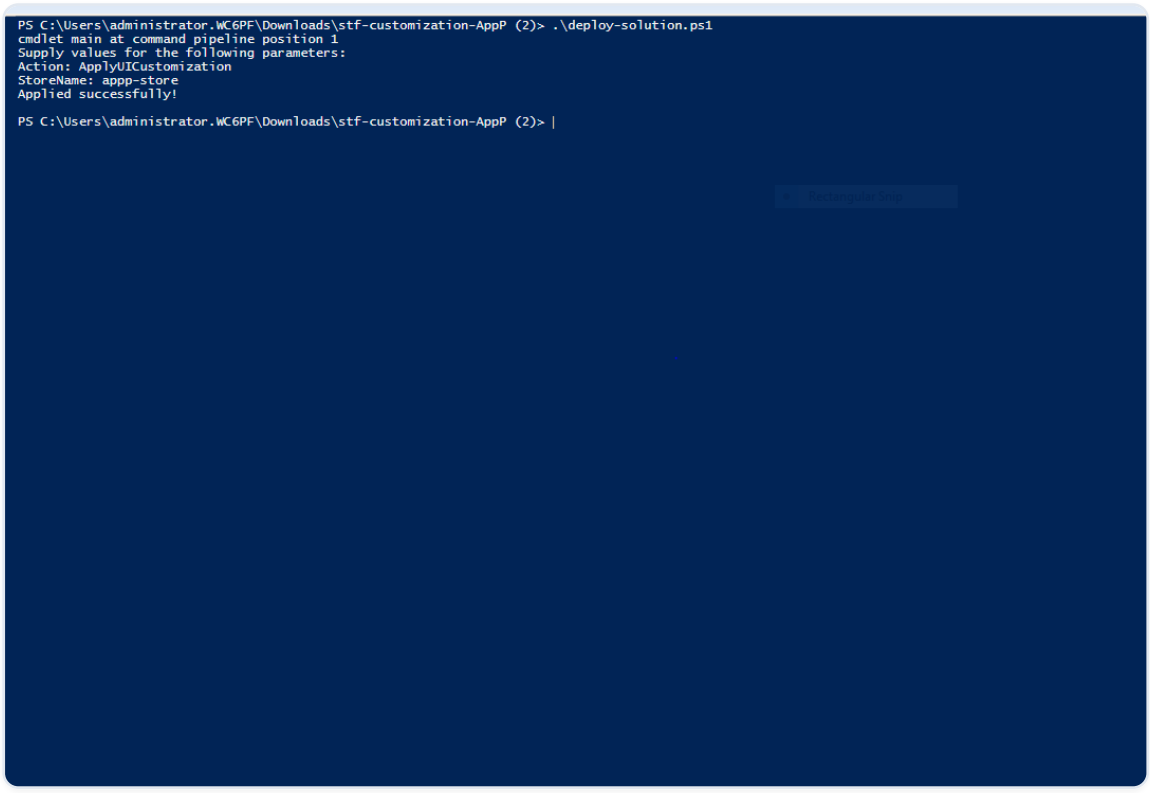
2. *stf-customization-AppP.zip*ファイルを解凍し、ファイルが抽出された場所で新しい管理者PowerShellを開きます。次の引数を取る`deploy-solution.ps1`コマンドを実行します。

   - `-Action`: スクリプトが実行するアクション。許可される値は次のとおりです。

     - `Deploy`アクションは、ソリューションをシームレスに展開します。このソリューションが変更するファイルのバックアップを作成し、ソリューションファイルをコピーして、サービスを再起動します。次のスクリーンショットは、StoreFrontサーバーにソリューションを展開するコマンドを示しています。



     - `ApplyUICustomization`アクションは、ストアUIにカスタマイズを適用し、**Already installed**および**Use light version**オプションが表示されないようにします。このアクションは、ブラウザーでのネイティブCitrix Workspaceアプリの検出を強制し、ブロックされたシナリオやサポートされていないシナリオをバイパスするようにします。



  - `RemoveUICustomization`アクションは`ApplyUICustomization`のアクションを元に戻し、**Already Installed**および**Use light version**オプションが再び表示されます。

- `-StoreName`: アクションを実行する必要があるストアの名前。このパラメーターは必須であり、`Deploy`アクションとともに渡す必要があります。
- `-BackupDir`: `Deploy`アクションとともに渡すことができるパラメーターで、必要なディレクトリにバックアップを作成します。渡されない場合、バックアップはデスクトップに作成されます。このパラメーターはオプションです。

> **注:**

> *StoreCustomization_Input.dll* または *StoreCustomization_Launch.dll* に既存のカスタマイズがある場合、このソリューションを展開するとそれらは上書きされます。

> App Protectionが有効なアプリとデスクトップは、カスタマイズを展開した後にのみ表示されます。展開しないと、アプリとデスクトップは表示されません。

StoreFrontのカスタマイズを元に戻す方法

前述のStoreFrontのカスタマイズを元に戻すには、次の手順を実行します。

1. *\Desktop\StoreBackup\<ストア名>* ディレクトリに移動し、次のファイルをそれぞれのディレクトリにコピーします。

   - *StoreCustomization_Input.dll* および *StoreCustomization_Launch.dll* ファイルを *IISINETPub\Citrix\<ストア名>\bin* ディレクトリに
   - *web.config* ファイルを *IISINETPub\Citrix\StoreWeb* ディレクトリに
   - **.js* および *style.css* ファイルを *IISINETPub\Citrix\StoreWeb\Custom* ディレクトリに

   > **注:**
   >
   > \Desktop\StoreBackup\<ストア名> ディレクトリに前述のファイル以外のカスタマイズファイルがある場合は、必要に応じてそれらのファイルとディレクトリを関連するディレクトリにコピーします。

2. PowerShellを開きます。
3. 次のコマンドを実行して、**IISADMIN** および **CitrixSubscriptionsStore** サービスを停止します。

   ```
   sc stop IISADMIN

   sc stop CitrixSubscriptionsStore
   ```

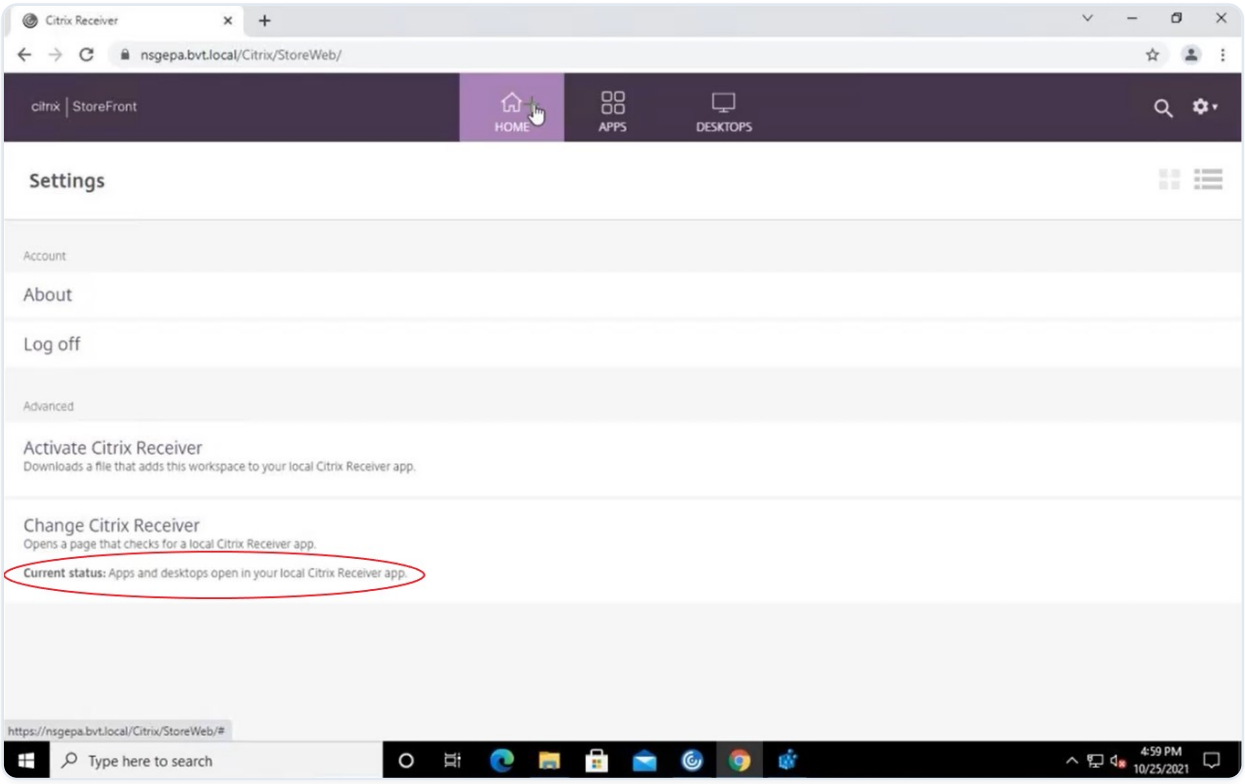
4. 次のコマンドを実行して、**IISADMIN** および **CitrixSubscriptionsStore** サービスを再度開始します。

   ```
   sc start IISADMIN

   sc start CitrixSubscriptionsStore
   ```

保護されたリソースのハイブリッド起動におけるエンドユーザーエクスペリエンス

1. 管理者がStoreFrontサーバーにソリューションを展開した後、クライアント側でストアにサインインし、WebブラウザでURLを使用してStoreFrontにアクセスします。
2. Citrix Workspaceアプリがブラウザで正常に検出されたかどうかを確認するには、**アカウント設定**で**現在のステータス**を確認します。



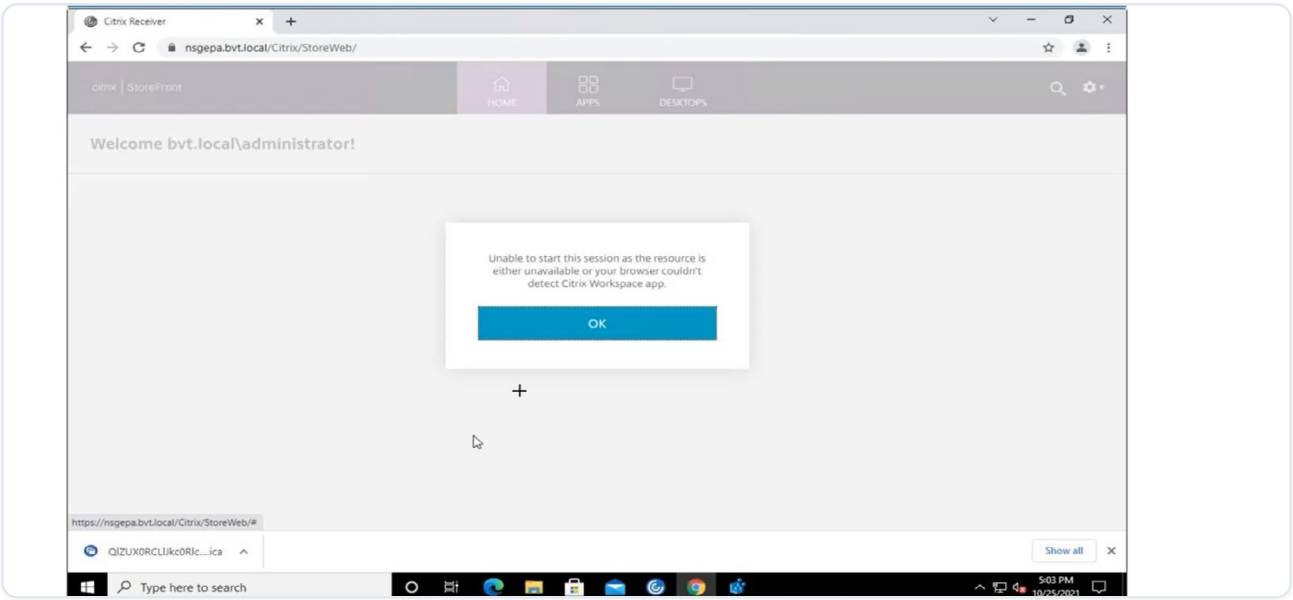
Citrix Workspaceアプリが検出されると、App Protectionが有効になっているすべての仮想アプリとデスクトップを表示して起動できます。

StoreFrontでトレースを有効にする

StoreFrontでトレースを有効にするには、StoreFrontのドキュメントを参照してください。このトレースを使用して、構成されたNetScaler Gatewayセッションポリシーラベルがストアに適切に渡されているかどうかを確認できます。

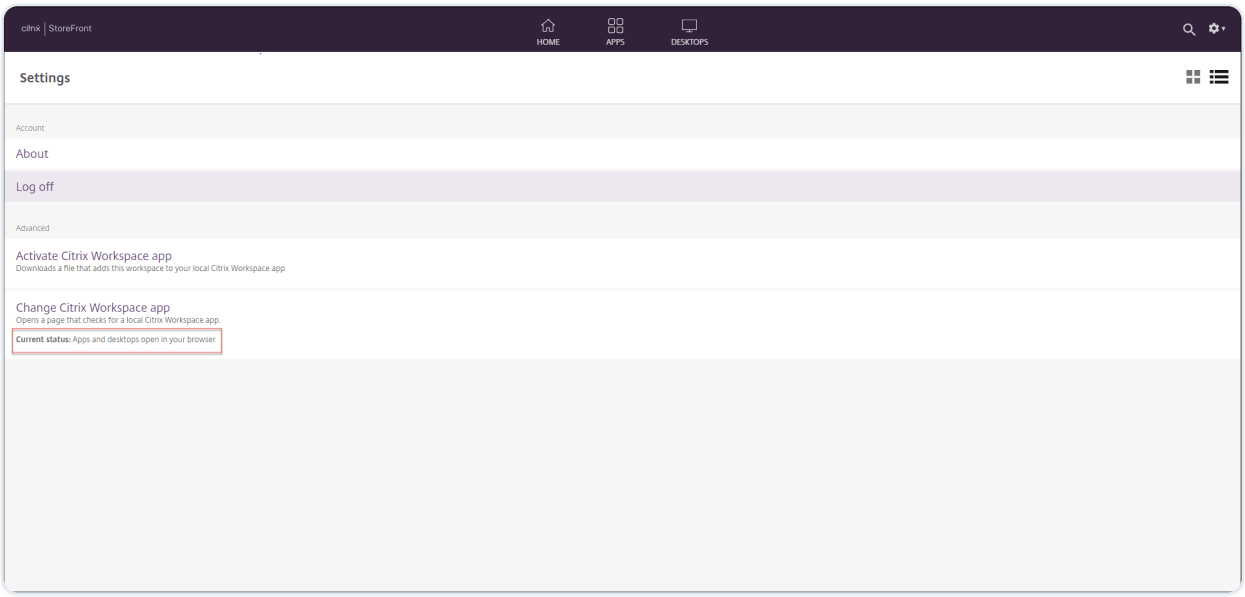
トラブルシューティング

App Protectionが有効なセッションを起動すると、次のエラーが発生する場合があります。

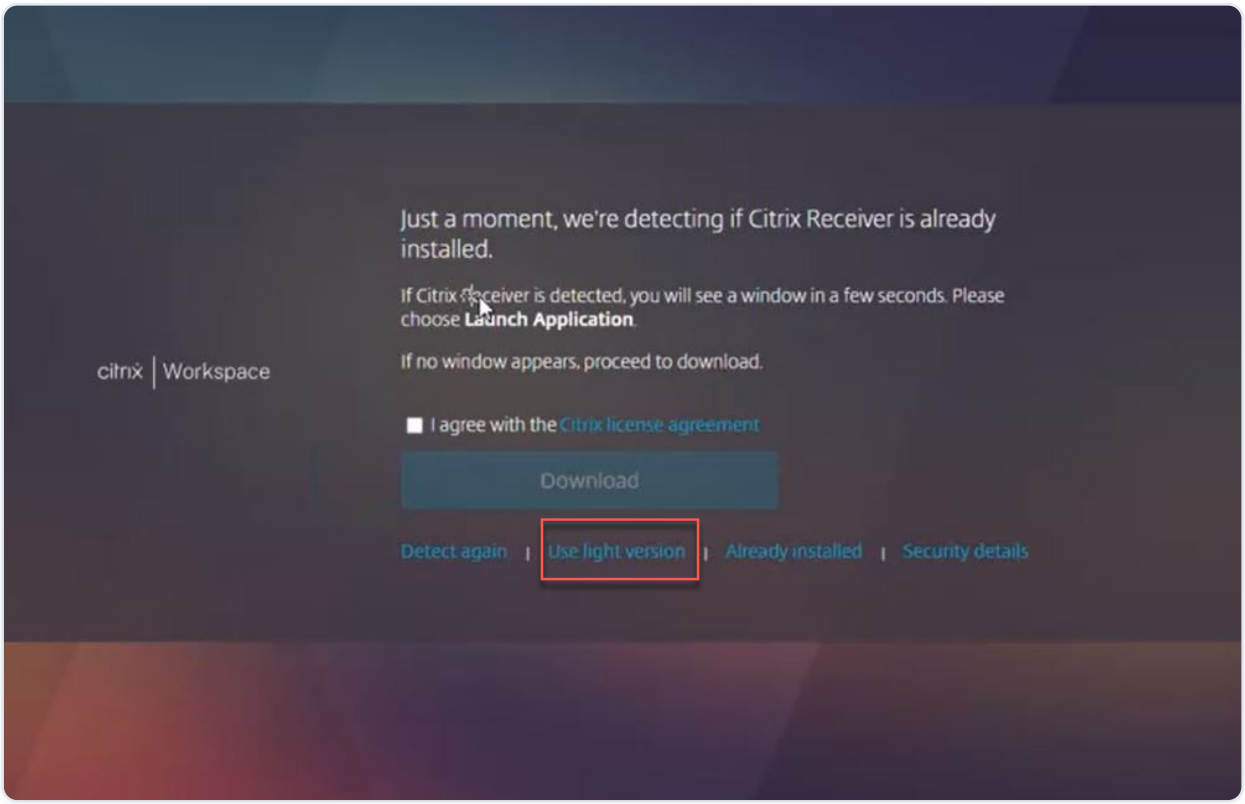


このエラーの考えられる原因は次のとおりです。

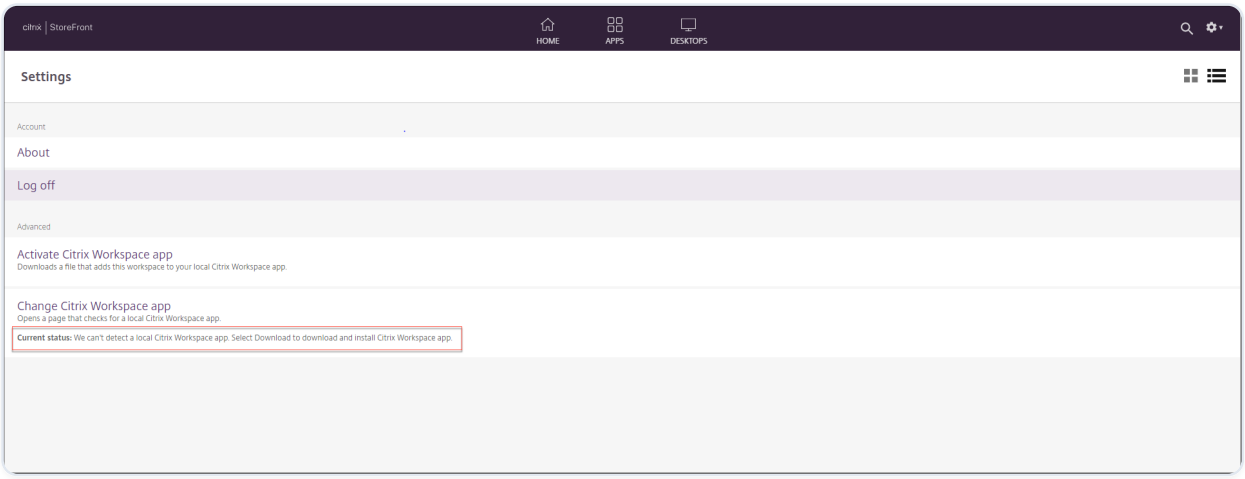
- アプリとデスクトップがブラウザで開くように構成されている。



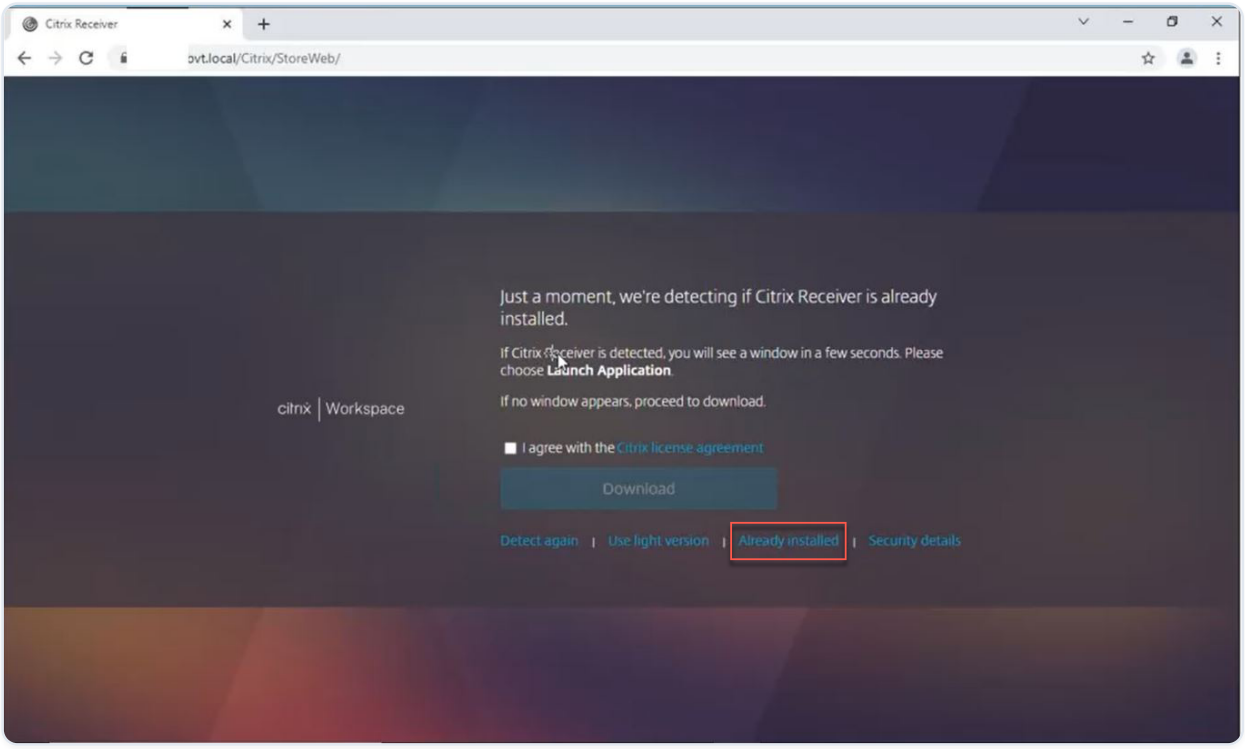
次の画面に示すように、Citrix Workspaceアプリの検出中に**簡易バージョンを使用**をクリックした場合、このシナリオに直面します。



- ブラウザがCitrix Workspaceアプリを検出しない。



以下の画面に示すように、Citrix Workspaceアプリの検出中に**Already installed**をクリックした場合、このシナリオに直面します。



解決策: 前述のシナリオを修正し、App Protectionが有効なセッションを起動するには、**Account Settings**で**Change Citrix Workspace app**をクリックし、Citrix Workspaceアプリが検出されるまで待ちます。

最適化

App Protectionが有効なセッションを起動するには、Citrix Workspaceアプリの検出が必須です。保護されたセッションのハイブリッド起動中の障害を回避するために、StoreFront管理者は`deploy-solution.ps1`コマンドの`ApplyUICustomization`アクションを使用して、**Use light version**と**Already installed**オプションを非表示にできます。

AI搭載ツールからの画面キャプチャのブロック

AI搭載ツールとエージェントがエンドポイントでより一般的になるにつれて、大規模言語モデル (LLM) によって頻繁に使用される画面キャプチャ機能が、意図せず機密データを公開する可能性があります。このリスクは、コンプライアンスとデータ保護が不可欠である規制対象業界において特に重要です。

App Protectionは、Microsoft Recallのような高度なAI駆動機能からのものを含む、不正な画面キャプチャの試みを検出してブロックすることにより、機密情報の保護に役立ちます。これらの保護を統合することにより、Citrixは仮想化アプリケーションのセキュリティ確保を支援し、すべてのユーザー環境でデータセキュリティを維持します。

注:

Citrix App Protectionの画面キャプチャ防止機能を使用するには、以下のコンポーネントのすべての前提条件が満たされていることを確認してください。

- Citrix Workspaceアプリ for Windows LTSR 2203.1以降、Citrix Workspaceアプリ for Windows CR 2305.1以降
- Citrix Workspaceアプリ for iOS} 24.9.0以降
- Citrix Workspaceアプリ for Linux 2108以降
- Citrix Workspaceアプリ for Mac 2001以降
- Citrix Workspaceアプリ for Android 24.7.0以降
- Citrix Workspaceアプリ 1912以降

Microsoft Recallによる画面キャプチャの試みのブロック

Citrix Workspaceアプリ for Windows 2507は、エミュレーションモードでarm64ベースのデバイスをサポートします。App Protectionの画面キャプチャ防止ポリシーを活用することで、arm64ベースのCopilot+ PC上でMicrosoft Recallによる画面コンテンツキャプチャの試みを検出してブロックします。

DirectorおよびMonitorへのApp Protectionイベント

はじめに

Windows向けCitrix Workspaceアプリ (CWA) には、**Microsoft Recall**などのエンドポイント上の高リスク状態を手動設定なしで自動的に検出する組み込みのセキュリティチェックが導入されています。これらの検出は、Citrix DirectorおよびMonitorにイベントを報告することでリアルタイムの可視性を提供し、管理者がリスクを迅速に評価し、App Protectionポリシーなどの保護対策を適用できるようにします。

特定のイベント（たとえば、Microsoft Recall）の検出は自動ですが、これらのイベントからの保護には、管理者によるApp Protectionポリシーの手動設定が必要です。

プロアクティブなリスク管理とポリシーの再構成を利用することで、管理者は環境内のエンドポイントセキュリティを強化し、新たな脅威への露出を減らすことができます。このプロアクティブなアプローチは、組織がリアルタイムで脅威を特定し、対応するのを支援することで、Citrix®が安全なアプリケーション配信にコミットしていることをさらに推進します。

> **注:**

> Citrix Workspaceアプリは、ライセンスエンタイトルメントの適用、およびソフトウェアの運用、管理、測定、改善のために、製品を通じてユーザーおよびデバイスの使用状況に関するテレメトリデータを収集します。以下を含みます。

> - デバイスID
> - ユーザー名
> - タイムスタンプ
> - IPアドレス

前提条件

- **Citrix Virtual Delivery Agent**: VDAバージョン2507以降。
- **シトリックス ディレクター**: シトリックス バーチャル アプリケーションズ アンド デスクトップ 2603以降。
- **Citrix Monitor**: DDCバージョン128以降。

- **Windows 用 Citrix Workspace アプリ (CWA)**: エンドポイントにはバージョン 2603 以降が必要です。
    - 保護イベントの場合、管理者は関連するアプリ保護ポリシー (例: 画面キャプチャ防止、DLL インジェクション防止) を Citrix ポリシーを通じて構成する必要があります。

イベントの種類

Microsoft Recall の検出

Windows Recall は、エンドポイントで実行される AI エージェントであり、ユーザーの画面コンテンツのスナップショットを継続的にキャプチャしてローカルに保存し、分析します。これらのスナップショットには、次のような機密情報が含まれる可能性があります。

- サインイン時に入力された企業資格情報。
- 仮想デスクトップまたは公開アプリケーションに表示される機密性の高いアプリケーションデータ。
- セッション中に表示される専有文書および知的財産。

Director ビュー - Recall イベント(/en-us/citrix-workspace-app/media/director-recall-screenshot1.png)

悪用された場合、この機能により、攻撃者または不正なユーザーが、セッション終了後でもデバイスから機密データを取得できる可能性があります。

このイベントはいつ送信されますか?

セッション起動時、CWA は Windows Recall がエンドポイントでアクティブであるかどうかを自動的に検出します。

- **検出イベント**: Recall が検出され、セッションで画面キャプチャ防止ポリシーが**有効になっていない**場合に送信されます。
- **保護イベント**: Recall が検出され、セッションで画面キャプチャ防止ポリシーが**有効になっている**場合に送信されます。

Director ビュー - Recall イベント(/en-us/citrix-workspace-app/media/director-recall-screenshot.png)

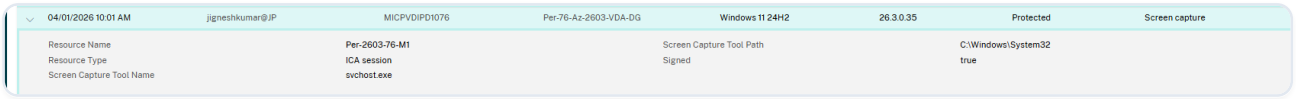
イベント固有のデータ このイベントは共通フィールドのみを使用し、`resourceType` および `resourceName` 以外の追加フィールドは含まれません。

スクリーンキャプチャの検出

ユーザーまたはツールがエンドポイントデスクトップのスクリーンショットを撮ろうとすると、スクリーンキャプチャイベントが発生します。App Protection Anti-screen captureポリシーが有効になっている場合、セッションの内容はキャプチャツールに対して黒く塗りつぶされます。ツールはセッション外のデスクトップ領域をキャプチャできますが、セッションの内容自体は隠されます。

このイベントはいつ送信されますか?

Anti-screen captureポリシーが有効で実行中のセッション中に、CWAがスクリーンキャプチャツールが積極的に画面をキャプチャしようとしていることを検出すると、`screenCaptureEvent`が送信されます。イベントには、ツールの名前とパス、およびその署名ステータスが含まれます。



DLLインジェクションの検出

DLL（ダイナミックリンクライブラリ）は実行可能なライブラリです。DLLインジェクションは、プロセスがDLLをCitrixプロセスに挿入するときに発生します。これらのDLLは、正当な理由（例：グラフィックドライバー、ウイルス対策ソフトウェア）と悪意のある理由（例：ネットワークトラフィックの傍受、資格情報の傍受）の両方で挿入される可能性があります。

App Protection Anti-DLL Injectionは、署名されていないDLLが特定のCitrixプロセスに挿入されるのを防ぎます。署名されていないDLLがCitrixプロセスに挿入されることは、DLLインジェクションイベントと見なされます。

このイベントはいつ送信されますか?

Anti-DLL injectionポリシーが有効になっている間に、CWAが保護されたCitrixプロセスに署名されていないDLLが挿入されていることを検出すると、DLLインジェクションイベントが送信されます。



データとイベントの詳細

共通イベントスキーマ

すべてのエンドポイントセキュリティイベントは、DirectorおよびMonitorに報告される共通のエンベロープを共有します。

フィールド	説明	例
`deviceName`	エンドポイントコンピューター名。	`WORKSTATION-01`
`username`	ログインユーザー (UPN形式)。	`john@example.com`
`timestamp`	ミリ秒単位のUnixエポックタイムスタンプ。	`1733805466000`
`osVersion`	エンドポイントオペレーティングシステムバージョン。	`Windows 11 Pro`
`cwaVersion`	エンドポイント上のCitrix Workspaceアプリのバージョン。	`25.3.2.196`
`ipAddress`	エンドポイントのIPアドレス。	`123.45.67.89`
`version`	イベントスキーマのバージョン。	`1.0`
`eventType`	セキュリティイベントタイプの識別子。	`recallEvent`
`payloadType`	0 = 検出 (脅威を特定); 1 = 保護 (軽減済み)。	`0`
`component`	イベントを生成したCWAコンポーネント。	`AppProtection`

すべてのイベントには、次の内容を含む**EndpointSecurityAdditionalData**オブジェクトも含まれます。

フィールド	説明	例
`resourceType`	イベントに関連付けられているリソースの種類。	`ICA session`
`resourceName`	公開されたリソースのフレンドリ名。	`Prod_Win11_Session`

画面キャプチャイベント固有のデータ

共通フィールドに加えて、`EndpointSecurityAdditionalData`には以下が含まれます。

フィールド	説明	例
`screenCaptureToolName`	検出されたツールの実行可能ファイル名。	`obs64.exe`
`screenCaptureToolPath`	ツール実行可能ファイルへの完全なファイルシステムパス。	`C:\Program Files\obs-studio\bin\64bit`
`signed`	検出された実行可能ファイルがデジタル署名されているかどうか。	`true`

DLLインジェクションイベント固有のデータ

共通フィールドに加えて、管理者はDLLのパスを確認できます。

フィールド	説明	例
`dllPath`	挿入された署名なしDLLへの完全なファイルシステムパス。	`C:\Program Files\abc.dll`

Citrix Workspace app のリリーススケジュール

このリリーススケジュールは、Citrix Workspace app リリースの目標リリースサイクルと日付を示しています。正確な日付は変更される可能性がありますが、皆様が事前に計画を立てられるよう支援したいと考えています。また、Citrix Workspace app の展開をより簡単に管理できるようにしたいと考えています。

新しいリリースは、Citrix Workspace app の ダウンロード ページからダウンロードできます。Citrix Workspace app for Android、Citrix Workspace app for iOS}、および Citrix Workspace app for Windows (Store) も、それぞれのアプリストアからダウンロードできます。Citrix Workspace app for Mac または Windows 用の Citrix Workspace Updates を有効にしている場合、ダウンロードと更新のインストールを承認するよう通知されます。新しいリリースが利用可能になったときにアラートを受け取るには、RSSフィード を購読することを検討してください。

各Citrix Workspace appで利用可能な機能の詳細については、Citrix Workspace app 機能マトリックス を参照してください。

ライフサイクル情報については、Citrix Workspace app のライフサイクルマイルストーン を参照してください。

目標リリースサイクル

以下のCitrix Workspace appプラットフォームは、四半期ごとのリリースサイクルに従います。

- Linux (リナックス)
- Mac
- Windows (ウィンドウズ)
- ChromeOS
- HTML5

以下のCitrix Workspace appプラットフォームは、月ごとのリリースサイクルに従います。

- アンドロイド
- iOS

注記:

Citrix Workspaceアプリ for Windows、Citrix Workspaceアプリ for Mac、Citrix Workspaceアプリ for Android、およびCitrix Workspaceアプリ for iOSは、今後、四半期ごとにメジャーリリースとマイナーリリースが予定されています。マイナーリリースは「.10」と表記され、これらのリリースには、品質とパフォーマンスの改善に関する軽微な機能強化が含まれます。マイナーな「.10」リリースには、主要な機能は含まれない予定です。

デスクトップアプリのリリース予定日

CITRIX WORKSPACE™ アプリ	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
ウィンドウズ	✲	-	☑	✲	-	-	☑	-	✲	-	☑	✲
ウィンドウズLTSR	-	-	◇	-	-	◇	☑	-	-	◇	-	-

CITRIX WORKSPACE™ アプリ	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
Mac	-	-	☑	✲	☑	✲	-	☑	✲	-	☑	✲
ChromeOS	-	☑	-	-	☑	-	☑	-	☑	-	☑	-
HTML5	-	☑	-	-	☑	-	-	-	☑	-	☑	-
Linux	-	-	☑	-	☑	-	-	☑	-	-	☑	-
注: ☑記号はメジャーリリースを示し												

CITRIX WORKSPACE™ アプリ	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
、✲記号はマイナーリリースを示します。◇記号は累積更新プログラ												

CITRIX WORKSPACE™ アプリ	2025年1月	2025年2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
ム（CU）を示します。												

モバイルおよびタブレットアプリの目標リリース日

Android版Citrix WorkspaceアプリとiOS版Citrix Workspaceアプリは、毎月のリリースサイクルに従います。

CITRIX WORKSPACE アプリ	1月	2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
Android	☑	✲	☑	✲	☑	✲	☑	✲	☑	✲	☑	✲

CITRIX WORKSPACE アプリ	1月	2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
および iOS												
注記: ☑記号はメジャーリリース、✲記号はマイナーリリ												

CITRIX WORKSPACE アプリ	1月	2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
ースを示します。マイナーリリースは、特定の要件や改善を満たすため												

CITRIX WORKSPACE アプリ	1月	2月	2025年3月	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月
に調整されたオプションのリリースです。												

免責事項:

当社製品の開発、リリース、および時期に関する記述は、当社の単独の裁量に委ねられており、通知や協議なしに変更される場合があります。提供されるデータは情報提供のみを目的としており、いかなる資料、コード、または機能を提供することを約束、保証、または法的義務を負うものではなく、購入決定の根拠としたり、いかなる契約に組み込んだりすべきではありません。

Citrix Workspaceアプリの機能マトリックス

Citrix Workspaceアプリは、さまざまなプラットフォームまたはオペレーティングシステムにわたって多数の機能を提供します。この機能マトリックスを使用すると、さまざまなプラットフォームでの機能の可用性を明確に理解できます。各セクションでは、機能マトリックスとともに、各機能を簡潔に説明する機能定義テーブルを見つけることができます。

シトリックス ワークスペース

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA用CWA - テクニカルプレビュー
シトリックス バーチャル アプリ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
シトリックス仮想デスクトップ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
シトリックスセキュア プライベート アクセス	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
シトリックスエン	はい	はい (5)	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
ターブライズブラウザ (旧シトリックスワークスペース ブラウザ)									
SSO を使用した Web/SaaS アプリ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
Citrix モバイルアプリ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
アプリパーソナライゼーションサービス	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
デスクトップとアプリの	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
自動起動									

機能	定義
Citrix Virtual Apps	Citrix DaaS または Citrix Virtual Apps and Desktops™ のエンタイトルメントを通じて Citrix Virtual Apps にアクセスします。
Citrix Virtual Desktops™	Citrix DaaS または Citrix Virtual Apps and Desktops のエンタイトルメントを通じて Citrix Virtual Desktops にアクセスします。
シトリックス バーチャル アプリ	Citrix DaaS または Citrix Virtual Apps and Desktops™ のエンタイトルメントを通じて Citrix Virtual Apps にアクセスします。
シトリックス バーチャル デスクトップ™	Citrix DaaS または Citrix Virtual Apps and Desktops のエンタイトルメントを通じて Citrix Virtual Desktops にアクセスします。
Citrix セキュアプライベートアクセス	Citrix Secure Private Access を使用すると、IT 管理者は承認された SaaS アプリへのアクセスを管理できます。また、簡素化されたシングルサインオンエクスペリエンスにより、管理者

機能	定義
	は特定の Web サイトや Web サイトカテゴリへのアクセスをフィルタリングすることで、組織のネットワークとエンドユーザーデバイスをマルウェアやデータ漏洩から保護できます。
Citrix エンタープライズブラウザ(5)	Citrix Workspaceアプリで提供されるブラウザで、SaaSおよびWebアプリに安全にアクセスできます。
SSO対応のWeb/SaaSアプリ	Secure Workspace Access を使用して SSO で構成された SaaS/Web アプリにアクセスします。
Citrixモバイルアプリ	旧XenMobileとして知られるCitrix Endpoint Managementによって集約されたCitrixモバイルアプリにアクセスします。
Citrixモバイルアプリのアップグレード	旧XenMobileとして知られるCitrix Endpoint Managementによって集約されたCitrixモバイルアプリにアクセスします。
アプリパーソナライゼーションサービス	パーソナライズされた企業エクスペリエンスを可能にします。アプリのワークフロー全体で、Citrix Workspaceアプリのカスタムアプリ名と共同ブランドのアイコンを設定できます。
デスクトップとアプリの自動起動	管理者によって構成可能で、地理的位置またはユーザー行動分析に基づいて、ログイン時にデスクトップまたはアプリを自動的に起動します。
デスクトップとアプリの自動起動	管理者によって構成可能で、地理的位置またはユーザー行動分析に基づいて、ログイン時にデスクトップまたはアプリを自動的に起動します。

ワークスペース管理

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
メール検出にDNSを使用して自動構成	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/getting-started.html#adding-store-url-to-citrix-workspac	はい	いいえ	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/whats-new.html#2109)	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
	e-app)								
集中管理設定	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい
グローバルアプリ構成サービス (Workspace)	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
グローバルアプリ構成サービス	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
(StoreFront)									
App Storeの更新	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
Citrix自動更新	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
クライアントアプリ管理	はい	いいえ	いいえ	いいえ	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

機能	定義
メール検出にDNSを使用して自動構成	自動検出された設定を介してCitrix Workspaceアプリを構成できるようにします。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
一元管理設定	一元化されたサービスからのアプリ設定。例えば、Google Chrome管理やGPOなど。
グローバルアプリ構成サービス (Workspace)	Citrix Workspace向けグローバルアプリ構成サービスを使用すると、Citrix管理者はWorkspaceサービスURLとCitrix Workspaceアプリ設定を一元管理サービスを通じて配信できます。
グローバルアプリ構成サービス (StoreFront)	Citrix StoreFront向けグローバルアプリ構成サービスを使用すると、Citrix管理者はCitrix Workspaceアプリ設定を一元管理サービスを通じて配信できます。
アプリストアの更新	ベンダーのアプリケーションストアからの更新
Citrix自動更新	Citrix自動アップグレード機能によるWindowsおよびMacの更新
クライアントアプリ管理	Citrix Workspaceアプリを、Secure Access AgentやEnd Point Analysis (EPA) プラグインなどのエージェントをエンドポイントにインストールして管理するために必要な単一のクライアントアプリにすることができます。この機能により、管理者は単一の管理コンソールから必要なエージェントを簡単に展開および管理できます。
アプリストアの更新	ベンダーのアプリケーションストアからの更新
Citrix自動更新	Citrix自動アップグレード機能によるWindowsおよびMacの更新
クライアントアプリ管理	Citrix Workspaceアプリを、Secure Access AgentやEnd Point Analysis (EPA) プラグインなどのエージェントをエンドポイントにインストールして管理するために必要な単一のクライアントアプリにすることができます。この機能により、管理者は単一の管理コンソール

機能	定義
	から必要なエージェントを簡単に展開および管理できます。

ユーザーインターフェイス

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
デスクトッププビューア/ツールバー	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
マルチタスク	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
フォローミー	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
セッション (Workspace Control)									
接続強度インジケーターフェーズ2	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	定義
デスクトップビューア/ツールバー	ツールバーを介してCtrl+Alt+Delの送信など、セッション機能のセッション内制御を可能にします。

機能	定義
マルチタスク	複数のアプリとデスクトップを同時に使用できるようにします。
フォローミーセッション (ワークスペースコントロール)	ユーザーがデバイス間を移動し、すべてのセッションに自動的に接続できるようにします。
接続強度インジケーター フェーズ2	CPUとメモリの使用状況、接続履歴、スコア付きメトリック、およびユーザーと管理者がセッションパフォーマンスを評価および改善するのに役立つ実用的な推奨事項を含む、強化されたセッションの詳細を表示します。
接続強度インジケーター フェーズ2	CPUとメモリの使用状況、接続履歴、スコア付きメトリック、およびユーザーと管理者がセッションパフォーマンスを評価および改善するのに役立つ実用的な推奨事項を含む、強化されたセッションの詳細を表示します。

HDX™ ホストコア

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
アダプティブト	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
ランスポート									
HDX アダプティブスループット	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい
SDWAN のサポート	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい
セッションの信頼性	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BIT および 64BIT) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
自動クライアント再接続	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
セッション共有	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
マルチポート ICA®	はい	はい	はい	なし	なし	なし	なし	なし	なし

機能	定義
アダプティブトランスポート	ネットワークの状態に関わらず、スループットを向上させるためにHDXのEDTトランスポートを有効にします。

機能	定義
SDWANサポート	QoS、TCP、圧縮、重複排除のためにSDWANアクセラレーションを有効にします。
セッションの信頼性	ネットワーク接続が中断された場合でも、セッションをアクティブに保ち、ユーザーの画面に表示し続けます。
自動クライアント再接続	接続が中断されたときにセッションを再接続するよう促します。
セッション共有	同じサーバーで既に実行されている場合、公開されたアプリが他の公開されたアプリケーションと同じ接続で実行できるようにします。
マルチポートICA	サービス品質を向上させるために、HDXトラフィックに対して複数のTCPポートをサポートできるようにします。

HDX IO / デバイス / 印刷

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2402 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA 用 CWA - テクニカルプレビュー
ローカル印刷	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	いいえ
汎用 USB リダイレクト	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
クライアントドライブマッピング / ファイル転送	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2402 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA用CWA - テクニカルプレビュー
TWAIN 2.0	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	定義
ローカル印刷	ユーザーが共有プリンターまたはローカルプリンターを介してドキュメントを印刷できるようにします。
汎用USBリダイレクト	セッション内でUSBデバイス（キーボード、マウス、外付けWebカメラなど）を使用できます。
汎用USBリダイレクト	セッション内でUSBデバイス（キーボード、マウス、外付けWebカメラなど）を使用できます。
クライアントドライブマッピング / ファイル転送	データストレージ用に内蔵または接続されたクライアントドライブを使用できます。
TWAIN	デジタルカメラやスキャナーなどのクライアントTWAINデバイスのマッピングを許可します。

機能	定義
TWAIN	デジタルカメラやスキャナーなどのクライアントTWAINデバイスのマッピングを許可します。

HDX統合

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ローカルアプリアクセス	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
マルチタッチ	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい
モビリティ	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
パック									
HDX インサイト	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい
NSAP VC を使用した HDX Insight	はい	はい	はい	はい	はい *(3)*	はい *(3)*	いいえ	いいえ	いいえ
EUEM エクスペリエンスマト	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
リックス									
双方向コンテンツリダイレクト	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
レガシーホストからクライアントへのリダイレクト	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ブラウザコンテンツのリダイレクト	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ
Citrix Workspaceアプリでファイルを開く	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい	いいえ	はい	はい
ロケーションベース	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
サービス（API 記述を介して利用可能なロケーション）									

機能	定義
ローカルアプリアクセス	セッション内でクライアントデバイス上のローカルアプリケーションにアクセスします。
マルチタッチ	Windows/Linuxデスクトップおよびアプリの10本指マルチタッチ制御を可能にします。
モビリティパック	ネイティブデバイスエクスペリエンス機能（自動ポップアップキーボードやローカルデバイ

機能	定義
	スUIコントロールなど）とタブレットに最適化されたデスクトップを有効にします。
HDX インサイト	ICAネットワークパフォーマンスメトリックを使用して、セッションの開始/終了時刻を可視化します。
NSAP VCによるHDX Insight	NetScaler App ExperienceまたはNSAP仮想チャネルを使用して、セッションの開始/終了時刻を可視化し、HDX Insightを取得します。
EUEMエクスペリエンスマトリックス	以前はXenDesktop® 7 Directorとして知られていたCitrix Virtual Desktopを介して、Citrix管理者にログオン期間メトリックの可視性を提供します。
EUEMエクスペリエンスマトリックス	以前はXenDesktop® 7 Directorとして知られていたCitrix Virtual Desktopを介して、Citrix管理者にログオン期間メトリックの可視性を提供します。
双方向コンテンツリダイレクト	クライアントからホストへ、およびホストからクライアントへのURLリダイレクトを可能にします。
レガシーホストからクライアントへのリダイレクト	Citrix®セッションで実行されているアプリケーションにハイパーリンクとして埋め込まれたURLを、ユーザーエンドポイントデバイス上の対応するアプリケーションを使用して開くことができます。
レガシーホストからクライアントへのリダイレクト	Citrix®セッションで実行されているアプリケーションにハイパーリンクとして埋め込まれたURLを、ユーザーエンドポイントデバイス上の対応するアプリケーションを使用して開くことができます。
ブラウザコンテンツリダイレクト	ウェブページ全体（ブラウザのビューポート）をエンドポイントにリダイレクトしてローカルでレンダリングし、サーバーの負荷を軽減します。

機能	定義
Citrix Workspaceアプリでのファイルオープン	ホスト型アプリケーション（クライアントからサーバーへのコンテンツリダイレクト）を使用して、Citrix Workspaceアプリでローカルファイルを開くことができます。
ロケーションベースサービス（API記述を介して利用可能なロケーション）	以前はXenDesktopとして知られていたCitrix Virtual Desktopによって配信されるアプリケーションで、位置情報を使用できるようにします。

HDXマルチメディア

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テックプレビュー
オーディオ再生	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
双方向オーディオ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テックプレビュー
(VoIP)									
ウェブカメラのリダイレクト	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
ビデオ再生	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
Microsoft Teams の最適化	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい
Skype for Busin	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テックプレビュー
ess 最適化パック									
Cisco Jabber ユニファイドコミュニケーションの最適化	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
Windows マルチメ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テックプレビュー
ディア リダイレクト									
UDP オーディオ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
ユニファイドコミュニケーション SDK	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい

機能	定義
オーディオ再生	サーバーでレンダリングされたオーディオ再生を有効にします。
双方向オーディオ (VoIP)	ホストされたソフトフォン/音声チャットコラボレーションアプリケーションの使用を有効にします。
Webカメラリダイレクト	ローカルWebカメラを使用したビデオチャットコラボレーションアプリケーションの使用を有効にします。
ビデオ再生	録画されたビデオの表示を有効にします。
Microsoft Teamsの最適化	Microsoft Teamsのメディア処理をCitrixサーバーからユーザーデバイスにオフロードします。
Skype for Businessの最適化	Skype for Businessのメディア処理をCitrixサーバーからユーザーデバイスにオフロードします。Citrix Workspaceアプリ for Androidの場合、Chromeデバイスのみをサポートしています。
Cisco Jabberユニファイドコミュニケーションの最適化	Jabberメディア処理をCitrixサーバーからユーザーデバイスにオフロードします。
Windowsマルチメディアリダイレクト	Windowsマルチメディアをユーザーデバイスでレンダリングできるようにし、サーバーの負荷を軽減します。
UDPオーディオ	UDP経由でのオーディオ入出力のサポート。
ユニファイドコミュニケーションSDK	Citrix Workspaceを使用して、ユニファイドコミュニケーション機能（音声やビデオなど）をサポートされているデスクトップおよびブラウザベースのアプリケーションに統合できます。
ユニファイドコミュニケーションSDK	Citrix Workspaceを使用して、ユニファイドコミュニケーション機能（音声やビデオなど）をサポートされているデスクトップおよびブ

機能	定義
	ラウザベースのアプリケーションに統合できます。

セキュリティ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
TLS 1.3	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい
TLS 1.2	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-windows/secure-communicatio	はい	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-linux/secure.html#tls)	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/security-authentication/secur	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-ios/secure.html#tls)	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
	n.html#transport-layer-security)			e-communications#tls)					
TLS 1.0/1.1	いいえ	いいえ	いいえ	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-mac/security-authentication/secure-communicatio	いいえ	いいえ	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
				ns#tls)					
DTLS 1.0	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい
DTLS 1.2	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
SHA 2 証明書	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
スマートアクセス	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
Citrix Gateway 経由のリモートア	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-	はい	はい	はい	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
クセス	for-windows/secure-communication.html#citrix-gateway) *(1)*				for-ios/system-requirements.html#connections-certificates-and-authentication)				
Web アクセス用 Workspace	はい (/ja-jp/citrix-workspace-app-for-	はい	はい	はい	ICA ファイル経由	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
	windows/authentication.html)								
IPV6	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
アプリ保護	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
ロックダウンモード (iPadおよびiPhone)	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	定義
TLS 1.3	SSLの後継であり、強力な通信チャネルセキュリティを提供します。
TLS 1.2	SSLの後継であり、強力な通信チャネルセキュリティを提供します。
TLS 1.0/1.1	SSLの後継であり、強力な通信チャネルセキュリティを提供します。
DTLS 1.0	DTLSはSSLプロトコルから派生したものです。同じセキュリティサービス（整合性、認証、機密性）を提供しますが、UDPプロトコルを使用します。
DTLS 1.2	DTLSはSSLプロトコルから派生したものです。これは、同じセキュリティサービス（整合性、認証、機密性）をUDPプロトコル下で提供します。
SHA2証明書	SHA2証明書を使用する機能。
スマートアクセス	Gatewayポリシーとフィルターを使用して、利用可能なアプリへのアクセスを制御します。
Gateway経由のリモートアクセス	VPNクライアントなしで、どこからでもエンタープライズアプリ、仮想デスクトップ、データへの安全なアクセスをユーザーに提供します。
Webアクセス用Workspace	ブラウザを使用してホストされたアプリケーションまたは仮想デスクトップにアクセスします。
IPv6	IPv6ネットワークでの使用を可能にします。
ロックダウンモード（iPadおよびiPhone）	一部のWebベースの機能制限により、デバイスの機能を制限する強化されたセキュリティモード。

機能	定義
ロックダウンモード（iPadおよびiPhone）	一部のWebベースの機能制限を伴い、デバイスの機能を制限する強化されたセキュリティモード。

HDXグラフィック

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	IWA用CWA - 技術プレビュー
H.264拡張SuperCodec	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
クライアントハードウェアアクセラレー	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	IWA用CWA - 技術プレビュー
ション									
3DProグラフィック	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
外部モニターのサポート	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい
デスクトップコンポジションリダイレクト	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32BITおよび64BIT) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROMEOS 2603.60	IWA用CWA - 技術プレビュー
真のマルチモニター	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	はい

機能	定義
H.264拡張SuperCodec	XenApp/Desktop 7.X H264-enhanced Supercodecを使用して、アプリケーションの合理化された配信を可能にします。
クライアントハードウェアアクセラレーション	グラフィックス、WebカメラなどのHDX機能のハードウェアアクセラレーションを有効にします。ハードウェア機能の使用は、Citrix Workspaceアプリによって異なります。
3DProグラフィックス	データセンターでホストされている3Dプロフェッショナルグラフィックスアプリケーションの使用を可能にします。
外部モニターのサポート	外部モニターの使用を可能にします。
デスクトップコンポジションリダイレクト	サーバーのスケーラビリティを確保するために、クライアントからリモートでレンダリングするグラフィックスコマンドを有効にしま

機能	定義
	す。Receiver for Mac 12.9バージョンでは非推奨です。
真のマルチモニター	XenApp®またはXenDesktopは、クライアントがサポートするのと同じ数のモニターを作成します。
真のマルチモニター	XenApp®またはXenDesktopは、クライアントがサポートするのと同じ数のモニターを作成します。

認証

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
フェデレーション認証 (SAML/	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
Azure AD)									
ADC フル VPN	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
RSA ソフトトークン	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
チャレンジ応答 SMS (Radius)	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
Gateway 経由の	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ユーザー証明書認証 (ネイティブ Workspace アプリ経由)									
Gateway 経由のユーザー証明書認証 (ブラ	はい *(4)*	はい *(4)*	いいえ	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ウザ経由)									
スマートカード (CAC、PIV など)	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい	はい
近接/非接触型カード	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ
資格情報の挿入（例：	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
Fast Connect、Store browse）									
パススルー認証	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
資格情報を保存 * オンプレミスおよび Store Front のみ	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32 ビットおよび 64 ビット) および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ADC nFactor認証	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
ADC ネイティブ OTP	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
生体認証 (Touch ID、Face ID)	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
Citrix Mobileアプリへのシング	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR (32ビットおよび64ビット) およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ルサインオン									
匿名ストアアクセス	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい

機能	定義
フェデレーション認証 (SAML/Azure AD)	Azure ADまたはSAMLのいずれかによって、Microsoft ADFSサーバー（またはその他のSAML対応IdP）を委任するユーザー認証のためにFASサーバーを有効にします。
ADC (NetScaler®) フルVPN	Gateway用のフルVPNトンネルを構築します。
ADC (NetScaler®) フルVPN	Gateway用のフルVPNトンネルを構築します。
RSAソフトトークン	RSAソフトトークン使用時の認証を簡素化します。

機能	定義
チャレンジレスポンスSMS (Radius)	チャレンジレスポンス認証の使用を可能にします。例えば、SMSパスコードの使用などです。
Gateway経由のユーザー証明書認証（ブラウザ経由のみ）	Gatewayでの認証の1要素としてユーザー証明書の使用を可能にします。これはWindowsでのブラウザベース認証用です。
スマートカード（CAC、PIVなど）	認証と署名のために、標準的なPC/SC互換の暗号化スマートカードの使用を可能にします。
近接/非接触型カード	近接または非接触型スマートカードで認証することにより、ユーザーがCitrixアプリまたはデスクトップを使用できるようにします。
資格情報の挿入（例：Fast Connect、Storebrowse）	近接または非接触型スマートカードで認証することにより、ユーザーがCitrixアプリまたはデスクトップを使用できるようにします。Storebrowseは、Windows版Citrix Workspaceアプリで利用できるコマンドラインユーティリティツールです。Storebrowseユーティリティをスクリプト化することで、Citrix Workspaceアプリをカスタマイズできます。
パススルー認証	ユーザー資格情報をWebインターフェースサイトに渡し、その後Citrix Virtual Apps and Desktopsサーバーに渡します。このプロセスにより、Citrixアプリの起動プロセス中にユーザーが明示的に認証する必要がなくなります。
資格情報を保存 *オンプレミスおよびStoreFrontのみ	オンプレミスおよびCitrix StoreFrontのみを使用する場合の資格情報の保存を可能にします。
GatewayネイティブOTP	Gatewayは、サードパーティサーバーを使用することなく、NetScalerアプライアンス上で構成全体を保持することで、ワンタイムパスワード（OTP）をサポートします。
NetScaler nFactor認証	nFactor認証は、ユーザープロファイルに基づいて動的な認証フローを可能にします。これらのフローは、ユーザーにとって直感的であるよ

機能	定義
	うに、シンプルなフローである場合があります。必要なNetScalerの最小バージョンは12.1.49.xです。
生体認証（Touch ID、Face ID）	Touch IDやFace IDなどの生体認証を有効にします。
Citrix Mobileアプリへのシングルサインオン	Citrix Mobileアプリへのシングルサインオンを有効にします。
匿名ストアアクセス	未認証（匿名）ユーザーのアクセスをサポートします。

入力エクスペリエンス

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32ビットおよび64ビット）およびWINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
キーボードレイアウトの同	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
期 - クライアントから VDA へ (Windows VDA)									
キーボードレイアウトの同期 - クライアントから VDA へ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
(Linux VDA)									
キーボードレイアウト同期 - VDA からクライアントへ (Windows VDA)	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	なし	なし	なし	なし
キーボードレ	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
イアウト同期 - VDA からクライアントへ (Linux VDA)									
Unicode キーボードレイアウトマッ	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
ピング									
キーボード入力モード - Unicode	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
キーボード入力モード - スキャンコード	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	はい	はい	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
サーバー IME	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
CJK IME 用の汎用クライアント IME (CTX IME)	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ
コマンドラインインターフェイス	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

機能	WINDOWS 2603.20 CR（32 ビットおよび 64 ビット）および WINDOWS STORE 2508.10	ウィンドウズ 2507.1 LTSR	リナックス 2601	MAC 2511.1	IOS 26.9.0	アンドロイド 26.7.0	HTML5 2603.10	CHROME OS 2603.60	CWA FOR IWA - テクニカルプレビュー
キーボード同期設定UIと構成	はい	はい	はい	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ
入力モード設定UIと構成	いいえ	いいえ	はい	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
言語バー設定UIと構成	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

機能	定義
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、WINDOWS VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - クライアントからVDAへ (LINUX VDA)	ユーザーがクライアントデバイスでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。クライアントデバイスのキーボードレイアウトは、LINUX VDAに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (WINDOWS VDA)	ユーザーがWINDOWS VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。WINDOWS VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
キーボードレイアウト同期 - VDAからクライアントへ (LINUX VDA)	ユーザーがLINUX VDAでアクティブなキーボードレイアウトを同期したり、優先するキーボードレイアウトを切り替えたりできるようにします。LINUX VDAのキーボードレイアウトは、クライアントデバイスに自動的に設定されます。
UNICODEキーボードレイアウトマッピング	非WINDOWS版CITRIX WORKSPACEアプリを使用するWINDOWS VDAのUNICODEキーボードレイアウトマッピングをサポートします。
キーボード入力モード - UNICODE	UNICODE入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーが送信され、VDAはVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。
キーボード入力モード - スキャンコード	スキャンコード入力モードでは、クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置が送信され、VDAは対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
サーバーIME	サービス側（またはVDA側）の入力方式エディター（IME）の使いやすさとエクスペリエンスを提供します。
CJK IME用の汎用クライアントIME（CTXIME）	東アジア言語（中国語、日本語、韓国語）向けに、クライアントIMEの使いやすさを向上させ、シームレスなエクスペリエンスを改善します。
コマンドラインインターフェイス	ユーザーは、コマンドラインインターフェイスを使用してクライアントIMEを有効または無効にできます。

表のインジケーター

インジケーター	説明
1	StoreFrontのみ
2	これらのCitrix Workspaceアプリでは、HDX 3D ProはJPEGに戻ります。H.264ディープコンプレッションを使用した場合の1.5 Mbpsと比較して、3 Mbpsが推奨されます。
3	NSAP VCの場合、iOS/Android版Workspaceアプリはサポートしていますが、ADC/ADMについてはまだサポートが保留中です。
4	ゲートウェイ経由のユーザー証明書認証（ブラウザのみ）認証方式は、Citrix Workspaceアプリのクライアント検出をサポートしていません。ICAファイルがダウンロードされている場合にのみ、Citrix Workspaceアプリを使用して仮想アプリまたはデスクトップを開くことができます。
5	Citrix Enterprise Browserは、互換性のあるコンポーネントとしてCitrix Workspaceアプリ LTSRで使用できます。ただし、デフォルトではインストールされません。Citrix Enterprise Browserをインストールするには、コマンドラインインストールの一部として、インストールスイッチ `InstallEmbeddedBrowser=Y` または `Addlocal` パラメーター `CitrixEnterpriseBrowser` を追加します。
4	ゲートウェイ経由のユーザー証明書認証（ブラウザのみ）認証方式は、Citrix Workspaceアプリのクライアント検出をサポートしていません。ICAファイルがダウンロードされている場合にのみ、Citrix Workspaceアプリを使用して仮想アプリまたはデスクトップを開くことができます。
5	Citrix Enterprise Browser は、互換性のあるコンポーネントとして Citrix Workspace app LTSR とともに使用できます。ただし、デフォ

インジケーター	説明
	ルトではインストールされません。Citrix Enterprise Browser をインストールするには、コマンドラインインストールの一部として、インストールスイッチ `InstallEmbeddedBrowser=Y` または `Addlocal` パラメーター `CitrixEnterpriseBrowser` を追加します。

: < Nagzによって9月22日に削除されました。CDMは2303以降のHTML5でサポートされているためです。4 ファイル転送機能のみがHTML5用Citrix Workspaceアプリに適用されます。クライアントドライブマッピングはサポートされていないためです。非推奨アイテムのインスタンスはありません。したがって、これをコメントアウトします。5 最新リリースで非推奨になりました。>

注:

当社の製品について説明されている機能の開発、リリース、および時期は、当社の単独の裁量に委ねられています。ここに提供される情報は情報提供のみを目的としており、いかなる資料、コード、または機能を提供するというコミットメント、約束、または法的義務を負うものではなく、購入決定を行う際に依拠したり、いかなる契約に組み込んだりすべきではありません。当社の製品について説明されている機能の開発、リリース、および時期は、当社の単独の裁量に委ねられており、通知や協議なしに変更される場合があります。

Citrix Workspaceアプリのドキュメント履歴

次の表に、Citrix Workspaceアプリのドキュメントに対する重要な変更点を示します。 これらの更新に関する通知を受け取るには、RSSフィードを購読してください。

日付	変更	説明
20 Jun 2025	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2505の新機能
19 Jun 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503.10のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
17 Jun 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU3 Hotfix 1のリリース	このリリースには、CVADHELP-28056およびCVADHELP-28522のHotfixが含まれています。 詳しくは、「Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU3 Hotfix 1で解決された問題」を参照してください。
17 Jun 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU2 Hotfix 1のリリース	このリリースには、CVADHELP-28056のHotfixが含まれています。 詳しくは、「Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU2 Hotfix 1で解決された問題」を参照してください。
16 Jun 2025	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2505のEAR	HTML5向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
12 Jun 2025	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2502.10の新機能
12 Jun 2025	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2505のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2505の新機能
12 Jun 2025	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2505の新機能
06 Jun 2025	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 136.1.1.47の「新機能」
06 Jun 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.5.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
04 Jun 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2505のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
30 May 2025	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2505のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
26 May 2025	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2505のEAR	Linux向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
22 May 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503.2のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503.2の新機能
15 May 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503.1のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503.1の新機能
12 May 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2503.10の「新機能」

日付	変更	説明
09 May 2024	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2503の「新機能」
07 May 2025	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 135.1.1.22の「新機能」
07 May 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503のリリース	Windows 版シトリックス ワークスペースアプリ 2503 の新機能
30 Apr 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2503.10のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
21 Apr 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0のリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0の「新機能」
11 Apr 2025	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0の新機能
09 Apr 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2503の「新機能」
02 Apr 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU3のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU3の「新機能」
02 Apr 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2503のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
02 Apr 2025	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2502.10のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2502.10の新機能
02 Apr 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.3.0の「新機能」
26 Mar 2025	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2503の新機能

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
20 Mar 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU3のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「累積更新プログラムのTechnical Preview」
11 Mar 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.1.2のリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ25.1.2の「新機能」
04 Mar 2025	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2502の新機能
04 Mar 2025	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2502のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2502の新機能
28 Feb 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2503のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
26 Feb 2025	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ25.1.4の新機能
21 Feb 2025	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2503のEAR	Linux向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
17 Feb 2025	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2502のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
18 Feb 2025	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2502のEAR	HTML5向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
05 Feb 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2411.10の「新機能」
04 Feb 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ2501のリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ2501の「新機能」

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
04 Feb 2025	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ25.1.0の新機能
31 Jan 2025	iOS向けCitrix Workspaceアプリ25.1.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
31 Jan 2025	Android向けCitrix Workspaceアプリ2501のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
16 Jan 2025	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409.10のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409.10の新機能
16 Jan 2025	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2411.10のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
23 Dec 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409.10のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
13 Dec 2024	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2411の新機能
12 Dec 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2411.1のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2411.1の新機能
12 Dec 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2411の「新機能」
12 Dec 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU2のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU2の「新機能」
12 Dec 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2411の新機能

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
12 Dec 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.12.0の新機能
12 Dec 2024	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2409.1の「新機能」
09 Dec 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409.1のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409.1の新機能
04 Dec 2024	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2409の「新機能」
03 Dec 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU2のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「累積更新プログラムのTechnical Preview」
03 Dec 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2411のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2411の新機能
29 Nov 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 131.1.1.32の「新機能」
26 Nov 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409のリリース	Windows 版シトリックス ワークスペースアプリ 2409 の新機能
21 Nov 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2411のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
21 Nov 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2411のEAR	HTML5向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」

日付	変更	説明
19 Nov 2024	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2411のEAR	Linux向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
14 Nov 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2411のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
12 Nov 2024	Citrix Workspaceアプリのデスクトップロック機能を更新	Windows向けCitrix WorkspaceアプリでのCitrix Workspaceアプリのデスクトップロック
07 Nov 2024	Windows 向け Citrix Workspace アプリ 2402 LTSR CU1 Hotfix 3 のリリース	Citrix Workspace アプリ 2402 LTSR CU1 Hotfix 3 for Windows の問題を修正しました。
07 Nov 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.12のリリース	Windows 版シトリックスワークスペースアプリ 2405.12 の新機能
05 Nov 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2409.10のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2409.10の新機能
24 Oct 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2409.10の「新機能」
23 Oct 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.10.0の新機能
22 Oct 2024	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2405.11の「新機能」
21 Oct 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 130.1.1.12の「新機能」

日付	変更	説明
16 Oct 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2409のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
16 Oct 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2409の新機能
11 Oct 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.10.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
09 Oct 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.9.0のリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.9.0の「新機能」
09 Oct 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2409.10のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
09 Oct 2024	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2408の新機能
07 Oct 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.11の「新機能」
07 Oct 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1 Hotfix 1のリリース	このリリースには、CVADHELP-26231のHotfixが含まれています。 詳しくは、「Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1 Hotfix 1で解決された問題」を参照してください。
04 Oct 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.11のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
04 Oct 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1 Hotfix 1のEAR	このリリースには、CVADHELP-26231のHotfixが含まれています。 詳しくは、「累積更新プログラムの

日付	変更	説明
		Technical Preview」を参照してください。
01 Oct 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2409のリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2409の新機能
24 Sep 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.9.0の新機能
20 Sep 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2409のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
17 Sep 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2409の「新機能」
16 Sep 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.9.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
04 Sep 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.8.1の新機能
03 Sep 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.8.0の新機能
29 Aug 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.8.0のリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.8.0の「新機能」
29 Aug 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2409のEAR	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
28 Aug 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリの認証ページにユーザーエージェント文字列を追加しました	Android向けCitrix Workspaceアプリの「User-Agent」
26 Aug 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2408の新機能

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
23 Aug 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 128.1.1.32の「新機能」
20 Aug 2024	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2408のEAR	Linux向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
20 Aug 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.8.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
20 Aug 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリの認証ページにユーザーエージェント文字列を追加しました	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「User-Agent」
19 Aug 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリースバージョンを更新しました	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2408.1の新機能
19 Aug 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.8.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
16 Aug 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1のCitrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.22の「新機能」
16 Aug 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1の「新機能」
12 Aug 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.10のCitrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.23の「新機能」
12 Aug 2024	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2405.10の「新機能」

日付	変更	説明
10 Aug 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSR CU1のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「累積更新プログラムのTechnical Preview」
09 Aug 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2405.11の「新機能」
08 Aug 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.10の「新機能」
08 Aug 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2408の新機能
08 Aug 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 127.1.1.41の「新機能」
07 Aug 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2405.10は、2024年8月7日にロールバックされました。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
05 Aug 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2405.10の「新機能」
24 Jul 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405.10のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
24 Jul 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.7.0の「新機能」
23 Jul 2024	Citrix Workspace UI 24.30のリリース	詳しくは、「Workspaceユーザーインターフェイスの新機能」を参照してください

日付	変更	説明
23 Jul 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.7.0の新機能
23 Jul 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2407のEAR	HTML5向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
23 Jul 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2407のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
16 Jul 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.22の新機能
16 Jul 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.7.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
16 Jul 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.7.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
15 Jul 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU6 Hotfix 2のリリース	このリリースには、CVADHELP-25801のHotfixが含まれています。 詳しくは、「Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU6 Hotfix 2で解決された問題」を参照してください。
09 Jul 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2405のCitrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.20の新機能
09 Jul 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2405の「新機能」
08 Jul 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405の	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.20の新機能

日付	変更	説明
	Citrix Enterprise Browserのリリース	
08 Jul 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405の「新機能」
04 Jul 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 126.1.1.20の新機能
25 Jun 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.6.0の新機能
12 Jun 2024	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2405の「新機能」
11 Jun 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.6.0のEAR	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
11 Jun 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2405のEAR	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
10 Jun 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2405の新機能
05 Jun 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.5.0の「新機能」
30 May 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.5.0の新機能
29 May 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 125.1.1.15の新機能
29 May 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2404.1の新機能
23 May 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2402.10の「新機能」

日付	変更	説明
21 May 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2403.1の「新機能」
16 May 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.5.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
14 May 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2405のEAR	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
08 May 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 124.2.1.19の新機能
02 May 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 123.2.1.22の新機能
29 Apr 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリに新機能Zoomの最適化のサポートを追加しました	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2402.1の新機能
25 Apr 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.4.0の「新機能」
25 Apr 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2403が付属したCitrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 123.1.1.9の新機能
24 Apr 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2403の「新機能」
24 Apr 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.4.0の新機能
23 Apr 2024	サポートされていないバージョンのAndroid向けCitrix	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、

日付	変更	説明
	Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	製品ライフサイクルに従って削除されます。 さらに、解決された既知の問題も削除されました。
19 Apr 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリで新しい表「**Technical Previewの機能の一覧**」を追加しました	「Technical Previewの機能の一覧」の表には、Technical Preview段階の機能が表示されます。 アイコンをクリックして機能を有効にするか、Technical Preview機能に関するフィードバックを提供します。
18 Apr 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2404の新機能
15 Apr 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.4.0のEAR	Android向けCitrix Workspaceアプリの「次のリリースのTechnical Preview」
11 Apr 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 121.1.1.26の新機能
11 Apr 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2402の「新機能」
08 Apr 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2402 LTSRの新機能
05 Apr 2024	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2402の新機能
05 Mar 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリに3つの制限事項を追加しました	RFHTMCRM-12518、RFHTMCRM-12492、およびRFHTMCRM-12499が「制限事項」に追加されました
25 Mar 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.3.5の新機能

日付	変更	説明
25 Mar 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.3.5の新機能
14 Mar 2024	Citrix Enterprise Browser 122.1.1.2の既知の問題を追加しました	Citrix Enterprise Browser 122.1.1.2の新機能
08 Mar 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの追加のバグ修正	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2402の新機能
07 Mar 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2402の「新機能」
06 Mar 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.3.0の新機能
06 Mar 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 122.1.1.2の新機能
28 Feb 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.2.0の新機能
26 Feb 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.2.0の新機能
21 Feb 2024	2203.1 LTSR累積更新プログラム6（CU6）のリリース	LTSR 2203.1累積更新プログラム6の「新機能」
14 Feb 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 121.1.1.9の新機能
14 Feb 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2402の新機能
13 Feb 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのトラブルシューティングページを更新しました	Android向けCitrix Workspaceアプリの「トラブルシューティング」ページに新しいセクションを追加しました

日付	変更	説明
13 Feb 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのトラブルシューティングページを更新しました	iOS向けCitrix Workspaceアプリの「トラブルシューティング」ページに新しいセクションを追加しました
02 Feb 2024	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows 版シトリックス ワークスペースアプリ 2311.1 の新機能
01 Feb 2024	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ24.1.0の新機能
23 Jan 2024	Citrix Enterprise Browserの「**トラブルシューティング**」ページにエラーコードPS1011の情報を追加しました	トラブルシューティング
23 Jan 2024	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ24.1.0の新機能
23 Jan 2024	サポートされていないバージョンのMac向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、製品ライフサイクルに従って削除されます。
23 Jan 2024	Mac向けCitrix Workspaceアプリのトピックを再構築しました	検索しやすくしてエンドユーザーエクスペリエンスを向上させるために、Mac向けCitrix Workspaceアプリの コンテンツ を再編成しました。
22 Jan 2024	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「**認証**」に新しいページを追加しました	IDプロバイダーとしてMicrosoft Azureを使用したCitrix Workspaceアプリのシングルサインオン
05 Jan 2024	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 120.1.1.13の新機能

日付	変更	説明
26 Dec 2023	App Protectionの構成ページを更新しました	App Protectionの構成
26 Dec 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.12.0の新機能
26 Dec 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 119.1.1.115の新機能
21 Dec 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2311の「新機能」
21 Dec 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 119.1.1.115の新機能
20 Dec 2023	iOS向けCitrix WorkspaceアプリHotfix 23.12.1のリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.12.1の新機能
15 Dec 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.12.0の新機能
13 Dec 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2312の新機能
13 Dec 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2311の「新機能」
05 Dec 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2312の新機能
01 Dec 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.11.0の新機能
30 Nov 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2311の新機能
30 Nov 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.11.0の新機能

日付	変更	説明
29 Nov 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのインストールページを更新しました	「Chromeウェブストアからインストール」セクションを追加しました。
15 Nov 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2311の新機能
10 Nov 2023	IDプロバイダーとしてOktaを使用したChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのシングルサインオンに関するドキュメントを公開しました	OktaをIDプロバイダーとして使用してSSOを構成する
09 Nov 2023	左側のナビゲーションにエンドユーザーのヘルプを追加しました	Citrix Workspaceアプリのドキュメントのランディングページを更新しました
31 Oct 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2309.1の「新機能」
31 Oct 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU5のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU5の「新機能」
25 Oct 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.10.5の新機能
18 Oct 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2310の新機能
10 Oct 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2310の新機能
05 Oct 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2309の「新機能」

日付	変更	説明
05 Oct 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 117.1.1.9の新機能
05 Oct 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.10.0の新機能
28 Sep 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2309の「新機能」
27 Sep 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのトピックを再構築しました	検索しやすくしてエンドユーザーエクスペリエンスを向上させるために、Windows向けCitrix Workspaceアプリの コンテンツ を再編成しました。
27 Sep 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2309の「新機能」
25 Sep 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.9.5の新機能
14 Sep 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2308の「新機能」
21 Sep 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2309.5の新機能
19 Sep 2023	サポートされていないバージョンのChrome向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページから「制限事項」のいくつかの項目と「既知の問題」を削除しました。 既知の問題とこれらの制限事項は解決されています。
19 Sep 2023	サポートされていないバージョンのHTML5向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページから「制限事項」のいくつかの項目と「既知の問題」を削除しました。 既知の

日付	変更	説明
		問題とこれらの制限事項は解決されています。
14 Sep 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.9.0の新機能
14 Sep 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2308の「新機能」
14 Sep 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 115.1.1.103の新機能
08 Sep 2023	サポートされていないバージョンのAndroid向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、製品ライフサイクルに従って削除されます。
08 Sep 2023	サポートされていないバージョンのChrome向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、製品ライフサイクルに従って削除されます。
08 Sep 2023	サポートされていないバージョンのHTML5向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、製品ライフサイクルに従って削除されます。
04 Sep 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2309の新機能
04 Sep 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2309の新機能

日付	変更	説明
28 Aug 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2308の「新機能」
24 Aug 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリの「Technical Previewの機能」ページを追加しました	Technical Previewの機能すべてを一覧にしたページを新たに追加しました。
24 Aug 2023	サポートされていないバージョンのLinux向けCitrix Workspaceアプリに関連するコンテンツを削除しました	「このリリースについて」ページに記載されているサポートされていないバージョンに関連するコンテンツは、製品ライフサイクルに従って削除されます。
23 Aug 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.8.0の新機能
23 Aug 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2308の新機能
18 Aug 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリの「Technical Previewの機能」ページを追加しました	Technical Previewの機能すべてを一覧にしたページを新たに追加しました。
18 Aug 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリの「Technical Previewの機能」ページを追加しました	「Technical Previewの機能」すべてを一覧にしたページを新たに追加しました。
18 Aug 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリの「Technical Previewの機能」ページを追加しました	Technical Previewの機能すべてを一覧にしたページを新たに追加しました。
17 Aug 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2308の新機能
08 Aug 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2307.1の「新機能」

日付	変更	説明
04 Aug 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリの「Technical Previewの機能」ページを追加しました	「Technical Previewの機能」すべてを一覧にしたページを新たに追加しました。
02 Aug 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリに「カスタマイズされた認証」セクションを追加しました	利用可能な「カスタマイズされた認証」を参照できるようになりました
31 Jul 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2307の「新機能」
26 Jul 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2307の「新機能」
26 Jul 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2307の新機能
26 Jul 2023	ChromeOS向けCitrix WorkspaceアプリでCVADHELP-22229の解決された問題を更新	ストアを更新する構成を追加しました。
21 Jul 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリに制限事項を追加	「制限事項」にCVADHELP-22026を追加しました
21 Jul 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリの構成ページを更新	Android向けCitrix Workspaceアプリの「構成」で**ストアごとのマイクアクセス**、**ストアごとの位置情報アクセス**セクションを更新し、**ストアごとのカメラアクセス**セクションを追加しました
20 Jul 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2307の新機能

日付	変更	説明
19 Jul 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.7.5の新機能
19 Jul 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリの構成ページを再構築	「構成」。構成ページに散在していたコンテンツを整理しました。 利便性を考慮して、HTML5向けCitrix Workspaceアプリに子ページを作成しました。
18 Jul 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.7.5のリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.7.5の「新機能」
11 Jul 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU4のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU4の「新機能」
06 Jul 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2307の「新機能」
03 Jun 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.6.5の新機能
30 Jun 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2305.1の「新機能」
22 Jun 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2306の「新機能」
22 Jun 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2306の新機能
22 Jun 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.6.5の「新機能」
21 Jun 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.6.0の新機能
21 Jun 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリの構成ページを再構築	「構成」。構成ページに散在していたコンテンツを整理しました。 利便性を考慮して、

日付	変更	説明
		Android向けCitrix Workspaceアプリに子ページを作成しました。
20 Jun 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2305は、2023年6月20日にロールバックされました。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
15 Jun 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2306の新機能
14 Jun 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリの **インストール** セクションを更新	Windows向けCitrix Workspaceアプリのインストールセクション
06 Jun 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 112.1.1.24の新機能
05 Jun 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2305の「新機能」
31 May 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2305の「新機能」
29 May 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 112.1.1.23の新機能
29 May 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2305の「新機能」
23 May 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.5.0の「新機能」
19 May 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2305の新機能

日付	変更	説明
11 May 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2305の新機能
03 May 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.4.5の新機能
24 Apr 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.4.5の新機能
18 Apr 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2304の新機能
13 Apr 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2304の「新機能」
10 Apr 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2304の新機能
05 Apr 2023	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2303の「新機能」
03 Apr 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.3.5の新機能
30 Mar 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.3.5の新機能
29 Mar 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2303の「新機能」
29 Mar 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2303の新機能
28 Mar 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU3のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU3の「新機能」

日付	変更	説明
24 Mar 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2301.1の「新機能」
23 Mar 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2303の「新機能」
20 Mar 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2303の新機能。 このリリースは、自動更新にサブスクライブしている顧客にのみ適用されます。
20 Mar 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 109.1.1.29の新機能
20 Mar 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2303の新機能
15 Mar 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.3.0の新機能
15 Mar 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.3.0の新機能
22 Feb 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.2.0の新機能
22 Feb 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.2.1の新機能
16 Feb 2023	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2302の「新機能」
15 Feb 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2301.1の新機能. このリリースには、Hotfix RFHTMCRM-8799が含まれています。 詳しくは、

日付	変更	説明
		「2301.1で解決された問題」を参照してください
15 Feb 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2301.1の新機能。 このリリースには、Hotfix RFHTMCRM-8799が含まれています。 詳しくは、「2301.1で解決された問題」を参照してください
14 Feb 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2302の「新機能」
09 Feb 2023	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2302の新機能。 このリリースは、自動更新にサブスクライブしている顧客にのみ適用されます。
08 Feb 2023	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ23.2.0の新機能
07 Feb 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2301.1の新機能。 このリリースには、Hotfix CVADHELP-21951が含まれています。 詳しくは、「2301.1で解決された問題」を参照してください
01 Feb 2023	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2302の「新機能」
30 Jan 2023	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2301の新機能
30 Jan 2023	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2301の新機能

日付	変更	説明
24 Jan 2023	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ23.1.0の新機能
13 Jan 2023	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 107.1.1.13の新機能
12 Jan 2023	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2301の「新機能」
21 Dec 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2212の「新機能」
20 Dec 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 107.1.1.13の新機能
20 Dec 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2212の新機能
19 Dec 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2212の「新機能」
13 Dec 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.12.0の新機能
13 Dec 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.12.0の新機能
12 Dec 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2212の新機能
01 Dec 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2212の「新機能」
29 Nov 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU2のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU2の「新機能」

日付	変更	説明
23 Nov 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2211の新機能
09 Nov 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.11.0の新機能
09 Nov 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2211の新機能
10 Nov 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.11.0の新機能
08 Nov 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2211の「新機能」
07 Nov 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2210.1の新機能
04 Nov 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2211の「新機能」
04 Nov 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2210.6の「新機能」
31 Oct 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2210.5の「新機能」
31 Oct 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 105.2.1.40の新機能
27 Oct 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.10.5の新機能
27 Oct 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2210の新機能

日付	変更	説明
19 Oct 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2210の新機能
19 Oct 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2210の「新機能」
19 Oct 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 105.1.1.36の新機能
14 Oct 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.10.0の新機能
10 Oct 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2210の「新機能」
06 Oct 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2210の「新機能」
06 Oct 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 105.1.1.27の新機能
29 Sep 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2209の「新機能」
27 Sep 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2209の新機能
27 Sep 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.9.5の新機能
22 Sep 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.9.0の新機能
20 Sep 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2209の「新機能」
20 Sep 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 103.2.1.10の「新機能」

日付	変更	説明
19 Sep 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2209の新機能
14 Sep 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.9.0の新機能
13 Sep 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2209の「新機能」
12 Sep 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2209の「新機能」
25 Aug 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2208.1の「新機能」
25 Aug 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 103.1.1.14の「新機能」
18 Aug 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2208の新機能
18 Aug 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU1のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSR CU1の「新機能」
11 Aug 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.8.0の新機能
11 Aug 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2208は、2022年8月12日にロールバックされました。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
11 Aug 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 103.1.1.14は、2022年8月12日にロールバックされまし

日付	変更	説明
		た。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
09 Aug 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.8.0の新機能
08 Aug 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2208の新機能
29 Jul 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2207の「新機能」
27 Jul 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 102.1.1.14の「新機能」
27 Jul 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2207の「新機能」
26 Jul 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.7.5の新機能
26 Jul 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.7.5の新機能
21 Jul 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2207の新機能
15 Jul 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2206の「新機能」
14 Jul 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.7.0の新機能
11 Jul 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2207の新機能

日付	変更	説明
06 Jul 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2207の「新機能」
05 Jul 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.6.5の新機能
01 Jul 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2206.1の「新機能」
01 Jul 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 101.1.1.14の「新機能」
30 Jun 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.6.5の新機能
30 Jun 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2206.5.2の「新機能」
30 Jun 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2206の「新機能」
26 Jun 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.6.1の新機能
23 Jun 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2206の新機能
23 Jun 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2206は、2022年6月30日にロールバックされました。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
22 Jun 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2206は、Citrix Enterprise Browser内で問題が見つかったため、2022年6月29日にロールバックされま

日付	変更	説明
		した。 現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。
22 Jun 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 101.1.1.9の「新機能」
17 Jun 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.6.0の新機能
15 Jun 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.6.0の新機能
09 Jun 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2205.6の新機能. このリリースには、Hotfix RFHTMCRM-7198が含まれています。 詳しくは、「2205.6で解決された問題」を参照してください
09 Jun 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2205.6の新機能. このリリースには、Hotfix RFHTMCRM-7198が含まれています。 詳しくは、「2205.6で解決された問題」を参照してください
01 Jun 2022	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2205の「新機能」
23 May 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	リリースはロールバックされました。現在、プログラムの修正に取り組んでおり、近日中に修正リリースを発表する予定です。

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
16 May 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.5.0の新機能
16 May 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2205の「新機能」
16 May 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 99.1.1.8の「新機能」
12 May 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2205の「新機能」
11 May 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.5.0の新機能
27 Apr 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.4.5の新機能
27 Apr 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2204の「新機能」
27 Apr 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 99.1.1.8の「新機能」
07 Apr 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2204.1の「新機能」
07 Apr 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2203.1 LTSRの「新機能」
04 Apr 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2203.2の新機能
04 Apr 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2203.2の新機能

日付	変更	説明
04 Apr 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.3.5の新機能
01 Apr 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2203.1の新機能
30 Mar 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2203.1の新機能
29 Mar 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.3.5の新機能
28 Mar 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2203の新機能
23 Mar 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 98.1.2.20の「新機能」
22 Mar 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2203.1の「新機能」。 このリリースには、Hotfix HDX-39496が含まれています。 詳しくは、「2203.1で解決された問題」を参照してください.
22 Mar 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 98.1.2.17の「新機能」
17 Mar 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU7のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU7の「新機能」
16 Mar 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.3.0の新機能
15 Mar 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.3.0の新機能

日付	変更	説明
15 Mar 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2203の「新機能」
18 Feb 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2202.1の新機能
16 Feb 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2202の新機能
16 Feb 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2202の新機能
14 Feb 2022	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2202の「新機能」
10 Feb 2022	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ22.2.0の新機能
10 Feb 2022	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ22.2.0の新機能
07 Feb 2022	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 97.1.2.22の「新機能」
07 Feb 2022	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2202の「新機能」
25 Jan 2022	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2201の新機能
19 Jan 2022	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2201の新機能
13 Jan 2022	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2201の「新機能」

日付	変更	説明
17 Dec 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2112.1の「新機能」
09 Dec 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2112の「新機能」
09 Dec 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU6のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU6の「新機能」
07 Dec 2021	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 95.1.1.19の「新機能」
07 Dec 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2112の「新機能」
07 Dec 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.12.0の新機能
07 Dec 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.12.0の新機能
07 Dec 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2112の新機能
06 Dec 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2112の新機能
24 Nov 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.11.0の新機能
16 Nov 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2111.1の新機能
16 Nov 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2111の新機能

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
12 Nov 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2111.1の新機能
11 Nov 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2111の新機能
09 Nov 2021	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browser 92.2.1.10の「新機能」
09 Nov 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2111の「新機能」
09 Nov 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2111の「新機能」
26 Oct 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.10.5の新機能
20 Oct 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2110の新機能
13 Oct 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2110の新機能
12 Oct 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.10.0の新機能
05 Oct 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2109.1の「新機能」
04 Oct 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2109.1の「新機能」
30 Sep 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.9.5の新機能

日付	変更	説明
29 Sep 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2109の「新機能」
28 Sep 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.9.5の新機能
28 Sep 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2109の「新機能」
28 Sep 2021	Citrix Enterprise Browserのリリース	Citrix Enterprise Browserの概要
28 Sep 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2109の「新機能」
21 Sep 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.9.1の新機能
20 Sep 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2109の新機能
18 Sep 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2108.1の「新機能」
15 Sep 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.9.0の新機能
14 Sep 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.9.0の新機能
14 Sep 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2109の新機能
31 Aug 2021	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2108の「新機能」

日付	変更	説明
30 Aug 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2108の「新機能」
24 Aug 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.8.5の新機能
17 Aug 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2108の「新機能」
16 Aug 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2108.2の新機能
16 Aug 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2108.2の新機能
13 Aug 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.8.0の新機能
11 Aug 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU5のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU5の「新機能」
10 Aug 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.8.0の新機能
09 Aug 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2108の新機能
30 Jul 2021	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2107の「新機能」
29 Jul 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2107の「新機能」
28 Jul 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.7.5の新機能

日付	変更	説明
27 Jul 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.7.5の新機能
14 Jul 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.7.0の新機能
13 Jul 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.7.0の新機能
12 Jul 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2107の「新機能」
29 Jun 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.6.0の新機能
24 Jun 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2106の「新機能」
21 Jun 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2106の「新機能」
18 Jun 2021	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2106の「新機能」
16 Jun 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2106の「新機能」
15 Jun 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.6.0の新機能
17 May 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.5.1の新機能
12 May 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.5.0の新機能
11 May 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.5.0の新機能

CITRIX WORKSPACE™ アプリ

日付	変更	説明
10 May 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2105のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2105の「新機能」
10 May 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU4のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU4の「新機能」
28 Apr 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.4.5の新機能
28 Apr 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2104の「新機能」
27 Apr 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.4.5の新機能
14 Apr 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.4.0の新機能
14 Apr 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.4.0の新機能
07 Apr 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2104の「新機能」
30 Mar 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.3.5の新機能
30 Mar 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.3.5の新機能
23 Mar 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2103.1の「新機能」
23 Mar 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.3.0の新機能
22 Mar 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2103の新機能

日付	変更	説明
22 Mar 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2103の新機能
19 Mar 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.2.1を「既知の問題」に追加しました
18 Mar 2021	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2103の「新機能」
16 Mar 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.3.0の新機能
09 Mar 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2103の「新機能」
28 Feb 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2102の「新機能」
09 Feb 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.2.0の新機能
09 Feb 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.2.0の新機能
04 Feb 2021	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows（ストア）向けCitrix Workspaceアプリ2102の「新機能」
03 Feb 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2101.6のHotfixを「解決された問題」に追加しました
01 Feb 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ2102の「新機能」

日付	変更	説明
29 Jan 2021	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	ChromeOS向けCitrix Workspaceアプリ2101.5の新機能
29 Jan 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2101.5の新機能
28 Jan 2021	Linux向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Linux向けCitrix Workspaceアプリ2101の「新機能」
28 Jan 2021	Mac向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Mac向けCitrix Workspaceアプリ2101の「新機能」
27 Jan 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.1.5の新機能
27 Jan 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.1.5の新機能
20 Jan 2021	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU3のリリース	Windows向けCitrix Workspaceアプリ1912 LTSR CU3の「新機能」
12 Jan 2021	Android向けCitrix Workspaceアプリのリリース	Android向けCitrix Workspaceアプリ21.1.0の新機能
12 Jan 2021	iOS向けCitrix Workspaceアプリのリリース	iOS向けCitrix Workspaceアプリ21.1.0の新機能
12 Jan 2021	HTML5向けCitrix Workspaceアプリのリリース	HTML5向けCitrix Workspaceアプリ2101の新機能